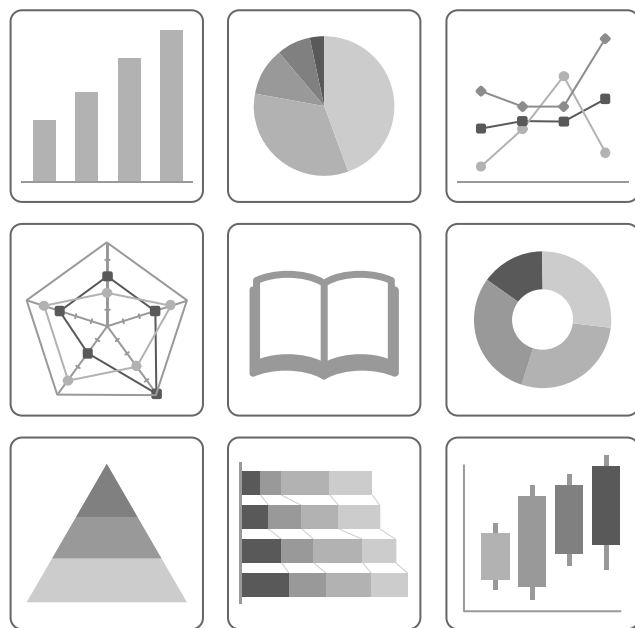


船橋市

第4次船橋市地域福祉計画策定のための アンケート調査結果報告書



令和2年3月

船 橋 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	市民調査結果	2
	（1）回答者属性	2
	（2）世帯の状況	11
	（3）現在の身体のこと	15
	（4）地域との関わり合い	16
	（5）地域での活動	54
	（6）その他	86
2	団体調査結果	98
	（1）回答者属性	98
	（2）ボランティア活動・市民活動・地域福祉活動等	100
	（3）その他	118

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は「第4次船橋市地域福祉計画」の策定に当たり、市民や地域福祉の担い手の地域福祉に関する意識や、地域活動の実態や課題を把握し、計画策定の基礎資料を得ることを目的として実施したものです。

2 調査対象

市民調査：船橋市在住の18歳以上の市民から無作為抽出

団体調査：地域福祉の担い手となっている各種団体

(町会・自治会、地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会、老人クラブ連合会
市民活動団体、助け合いの会、PTA、スクールガードなど)

3 調査期間

市民調査：令和元年10月1日から令和元年10月31日

団体調査：令和元年10月30日から令和元年11月15日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
市民調査	3,000 通	1,444 通	48.1%
団体調査	486 通	344 通	70.8%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

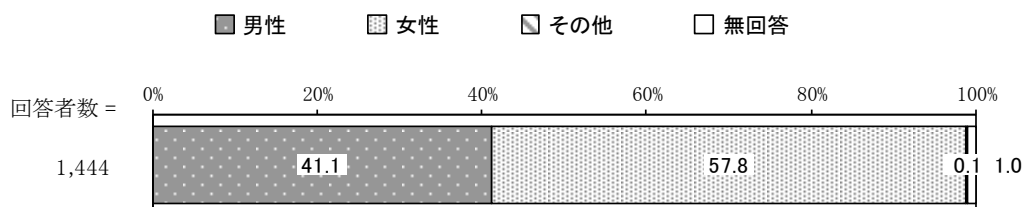
Ⅱ 調査結果

1 市民調査結果

(1) 回答者属性

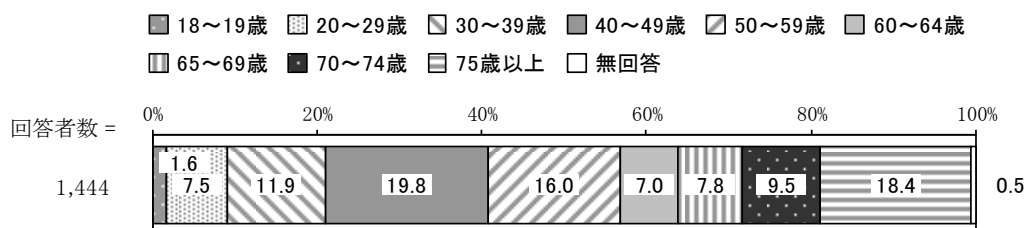
問 1. あなたの性別についてお伺いします。(○は1つだけ)

「男性」の割合が41.1%、「女性」の割合が57.8%となっています。



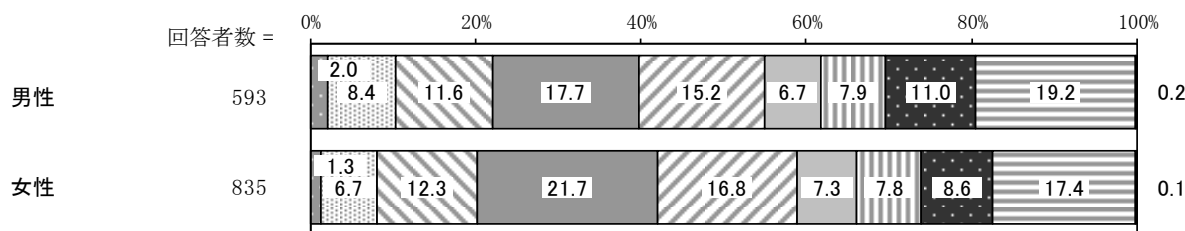
問 2. あなたの年齢を次の中から選んでください。(○は1つだけ)

「40～49 歳」の割合が 19.8%と最も高く、次いで「75 歳以上」の割合が 18.4%、「50～59 歳」の割合が 16.0%となっています。



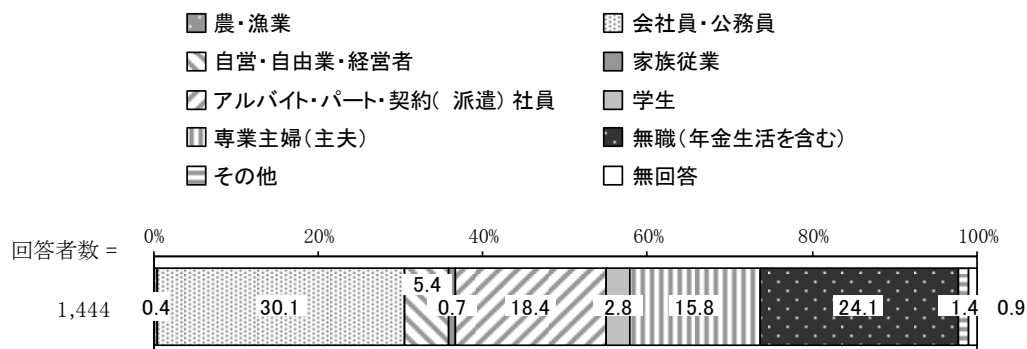
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



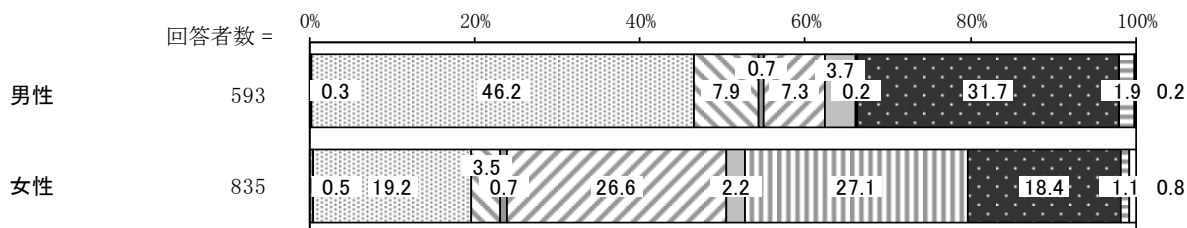
問3. あなたのご職業は何ですか。(○は1つだけ)

「会社員・公務員」の割合が30.1%と最も高く、次いで「無職（年金生活を含む）」の割合が24.1%、「アルバイト・パート・契約（派遣）社員」の割合が18.4%となっています。



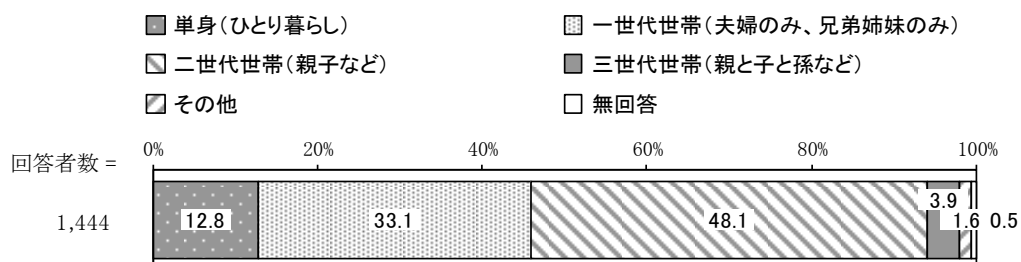
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「会社員・公務員」「無職（年金生活を含む）」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「アルバイト・パート・契約（派遣）社員」「専業主婦（主夫）」の割合が高くなっています。



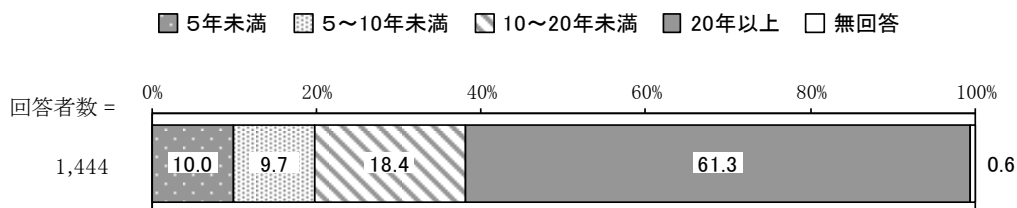
問4. あなたの世帯状況を伺います。(○は1つだけ)

「二世帯世帯（親子など）」の割合が48.1%と最も高く、次いで「一世帯世帯（夫婦のみ、兄弟姉妹のみ）」の割合が33.1%、「単身（ひとり暮らし）」の割合が12.8%となっています。



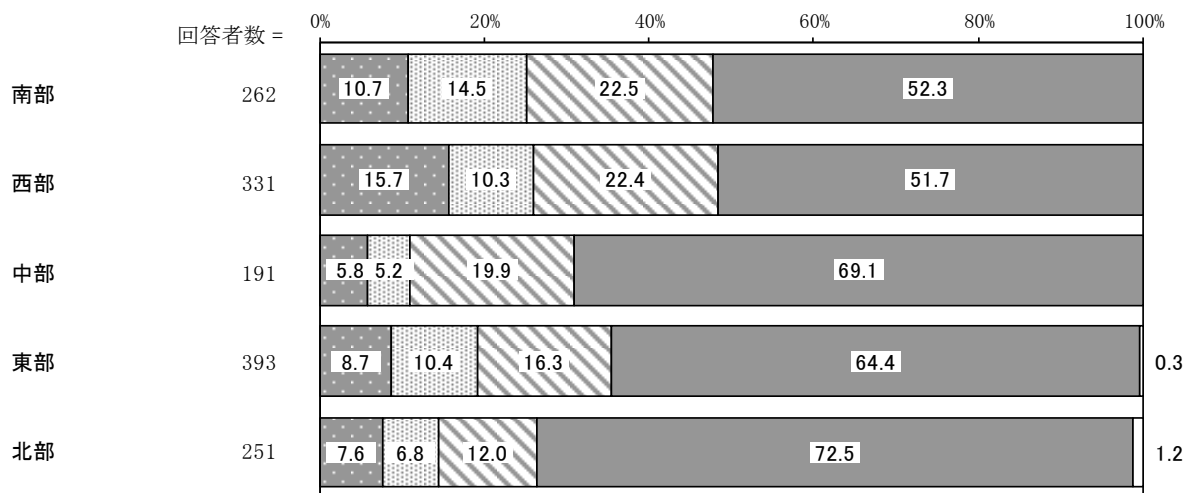
問5. あなたは、船橋市に何年お住まいですか。(○は1つだけ)

「20年以上」の割合が61.3%と最も高く、次いで「10～20年未満」の割合が18.4%、「5年未満」の割合が10.0%となっています。



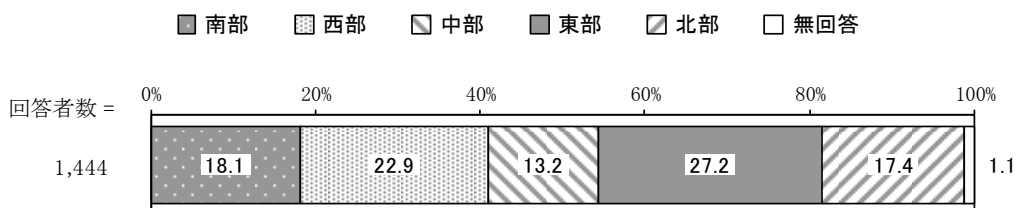
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、西部で「5年未満」の割合が高くなっています。また、中部、北部で「20年以上」の割合が高くなっています。



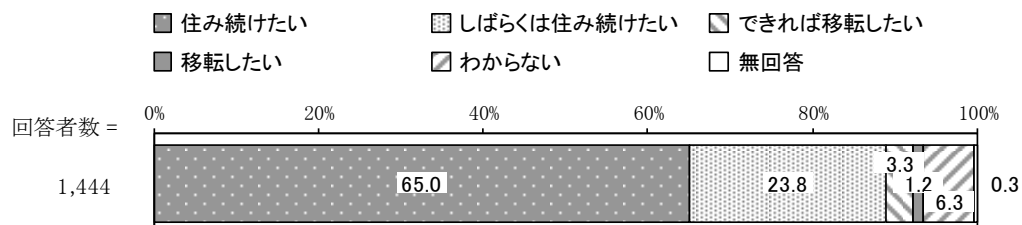
問6. あなたが現在お住まいの地区を伺います。(○は番号に1つだけ)

「東部」の割合が27.2%と最も高く、次いで「西部」の割合が22.9%、「南部」の割合が18.1%となっています。



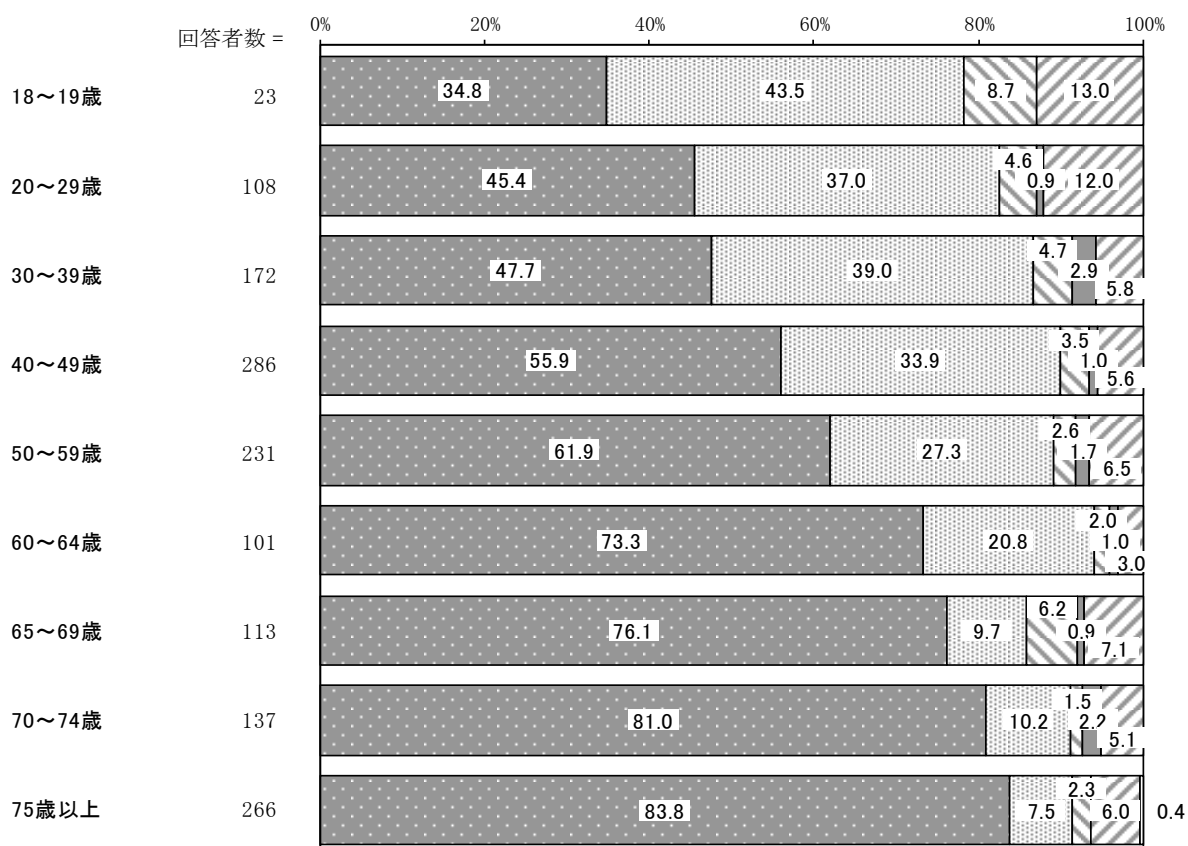
問7. あなたは、今後も船橋市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」をあわせた“住み続けたい”の割合が88.8%、「できれば移転したい」と「移転したい」をあわせた“移転したい”の割合が4.5%となっています。



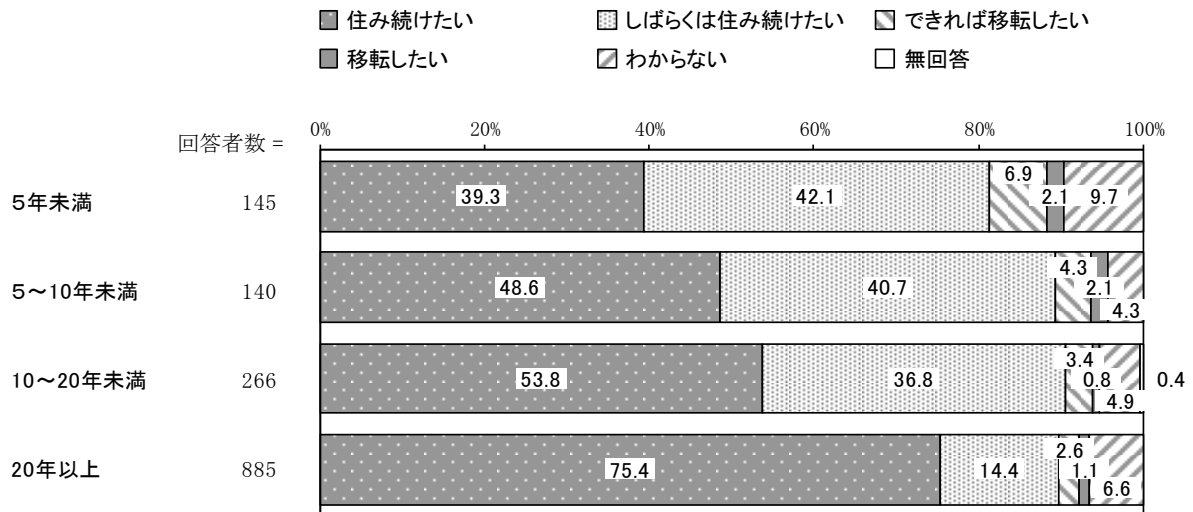
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「住み続けたい」の割合が、年齢が低くなるにつれ「しばらくは住み続けたい」の割合が高くなる傾向がみられます。



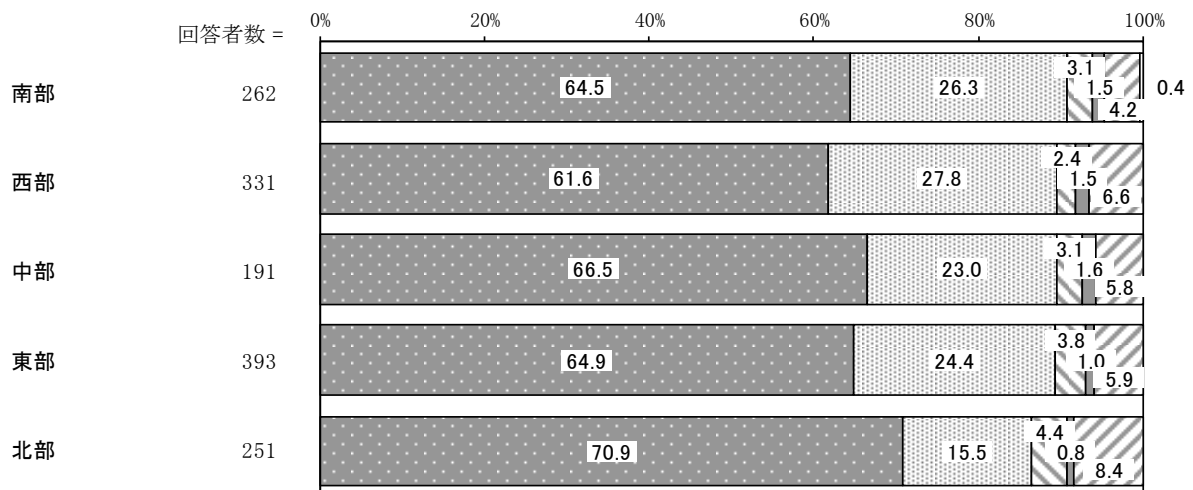
【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ「住み続けたい」の割合が、居住年数が短くなるにつれ「しばらくは住み続けたい」の割合が高くなっています。



【地区別】

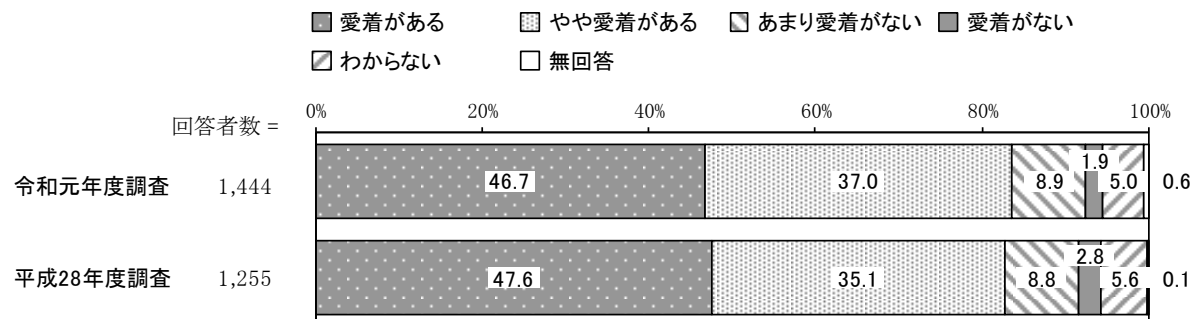
地区別でみると、他に比べ、北部で「住み続けたい」の割合が高くなっています。



問 8. あなたは、船橋市に愛着を持っていますか。(〇は1つだけ)

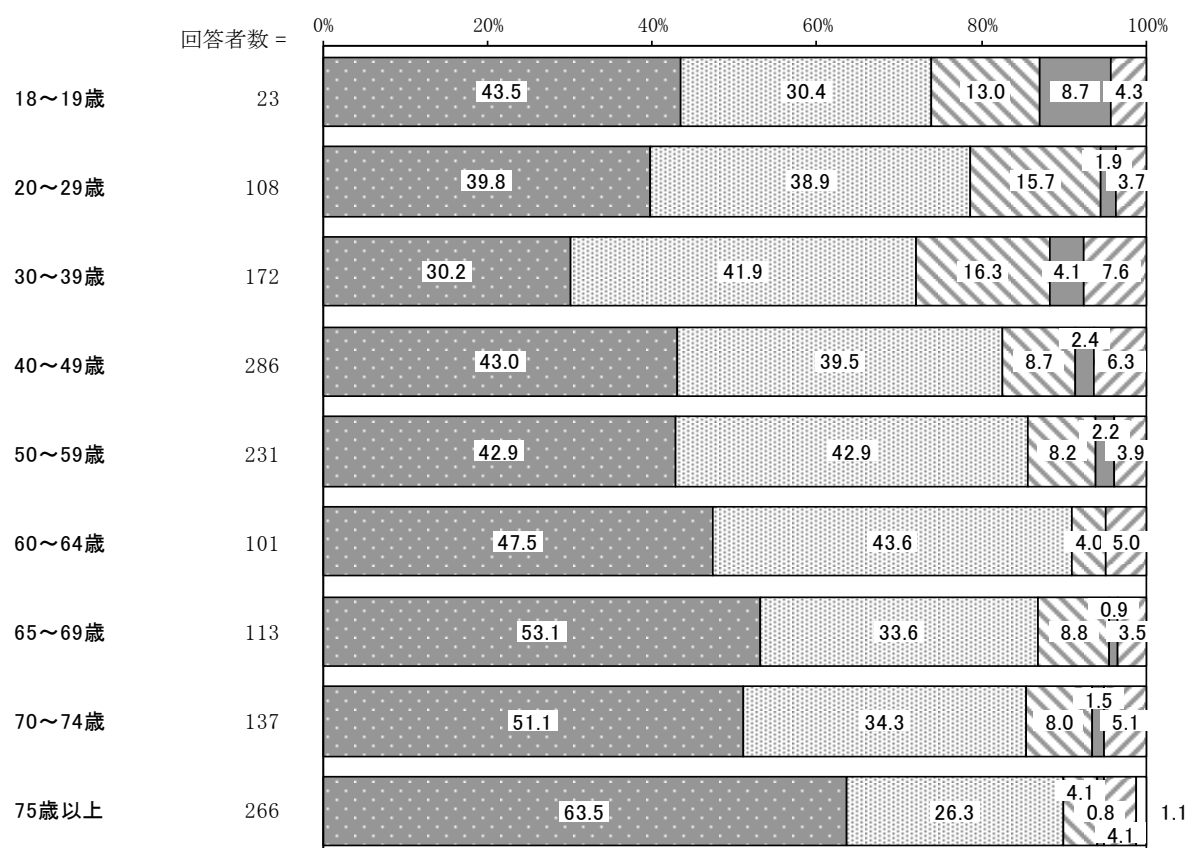
「愛着がある」と「やや愛着がある」をあわせた“愛着がある”の割合が 83.7%、「あまり愛着がない」と「愛着がない」をあわせた“愛着がない”の割合が 10.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



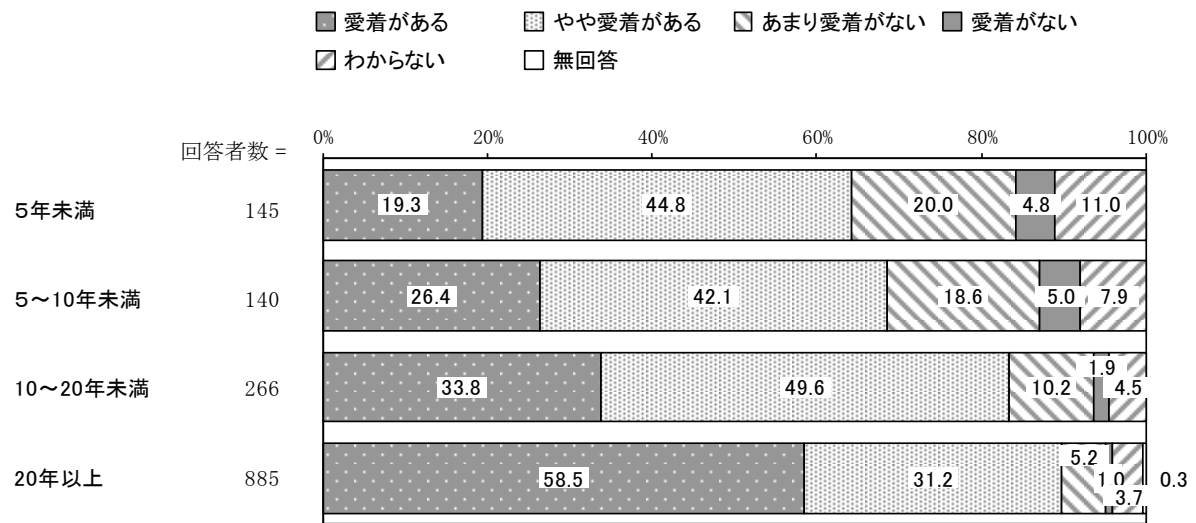
【年齢別】

年齢別でみると、40 歳以上に比べ、39 歳以下で“愛着がない”の割合が高くなっています。



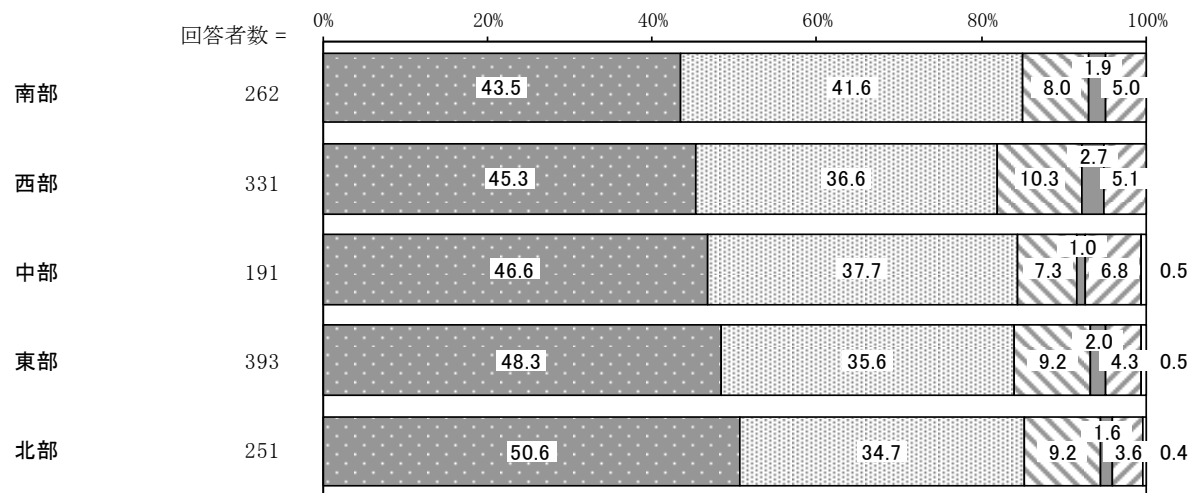
【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ“愛着がある”の割合が高くなっています。



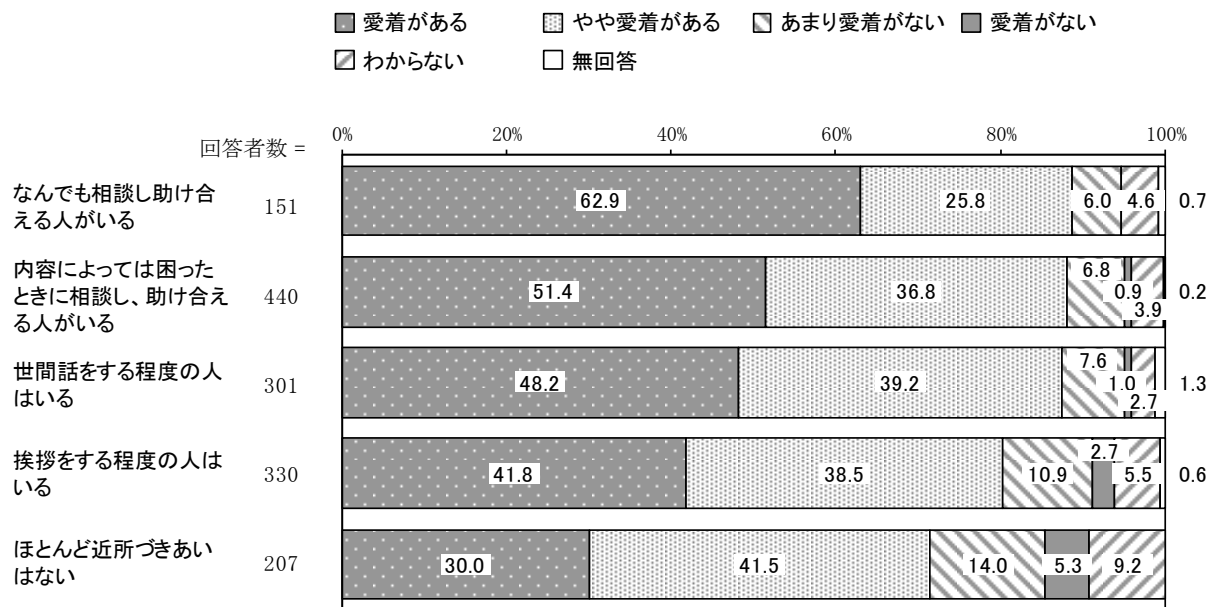
【地区別】

地区別でみると、大きな差異はみられません。



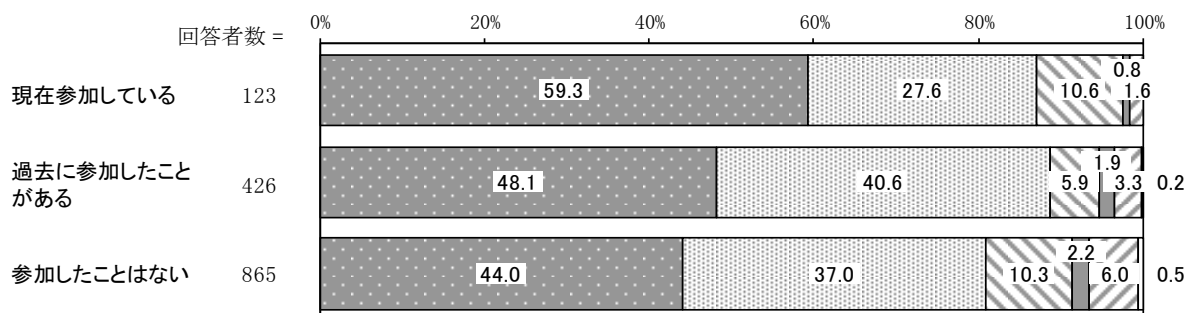
【近所付き合いの程度別】

近所付き合いの程度別でみると、他に比べ、何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がある、なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がある、助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらで“愛着がある”の割合が高くなっています。また、ほとんど近所づきあいはないで“愛着がない”の割合が高くなっています。



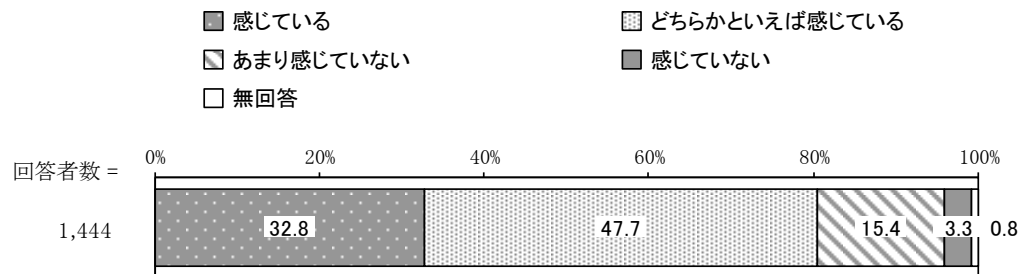
【ボランティア活動への参加別】

ボランティア活動への参加別でみると、参加したことはない人に比べ、現在参加している人、過去に参加したことがある人で“愛着がある”の割合が高くなっています。



問9. あなたは、生きがいを持ち楽しく生きていると感じていますか。(○は1つだけ)

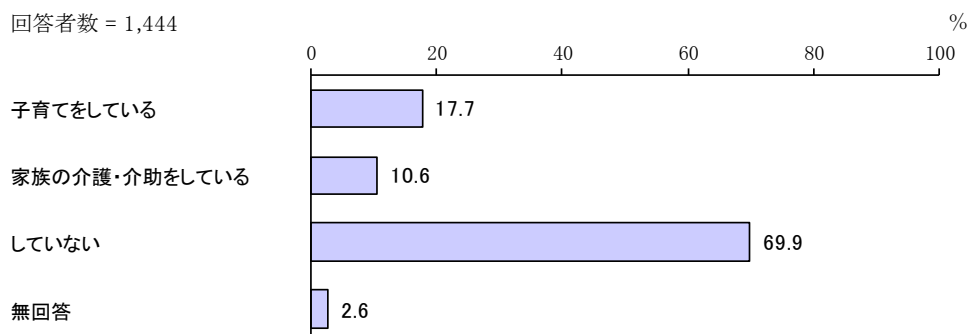
「感じている」と「どちらかといえば感じている」をあわせた“感じている”の割合が80.5%、「あまり感じていない」と「感じていない」をあわせた“感じていない”の割合が18.7%となっています。



(2) 世帯の状況

問 10. あなたは、現在、小学校以下の子を育てていたり、ご家族（同居・別居を問わない）の介護・介助をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

「していない」の割合が 69.9%と最も高く、次いで「子育てをしている」の割合が 17.7%、「家族の介護・介助をしている」の割合が 10.6%となっています。



【地区別】

地区別でみると、他に比べ、南部、西部、東部で「子育てをしている」の割合が高くなっています。

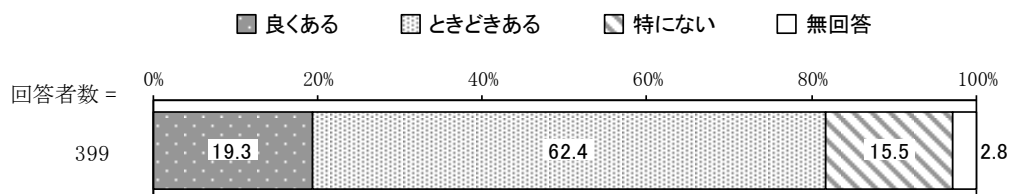
単位：%

区分	回答者数 (件)	子育てをしている	家族の介護・ 介助をしている	していない	無回答
南部	262	22.1	10.7	66.0	2.7
西部	331	19.3	9.7	69.5	2.1
中部	191	13.6	13.1	71.7	1.6
東部	393	18.3	10.7	69.5	2.3
北部	251	13.9	9.6	72.5	4.4

問 10 で「子育てをしている」「家族の介護・介助をしている」のいずれかにお答えの方に伺います

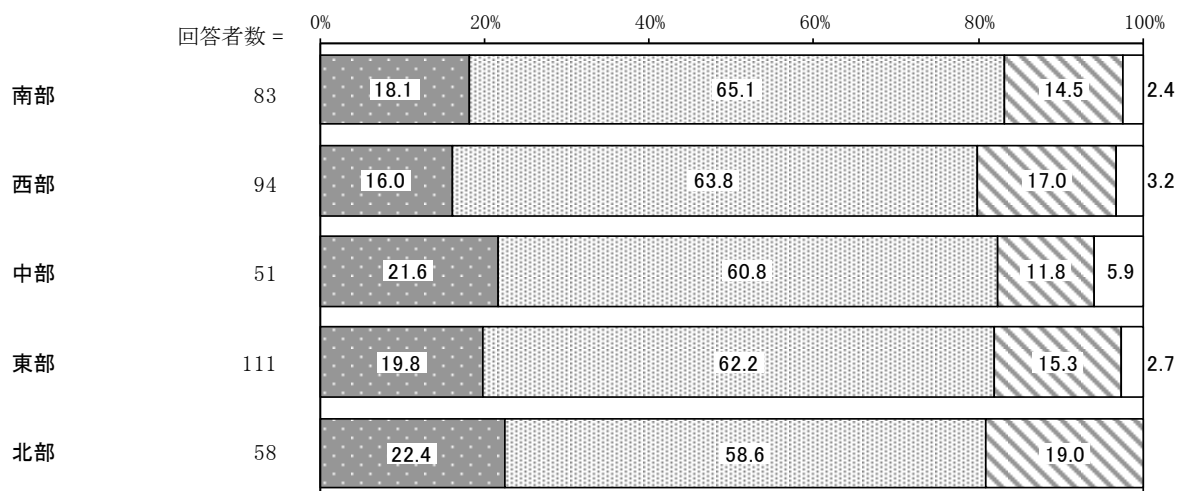
問 10－1. あなたが子育てやご家族の介護・介助をしているなかで、生活上困ったことや不便を感じることはありますか。(○は1つだけ)

「ときどきある」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「良くある」の割合が 19.3%、「特にな
い」の割合が 15.5%となっています。



【地区別】

地区別でみると、大きな差異はみられません。

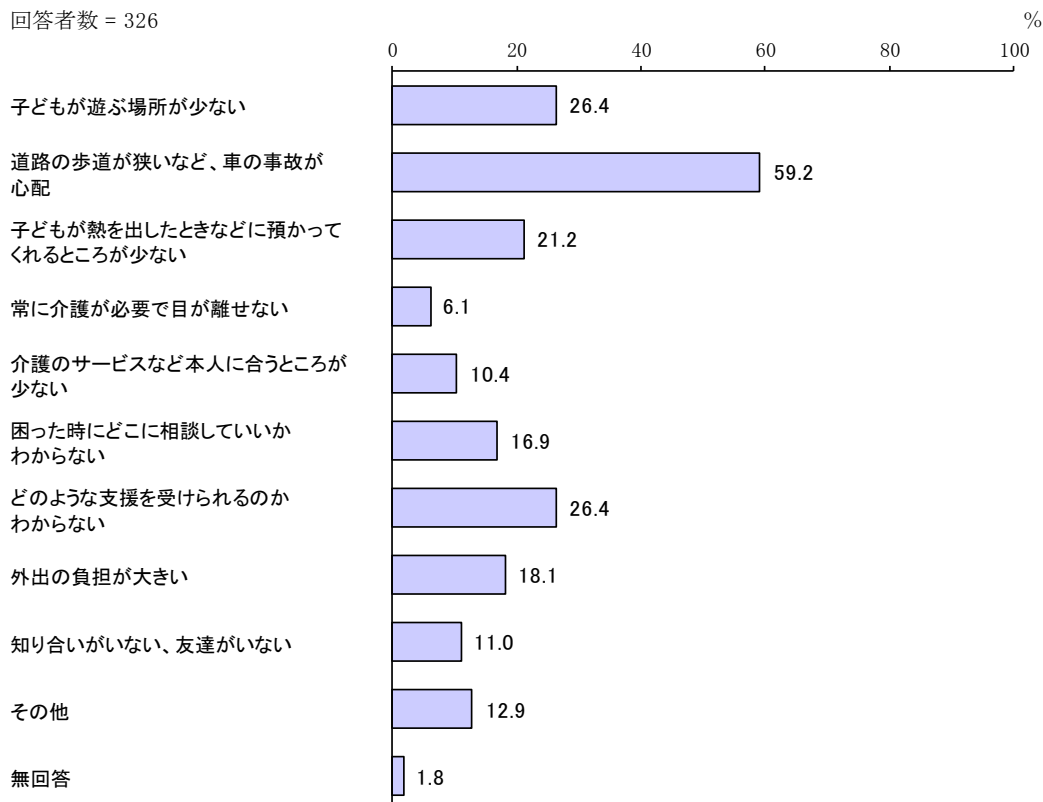


問 10－1 で「良くある」「ときどきある」のいずれかにお答えの方に伺います

問 10－2. あなたは上記の生活上で困ったことや不便を感じるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「道路の歩道が狭いなど、車の事故が心配」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「子どもが遊ぶ場所が少ない」の割合が 26.4%、「どのような支援を受けられるのかわからない」の割合が 26.4%となっています。

回答者数 = 326



【地区別】

地区別でみると、他に比べ、東部で「道路の歩道が狭いなど、車の事故が心配」「困った時にどこに相談していいかわからない」の割合が、中部で「どのような支援を受けられるのかわからない」「外出の負担が大きい」の割合が高くなっています。

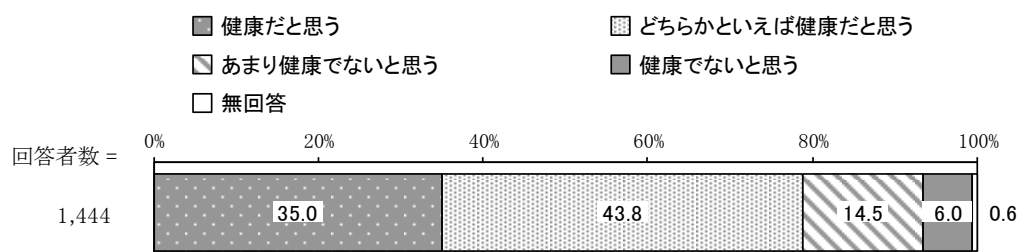
単位：％

区分	回答者数（件）	子どもが遊ぶ場所が少ない	道路の歩道が狭いなど、車の事故が心配	子どもが熱を出したときなどに預かってくれるところが少ない	常に介護が必要で目が離せない	介護のサービスなど本人に合うところが少ない	困った時にどこに相談していいかわからない	どのような支援を受けられるかわからない	外出の負担が大きい	知り合いがいない、友達がいらない	その他	無回答
南部	69	27.5	50.7	23.2	8.7	10.1	14.5	23.2	15.9	13.0	17.4	－
西部	75	29.3	60.0	21.3	5.3	4.0	13.3	26.7	14.7	9.3	13.3	1.3
中部	42	28.6	59.5	23.8	2.4	7.1	14.3	35.7	26.2	16.7	11.9	2.4
東部	91	25.3	68.1	20.9	5.5	12.1	24.2	27.5	15.4	8.8	15.4	2.2
北部	47	21.3	55.3	17.0	4.3	19.1	14.9	19.1	23.4	8.5	2.1	4.3

(3) 現在の身体のこと

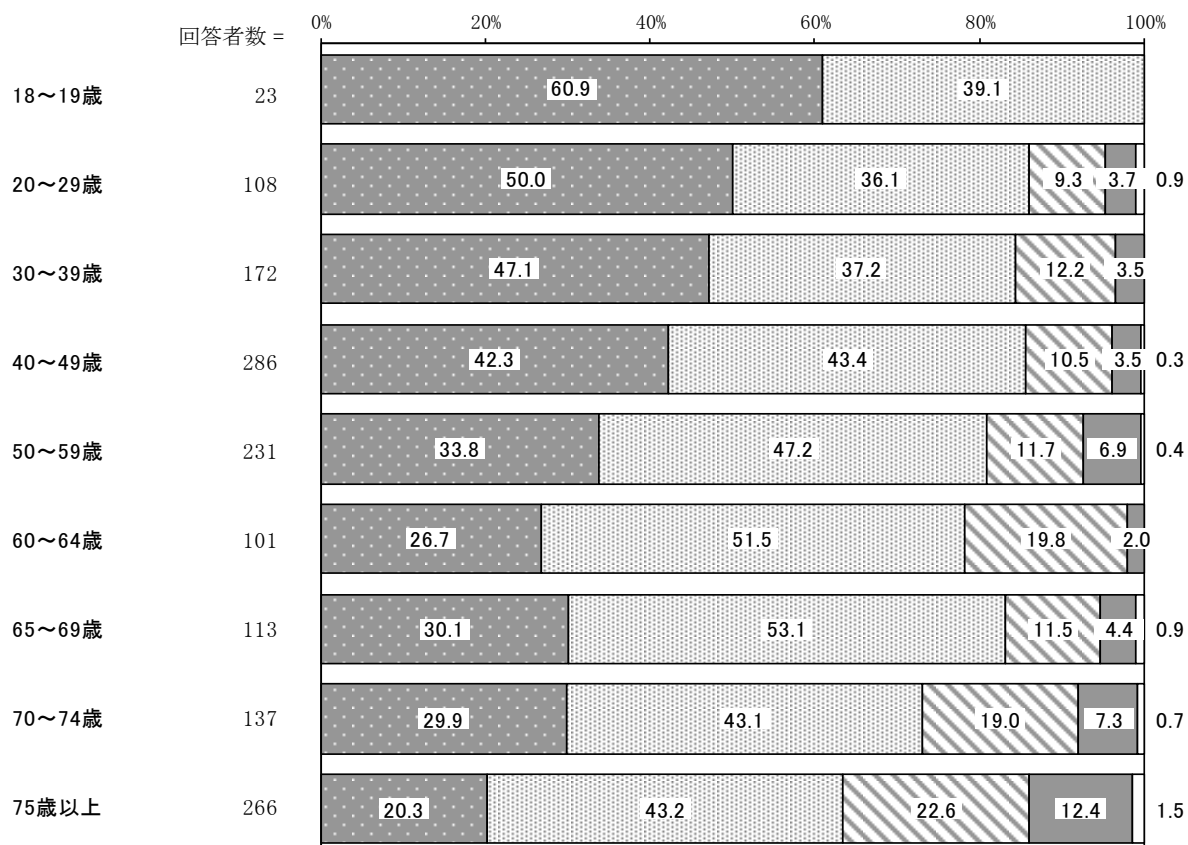
問 11. あなたは、健康だと感じていますか。(○は1つだけ)

「健康だと思う」と「どちらかといえば健康だと思う」をあわせた“健康だと思う”の割合が78.8%、「あまり健康でないと思う」と「健康でないと思う」をあわせた“健康でないと思う”の割合が20.5%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“健康だと思う”の割合が低くなる傾向がみられます。



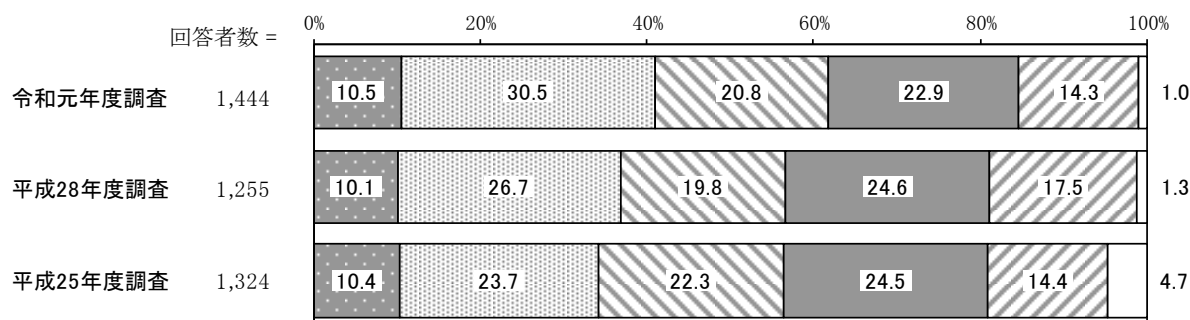
（４）地域との関わり合い

問 12. 隣近所（歩いて行ける程度の範囲）にどの程度のおつきあいの人がいますか。
（○は１つだけ）

「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がある」の割合が 30.5%と最も高く、次いで「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる」の割合が 22.9%、「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらる」の割合が 20.8%となっています。

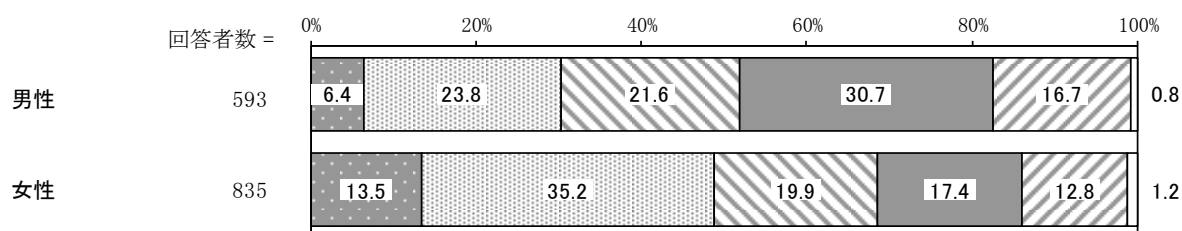
過去の調査と比較すると、平成 25 年度調査から「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がある」の割合が増加しています。

- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がある
- ▨ なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がある
- ▨ 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる
- ▨ ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



【性別】

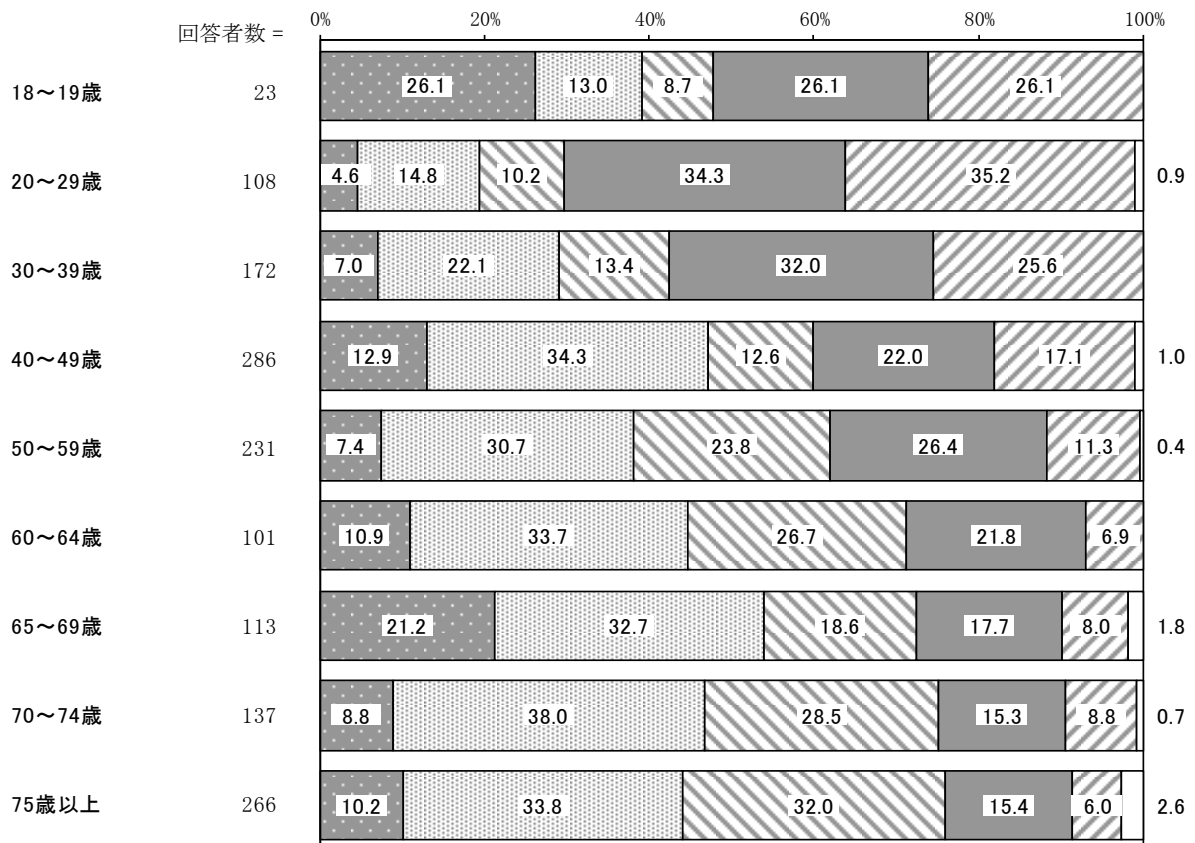
性別でみると、女性に比べ、男性で「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がある」「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がある」の割合が高くなっています。



【年齢別】

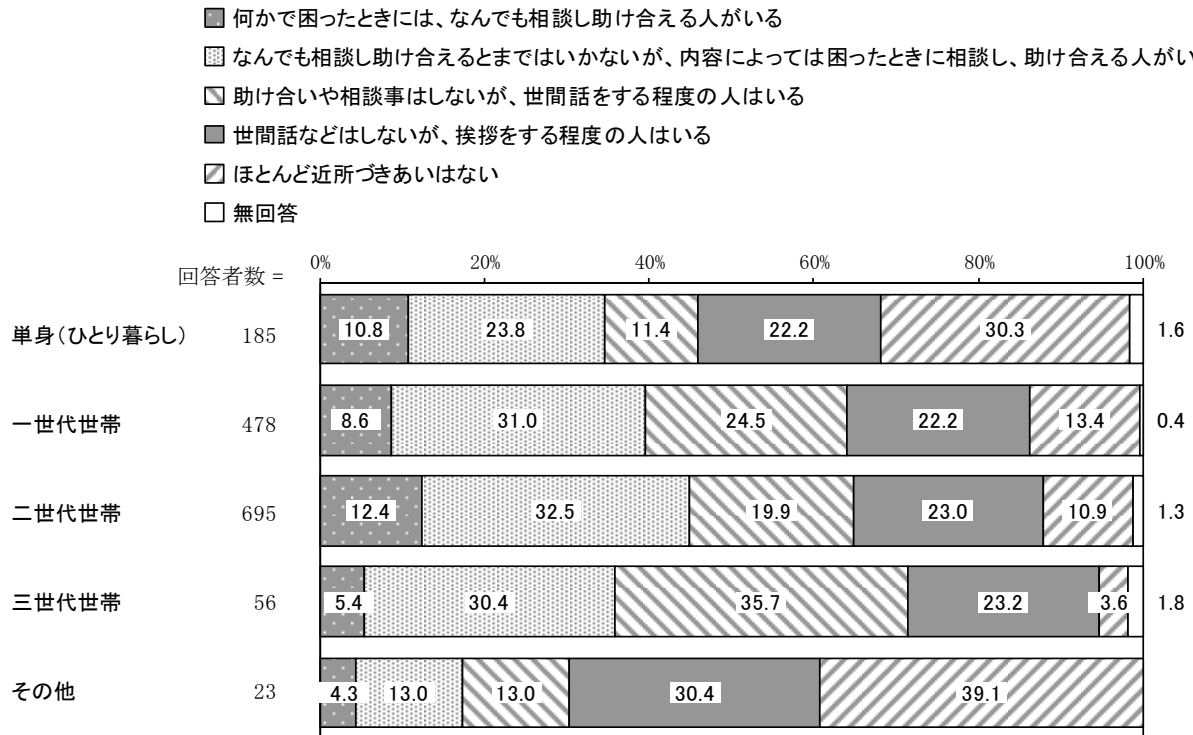
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、18～19歳、65～69歳で「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がある」の割合が、20～29歳、30～39歳で「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる」「ほとんど近所づきあいはない」の割合が高くなっています。

- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がある
- なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がある
- 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる
- ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



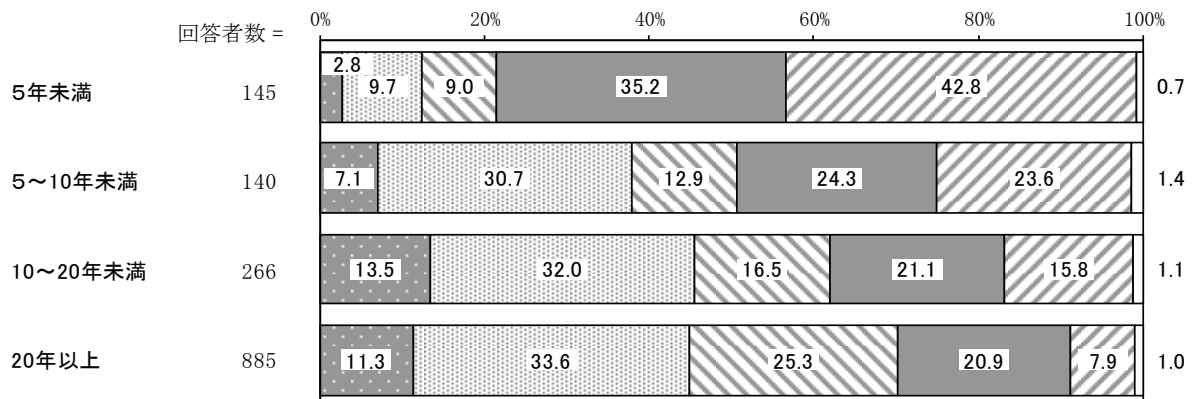
【世帯状況別】

世帯状況別でみると、他に比べ、一世代世帯、二世帯世帯、三世帯世帯で「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」の割合が高くなっています。また、三世帯世帯で「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる」の割合が、単身（ひとり暮らし）で「ほとんど近所づきあいはない」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

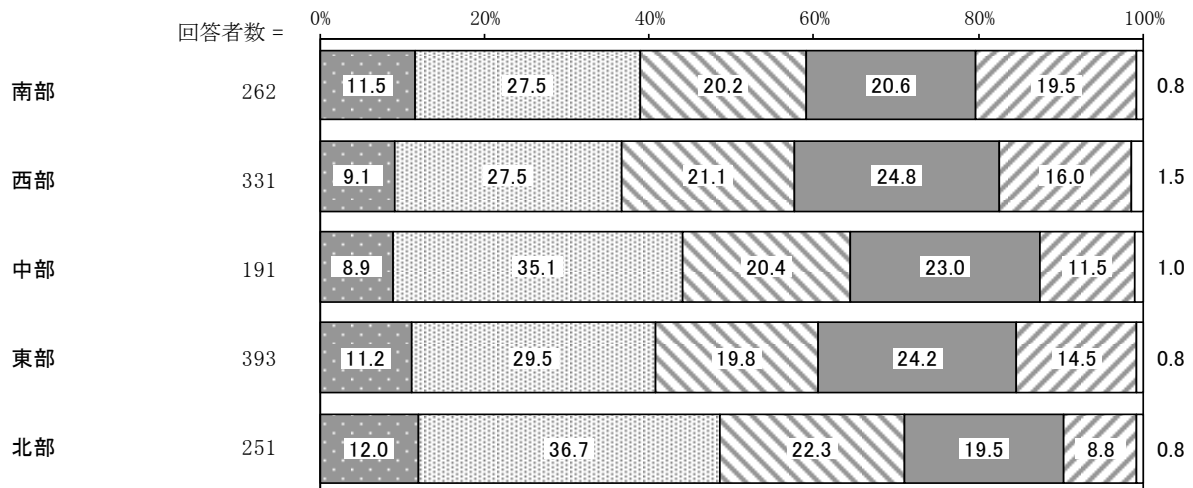
居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる」「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる」の割合が、居住年数が短くなるにつれ「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる」「ほとんど近所づきあいはない」の割合が高くなる傾向がみられます。



【地区別】

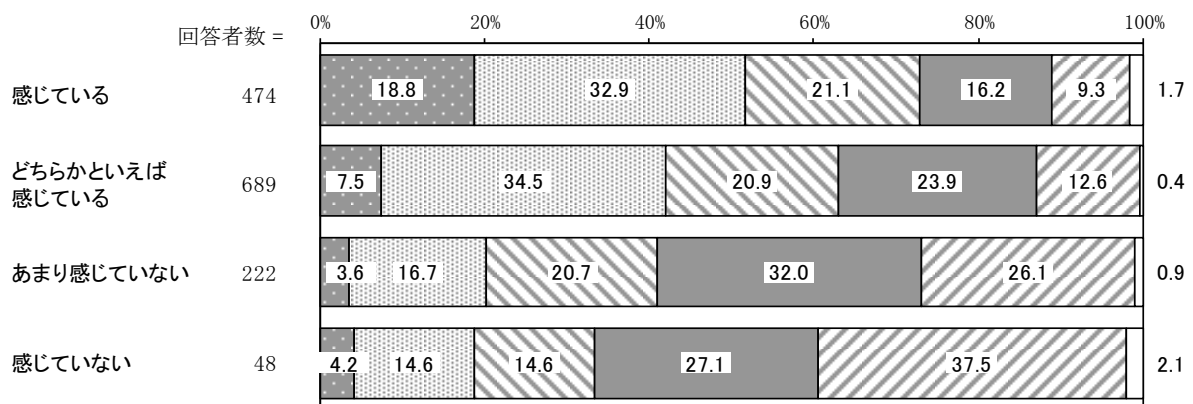
地区別でみると、他に比べ、中部、北部で「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」の割合が高くなっています。

- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる
- ▨ なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる
- ▧ 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はい
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はい
- ▧ ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



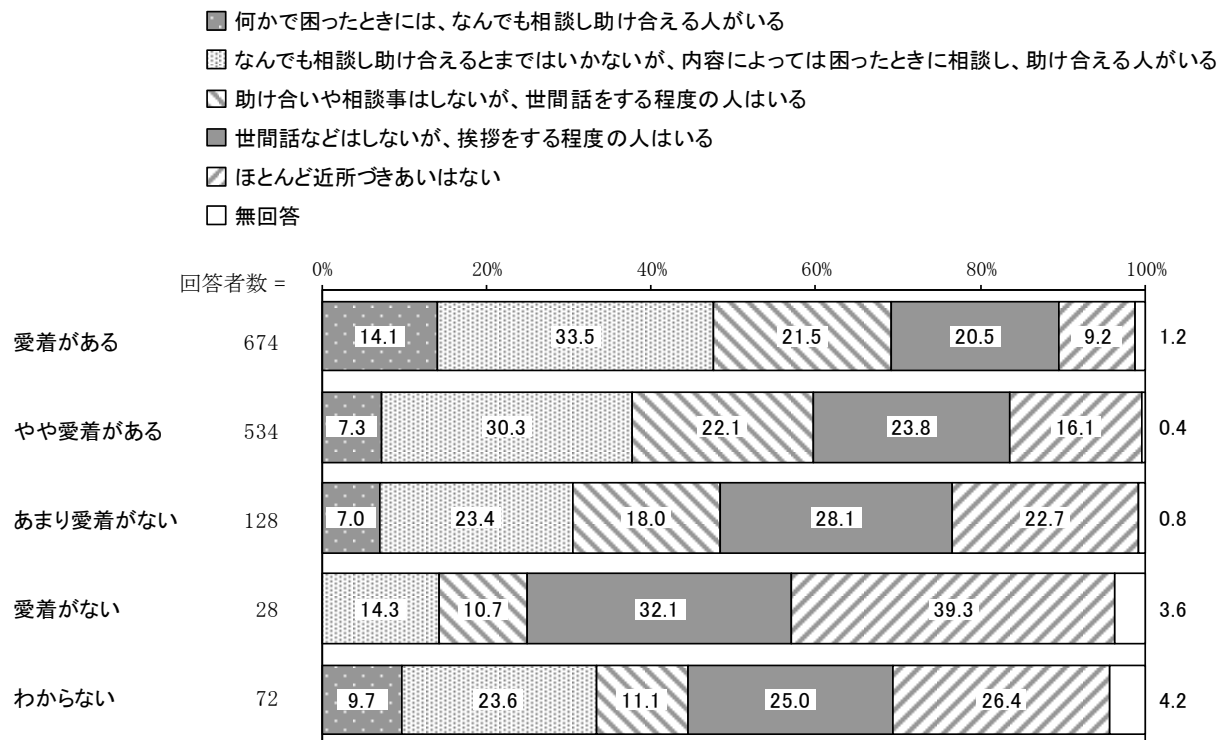
【生きがいの感じ方別】

生きがいの感じ方別でみると、他に比べ、生きがいを感じている人ほど「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる」「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」の割合が高く、「ほとんど近所づきあいはない」の割合が低くなる傾向がみられます。



【市への愛着度別】

市への愛着度別でみると、他に比べ、愛着度が強くなるにつれ「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がある」「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がある」「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる」の割合が高く、愛着度が弱くなるにつれ「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる」「ほとんど近所づきあいはない」の割合が高くなる傾向がみられます。

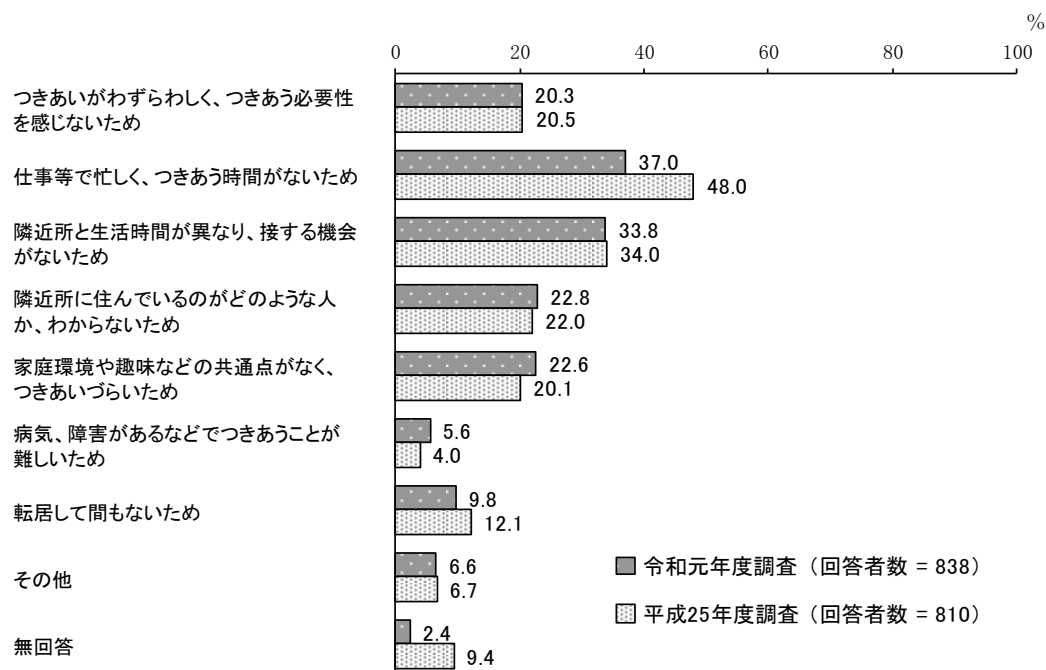


問 12 で「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる」「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる」「ほとんど近所づきあいはない」のいずれかにお答えの方に伺います

問 12－１．近所づきあいがあまりないのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

「仕事等で忙しく、つきあう時間がないため」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」の割合が 33.8%、「隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため」の割合が 22.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「仕事等で忙しく、つきあう時間がないため」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：％

区分	有効回答数（件）	つきあいがわずらわしく、つきあう必要性を感じないため	仕事等で忙しく、つきあう時間がないため	隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため	隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため	家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいづらいため	病気、障害があるなどでつきあうことが難しいため	転居して間もないため	その他	無回答
男性	409	21.0	38.9	34.0	24.7	21.0	4.9	7.8	6.4	1.7
女性	418	19.4	36.1	33.5	20.8	23.7	6.5	11.5	6.7	2.9

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30～39 歳、40～49 歳、50～59 歳で「仕事等で忙しく、つきあう時間がないため」の割合が高くなっています。また、20～29 歳、30～39 歳で「隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため」「転居して間もないため」の割合が、70～74 歳で「つきあいがわずらわしく、つきあう必要性を感じないため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	つきあいがわずらわしく、つきあう必要性を感じないため	仕事等で忙しく、つきあう時間がないため	隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため	隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため	家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいづらいため	病気、障害があるなどでつきあうことが難しいため	転居して間もないため	その他	無回答
18～19 歳	14	7.1	35.7	35.7	14.3	7.1	—	14.3	7.1	—
20～29 歳	86	19.8	41.9	40.7	32.6	12.8	2.3	23.3	7.0	—
30～39 歳	122	19.7	53.3	33.6	35.2	20.5	1.6	21.3	6.6	—
40～49 歳	148	25.0	53.4	37.8	23.0	20.9	4.7	5.4	4.7	0.7
50～59 歳	142	16.9	53.5	33.8	16.9	21.8	2.8	3.5	5.6	0.7
60～64 歳	56	23.2	35.7	37.5	10.7	39.3	3.6	8.9	5.4	—
65～69 歳	50	18.0	28.0	36.0	28.0	26.0	2.0	10.0	2.0	2.0
70～74 歳	72	30.6	15.3	30.6	29.2	20.8	6.9	5.6	4.2	2.8
75 歳以上	142	14.8	2.8	24.6	12.7	26.8	16.9	4.9	12.0	9.9

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、南部、北部で「仕事等で忙しく、つきあう時間がないため」の割合が、南部、中部で「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」の割合が高くなっています。また、南部で「隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため」の割合が高くなっています。

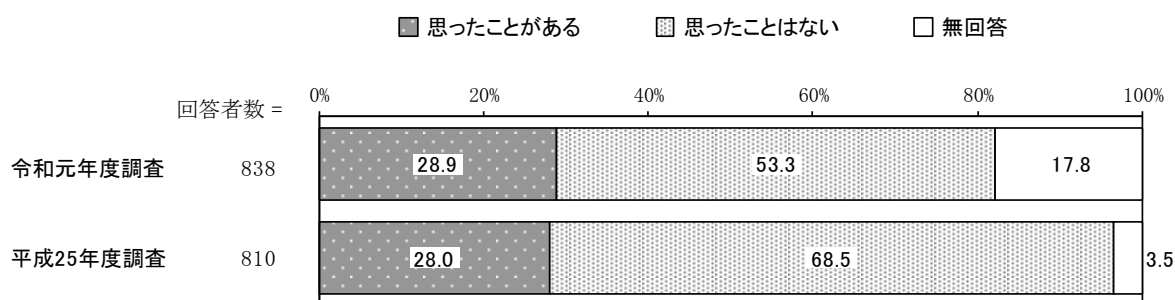
単位：％

区分	回答者数 (件)	つきあいがわずらわしく、つきあう必要性を感じないため	仕事等で忙しく、つきあう時間がないため	隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため	隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため	家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいがづらいため	病気、障害があるなどでつきあうことが難しいため	転居して間もないため	その他	無回答
南部	158	18.4	43.0	38.0	32.3	22.2	5.1	12.0	8.2	2.5
西部	205	21.0	35.6	29.3	22.4	22.0	5.4	12.7	6.3	1.0
中部	105	14.3	34.3	40.0	21.0	24.8	4.8	5.7	7.6	2.9
東部	230	21.7	33.5	34.3	21.7	20.4	5.7	10.4	5.2	2.2
北部	127	23.6	41.7	29.1	14.2	23.6	7.1	4.7	7.1	4.7

問 12 で「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる」「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる」「ほとんど近所づきあいはない」のいずれかにお答えの方に伺います

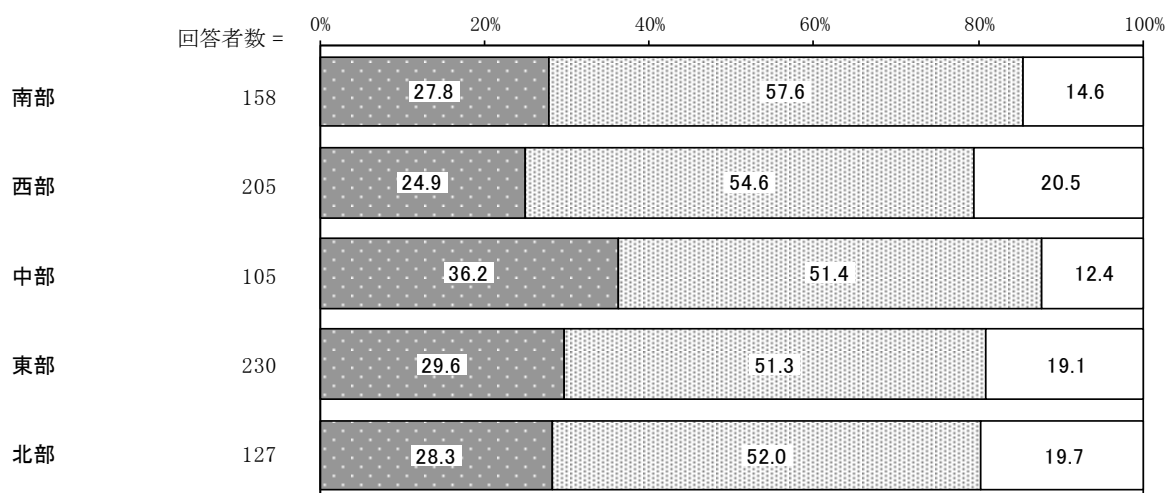
問 12－2. これまでに、何か困ったときに、隣近所に助け合える人がいればよかったと思っ
たことはありますか。(○は1つだけ)

「思ったことがある」の割合が 28.9%、「思ったことはない」の割合が 53.3%となっています。
平成 25 年度調査と比較すると、「思ったことはない」の割合が減少しています。



【地区別】

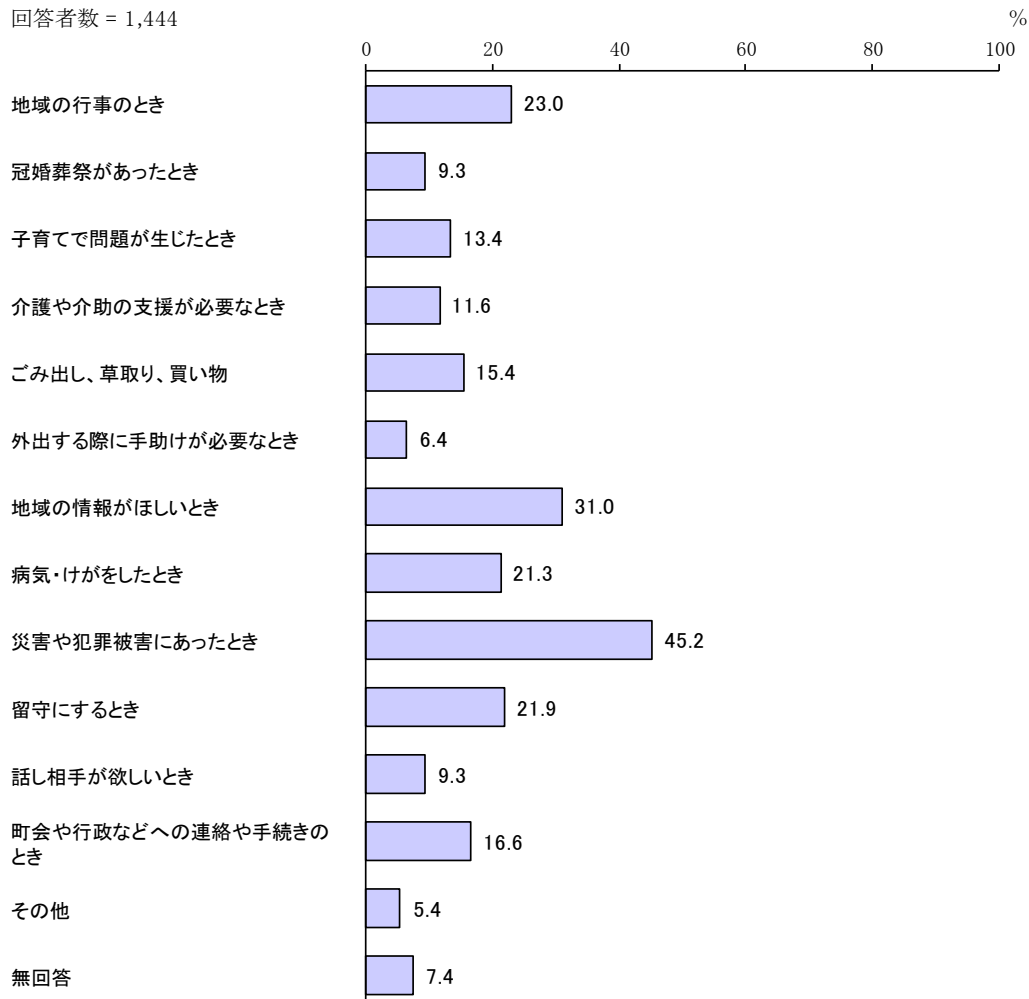
地区別でみると、他に比べ、中部で「思ったことがある」の割合が高くなっています。



問 13. これまでに、どのようなときに、隣近所に助け合える人がいればよかったと感じましたか。あるいは、どのようなときに隣近所の助けが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「災害や犯罪被害にあったとき」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「地域の情報がほしいとき」の割合が 31.0%、「地域の行事のとき」の割合が 23.0%となっています。

回答者数 = 1,444



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20 歳以上で年齢が低くなるにつれ「災害や犯罪被害にあったとき」の割合が高くなる傾向がみられます。また、40～49 歳、65～69 歳で「地域の情報がほしいとき」の割合が、30～39 歳、40～49 歳で「子育てで問題が生じたとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	地域の行事のとき	冠婚葬祭があったとき	子育てで問題が生じたとき	介護や介助の支援が必要なとき	ごみ出し、草取り、買い物	外出する際に手助けが必要なとき	地域の情報がほしいとき	病気・けがをしたとき	災害や犯罪被害にあったとき	留守にするとき	話し相手が欲しいとき	町会や行政などへの連絡や手続きのとき	その他	無回答
18～19 歳	23	17.4	—	4.3	13.0	8.7	4.3	30.4	30.4	47.8	13.0	13.0	—	17.4	4.3
20～29 歳	108	19.4	2.8	12.0	3.7	13.9	5.6	27.8	13.9	60.2	9.3	10.2	11.1	6.5	4.6
30～39 歳	172	19.2	0.6	29.1	2.9	11.6	4.7	34.9	16.3	52.9	12.8	7.0	16.3	4.7	7.0
40～49 歳	286	25.9	7.3	31.1	8.7	13.6	5.9	37.8	24.1	54.9	19.6	10.8	12.2	5.2	3.5
50～59 歳	231	22.9	9.5	11.3	13.0	12.1	5.6	32.0	19.0	47.2	24.2	7.4	18.2	4.3	6.1
60～64 歳	101	22.8	10.9	5.9	13.9	18.8	12.9	33.7	22.8	45.5	22.8	11.9	21.8	9.9	5.0
65～69 歳	113	27.4	15.0	2.7	16.8	24.8	8.0	36.3	21.2	42.5	33.6	10.6	17.7	3.5	8.8
70～74 歳	137	24.1	11.7	2.9	17.5	19.7	3.6	32.8	22.6	40.1	25.5	5.8	15.3	3.6	8.0
75 歳以上	266	21.8	15.8	0.8	16.2	16.9	7.9	18.0	24.8	25.6	26.7	10.9	21.8	5.6	14.3

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、北部で「留守にするとき」の割合が高くなっています。また、東部、北部で「ごみ出し、草取り、買い物」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	地域の行事のとき	冠婚葬祭があったとき	子育てで問題が生じたとき	介護や介助の支援が必要なとき	ごみ出し、草取り、買い物	外出する際に手助けが必要なとき	地域の情報がほしいとき	病気・けがをしたとき	災害や犯罪被害にあったとき	留守にするとき	話し相手が欲しいとき	町会や行政などへの連絡や手続きのとき	その他	無回答
南部	262	20.2	6.9	15.6	11.1	9.5	4.6	27.9	21.4	46.9	17.9	9.2	14.9	5.7	5.0
西部	331	20.8	8.8	14.8	11.2	13.0	9.1	32.0	21.5	47.1	20.2	9.4	13.3	6.0	8.2
中部	191	22.5	9.9	13.1	9.9	14.7	7.9	29.8	22.0	39.3	22.5	11.0	18.8	5.8	9.9
東部	393	25.2	9.7	13.5	13.0	18.8	6.1	31.6	21.1	47.8	20.9	8.9	16.8	5.9	5.1
北部	251	25.9	11.6	10.4	12.7	19.9	4.8	34.3	20.3	41.4	29.1	9.2	19.9	3.6	10.4

【子育て・介護の有無別】

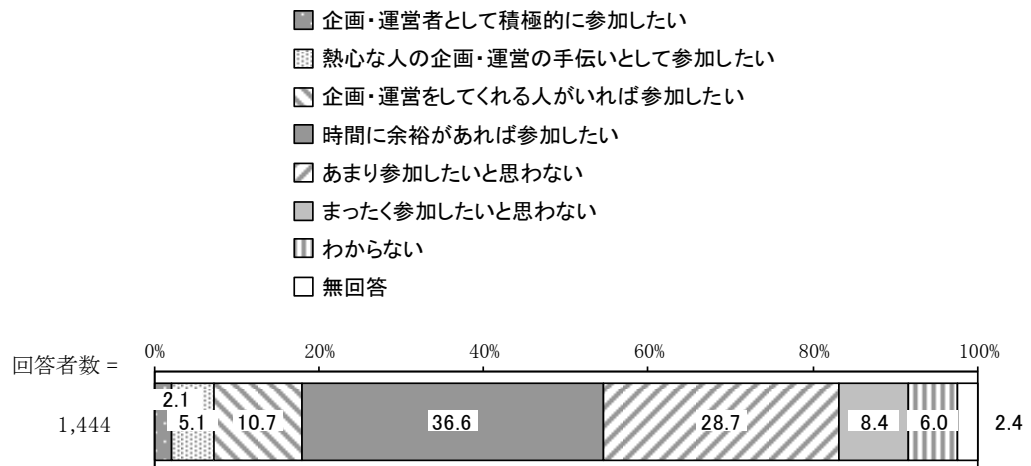
子育て・介護の有無別でみると、他に比べ、子育てをしているで「子育てで問題が生じたとき」「地域の情報がほしいとき」の割合が高くなっています。また、家族の介護・介助をしているで「介護や介助の支援が必要なとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	地域の行事のとき	冠婚葬祭があったとき	子育てで問題が生じたとき	介護や介助の支援が必要なとき	ごみ出し、草取り、買い物	外出する際に手助けが必要なとき	地域の情報がほしいとき	病気・けがをしたとき	災害や犯罪被害にあったとき	留守にするとき	話し相手が欲しいとき	町会や行政などへの連絡や手続きのとき	その他	無回答
子育てをしている	255	26.7	4.3	48.2	3.9	11.8	4.3	40.4	25.5	47.5	15.3	12.2	15.3	2.7	3.9
家族の介護・介助をしている	153	18.3	10.5	12.4	26.8	14.4	9.2	32.7	19.6	43.8	20.9	7.8	17.6	2.6	9.2
していない	1,009	22.9	10.1	5.9	11.5	16.1	6.2	28.5	20.5	45.2	23.8	9.2	16.5	6.4	7.3

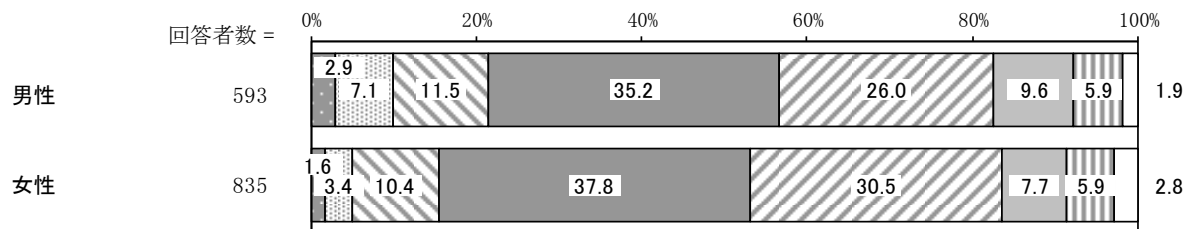
問 14. 隣近所での活動へどのような形で参加したいですか。(○は1つだけ)
 ※町会・自治会・公民館・老人会等による祭り・盆踊り・清掃・美化活動・
 サークル活動・旅行などの活動をさします

「時間に余裕があれば参加したい」の割合が 36.6%と最も高く、次いで「あまり参加したいと思わない」の割合が 28.7%、「企画・運営をしてくれる人がいれば参加したい」の割合が 10.7%となっています。



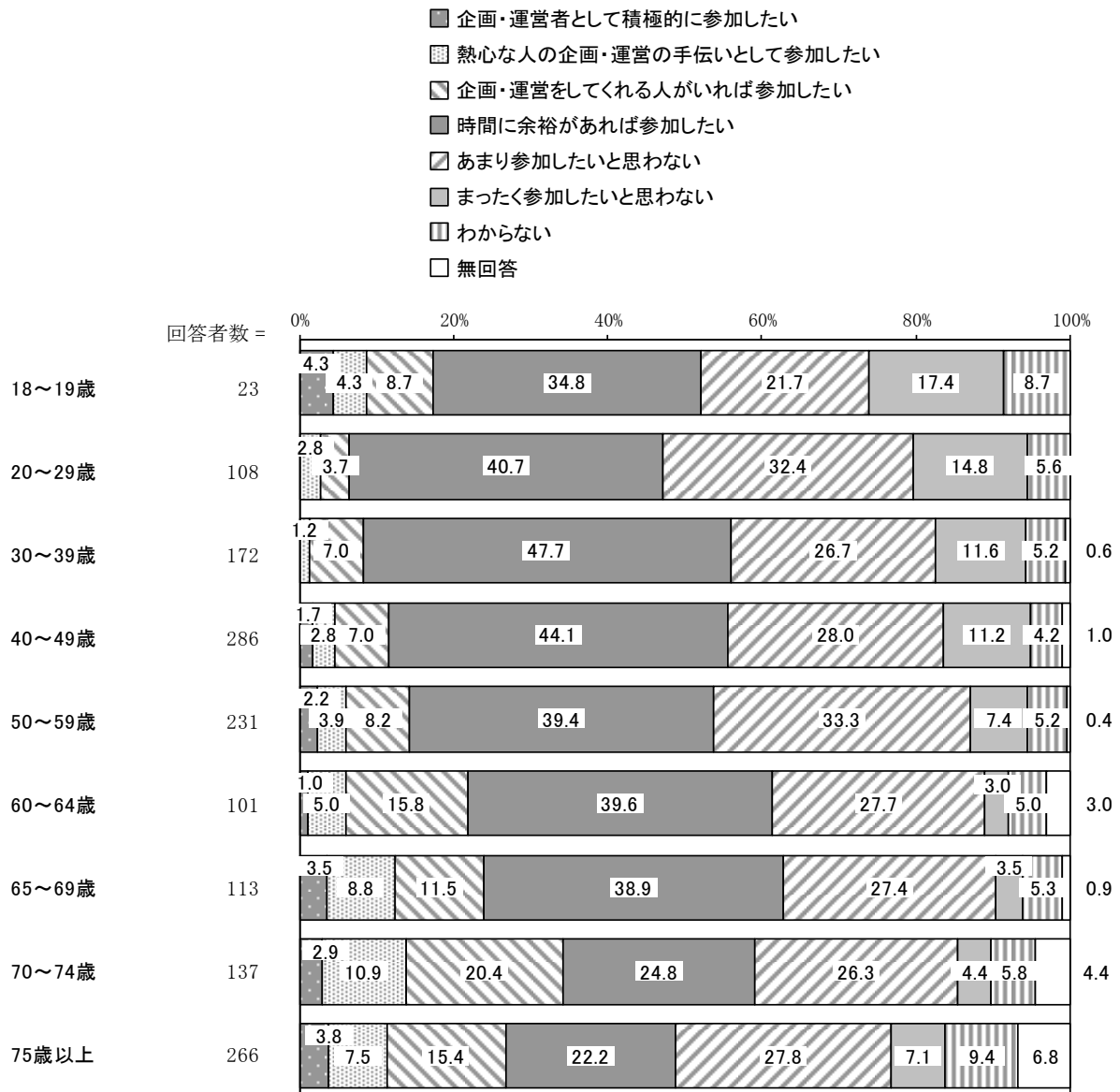
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

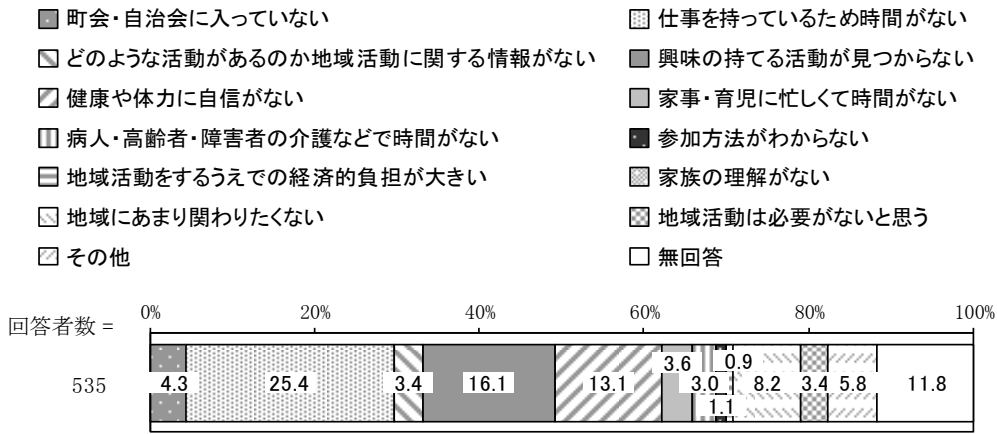
年齢別でみると、他に比べ、30～39歳、40～49歳で「時間に余裕があれば参加したい」の割合が高くなっています。また、70～74歳で「企画・運営をしてくれる人がいれば参加したい」の割合が高くなっています。



問 14 で「あまり参加したいと思わない」「まったく参加したいと思わない」のいずれかにお答えの方に伺います

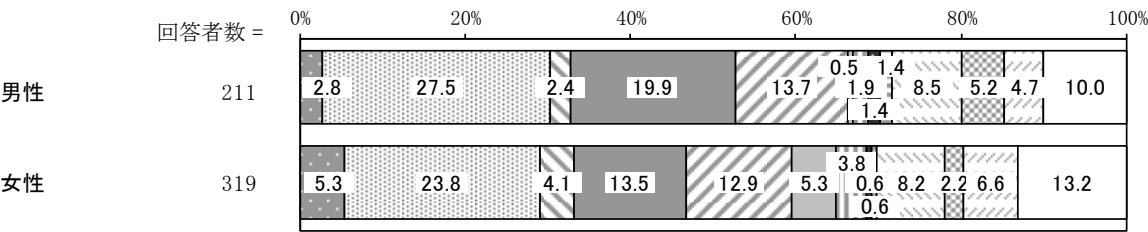
問 14－ 1． 参加したいと思わない理由は何ですか。（○は 1 つだけ）

「仕事を持っているため時間がない」の割合が 25.4%と最も高く、次いで「興味の持てる活動が見つからない」の割合が 16.1%、「健康や体力に自信がない」の割合が 13.1%となっています。



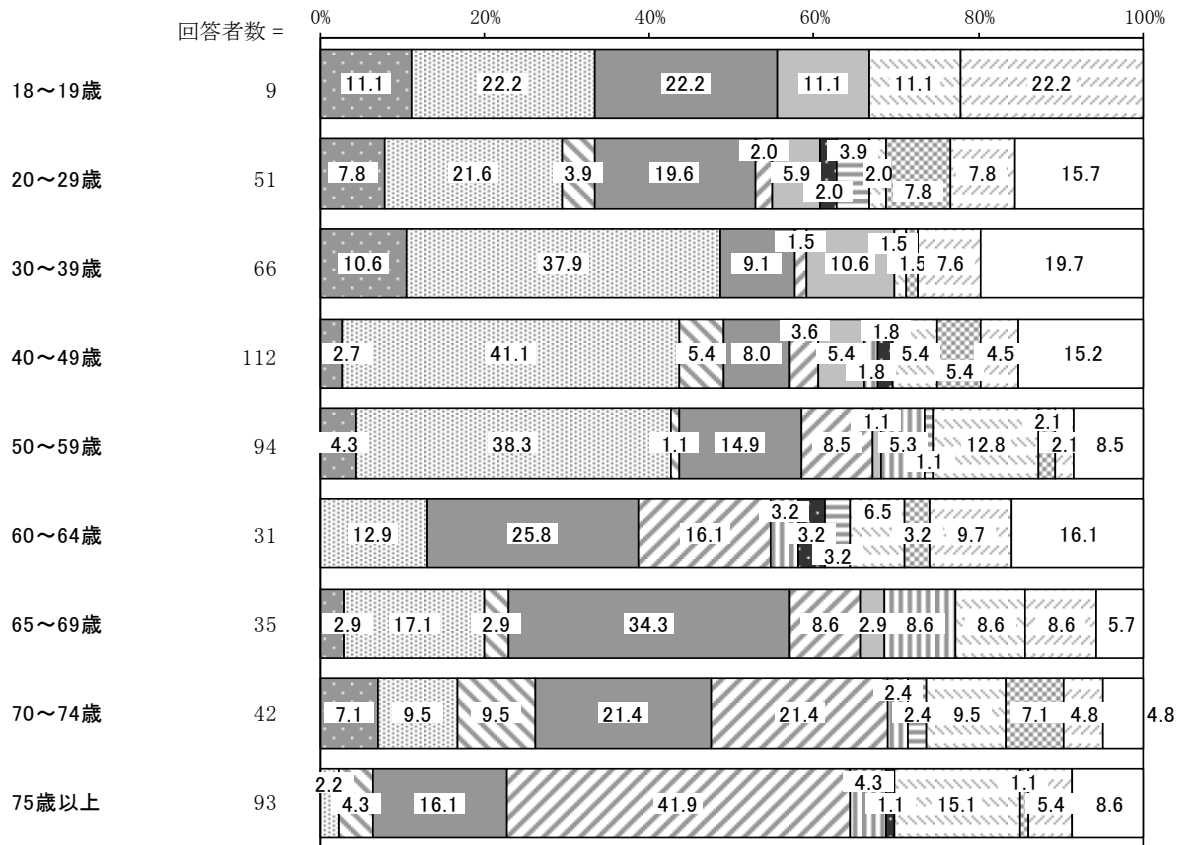
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「興味の持てる活動が見つからない」の割合が高くなっています。



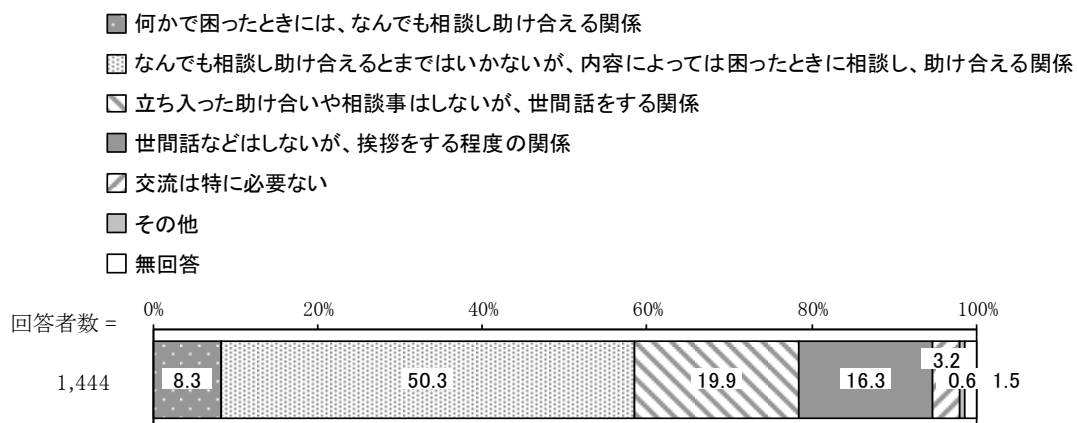
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、75歳以上で「健康や体力に自信がない」「地域にあまり関わりたくない」の割合が高くなっています。また、30～39歳、40～49歳、50～59歳で「仕事を持っているため時間がない」の割合が高くなっています。



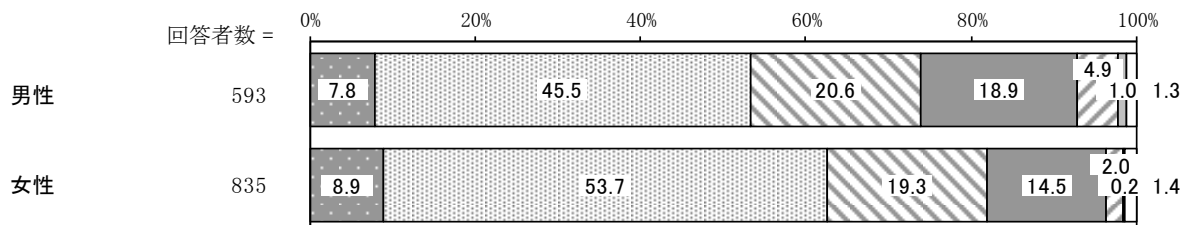
問 15. あなたにとって、隣近所の人との理想の付き合い方はどれですか。(○は1つだけ)

「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係」の割合が 50.3%と最も高く、次いで「立ち入った助け合いや相談事はしないが、世間話をする関係」の割合が 19.9%、「世間話などはしないが、挨拶をする程度関係」の割合が 16.3%となっています。



【性別】

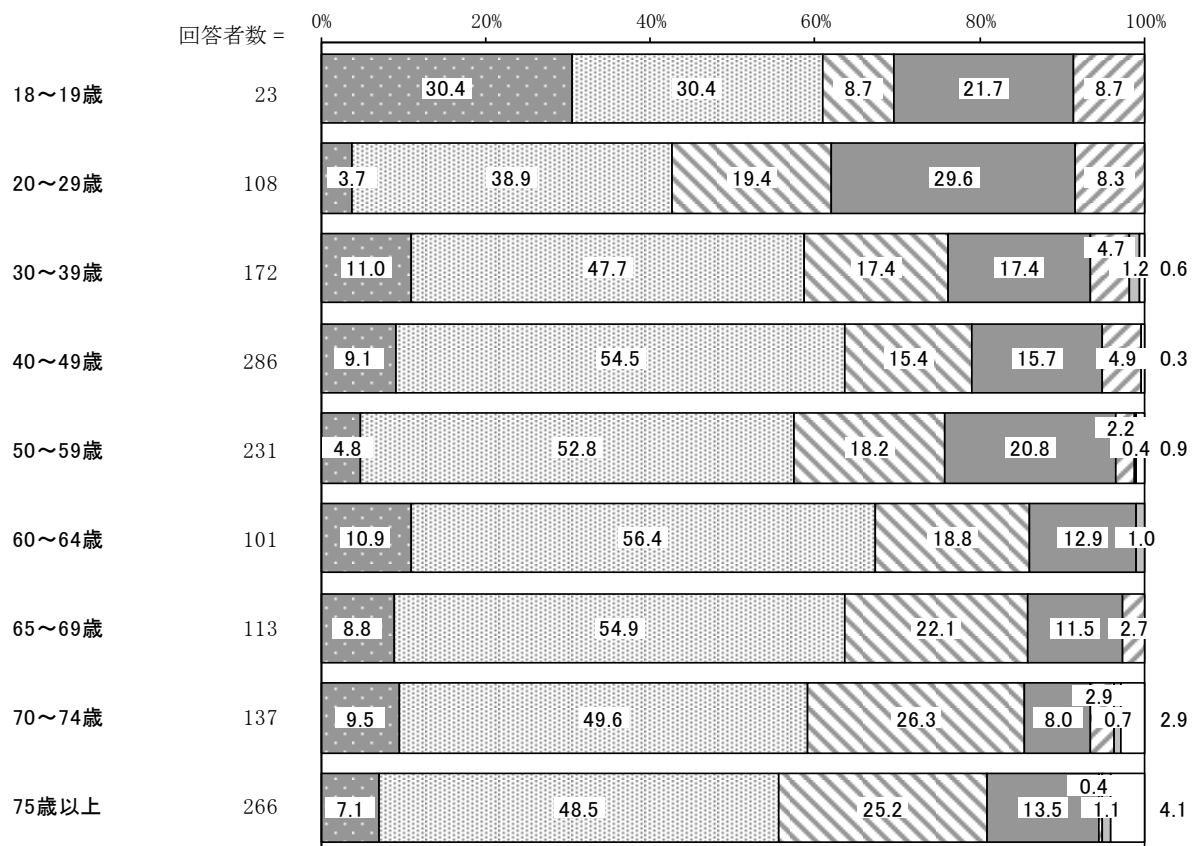
性別でみると、男性に比べ、女性で「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係」の割合が高くなっています。



【年齢別】

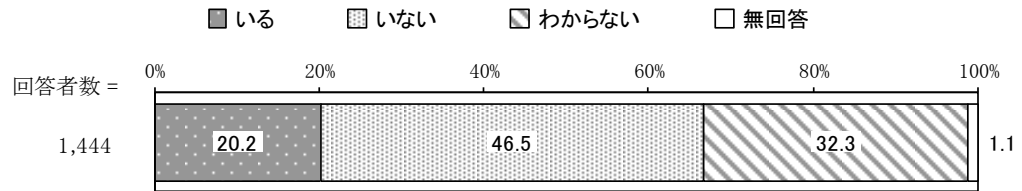
年齢別でみると、他に比べ、40～49歳、50～59歳、60～64歳、65～69歳で「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係」の割合が高くなっています。また、18～19歳で「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える関係」の割合が、20～29歳で「世間話などはしないが、挨拶をする程度の関係」の割合が、65～69歳、70～74歳、75歳以上で「立ち入った助け合いや相談事はしないが、世間話をする関係」の割合が高くなっています。

- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える関係
- なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係
- 立ち入った助け合いや相談事はしないが、世間話をする関係
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の関係
- 交流は特に必要ない
- その他
- 無回答



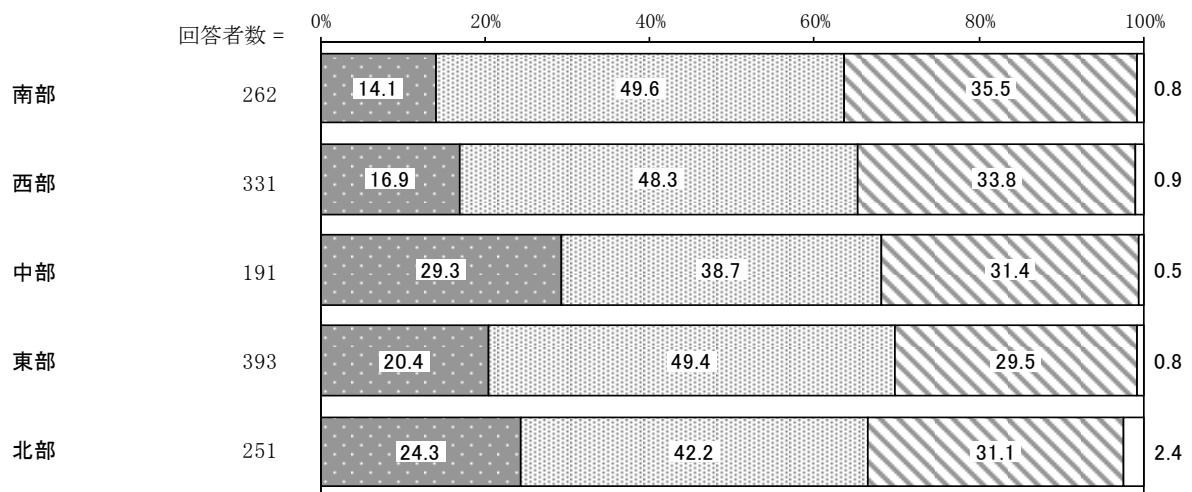
問 16. あなたの隣近所には、「ちょっと心配だな…」と気にかかる人はいますか。
(○は1つだけ)

「いない」の割合が46.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が32.3%、「いる」の割合が20.2%となっています。



【地区別】

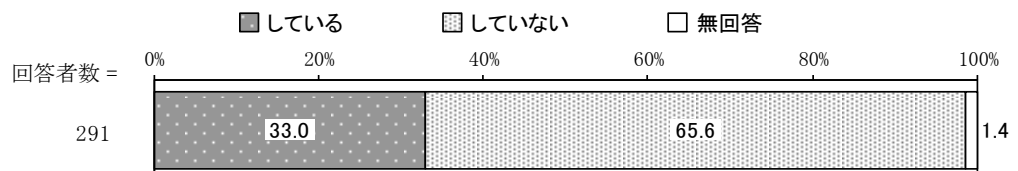
地区別でみると、他に比べ、中部で「いる」の割合が高くなっています。



問 16 で「いる」とお答えの方に伺います

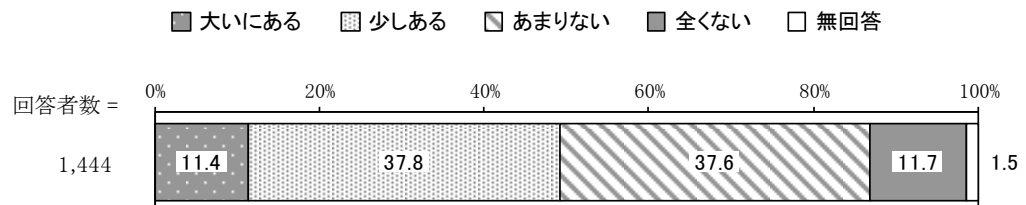
問 16－1. あなたは、気にかかる人に手助けをしていますか。(○は1つだけ)

「している」の割合が33.0%、「していない」の割合が65.6%となっています。



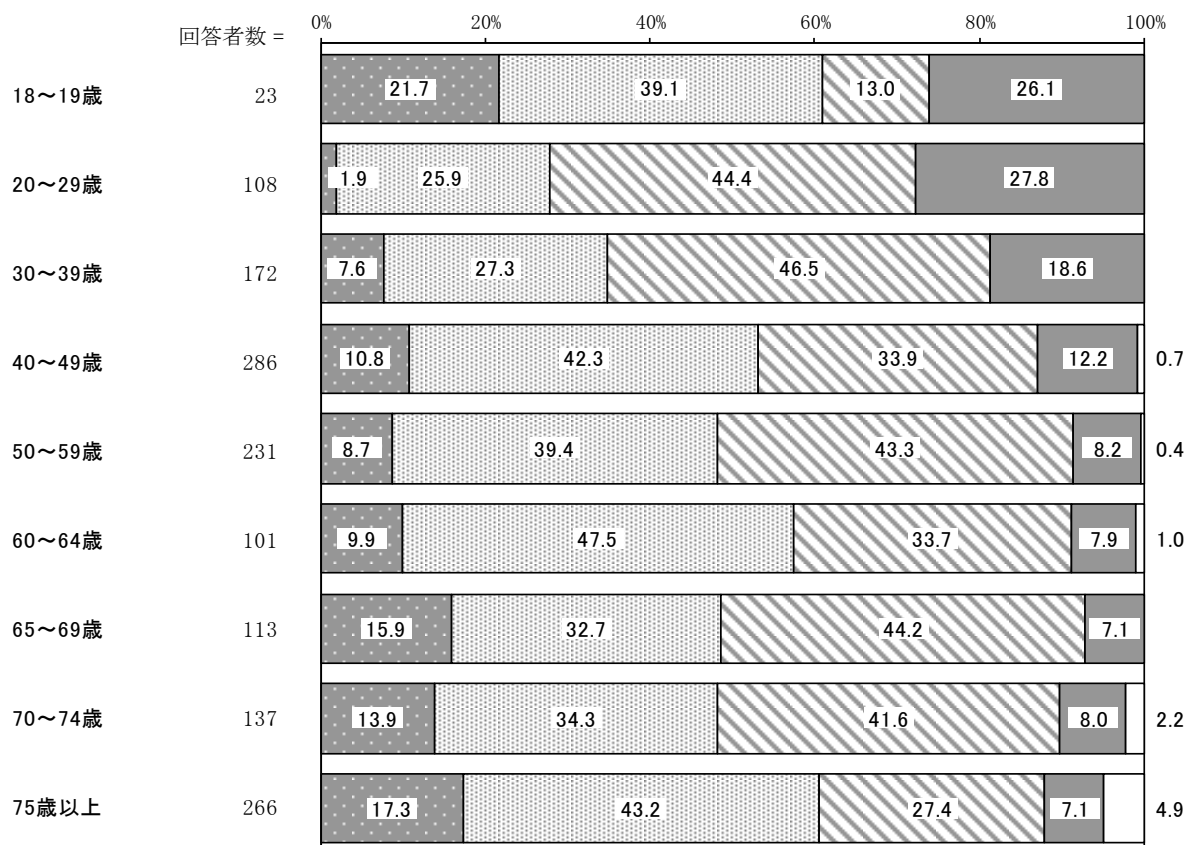
問 17. あなたは、現在生活している中で、地域の人との関わりにより支えられていると感じることがありますか。(○は1つだけ)

「大いにある」と「少しある」をあわせた“ある”の割合が 49.2%、「あまりない」と「全くない」をあわせた“ない”の割合が 49.3%となっています。



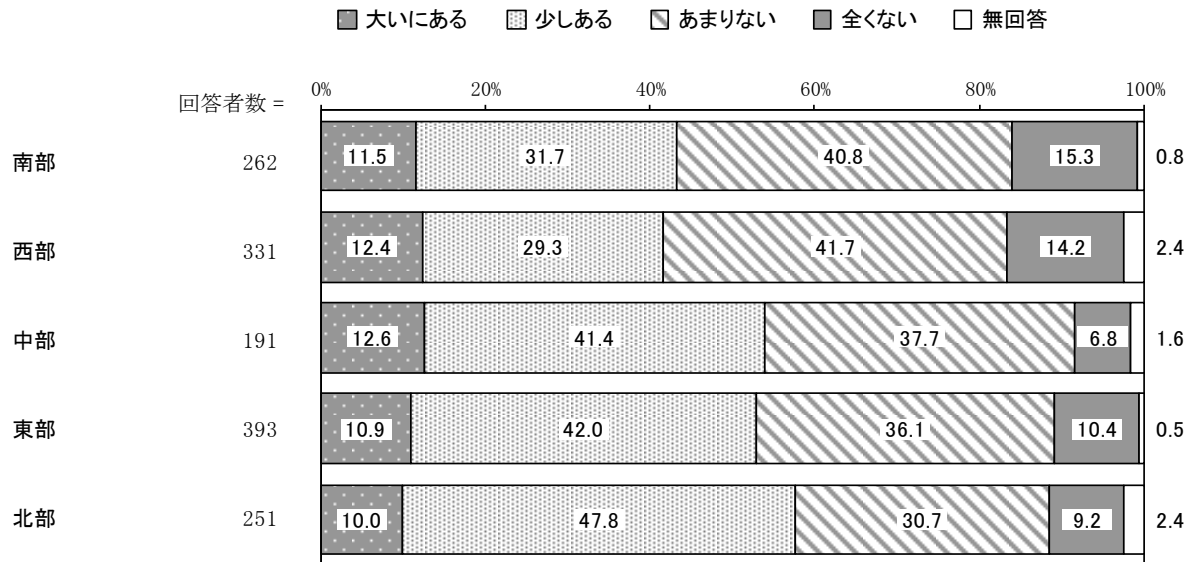
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18～19 歳、60～64 歳、75 歳以上で“ある”の割合が高くなっています。また、20～29 歳で“ない”の割合が高くなっています。



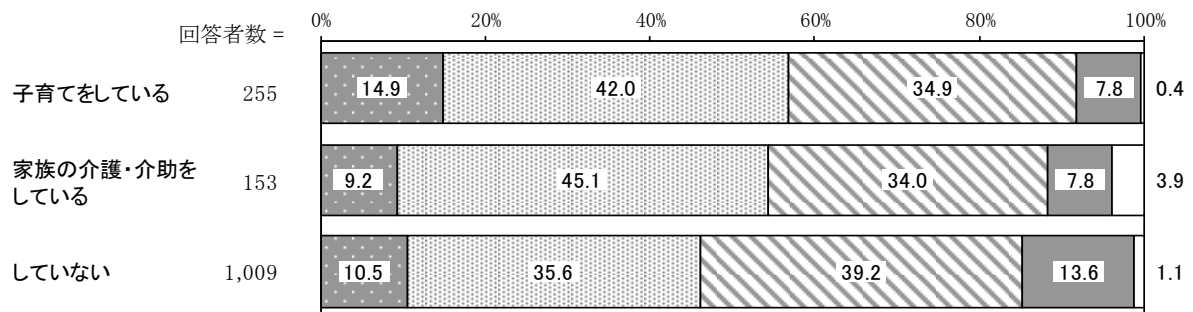
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、北部で“ある”の割合が高くなっています。また、南部、西部で“ない”の割合が高くなっています。



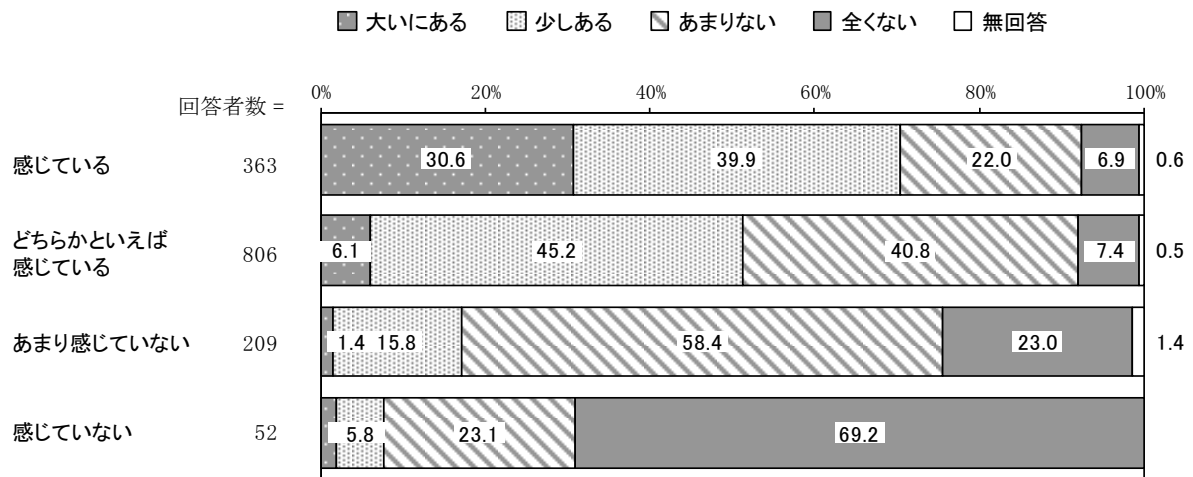
【子育て・介護の有無別】

子育て・介護の有無別でみると、していない人に比べ、子育てをしている、家族の介護・介助をしているで“ある”の割合が高くなっています。



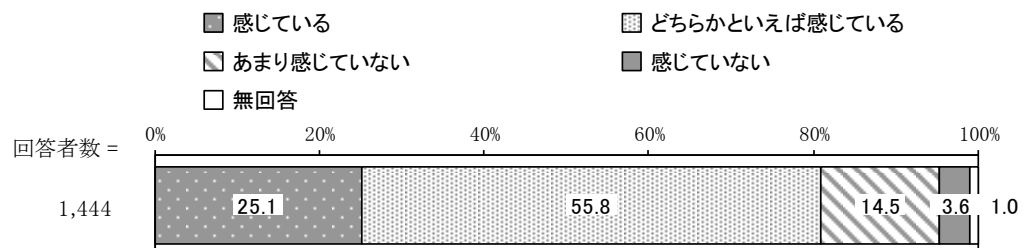
【地域での安心感別】

地域での安心感別でみると、他に比べ、安心感を感じている人ほど“ある”の割合が高くなっています。



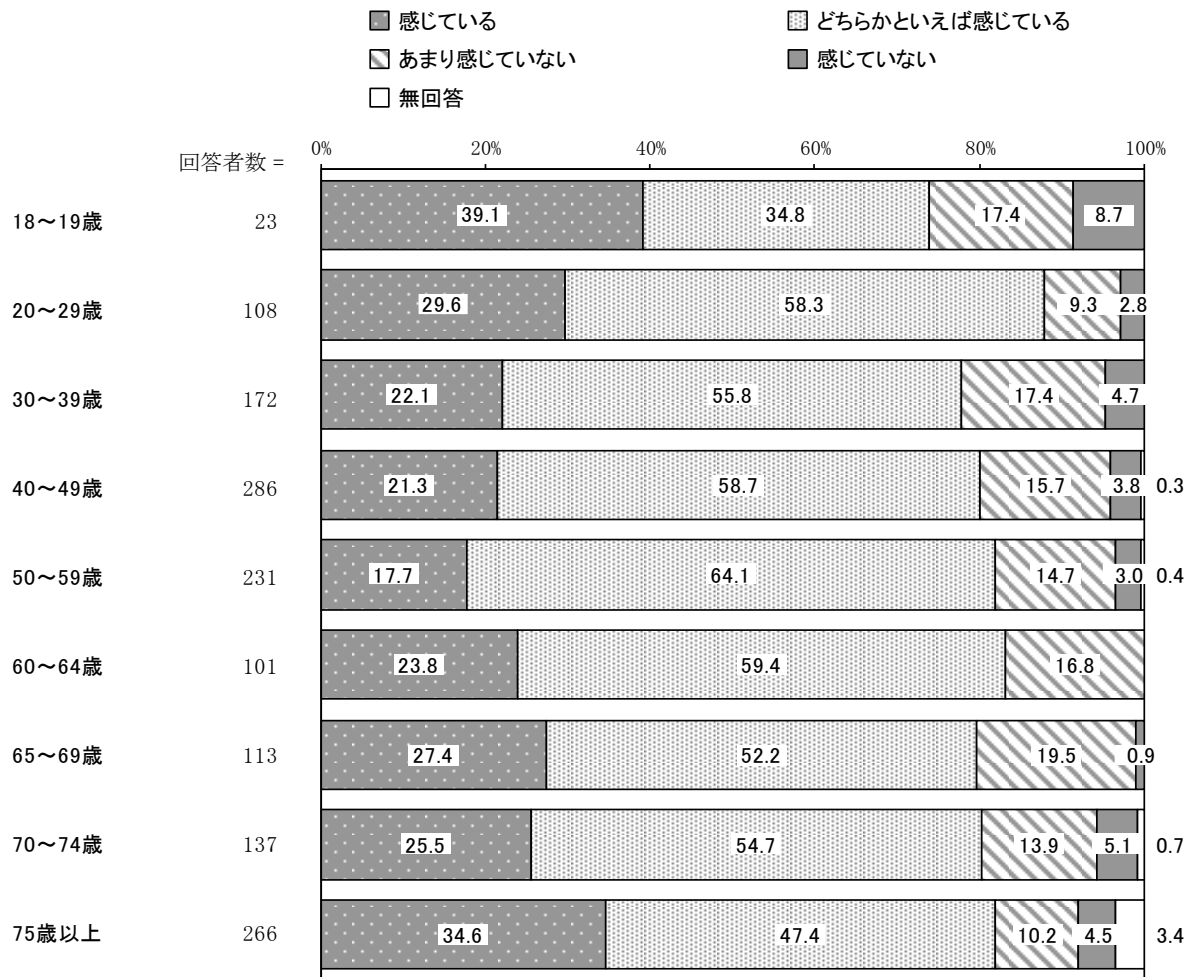
問 18. あなたは、地域の中で安心して生活できていると感じますか。(○は1つだけ)

「感じている」と「どちらかといえば感じている」をあわせた“感じている”の割合が80.9%、「あまり感じていない」と「感じていない」をあわせた“感じていない”の割合が18.1%となっています。



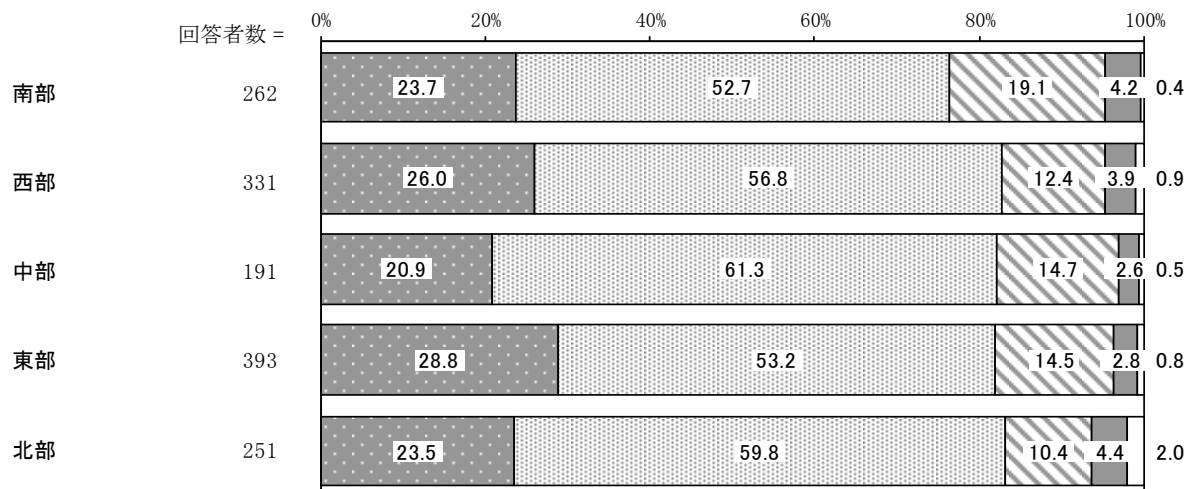
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18～19歳で“感じていない”の割合が高くなっています。



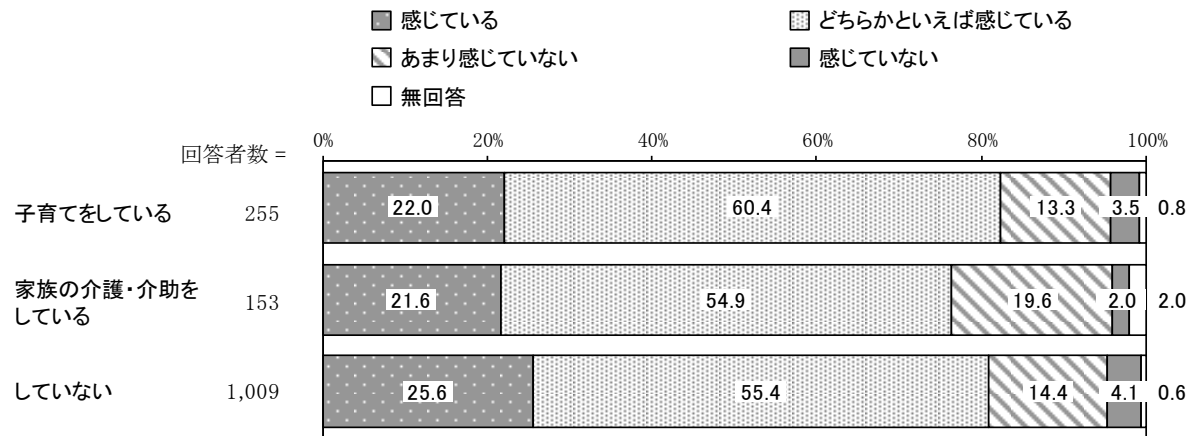
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、南部で“感じていない”の割合が高くなっています。



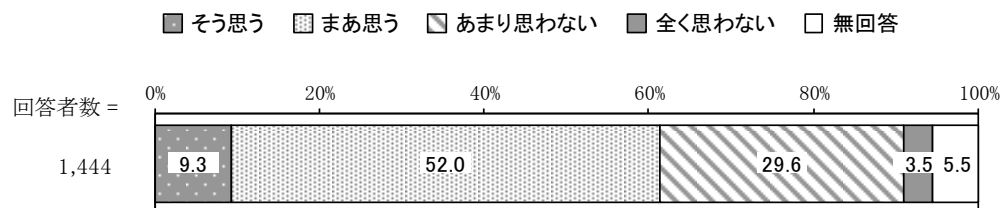
【子育て・介護の有無別】

子育て・介護の有無別でみると、大きな差異はみられません。



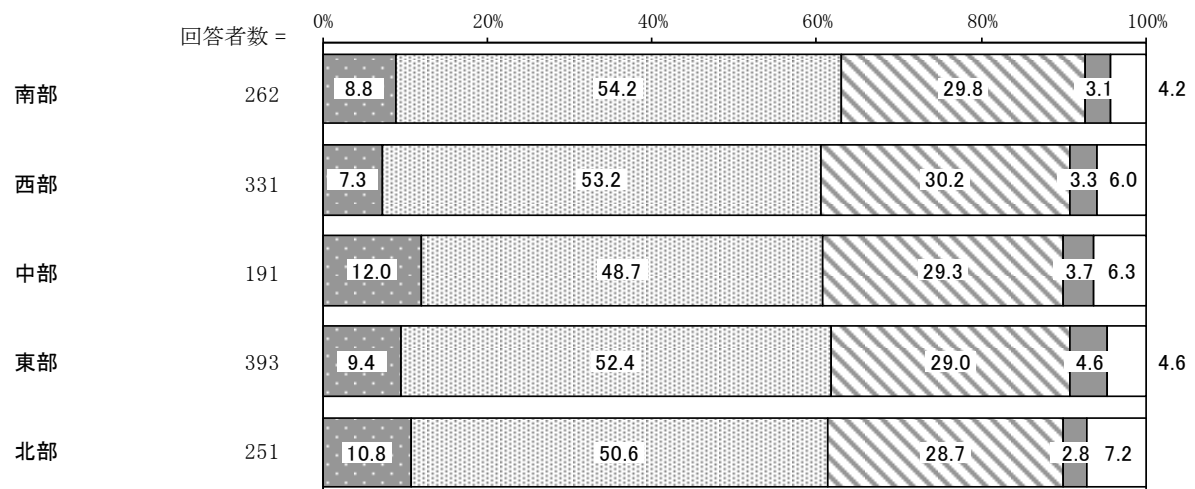
問 19. お住まいの地域は、支援が必要な方（障害のある方や高齢者、子育てをしている方）にとって、安心して生活できる環境だと思いますか。（○は1つだけ）

「そう思う」と「まあ思う」をあわせた“そう思う”の割合が 61.3%、「あまり思わない」と「全く思わない」をあわせた“思わない”の割合が 33.1%となっています。



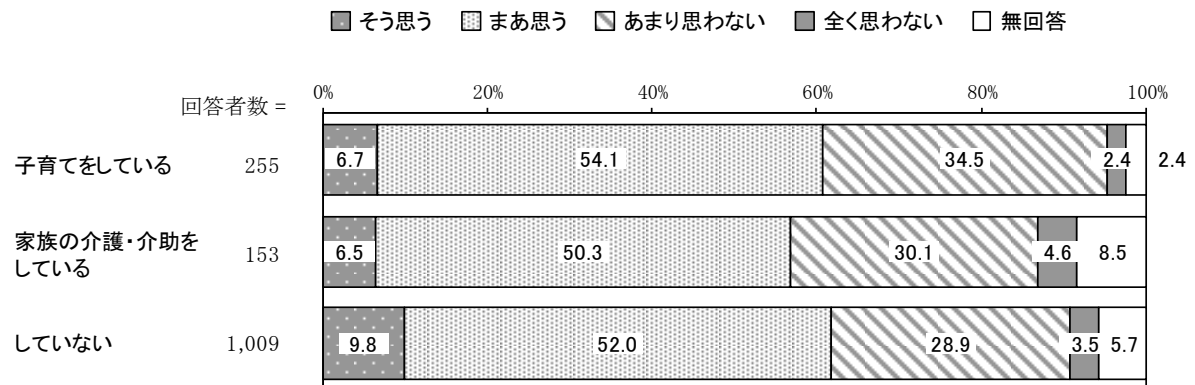
【地区別】

地区別でみると、大きな差異はみられません。



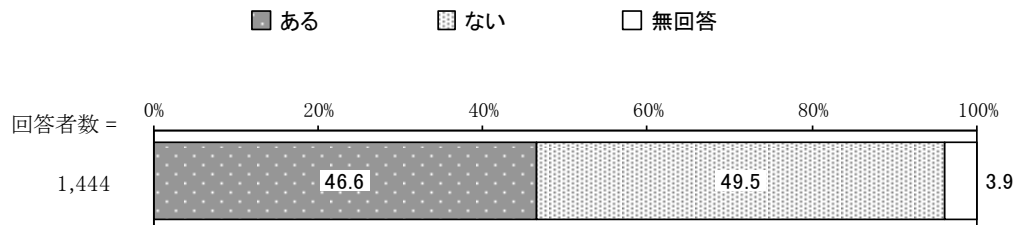
【子育て・介護の有無別】

子育て・介護の有無別でみると、大きな差異はみられません。



問 20. あなたは、障害のある方と気軽に話したり、障害のある方の手助けをしたことがありますか。(○は1つだけ)

「ある」の割合が46.6%、「ない」の割合が49.5%となっています。

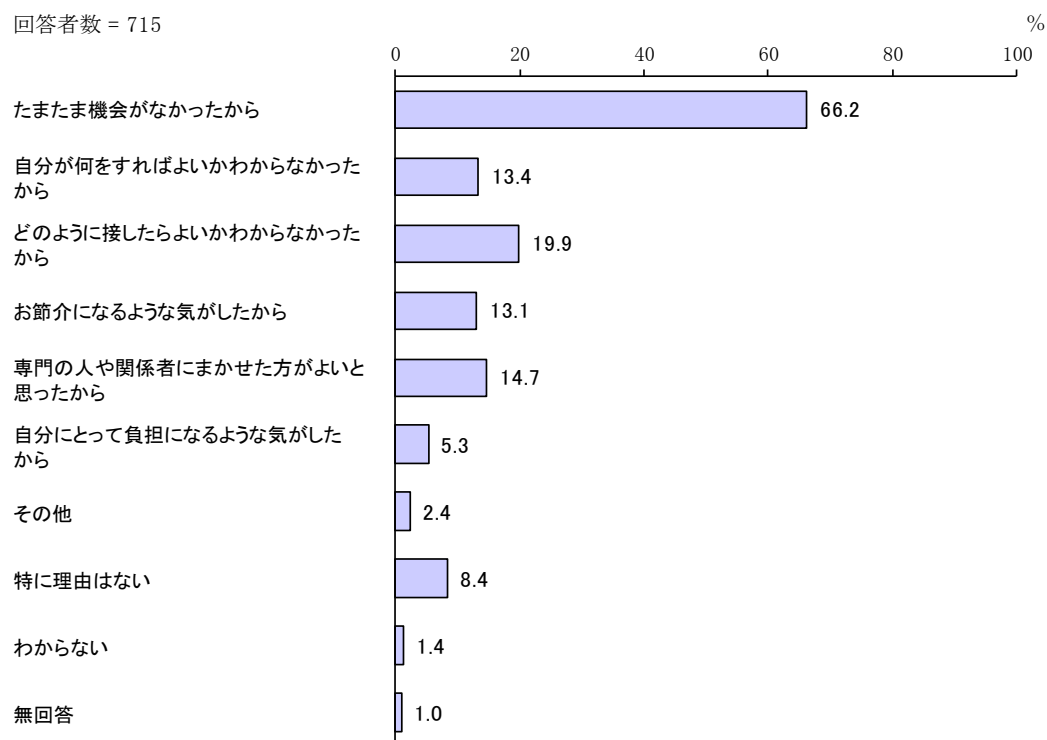


問 20 で「ない」とお答えの方に伺います

問 20－１． その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「たまたま機会がなかったから」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「どのように接したらよいかわからなかったから」の割合が 19.9%、「専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから」の割合が 14.7%となっています。

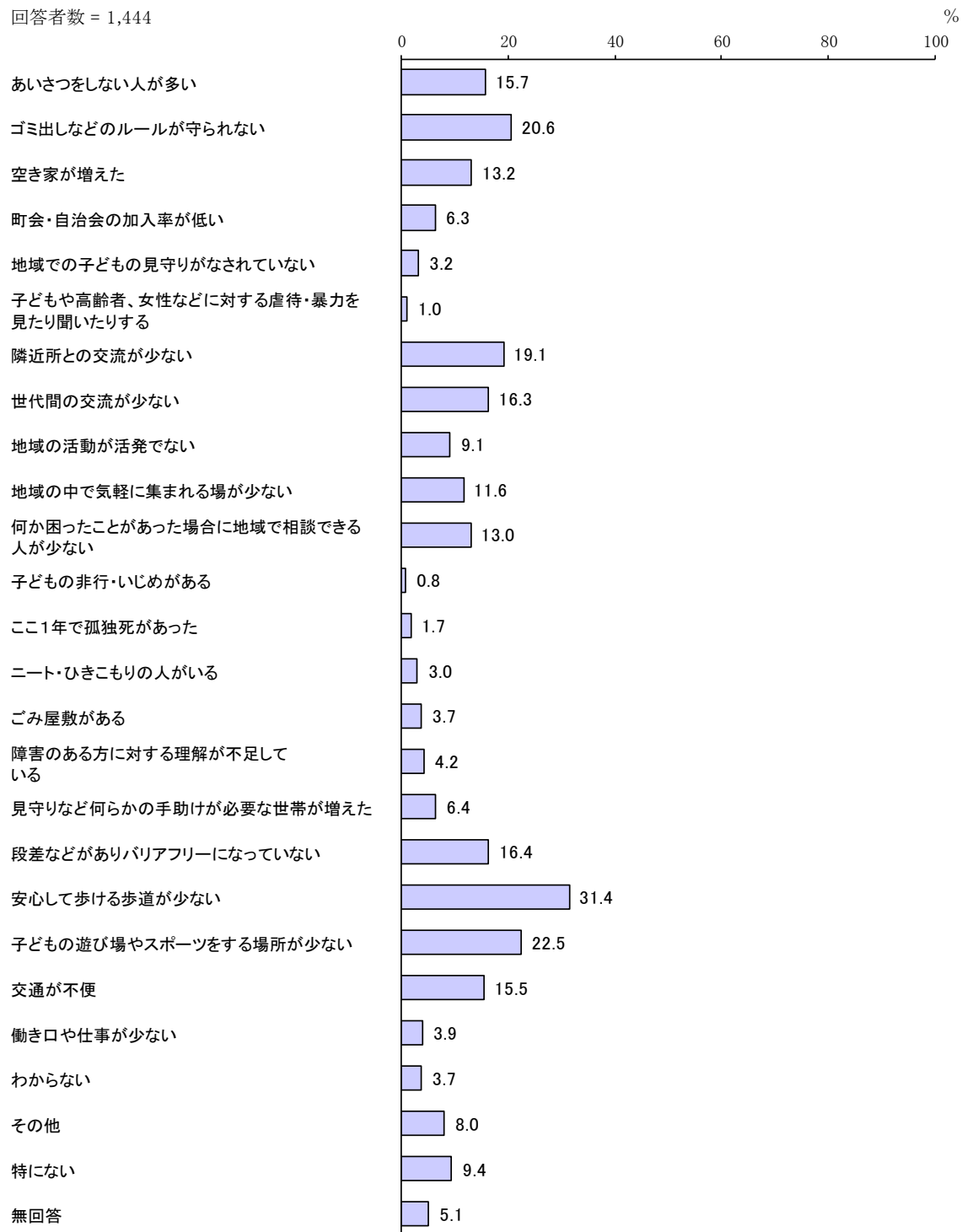
回答者数 = 715



問 21. 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点・不足していると思うものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「安心して歩ける歩道が少ない」の割合が31.4%と最も高く、次いで「子どもの遊び場やスポーツをする場所が少ない」の割合が22.5%、「ゴミ出しなどのルールが守られない」の割合が20.6%となっています。

回答者数 = 1,444



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「空き家が増えた」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、30～39歳、40～49歳で「安心して歩ける歩道が少ない」「子どもの遊び場やスポーツをする場所が少ない」の割合が、70～74歳で「隣近所との交流が少ない」「世代間の交流が少ない」「地域の活動が活発でない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	あいさつをしない人が多い	ゴミ出しなどのルールが守られない	空き家が増えた	町会・自治会の加入率が低い	地域での子どもの見守りがなされていない	子どもや高齢者、女性などに対する虐待・暴力を見たり聞いたりする	隣近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の活動が活発でない	い	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	何か困ったことがあった場合に地域で相談できる人が少ない	子どもの非行・いじめがある	ここ１年で孤独死があった
18～19 歳	23	17.4	17.4	—	4.3	4.3	—	8.7	17.4	8.7	8.7	4.3	—	4.3	
20～29 歳	108	15.7	23.1	7.4	1.9	5.6	0.9	19.4	13.0	4.6	3.7	7.4	0.9	—	
30～39 歳	172	10.5	17.4	7.0	2.3	3.5	1.7	16.3	13.4	5.2	12.8	11.0	1.2	1.2	
40～49 歳	286	15.0	22.4	10.8	5.6	4.2	1.4	16.8	14.0	7.0	10.1	12.2	1.7	2.4	
50～59 歳	231	14.3	28.1	13.0	4.8	4.3	0.4	15.6	14.3	8.7	9.5	10.8	0.9	0.4	
60～64 歳	101	18.8	21.8	13.9	5.9	—	2.0	18.8	20.8	12.9	17.8	15.8	1.0	1.0	
65～69 歳	113	14.2	15.9	16.8	9.7	2.7	—	15.0	13.3	8.0	11.5	13.3	—	0.9	
70～74 歳	137	16.8	10.2	16.1	11.7	5.8	0.7	28.5	27.7	17.5	19.0	19.7	—	2.9	
75 歳以上	266	19.9	19.9	20.3	8.6	—	0.8	24.4	17.7	10.9	11.7	14.7	0.4	2.6	

区分	ニート・ひきこもりの人がいる	ごみ屋敷がある	障害のある方に対する理解が不足している	見守りなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた	段差などがありバリアフリーになっていない	安心して歩ける歩道が少ない	子どもの遊び場やスポーツをする場所が少ない	交通が不便	働き口や仕事が少ない	わからない	その他	特にない	無回答
18～19歳	4.3	4.3	—	—	4.3	21.7	26.1	13.0	4.3	8.7	13.0	13.0	4.3
20～29歳	0.9	0.9	3.7	2.8	13.0	30.6	25.0	16.7	4.6	6.5	5.6	18.5	0.9
30～39歳	0.6	4.1	1.2	1.7	16.9	41.3	29.7	18.6	2.3	1.7	12.8	13.4	3.5
40～49歳	2.4	5.9	4.9	3.5	16.4	38.5	33.2	17.5	4.5	5.2	11.5	7.3	1.7
50～59歳	3.9	2.2	6.1	4.8	22.1	34.6	22.1	16.0	5.6	4.8	6.9	6.9	4.8
60～64歳	3.0	8.9	5.0	9.9	21.8	33.7	12.9	8.9	1.0	4.0	8.9	7.9	4.0
65～69歳	4.4	5.3	2.7	14.2	16.8	24.8	20.4	13.3	6.2	2.7	4.4	8.8	5.3
70～74歳	4.4	2.2	2.9	10.2	16.1	24.1	16.1	13.9	5.8	—	2.2	7.3	8.8
75歳以上	3.8	1.9	5.6	9.0	12.0	22.6	13.2	15.0	1.9	3.0	6.8	9.4	10.2

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、西部、東部で「安心して歩ける歩道が少ない」の割合が高くなっています。また、南部で「ゴミ出しなどのルールが守られない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	あいさつをしない人が多い	ゴミ出しなどのルールが守られない	空き家が増えた	町会・自治会の加入率が低い	地域での子どもの見守りがなされていない	子どもや高齢者、女性などに対する虐待・暴力を見たり聞いたりする	隣近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の活動が活発でない	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	何か困ったことがあった場合に地域で相談できる人が少ない	子どもの非行・いじめがある	ここ１年で孤独死があった
南部	262	21.4	25.6	7.3	6.1	4.2	1.5	22.9	13.4	8.0	11.5	15.6	—	0.8
西部	331	13.9	19.9	7.6	4.5	2.4	1.5	19.0	15.7	8.5	12.1	13.9	1.5	0.9
中部	191	14.7	19.4	19.9	5.8	2.6	—	18.8	16.2	11.0	7.3	13.6	1.0	4.2
東部	393	16.0	21.9	15.0	6.9	4.1	0.8	20.9	19.1	9.4	10.9	12.0	0.8	1.3
北部	251	12.4	14.7	19.1	8.4	2.4	0.8	13.1	15.1	9.6	15.1	9.2	0.8	2.4

区分	ニート・ひきこもりの人がある	ゴミ屋敷がある	障害のある方に対する理解が不足している	見守りなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた	段差などがありバリアフリーになっていない	安心して歩ける歩道が少ない	子どもの遊び場やスポーツをする場所が少ない	交通が不便	働き口や仕事が少ない	わからない	その他	特になし	無回答
南部	1.1	5.7	5.0	5.3	13.4	23.3	23.7	10.7	2.7	3.1	9.5	11.5	4.6
西部	1.5	1.8	3.6	5.1	18.1	39.6	22.1	14.2	3.6	5.1	8.8	9.4	4.5
中部	4.2	2.1	3.1	6.8	17.3	25.1	21.5	16.8	5.8	3.7	11.0	7.9	4.7
東部	4.6	3.1	5.1	6.9	17.6	36.6	22.1	15.8	3.8	3.3	6.4	8.4	5.1
北部	3.6	6.0	3.6	7.6	14.7	27.5	23.1	20.7	4.0	3.2	6.0	10.8	7.2

【子育て・介護の有無別】

子育て・介護の有無別でみると、他に比べ、子育てをしている人で「地域での子どもの見守りがなされていない」「安心して歩ける歩道が少ない」「子どもの遊び場やスポーツをする場所が少ない」の割合が高くなっています。また、家族の介護・介助をしている人で「ゴミ出しなどのルールが守られない」「空き家が増えた」「見守りなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた」「段差などがありバリアフリーになっていない」の割合が高くなっています。

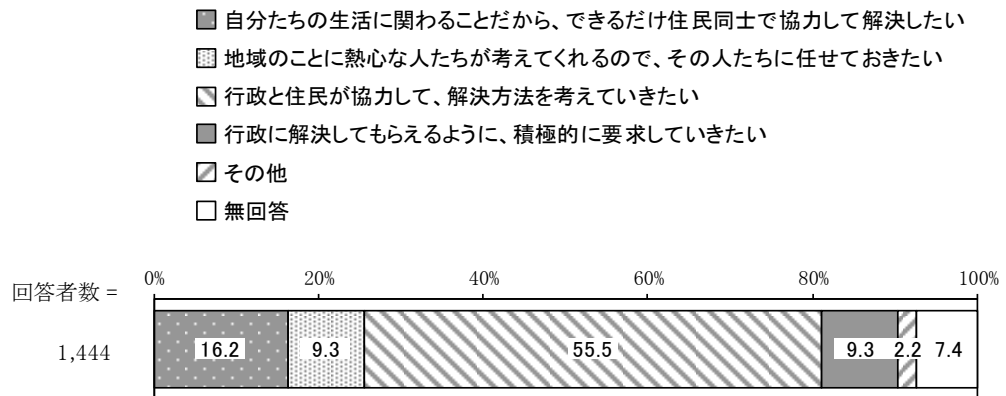
単位：％

区分	回答者数（件）	あいさつをしない人が多い	ゴミ出しなどのルールが守られない	空き家が増えた	町会・自治会の加入率が低い	地域での子どもの見守りがなされていない	子どもや高齢者、女性などに対する虐待・暴力を見たり聞いたりする	隣近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の活動が活発でない	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	何か困ったことがあった場合に地域で相談できる人が少ない	子どもの非行・いじめがある	ここ１年で孤独死があった
子育てをしている	255	11.4	18.4	7.5	5.1	8.2	2.0	15.7	12.5	6.7	11.8	12.2	2.0	2.4
家族の介護・介助をしている	153	16.3	27.5	19.6	4.6	1.3	2.0	24.8	17.6	9.8	9.8	16.3	0.7	2.0
していない	1,009	16.8	19.8	13.5	6.7	2.5	0.8	19.5	17.3	9.7	12.1	12.7	0.6	1.5

区分	ニート・ひきこもりの人がいる	ごみ屋敷がある	障害のある方に対する理解が不足している	見守りなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた	段差などがありバリアフリーになっていない	安心して歩ける歩道が少ない	子どもの遊び場やスポーツをする場所が少ない	交通が不便	働き口や仕事が少ない	わからない	その他	特にない	無回答
子育てをしている	1.2	5.9	1.2	2.7	16.9	44.7	41.2	19.6	4.7	1.2	10.2	5.9	2.7
家族の介護・介助をしている	5.2	7.2	9.2	14.4	26.1	30.7	20.3	15.0	2.6	2.0	8.5	5.2	7.8
していない	3.1	2.9	4.4	6.2	15.5	28.6	18.8	14.7	4.0	4.6	7.4	10.9	5.3

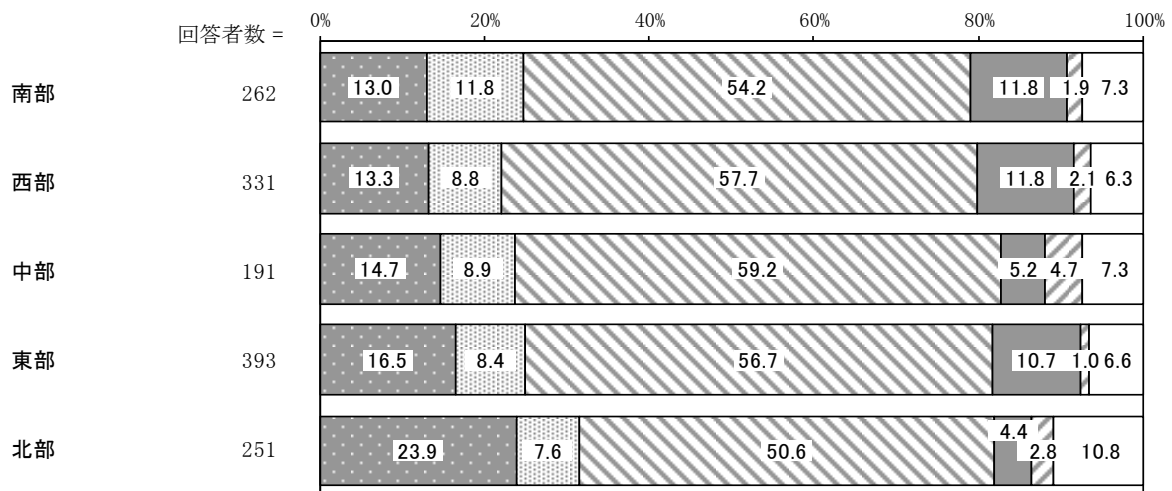
問 22. 今後、地域の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(〇は1つだけ)

「行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい」の割合が 55.5%と最も高く、次いで「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」の割合が 16.2%となっています。



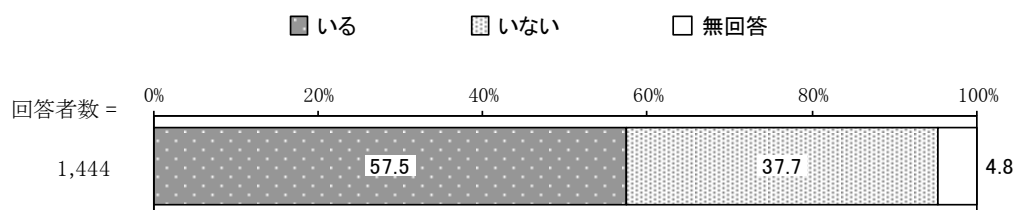
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、北部で「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」の割合が高くなっています。



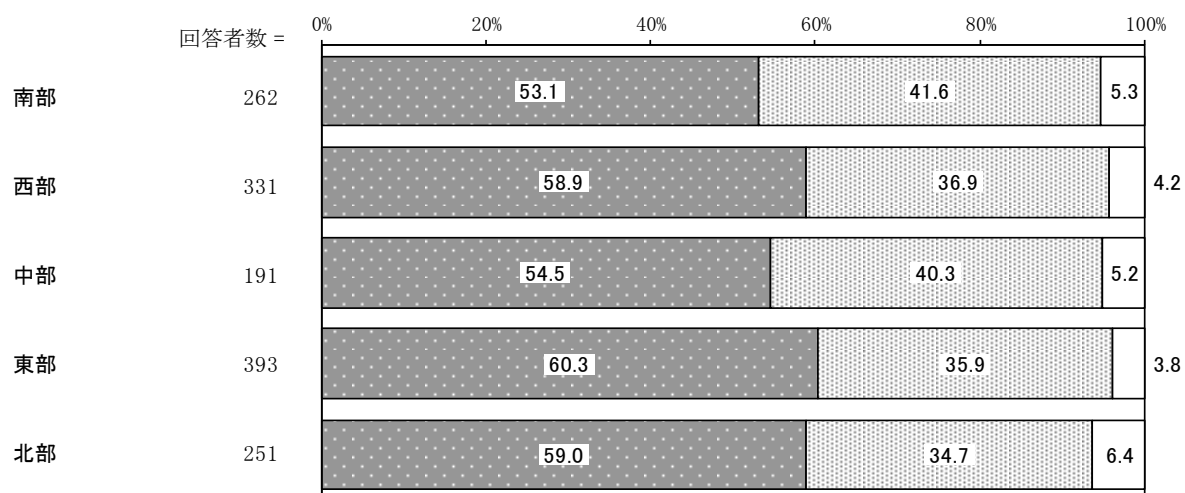
問 23. あなたの住んでいる地域には、高齢者や障害のある方、子育てをしている方など、手助けを必要としている方がいると思いますか。（○は1つだけ）

「いる」の割合が 57.5%、「いない」の割合が 37.7%となっています。



【地区別】

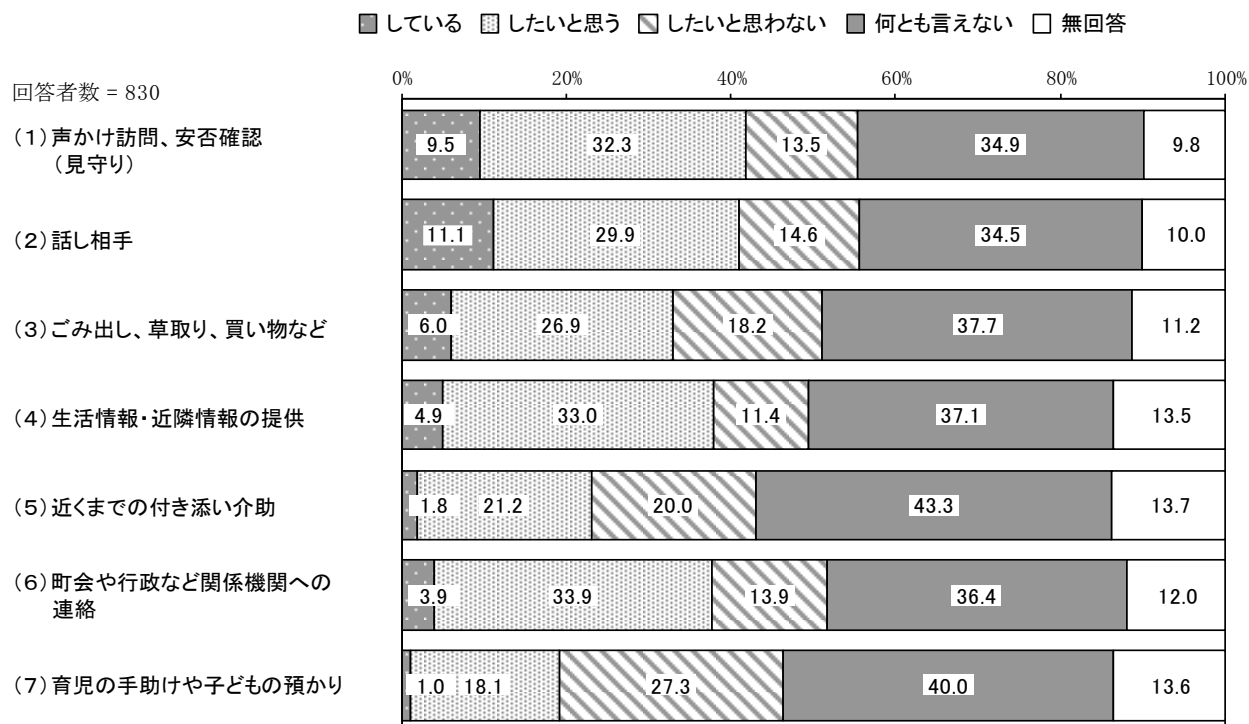
地区別でみると、他に比べ、西部、東部、北部で「いる」の割合が高くなっています。



問 23 で「いる」とお答えの方に伺います

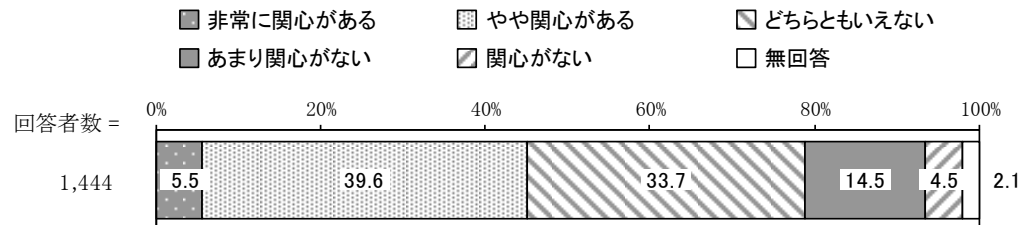
問 23－ 1. 地域で手助けを必要としている方に対して、あなたがしているまたはしたいと思う手助けや支援についてお聞きします。
 ((1)～(7)それぞれあてはまるものに○)

(1) 声かけ訪問、安否確認(見守り)、(2) 話し相手で「している」と「したいと思う」をあわせた割合が高く、4割を超えています。また、(7) 育児の手助けや子どもの預かりで「したいと思わない」の割合が高く、約3割となっています。



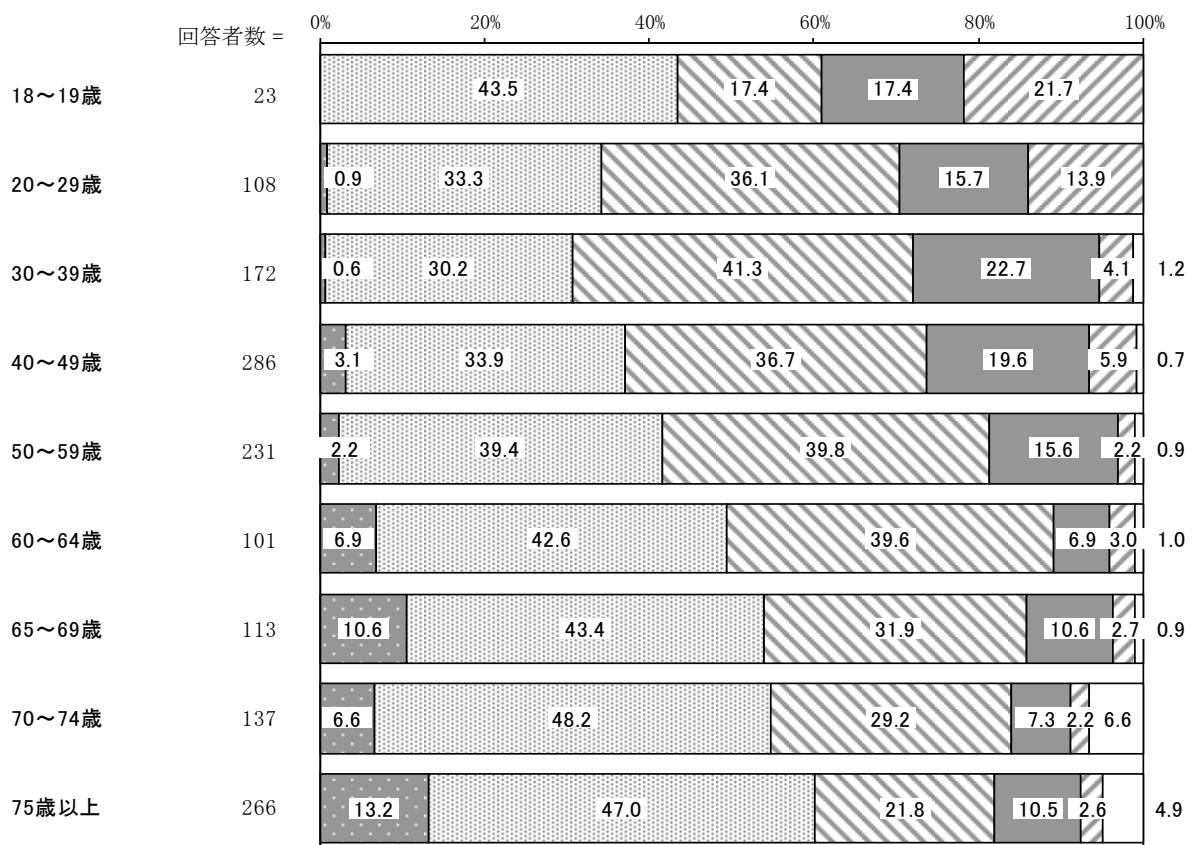
問 24. あなたは、地域での支えあいや助け合いに関心をおもちですか。
(○は1つだけ)

「非常に関心がある」と「やや関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が 45.1%、「どちらともいえない」の割合が 33.7%、「あまり関心がない」と「関心がない」をあわせた“関心がない”の割合が 19.0%となっています。



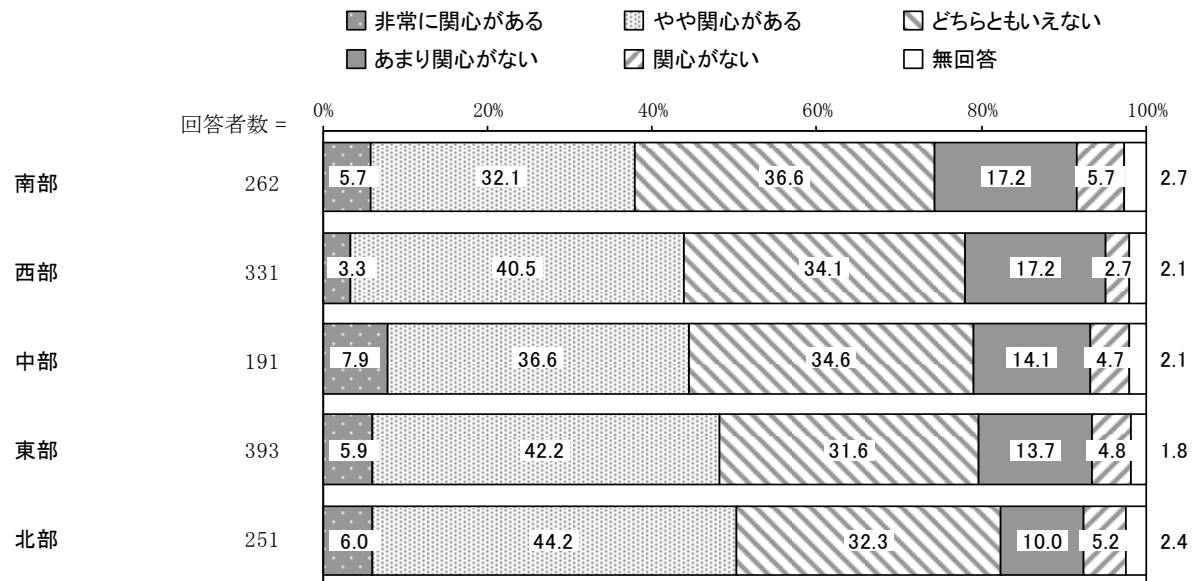
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、75歳以上で“関心がある”の割合が高くなっています。また、18～19歳で“関心がない”の割合が高くなっています。



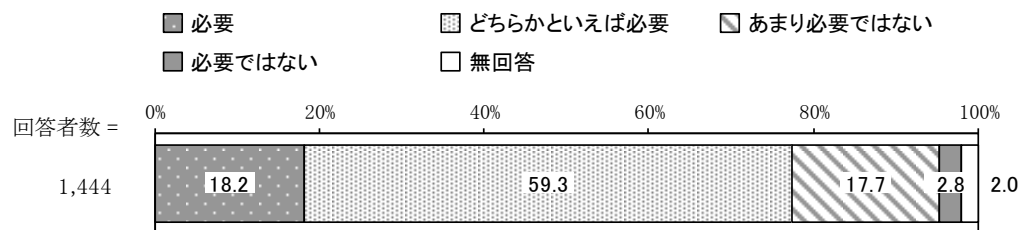
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、東部、北部で“関心がある”の割合が高くなっています。



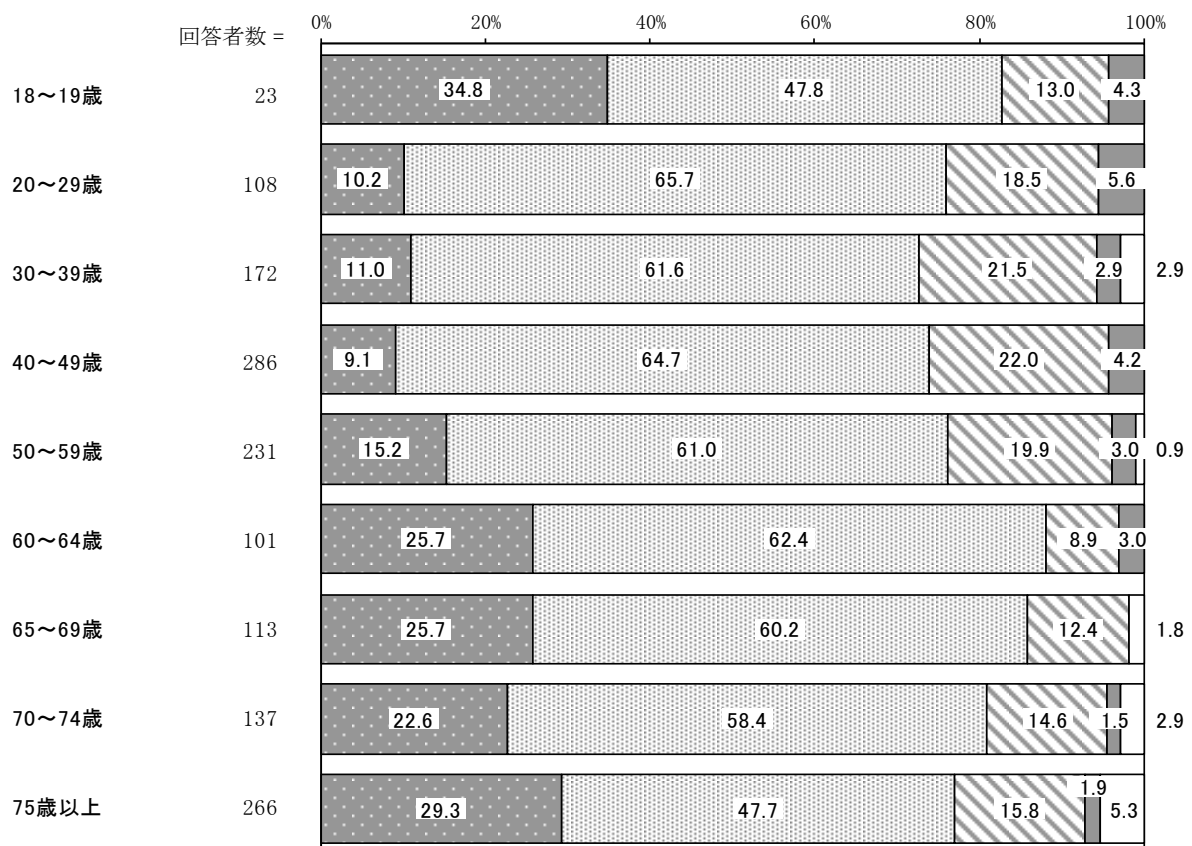
問 25. 身近な地域での助け合い活動が必要だと思いますか。(○は1つだけ)

「必要」と「どちらかといえば必要」をあわせた“必要”の割合が 77.5%、「あまり必要ではない」と「必要ではない」をあわせた“必要ではない”の割合が 20.5%となっています。



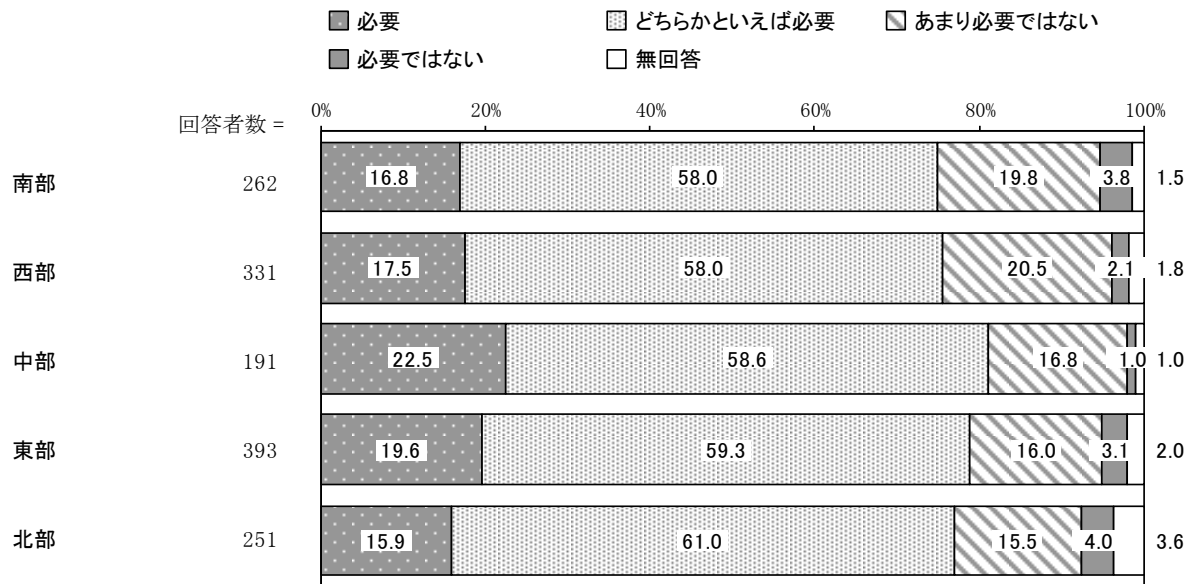
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60～64歳で“必要”の割合が高くなっています。また、20～29歳、30～39歳、40～49歳で“必要ではない”の割合が高くなっています。



【地区別】

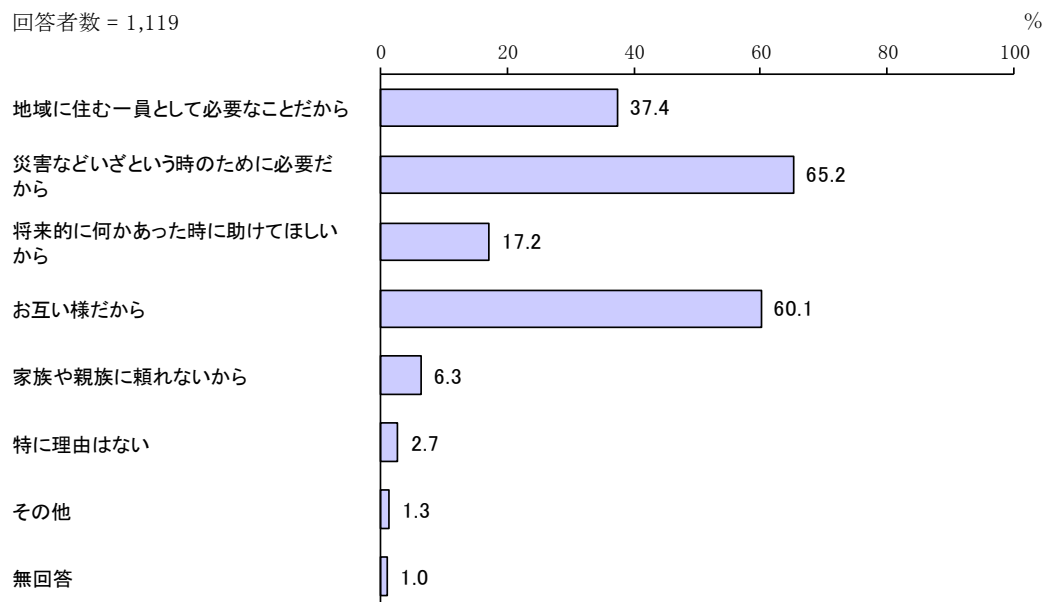
地区別でみると、他に比べ、中部、東部で“必要”の割合が高くなっています。



問 25 で「必要」「どちらかといえば必要」のいずれかにお答えの方に伺います

問 25－１．それはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

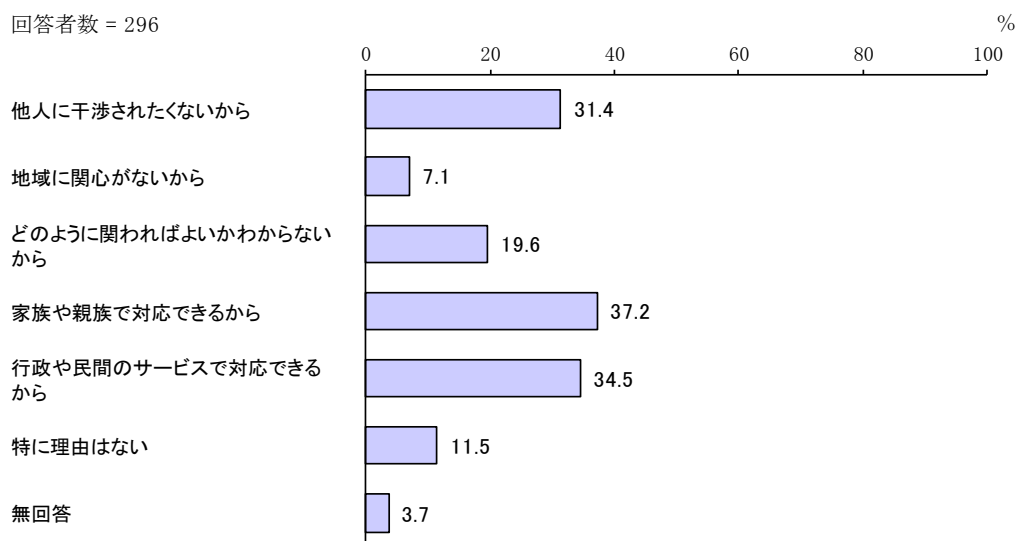
「災害などいざという時のために必要だから」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「お互い様だから」の割合が 60.1%、「地域に住む一員として必要なことだから」の割合が 37.4%となっています。



問 25 で「あまり必要ではない」「必要ではない」のいずれかにお答えの方に伺います

問 25－２．それはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

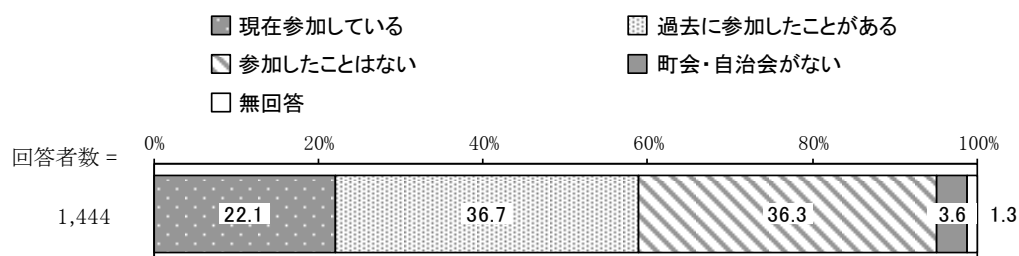
「家族や親族で対応できるから」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「行政や民間のサービスで対応できるから」の割合が 34.5%、「他人に干渉されたくないから」の割合が 31.4%となっています。



(5) 地域での活動

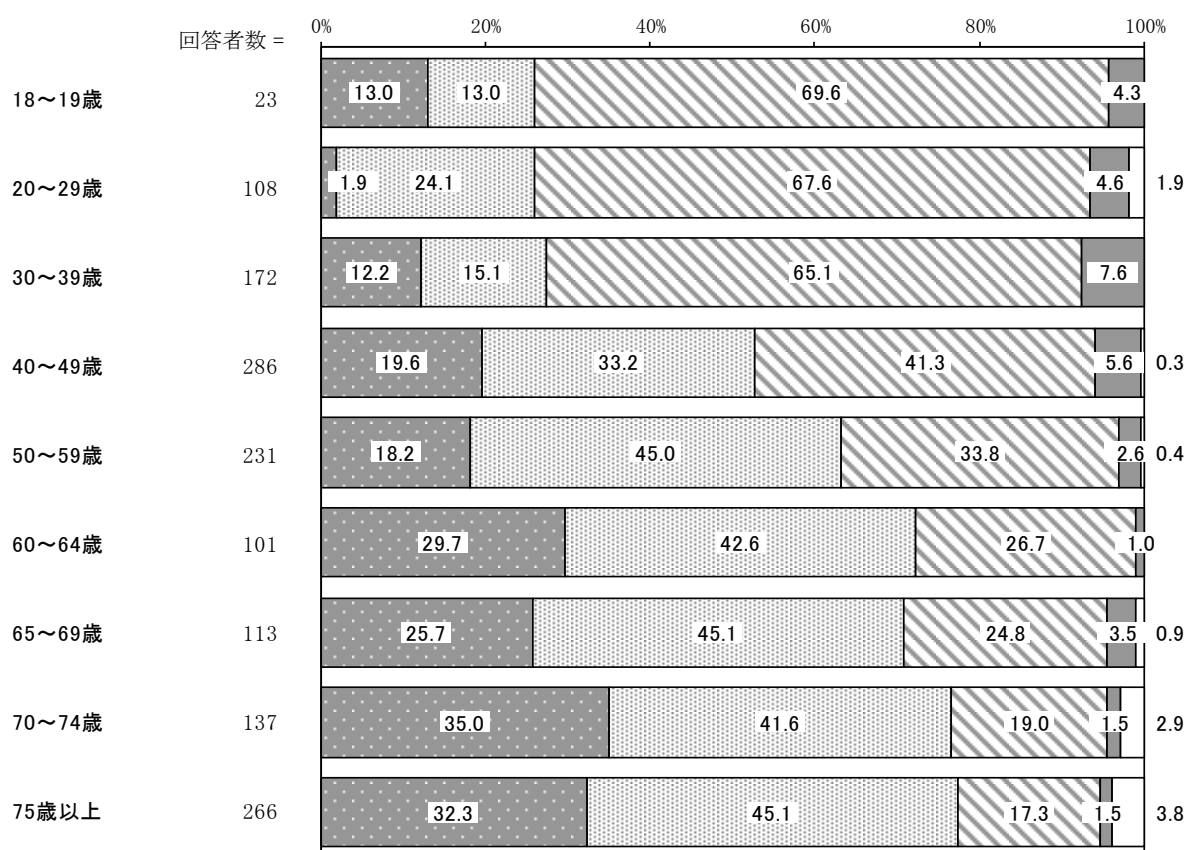
問 26. あなたは、町会・自治会の活動に参加していますか。またはしたことがありますか。(○は1つだけ)

「過去に参加したことがある」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「参加したことはない」の割合が 36.3%、「現在参加している」の割合が 22.1%となっています。



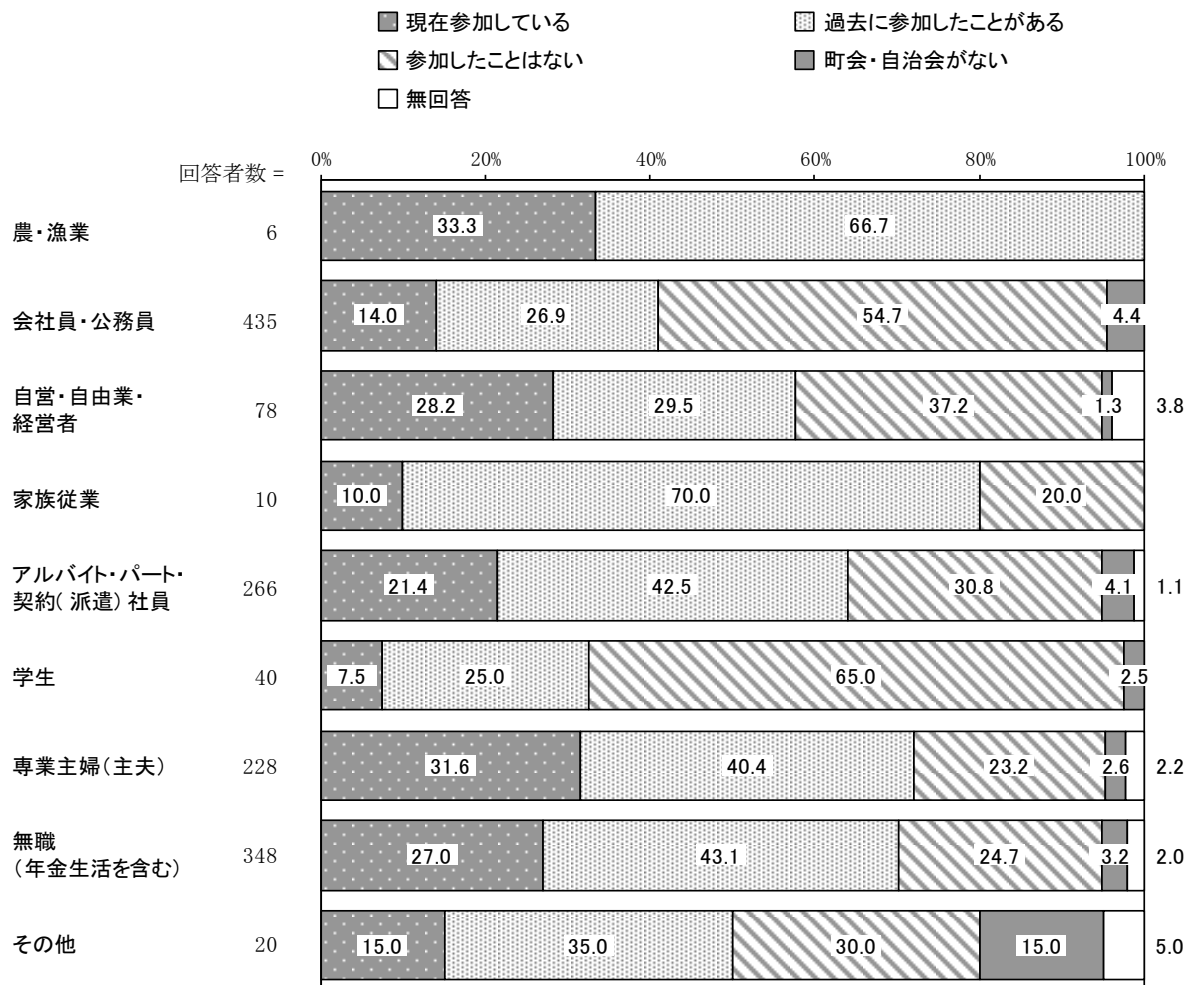
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「現在参加している」の割合が、年齢が低くなるにつれ「参加したことはない」の割合が高くなる傾向がみられます。



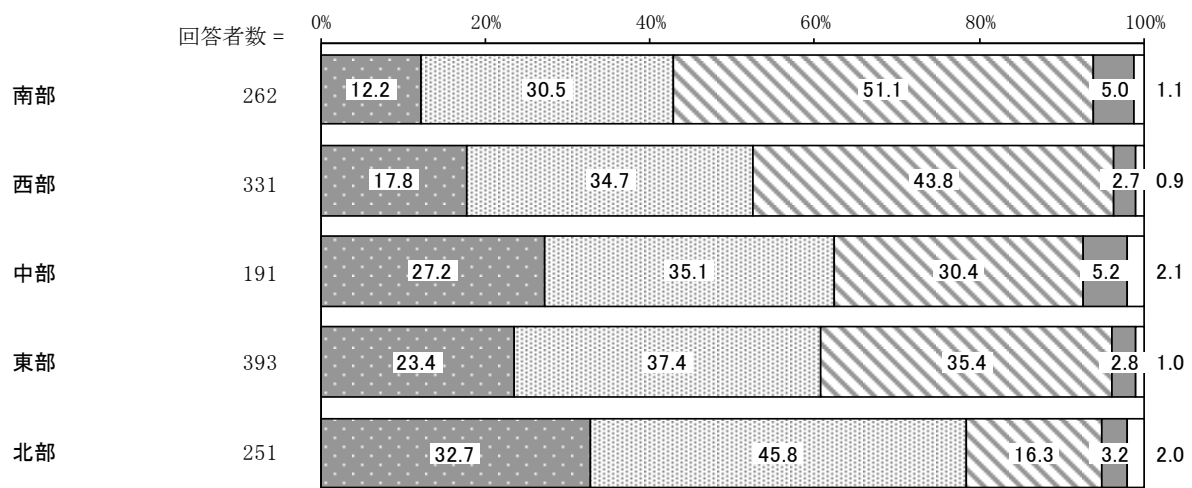
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、家族従業で「過去に参加したことがある」の割合が、学生で「参加したことはない」の割合が高くなっています。また、自営・自由業・経営者、専業主婦（主夫）、無職（年金生活を含む）で「現在参加している」の割合が高くなっています。



【地区別】

地区別でみると、他に比べ、北部で「現在参加している」「過去に参加したことがある」の割合が高くなっています。また、南部で「参加したことはない」の割合が高くなっています。

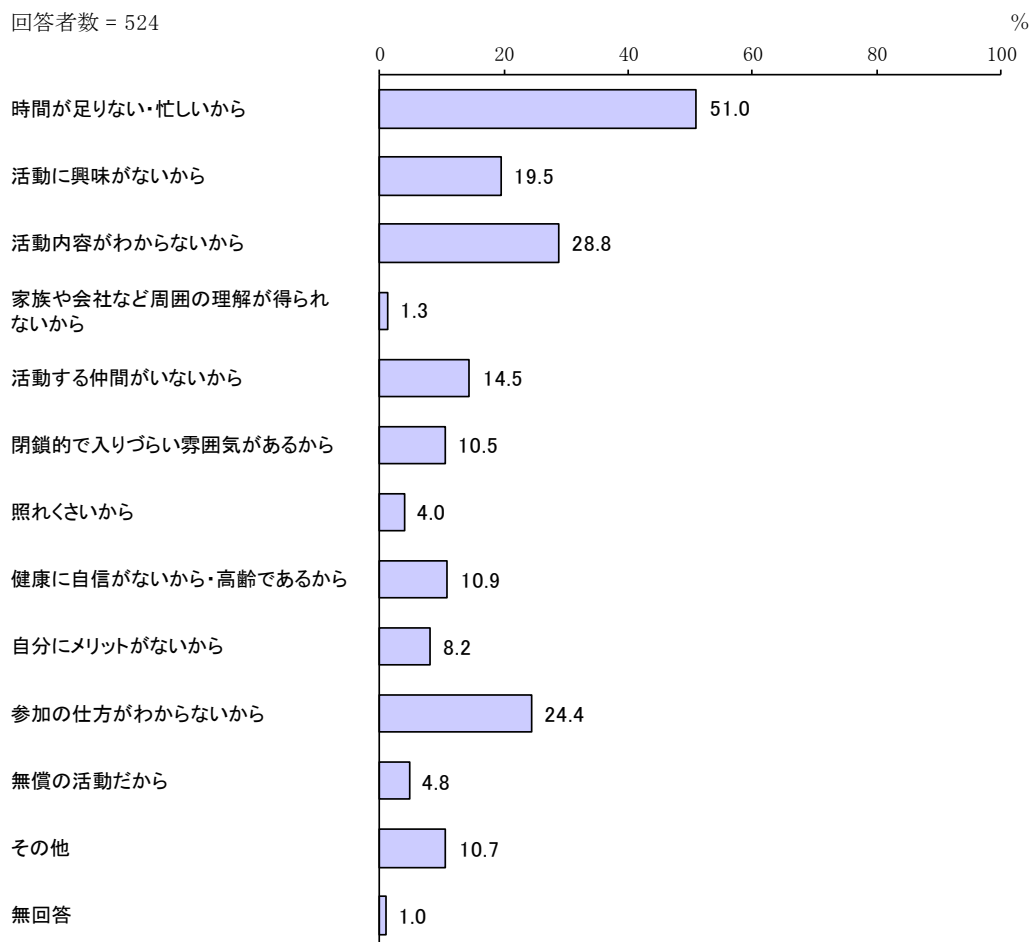


問 26 で「参加したことはない」とお答えの方に伺います

問 26－１．町会・自治会の活動に参加したことがない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「時間が足りない・忙しいから」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「活動内容がわからないから」の割合が 28.8%、「参加の仕方がわからないから」の割合が 24.4%となっています。

回答者数 = 524



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「時間が足りない・忙しいから」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、18～19歳、20～29歳、30～39歳で「活動内容がわからないから」の割合が、65～69歳、70～74歳で「活動する仲間がいないから」の割合が、75歳以上で「健康に自信がないから・高齢であるから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	時間が足りない・忙しいから	活動に興味がないから	活動内容がわからないから	家族や会社など周囲の理解が得られないから	活動する仲間がいないから	閉鎖的で入りづらい雰囲気があるから	照れくさいから	健康に自信がないから・高齢であるから	自分にメリットがないから	参加の仕方がわからないから	無償の活動だから	その他	無回答
18～19歳	16	75.0	18.8	37.5	—	6.3	—	—	—	12.5	18.8	—	—	—
20～29歳	73	60.3	31.5	38.4	—	17.8	6.8	5.5	2.7	15.1	27.4	8.2	9.6	1.4
30～39歳	112	57.1	21.4	38.4	0.9	15.2	11.6	3.6	1.8	8.9	37.5	8.0	11.6	0.9
40～49歳	118	56.8	16.1	27.1	1.7	11.9	15.3	3.4	5.1	6.8	24.6	5.9	14.4	—
50～59歳	78	57.7	17.9	20.5	3.8	10.3	9.0	5.1	5.1	9.0	16.7	1.3	6.4	1.3
60～64歳	27	55.6	18.5	14.8	—	11.1	11.1	3.7	7.4	7.4	18.5	7.4	18.5	—
65～69歳	28	28.6	21.4	25.0	—	28.6	7.1	7.1	17.9	—	14.3	—	17.9	—
70～74歳	26	26.9	19.2	30.8	—	30.8	11.5	3.8	23.1	7.7	30.8	—	7.7	3.8
75歳以上	46	10.9	6.5	15.2	2.2	8.7	8.7	2.2	65.2	2.2	8.7	—	4.3	2.2

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、会社員・公務員、学生で「時間が足りない・忙しいから」の割合が高くなっています。また、無職（年金生活を含む）で「健康に自信がないから・高齢であるから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	時間が足りない・忙しいから	活動に興味がないから	活動内容がわからないから	家族や会社など周囲の理解が得られないから	活動する仲間がないから	閉鎖的で入りづらい雰囲気があるから	照れくさいから	健康に自信がないから・高齢であるから	自分にメリットがないから	参加の仕方がわからないから	無償の活動だから	その他	無回答
農・漁業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
会社員・公務員	238	70.2	21.4	28.2	1.7	13.4	10.5	4.2	1.3	10.5	23.9	6.3	11.8	0.8
自営・自由業・経営者	29	58.6	10.3	10.3	—	17.2	3.4	6.9	6.9	3.4	17.2	—	20.7	—
家族従業	2	—	—	—	—	50.0	—	—	—	—	50.0	—	—	—
アルバイト・パート・契約(派遣)社員	82	52.4	19.5	34.1	1.2	11.0	13.4	2.4	4.9	3.7	24.4	3.7	11.0	1.2
学生	26	69.2	19.2	34.6	—	15.4	—	3.8	—	11.5	19.2	3.8	3.8	3.8
専業主婦(主夫)	53	18.9	17.0	34.0	1.9	17.0	9.4	3.8	15.1	9.4	35.8	3.8	11.3	—
無職 (年金生活を含む)	86	11.6	17.4	29.1	1.2	18.6	15.1	4.7	45.3	4.7	23.3	4.7	4.7	1.2
その他	6	33.3	33.3	16.7	—	—	—	—	16.7	16.7	16.7	—	33.3	—

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、南部、西部、東部で「活動内容がわからないから」の割合が、西部、中部で「活動に興味がないから」の割合が高くなっています。また、北部で「自分にメリットがないから」の割合が高くなっています。

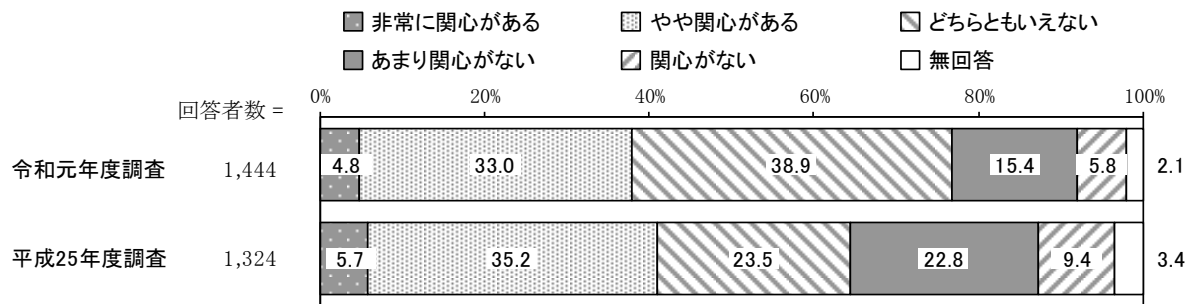
単位：％

区分	回答者数（件）	時間が足りない・忙しいから	活動に興味がないから	活動内容がわからないから	家族や会社など周囲の理解が得られないから	活動する仲間がないから	閉鎖的で入りづらい雰囲気があるから	照れくさいから	健康に自信がないから・高齢であるから	自分にメリットがないから	参加の仕方がわからないから	無償の活動だから	その他	無回答
南部	134	50.0	18.7	28.4	1.5	13.4	11.9	3.7	10.4	7.5	27.6	4.5	11.2	0.7
西部	145	47.6	22.1	29.0	1.4	15.9	11.0	5.5	11.0	7.6	26.9	4.8	8.3	0.7
中部	58	50.0	25.9	25.9	—	13.8	10.3	3.4	5.2	6.9	15.5	5.2	12.1	—
東部	139	59.0	16.5	32.4	0.7	13.7	11.5	3.6	13.7	7.9	24.5	4.3	10.8	0.7
北部	41	41.5	17.1	22.0	4.9	14.6	2.4	2.4	7.3	17.1	17.1	4.9	17.1	4.9

問 27. あなたは、ボランティアや市民活動にどの程度関心がありますか。
(○は1つだけ)

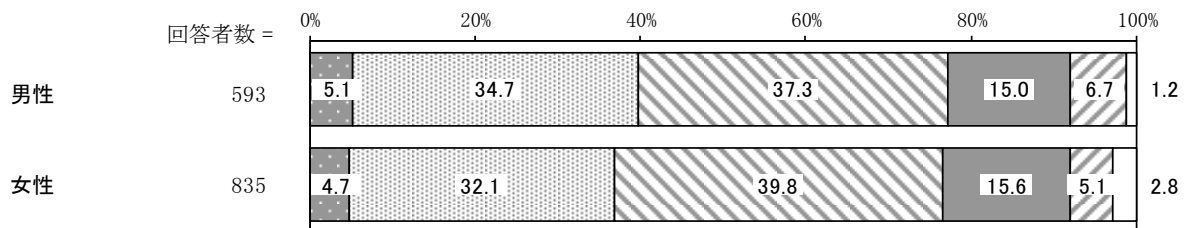
「非常に関心がある」と「やや関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が 37.8%、「どちらともいえない」の割合が 38.9%、「あまり関心がない」と「関心がない」をあわせた“関心がない”の割合が 21.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合が増加し、“関心がない”の割合が減少しています。



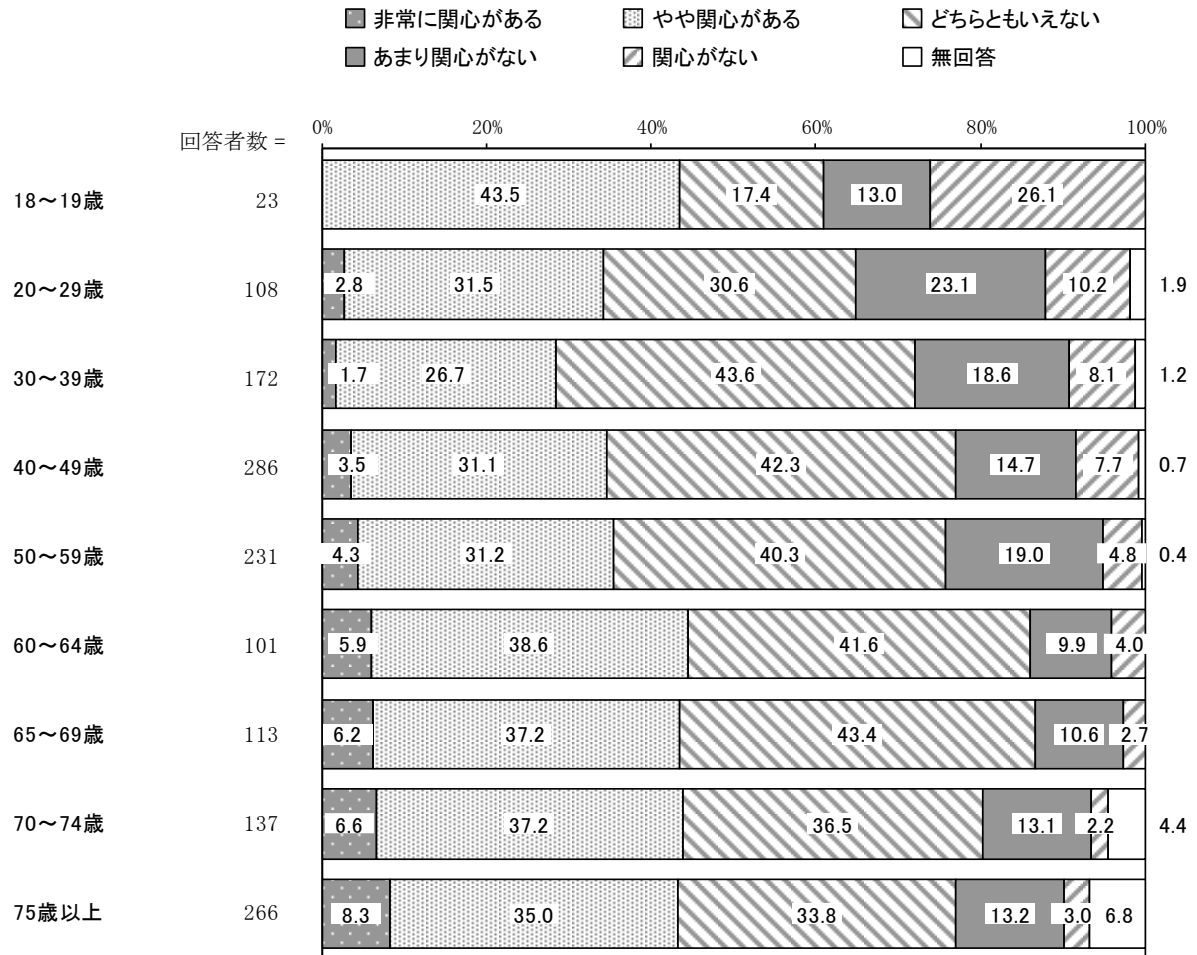
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



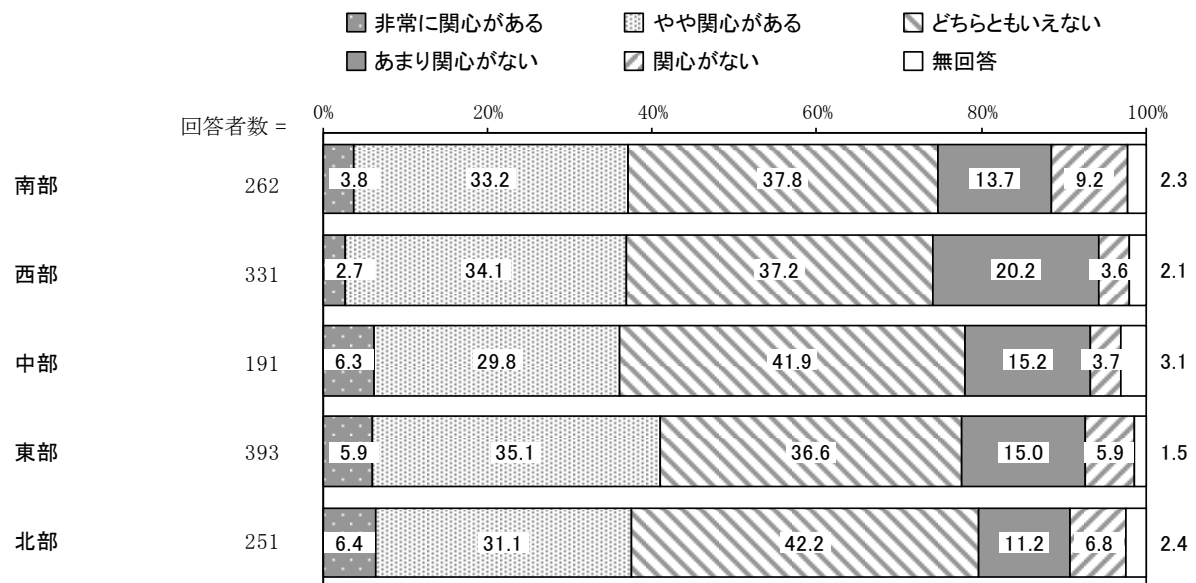
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60～64歳、65～69歳、70～74歳、75歳以上で“関心がある”の割合が高くなっています。また、18～19歳で“関心がない”の割合が高くなっています。



【地区別】

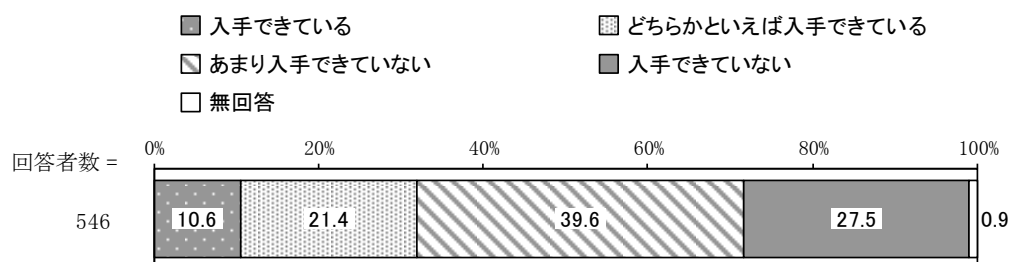
地区別でみると、他に比べ、東部で“関心がある”の割合が高くなっています。



問 27 で「非常に関心がある」「やや関心がある」のいずれかにお答えの方に伺います

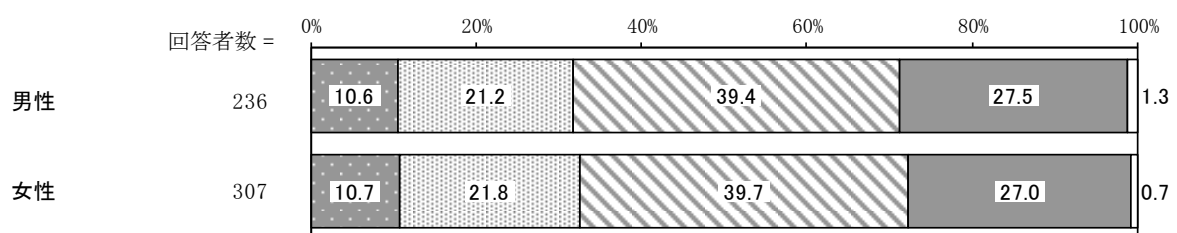
問 27－１．あなたは、ボランティアや市民活動の情報を入手できていますか。
(○は１つだけ)

「入手できている」と「どちらかといえば入手できている」をあわせた“入手できている”の割合が 32.0%、「あまり入手できていない」と「入手できていない」をあわせた“入手できていない”の割合が 67.1%となっています。



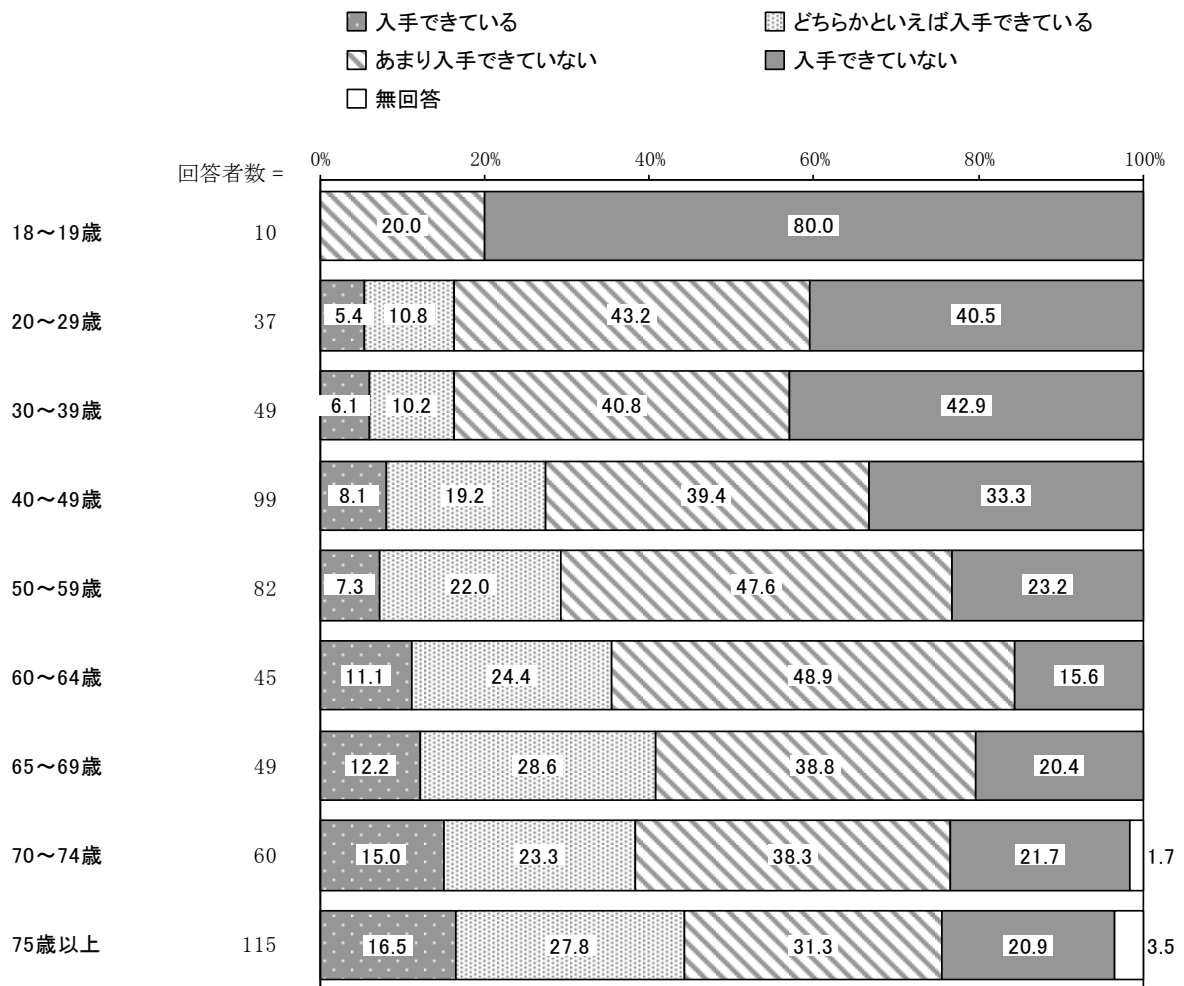
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



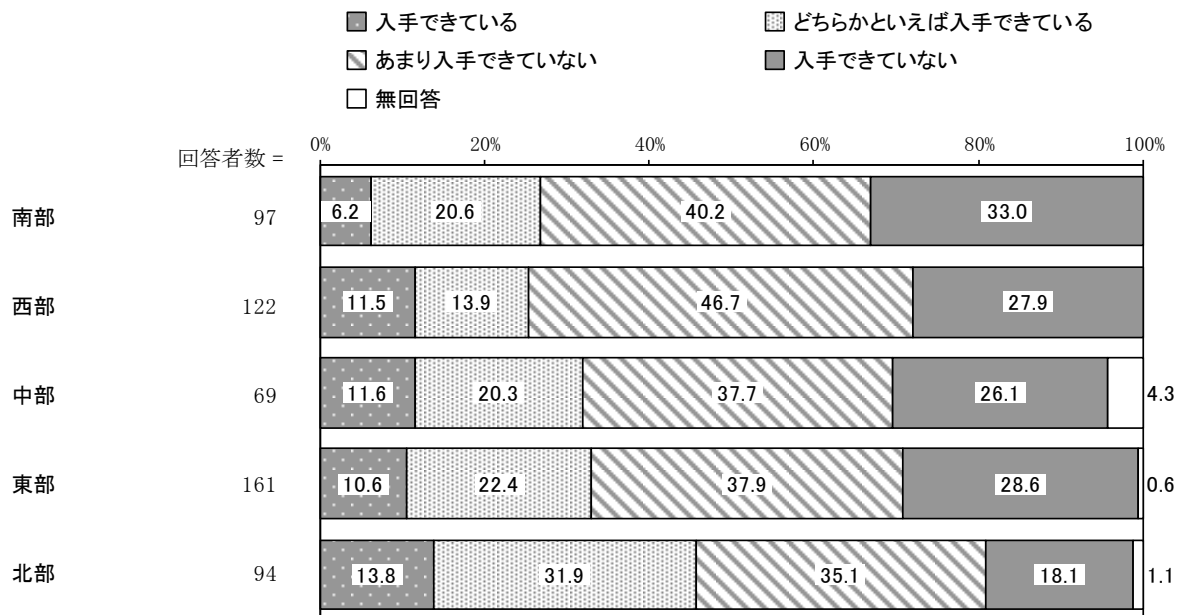
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“入手できている”の割合が高くなる傾向がみられます。



【地区別】

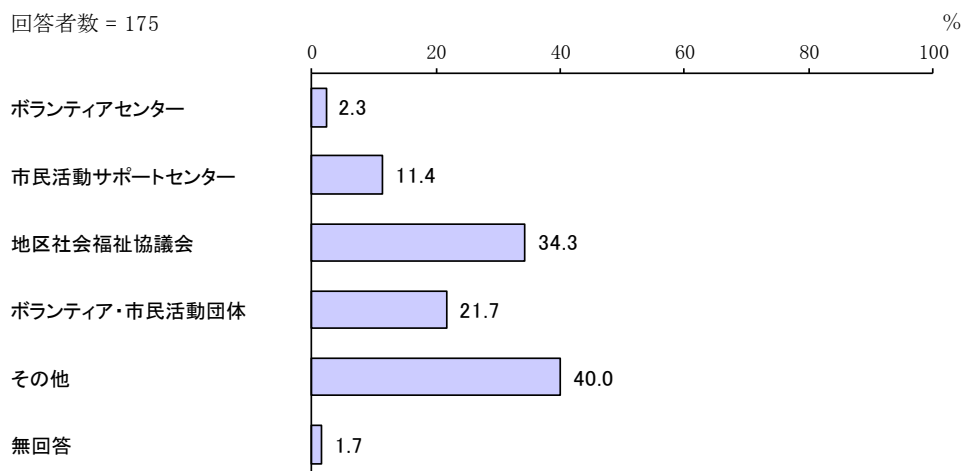
地区別でみると、他に比べ、北部で“入手できている”の割合が高くなっています。また、南部、西部で“入手できていない”の割合が高くなっています。



問 27－１で「入手できている」「どちらかといえば入手できている」のいずれかにお答えの方に伺います

問 27－２．あなたは、ボランティアや市民活動の情報をどこで入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

「地区社会福祉協議会」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「ボランティア・市民活動団体」の割合が 21.7%、「市民活動サポートセンター」の割合が 11.4%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、65～69 歳で「地区社会福祉協議会」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ボランティア センター	市民活動サ ポート センター	地区社会福祉協議 会	ボランティア・ 市民活動団 体	その他	無回 答
18～19 歳	—	—	—	—	—	—	—
20～29 歳	6	—	—	—	—	100.0	—
30～39 歳	8	—	12.5	25.0	50.0	25.0	—
40～49 歳	27	7.4	18.5	14.8	22.2	59.3	—
50～59 歳	24	—	16.7	25.0	29.2	37.5	—
60～64 歳	16	6.3	—	31.3	18.8	37.5	6.3
65～69 歳	20	—	15.0	55.0	25.0	25.0	5.0
70～74 歳	23	—	21.7	30.4	21.7	39.1	—
75 歳以上	51	2.0	3.9	49.0	15.7	33.3	2.0

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、北部で「地区社会福祉協議会」の割合が高くなっています。

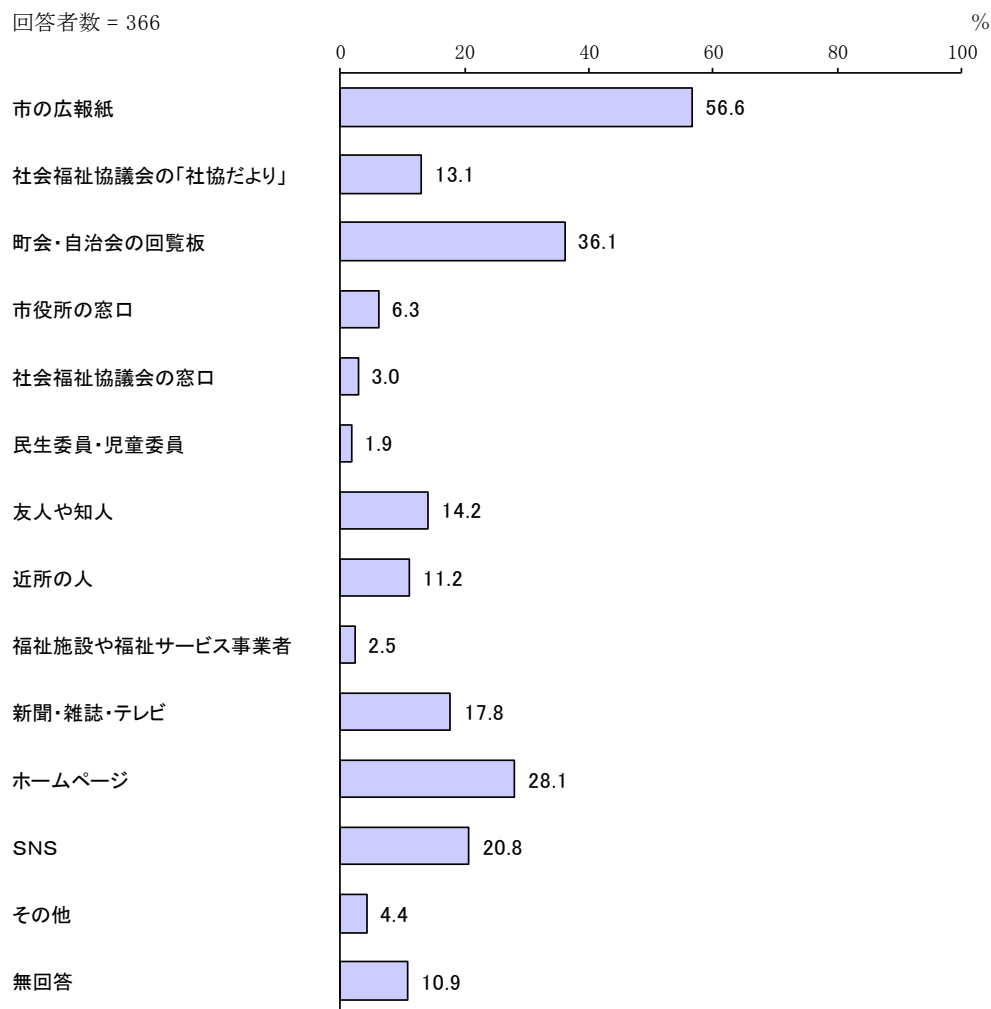
単位：％

区分	回答者数 (件)	ボランティア センター	市民活動サ ポート センター	地区社会福祉協議 会	ボランティア・ 市民活動団 体	その他	無回 答
南部	26	—	15.4	30.8	23.1	38.5	—
西部	31	3.2	12.9	29.0	22.6	45.2	—
中部	22	—	13.6	27.3	22.7	40.9	4.5
東部	53	1.9	15.1	26.4	18.9	37.7	3.8
北部	43	4.7	2.3	53.5	23.3	39.5	—

問 27-1 で「あまり入手できていない」「入手できていない」のいずれかにお答えの方には伺います

問 27-3 . あなたは、ボランティアや市民活動の情報を誰（どこ）からなら入手しやすいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「市の広報紙」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「町会・自治会の回覧板」の割合が 36.1%、「ホームページ」の割合が 28.1%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「新聞・雑誌・テレビ」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「市の広報紙」「市役所の窓口」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	市の広報紙	社会福祉協議会の「社協だより」	町会・自治会の回覧板	市役所の窓口	社会福祉協議会の窓口	民生委員・児童委員	友人や知人	近所の人	福祉施設や福祉サービス事業者	新聞・雑誌・テレビ	ホームページ	SNS	その他	無回答
男性	158	50.6	11.4	34.2	3.2	3.2	1.3	11.4	9.5	2.5	24.1	29.1	23.4	2.5	12.7
女性	205	61.0	14.1	37.1	8.8	2.9	2.4	16.1	12.7	2.4	12.7	27.8	19.0	5.9	9.8

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「町会・自治会の回覧板」の割合が、年齢が低くなるにつれ「SNS」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、65～69歳で「市の広報紙」「社会福祉協議会の「社協だより」」の割合が、60～64歳で「友人や知人」「近所の人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	市の広報紙	社会福祉協議会の「社協だより」	町会・自治会の回覧板	市役所の窓口	社会福祉協議会の窓口	民生委員・児童委員	友人や知人	近所の人	福祉施設や福祉サービス事業者	新聞・雑誌・テレビ	ホームページ	SNS	その他	無回答
18～19歳	10	50.0	—	20.0	—	—	—	10.0	20.0	—	30.0	30.0	60.0	—	10.0
20～29歳	31	38.7	3.2	16.1	3.2	—	—	16.1	9.7	3.2	16.1	29.0	54.8	9.7	12.9
30～39歳	41	41.5	4.9	34.1	2.4	—	—	7.3	2.4	—	29.3	36.6	39.0	4.9	7.3
40～49歳	72	52.8	4.2	30.6	5.6	2.8	2.8	9.7	12.5	—	12.5	43.1	36.1	6.9	9.7
50～59歳	58	67.2	15.5	31.0	6.9	3.4	3.4	13.8	10.3	6.9	12.1	53.4	12.1	1.7	5.2
60～64歳	29	65.5	17.2	37.9	3.4	—	3.4	24.1	24.1	—	17.2	31.0	13.8	3.4	13.8
65～69歳	29	72.4	27.6	48.3	13.8	10.3	3.4	13.8	10.3	3.4	20.7	13.8	—	3.4	3.4
70～74歳	36	55.6	19.4	47.2	8.3	8.3	2.8	16.7	5.6	—	19.4	2.8	—	—	22.2
75歳以上	60	60.0	21.7	48.3	8.3	1.7	—	18.3	13.3	5.0	18.3	—	—	5.0	15.0

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、中部で「近所の人」の割合が、北部で「社会福祉協議会の「社協だより」「友人や知人」の割合が高くなっています。

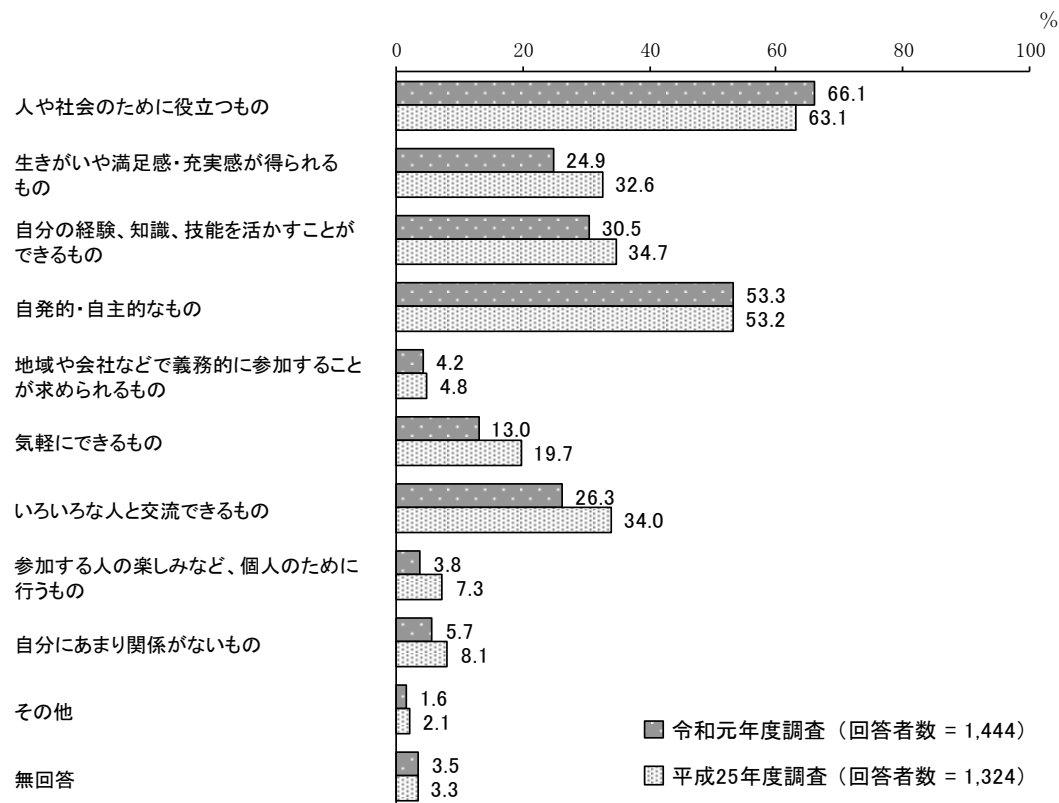
単位：％

区分	回答者数（件）	市の広報紙	社会福祉協議会の「社協だより」	町会・自治会の回覧板	市役所の窓口	社会福祉協議会の窓口	民生委員・児童委員	友人や知人	近所の人	福祉施設や福祉サービス事業者	新聞・雑誌・テレビ	ホームページ	SNS	その他	無回答
南部	71	57.7	9.9	25.4	5.6	1.4	－	15.5	9.9	1.4	28.2	31.0	25.4	2.8	14.1
西部	91	53.8	7.7	34.1	7.7	2.2	1.1	13.2	6.6	3.3	15.4	34.1	24.2	9.9	9.9
中部	44	61.4	11.4	40.9	4.5	4.5	4.5	15.9	20.5	2.3	20.5	15.9	20.5	2.3	11.4
東部	107	60.7	15.9	42.1	8.4	3.7	2.8	11.2	10.3	2.8	17.8	31.8	20.6	2.8	8.4
北部	50	46.0	22.0	38.0	－	2.0	2.0	20.0	16.0	2.0	6.0	16.0	10.0	2.0	14.0

問 28. あなたは、ボランティアや市民活動に対して、どのようなイメージを持っていますか。（あてはまるものすべてに○）

「人や社会のために役立つもの」の割合が 66.1%と最も高く、次いで「自発的・自主的なもの」の割合が 53.3%、「自分の経験、知識、技能を活かすことができるもの」の割合が 30.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「生きがいや満足感・充実感が得られるもの」「気軽にできるもの」「いろいろな人と交流できるもの」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60～64 歳、65～69 歳で「自発的・自主的なもの」の割合が、50～59 歳で「人や社会のために役立つもの」の割合が高くなっています。また、65～69 歳、70～74 歳、75 歳以上で「気軽にできるもの」の割合が高くなっています。

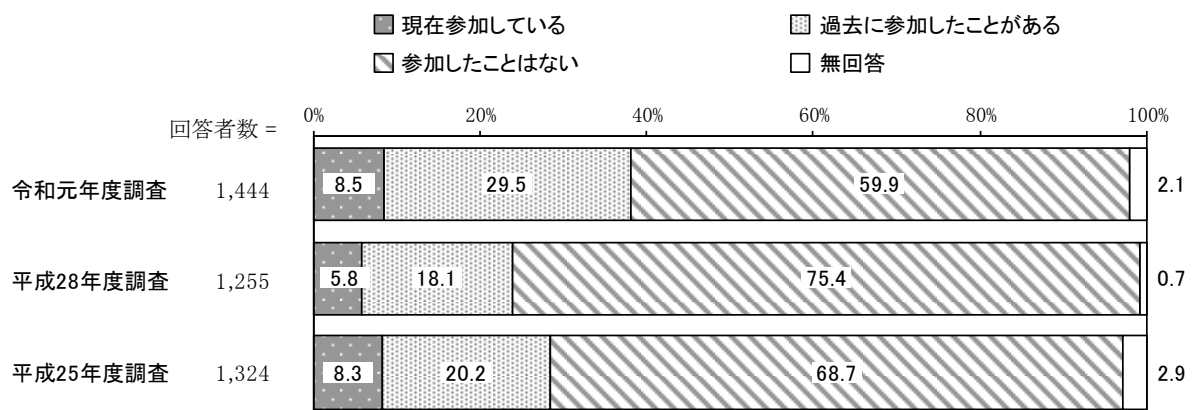
単位：％

区分	回答者数（件）	人や社会のために役立つもの	生きがいや満足感・充実感が得られるもの	自分の経験、知識、技能を活かすことができるもの	自発的・自主的なもの	地域や会社などで義務的に参加することが求められるもの	気軽にできるもの	いろいろな人と交流できるもの	参加する人の楽しみなど、個人のために行うもの	自分にあまり関係がないもの	その他	無回答
18～19 歳	23	65.2	13.0	34.8	43.5	8.7	8.7	21.7	—	4.3	4.3	—
20～29 歳	108	55.6	13.0	24.1	54.6	8.3	11.1	30.6	3.7	12.0	3.7	2.8
30～39 歳	172	68.0	16.9	20.3	54.1	5.2	3.5	29.7	2.3	8.7	1.7	0.6
40～49 歳	286	69.6	28.0	33.6	57.7	5.9	11.5	27.3	3.8	7.3	2.8	0.3
50～59 歳	231	75.3	23.4	29.0	56.7	3.0	8.7	20.3	2.6	6.1	0.4	0.4
60～64 歳	101	68.3	32.7	34.7	63.4	3.0	11.9	32.7	5.0	3.0	1.0	1.0
65～69 歳	113	68.1	26.5	33.6	64.6	0.9	18.6	27.4	3.5	1.8	—	2.7
70～74 歳	137	61.3	32.8	38.0	53.3	0.7	21.2	25.5	5.8	2.2	0.7	7.3
75 歳以上	266	58.6	26.7	30.8	37.6	4.5	19.5	24.8	4.9	3.4	1.5	11.3

問 29. あなたは、ボランティア、市民活動をしていますか。または、したことがありますか。（○は1つだけ）

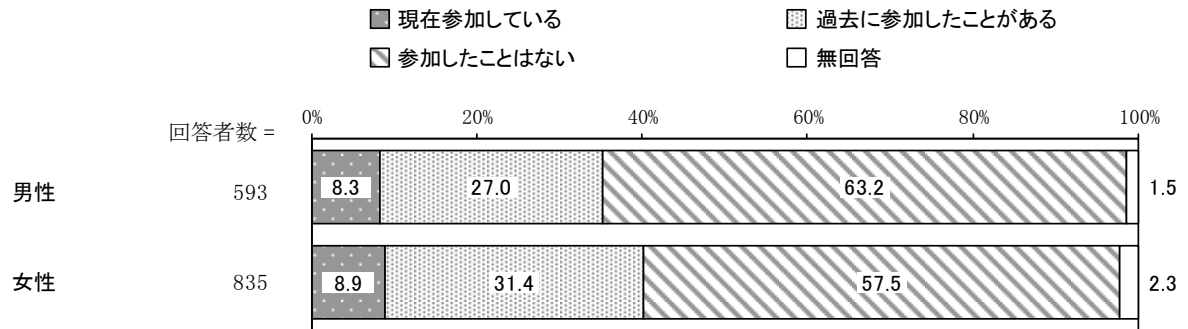
「参加したことはない」の割合が 59.9％と最も高く、次いで「過去に参加したことがある」の割合が 29.5％となっています。

過去の調査と比較すると、平成 25 年度調査から「過去に参加したことがある」の割合が増加傾向にあり、「参加したことはない」の割合が減少傾向にあります。



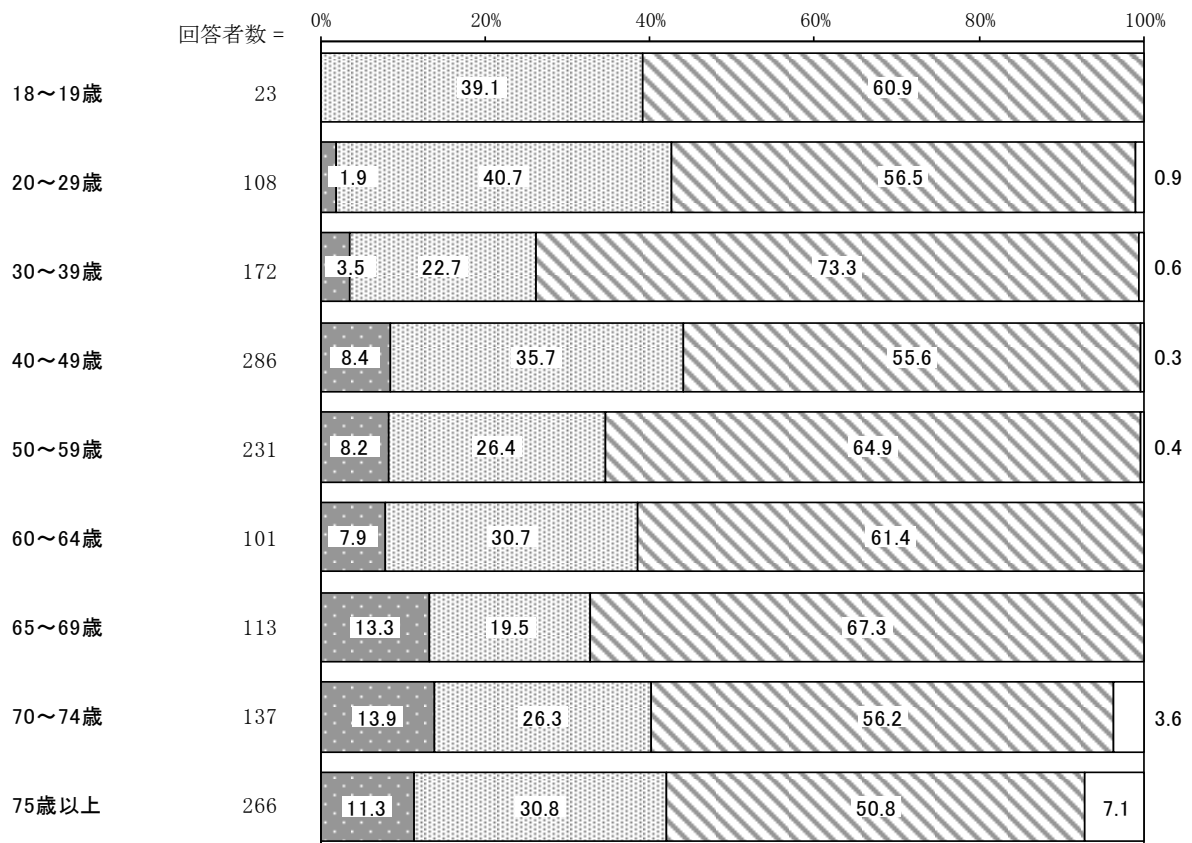
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「参加したことはない」の割合が高くなっています。



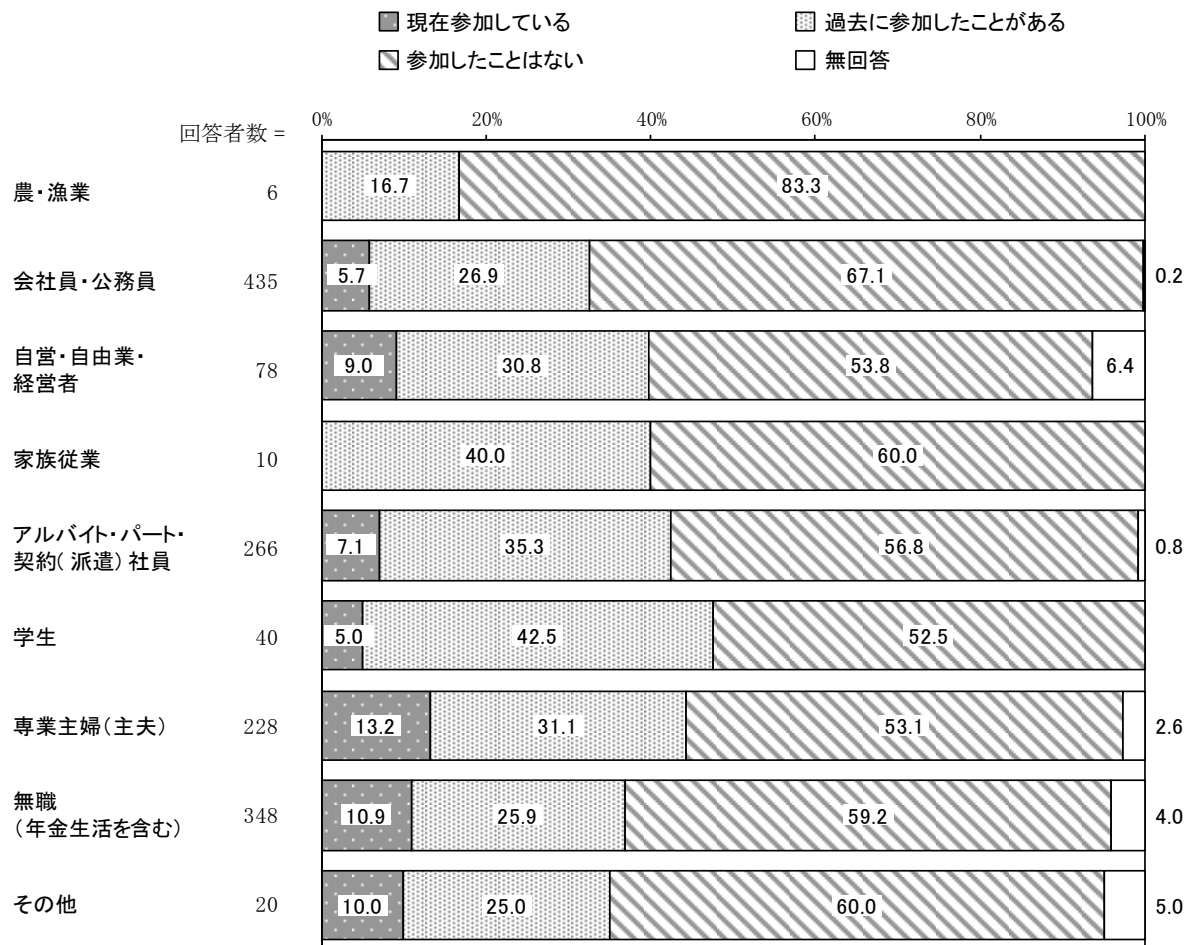
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「現在参加している」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、18～19歳、20～29歳で「過去に参加したことがある」の割合が、30～39歳で「参加したことはない」の割合が高くなっています。



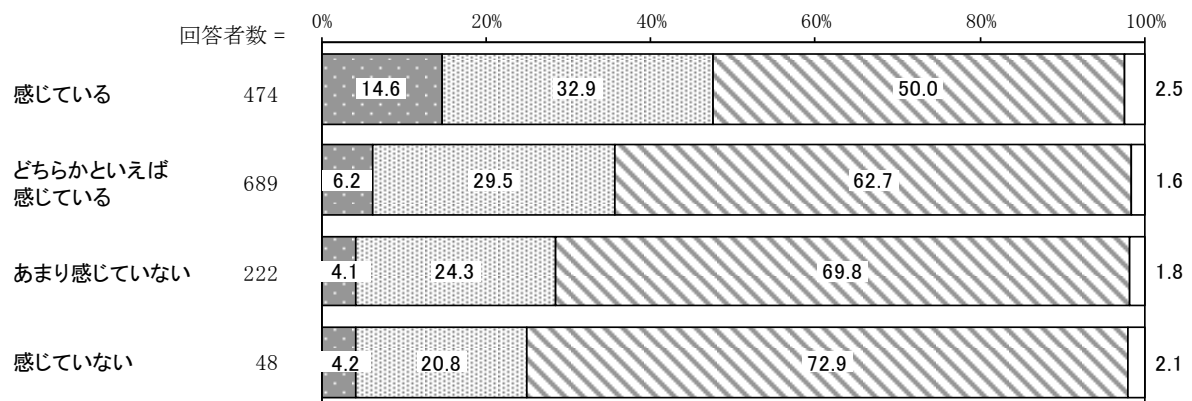
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、会社員・公務員で「参加したことはない」の割合が高くなっています。また、家族従業、学生で「過去に参加したことがある」の割合が高くなっています。



【生きがいの有無別】

生きがいの有無別でみると、生きがいを感じている人ほど「現在参加している」「過去に参加したことがある」の割合が高くなっています。

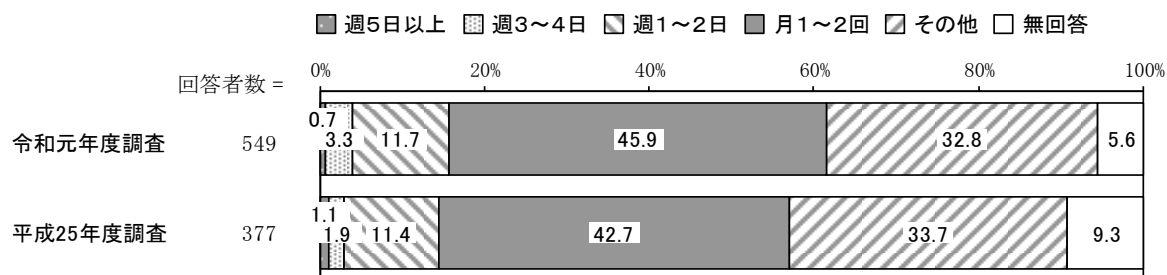


問 29 で「現在参加している」「過去に参加したことがある」のいずれかにお答えの方に伺います

問 29－ 1. どれぐらいの頻度で参加していますか。（または、参加していましたか。）
（○は 1 つだけ）

「月 1 ～ 2 回」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「週 1 ～ 2 日」の割合が 11.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

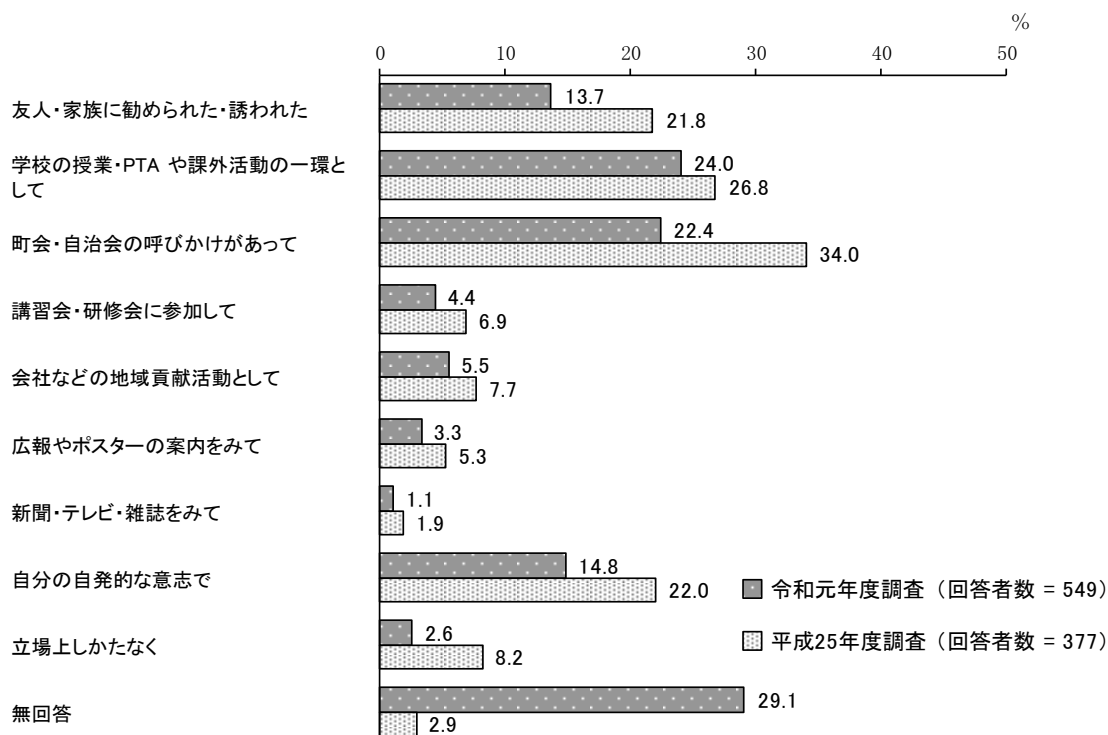


問 29 で「現在参加している」「過去に参加したことがある」のいずれかにお答えの方に伺います

問 29－ 2. ボランティアや市民活動に参加した「きっかけ」は何ですか。
（○は 2 つまで）

「学校の授業・PTA や課外活動の一環として」の割合が 24.0%と最も高く、次いで「町会・自治会の呼びかけがあって」の割合が 22.4%、「自分の自発的な意志で」の割合が 14.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「友人・家族に勧められた・誘われた」「町会・自治会の呼びかけがあって」「自分の自発的な意志で」「立場上しかたなく」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「学校の授業・PTA や課外活動の一環として」の割合が高くなっています。

単位：％

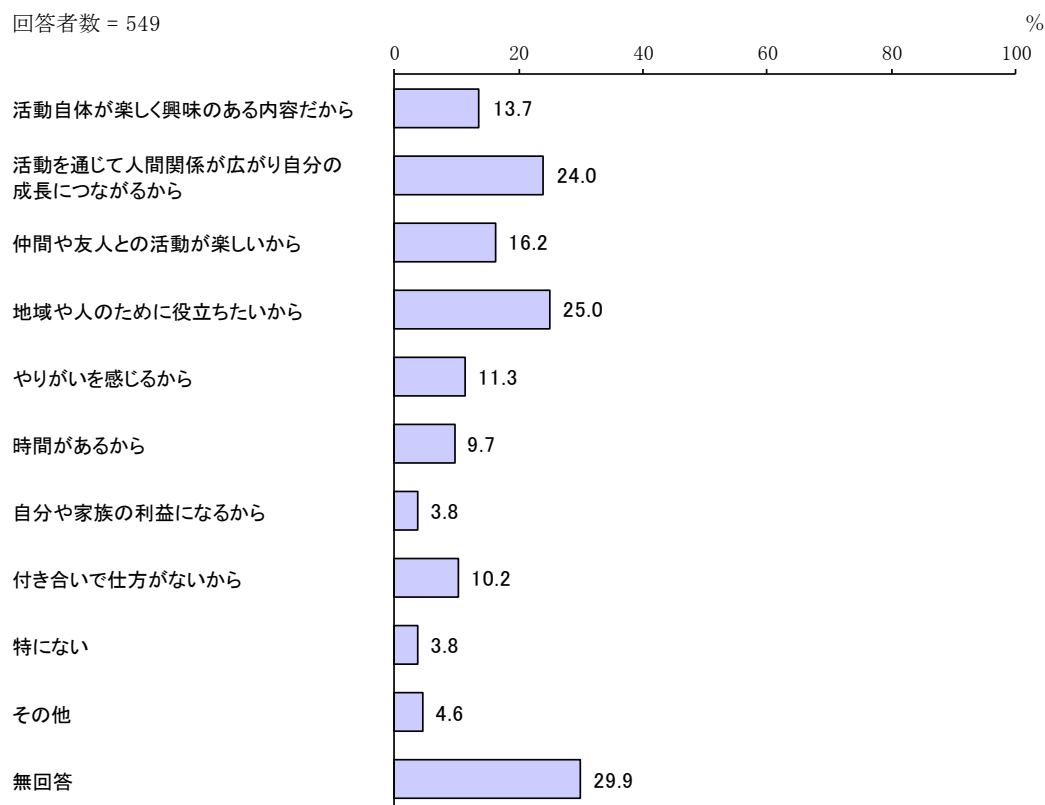
区分	有効回答数（件）	友人・家族に勧められた・誘われた	学校の授業・PTA や課外活動の一環として	町会・自治会の呼びかけがあつて	講習会・研修会に参加して	会社などの地域貢献活動として	広報やポスターの案内をみて	新聞・テレビ・雑誌をみて	自分の自発的な意志で	立場上しかたなく	無回答
男性	209	15.3	17.7	24.4	3.3	8.1	2.9	1.0	16.3	1.9	28.2
女性	336	12.5	28.3	21.4	5.1	3.9	3.6	1.2	14.0	3.0	29.2

問 29 で「現在参加している」「過去に参加したことがある」のいずれかにお答えの方に伺います

問 29－3 ボランティアや市民活動に現在参加しているまたは過去に参加していた理由は何か。（あてはまるものすべてに○）

「地域や人のために役立ちたいから」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」の割合が 24.0%、「仲間や友人との活動が楽しいから」の割合が 16.2%となっています。

回答者数 = 549



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「地域や人のために役立ちたいから」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」の割合が高くなっています。

単位：%

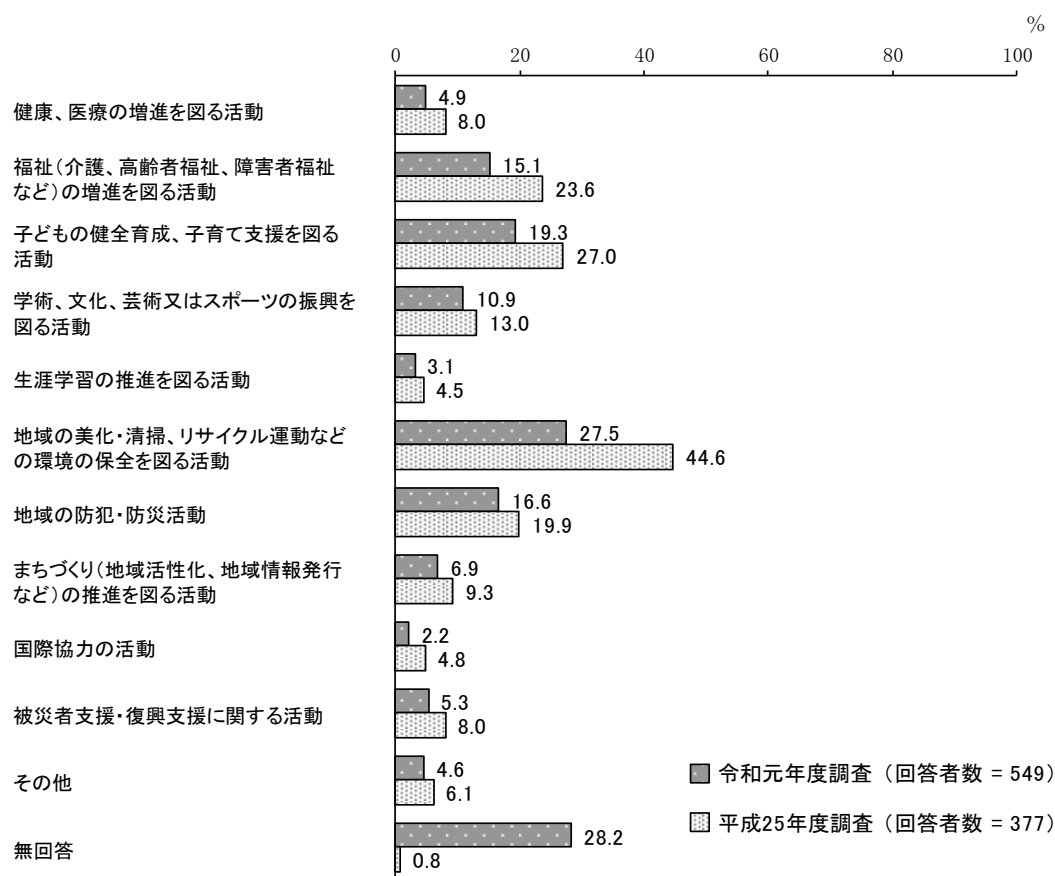
区分	有効回答数（件）	活動自体が楽しく興味のある内容だから	活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから	仲間や友人との活動が楽しいから	地域や人のために役立ちたいから	やりがいを感じるから	時間があるから	自分や家族の利益になるから	付き合いで仕方がないから	特にない	その他	無回答
男性	209	13.4	20.1	17.2	28.7	13.4	12.0	3.8	7.7	3.8	2.9	29.7
女性	336	13.7	26.5	15.5	22.6	10.1	8.3	3.9	11.9	3.6	5.7	29.8

問 29 で「現在参加している」「過去に参加したことがある」のいずれかにお答えの方に伺います

問 29－４ 参加している（参加した）ボランティアや市民活動は、どのような内容の
ものですか。（あてはまるものすべてに○）

「地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動」の割合が 27.5%と最も高く、次いで「子どもの健全育成、子育て支援を図る活動」の割合が 19.3%、「地域の防犯・防災活動」の割合が 16.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「福祉（介護、高齢者福祉、障害者福祉など）の増進を図る活動」「子どもの健全育成、子育て支援を図る活動」「地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」「地域の防犯・防災活動」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「福祉（介護、高齢者福祉、障害者福祉など）の増進を図る活動」の割合が高くなっています。

単位：％

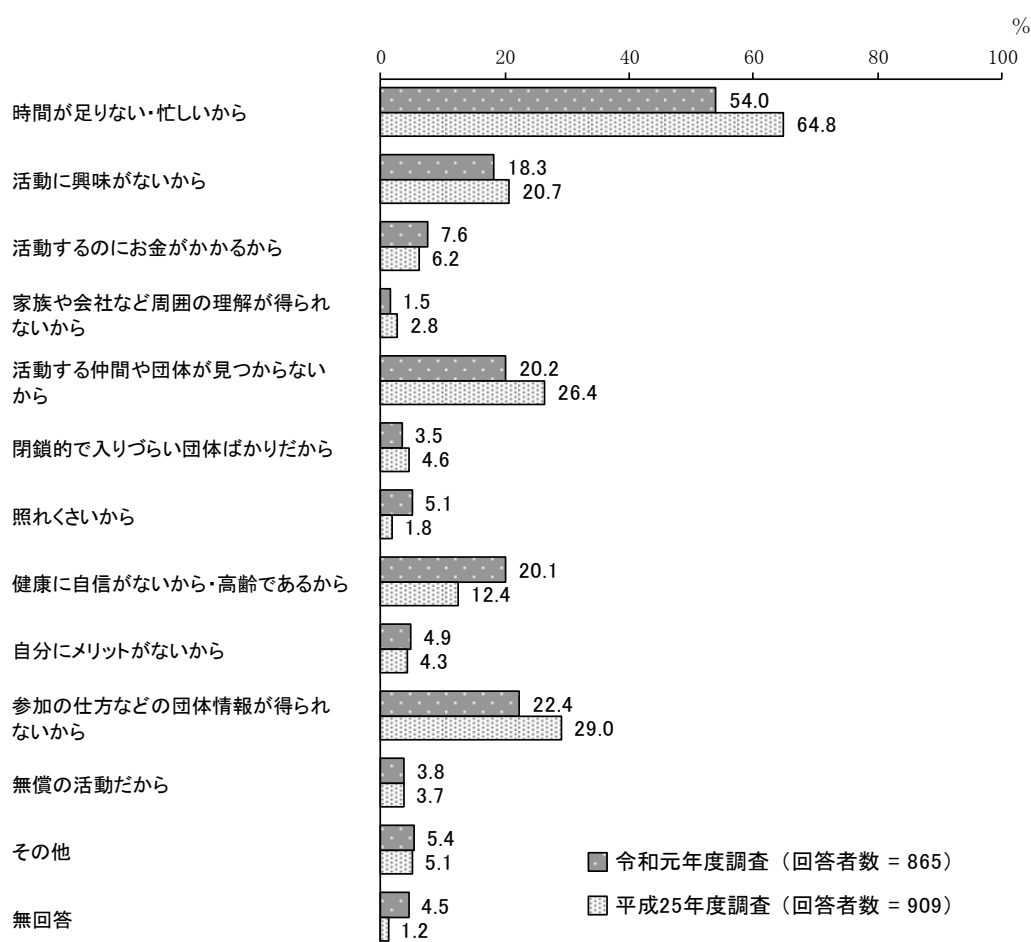
区分	有効回答数（件）	健康、医療の増進を図る活動	福祉（介護、高齢者福祉、障害者福祉など）の増進を図る活動	子どもの健全育成、子育て支援を図る活動	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	生涯学習の増進を図る活動	地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動	地域の防犯・防災活動	まちづくり（地域活性化、地域情報発信など）の増進を図る活動	国際協力の活動	被災者支援・復興支援に関する活動	その他	無回答
男性	209	7.2	10.5	16.7	15.3	3.3	30.1	21.1	6.2	1.4	4.3	4.3	27.8
女性	336	3.3	17.9	21.1	8.3	2.7	25.9	14.0	7.4	2.7	6.0	4.8	28.3

問 29 で「参加したことはない」とお答えの方に伺います

問 29－５． ボランティアや市民活動に参加したことがない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「時間が足りない・忙しいから」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「参加の仕方などの団体情報が得られないから」の割合が 22.4%、「活動する仲間や団体が見つからないから」の割合が 20.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「健康に自信がないから・高齢であるから」の割合が増加し、「時間が足りない・忙しいから」「活動する仲間や団体が見つからないから」「参加の仕方などの団体情報が得られないから」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「活動に興味がないから」「活動する仲間や団体が見つからないから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	時間 が足りない・忙しい から	活動に 興味がないから	活動するのにお金がか かるから	家族や会社など周囲の 理解が得られないから	活動する仲間や団体が 見つからないから	閉鎖的で入りづらい団 体ばかりだから	照れくさいから	健康に自信がないから・ 高齢であるから	自分に メリットがない から	参加の仕方などの団体 情報が得られないから	無償の活動だから	その他	無回答
男性	375	56.0	22.1	8.5	1.6	23.7	4.5	7.5	17.6	6.1	20.3	4.5	5.9	2.9
女性	480	52.7	15.6	6.7	1.5	17.5	2.7	3.3	21.5	4.0	24.2	3.1	5.2	5.6

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「健康に自信がないから・高齢であるから」の割合が高くなっています。また、他に比べ、18～19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳で「時間が足りない・忙しいから」の割合が高くなっています。また、20～29歳、30～39歳で「活動に興味がないから」の割合が高くなっています。

単位：％

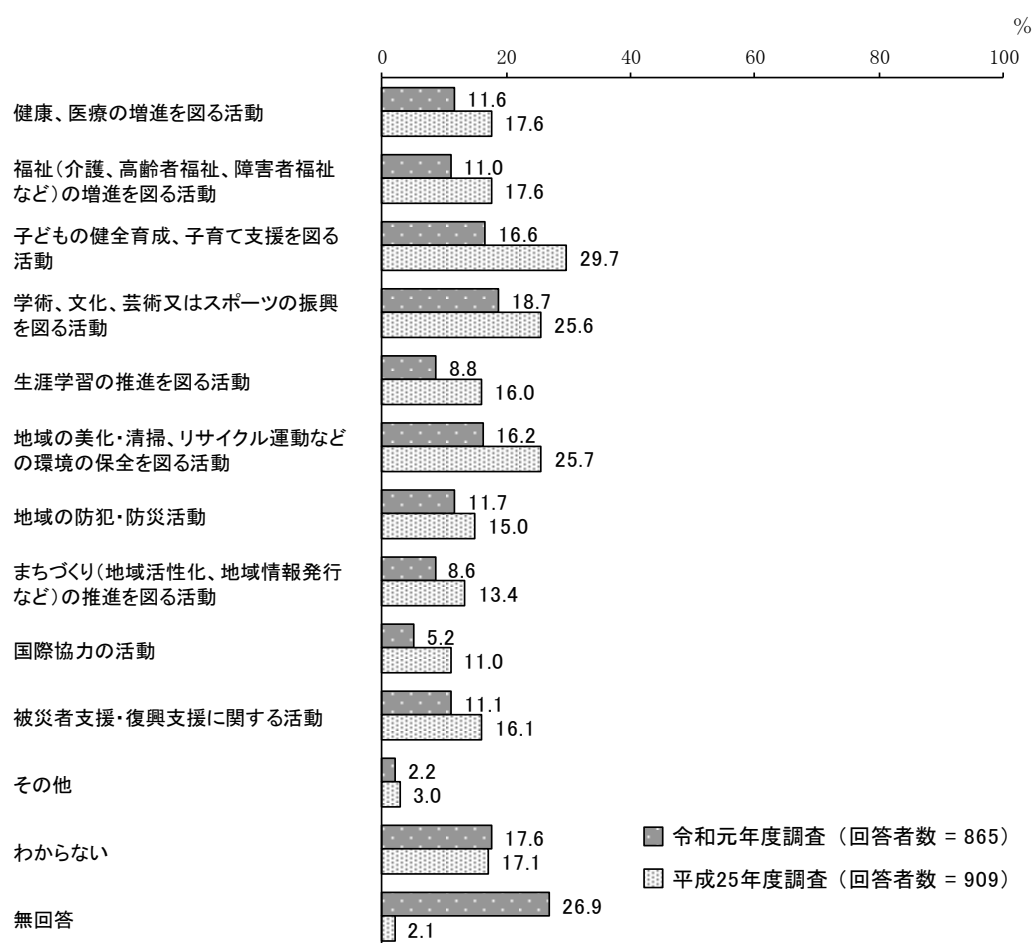
区分	回答者数（件）	時間 が足りない・忙しい から	活動に 興味がないから	活動するのにお金がかかる	家族や会社など周囲の 理解が得られないから	活動する仲間や団体が 見つからないから	閉鎖的で入りづらい団 体ばかりだから	照れくさいから	健康に自信がないから・ 高齢であるから	自分に メリットがない から	参加の仕方などの団体 情報が得られないから	無償の活動だから	その他	無回答
18～19歳	14	71.4	21.4	7.1	—	35.7	—	7.1	—	7.1	42.9	—	—	—
20～29歳	61	72.1	27.9	13.1	—	14.8	6.6	8.2	1.6	13.1	23.0	9.8	9.8	3.3
30～39歳	126	68.3	29.4	7.1	0.8	15.1	4.0	6.3	2.4	8.7	27.0	8.7	6.3	—
40～49歳	159	73.0	22.6	8.8	3.1	18.2	6.3	5.0	8.8	5.7	24.5	5.0	4.4	—
50～59歳	150	68.0	16.7	8.7	1.3	17.3	2.7	3.3	12.7	3.3	17.3	2.0	4.7	2.0
60～64歳	62	58.1	12.9	8.1	1.6	25.8	4.8	8.1	14.5	6.5	22.6	4.8	8.1	1.6
65～69歳	76	46.1	11.8	3.9	1.3	28.9	1.3	5.3	25.0	2.6	19.7	—	5.3	10.5
70～74歳	77	22.1	13.0	5.2	1.3	29.9	1.3	9.1	39.0	1.3	31.2	1.3	1.3	6.5
75歳以上	135	15.6	9.6	5.2	1.5	18.5	1.5	0.7	57.0	0.7	16.3	—	6.7	13.3

問 29 で「参加したことはない」とお答えの方に伺います

問 29－ 6． ボランティアや市民活動に参加するとしたら、どのような内容の活動に参加したいですか。（あてはまるものすべてに○）

「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」の割合が 18.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 17.6%、「子どもの健全育成、子育て支援を図る活動」の割合が 16.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「健康、医療の増進を図る活動」「福祉（介護、高齢者福祉、障害者福祉など）の増進を図る活動」「子どもの健全育成、子育て支援を図る活動」「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」「生涯学習の推進を図る活動」「地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動」「国際協力の活動」「被災者支援・復興支援に関する活動」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」「地域の防犯・防災活動」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「子どもの健全育成、子育て支援を図る活動」「わからない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	健康、医療の増進を図る活動	福祉（介護、高齢者福祉、障害者福祉など）の増進を図る活動	子どもの健全育成、子育て支援を図る活動	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	生涯学習の推進を図る活動	地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動	地域の防犯・防災活動	まちづくり（地域活性化、地域情報発信など）の推進を図る活動	国際協力の活動	被災者支援・復興支援に関する活動	その他	わからない	無回答
男性	375	9.3	8.3	12.3	23.5	11.5	17.6	16.8	10.4	5.3	11.2	2.7	13.9	26.9
女性	480	13.5	13.3	20.0	15.2	6.9	15.4	7.7	6.9	5.2	11.0	1.9	20.4	26.7

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、18～19歳、20～29歳、30～39歳で「子どもの健全育成、子育て支援を図る活動」の割合が高くなっています。

単位：％

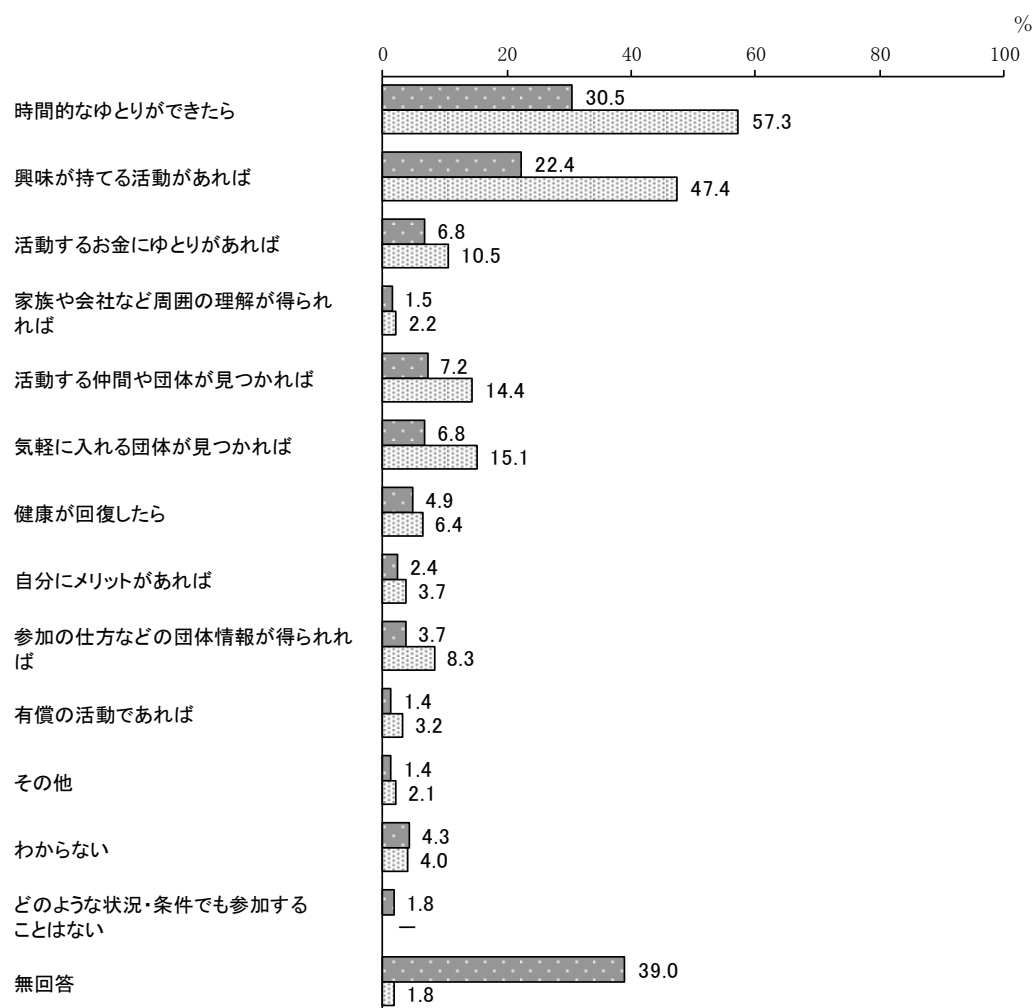
区分	回答者数 (件)	健康、医療の増進を図る活動	福祉（介護、高齢者福祉、障害者福祉など）の増進を図る活動	子どもの健全育成、子育て支援を図る活動	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	生涯学習の推進を図る活動	地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動	地域の防犯・防災活動	まちづくり（地域活性化、地域情報発信など）の推進を図る活動	国際協力の活動	被災者支援・復興支援に関する活動	その他	わからない	無回答
18～19歳	14	7.1	—	28.6	35.7	—	—	14.3	7.1	—	21.4	—	14.3	28.6
20～29歳	61	6.6	6.6	27.9	37.7	6.6	16.4	14.8	13.1	3.3	21.3	3.3	11.5	21.3
30～39歳	126	8.7	4.8	33.3	23.0	7.9	19.0	10.3	8.7	10.3	15.1	2.4	18.3	17.5
40～49歳	159	16.4	15.7	21.4	22.0	8.8	18.2	12.6	8.8	8.8	17.0	2.5	22.0	17.0
50～59歳	150	16.7	16.7	13.3	20.0	10.7	20.0	13.3	10.7	5.3	8.0	1.3	17.3	22.0
60～64歳	62	9.7	12.9	9.7	19.4	12.9	12.9	14.5	8.1	1.6	8.1	1.6	19.4	24.2
65～69歳	76	10.5	10.5	6.6	15.8	9.2	21.1	14.5	5.3	3.9	9.2	—	11.8	36.8
70～74歳	77	11.7	7.8	13.0	13.0	13.0	14.3	13.0	9.1	2.6	5.2	—	11.7	36.4
75歳以上	135	7.4	9.6	3.7	4.4	5.2	8.9	5.2	5.2	1.5	3.7	5.2	20.7	45.2

問 29 で「参加したことはない」とお答えの方に伺います

問 29－7. どのような状況・条件になればボランティアや市民活動に参加すると思いますか。(〇は2つまで)

「時間的なゆとりができたなら」の割合が 30.5%と最も高く、次いで「興味を持てる活動があれば」の割合が 22.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「時間的なゆとりができたなら」「興味を持てる活動があれば」「活動する仲間や団体が見つければ」「気軽に入れる団体が見つければ」の割合が減少しています。



※平成 25 年度調査には「どのような状況・条件でも参加することはない」の選択肢はありませんでした。

【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：％

区分	有効回答数（件）	時間的なゆとりができれば	興味を持てる活動があれば	活動するお金にゆとりがあれば	家族や会社など周囲の理解が得られれば	活動する仲間や団体が見つかれば	気軽に入れる団体がみつければ	健康が回復したら	自分にメリットがあれば	参加の仕方などの団体情報が得られれば	有償の活動であれば	その他	わからない	どのような状況・条件でも参加することはない	無回答
男性	375	28.3	21.9	6.9	1.6	6.1	8.0	4.5	3.2	2.7	1.6	1.9	4.5	2.7	39.2
女性	480	32.5	22.9	6.7	1.5	8.1	6.0	5.2	1.9	4.6	1.3	1.0	4.2	1.3	38.3

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30～39 歳、40～49 歳、50～59 歳で「時間的なゆとりができれば」の割合が高くなっています。また、18～19 歳で「興味を持てる活動があれば」の割合が高くなっています。

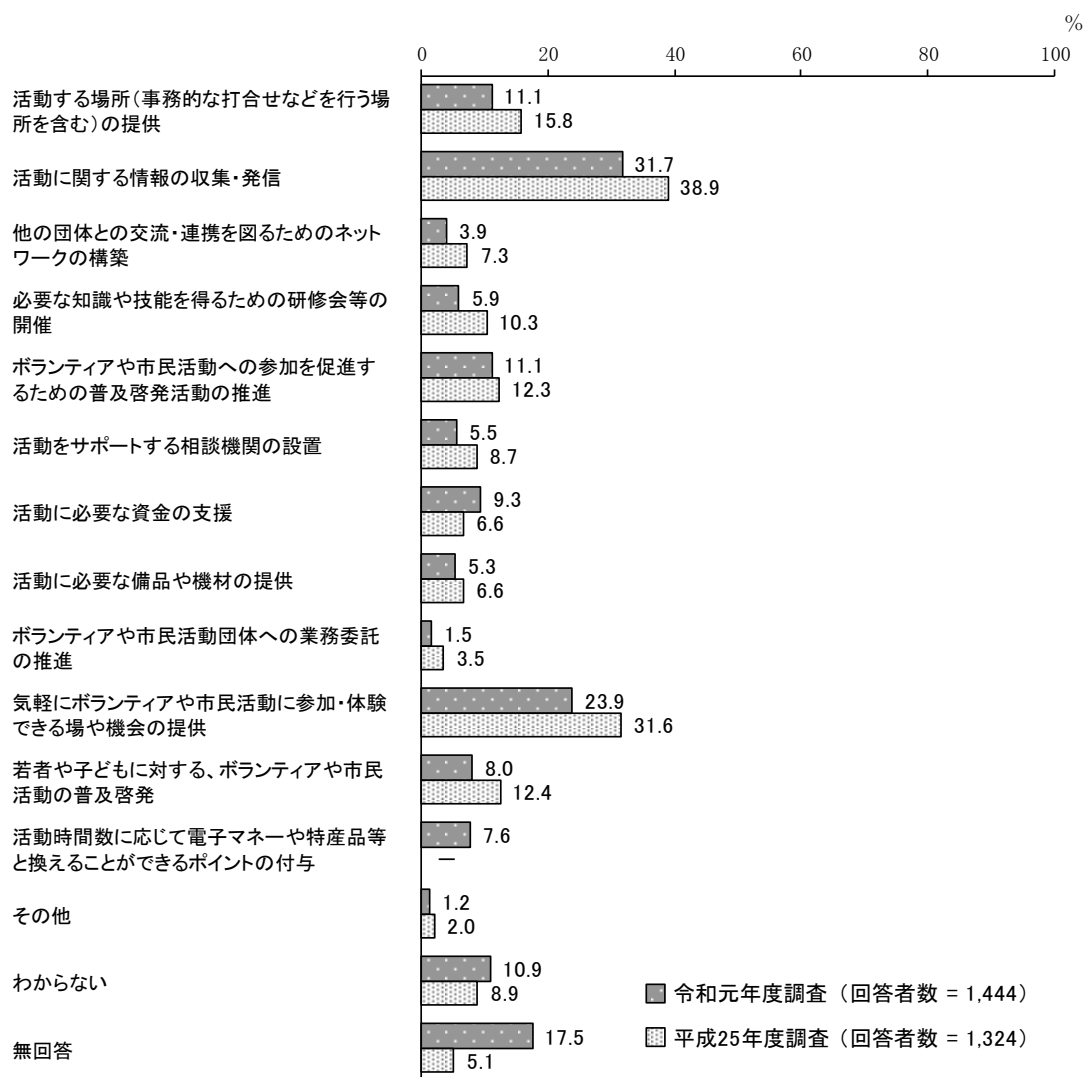
単位：％

区分	回答者数（件）	時間的なゆとりができれば	興味を持てる活動があれば	活動するお金にゆとりがあれば	家族や会社など周囲の理解が得られれば	活動する仲間や団体が見つかれば	気軽に入れる団体がみつければ	健康が回復したら	自分にメリットがあれば	参加の仕方などの団体情報が得られれば	有償の活動であれば	その他	わからない	どのような状況・条件でも参加することはない	無回答
18～19 歳	14	21.4	50.0	—	—	7.1	—	—	7.1	14.3	—	—	—	—	42.9
20～29 歳	61	36.1	27.9	11.5	1.6	8.2	1.6	1.6	6.6	4.9	3.3	—	1.6	1.6	34.4
30～39 歳	126	43.7	15.1	7.9	0.8	7.9	7.9	0.8	0.8	4.0	1.6	4.0	5.6	1.6	33.3
40～49 歳	159	42.8	25.2	10.1	1.3	3.8	4.4	3.1	2.5	1.9	2.5	0.6	6.9	2.5	32.7
50～59 歳	150	43.3	28.0	8.0	1.3	3.3	8.7	2.0	4.7	4.0	0.7	0.7	4.0	1.3	34.0
60～64 歳	62	30.6	24.2	8.1	1.6	14.5	12.9	4.8	3.2	—	—	1.6	1.6	—	37.1
65～69 歳	76	23.7	17.1	5.3	2.6	11.8	6.6	5.3	1.3	7.9	—	—	3.9	—	47.4
70～74 歳	77	7.8	22.1	2.6	5.2	10.4	9.1	11.7	1.3	2.6	3.9	1.3	3.9	—	42.9
75 歳以上	135	5.9	16.3	1.5	—	6.7	5.9	11.9	—	3.7	—	2.2	3.7	5.2	51.9

問 30. 今後、ボランティアや市民活動をさらに活性化していくために、市はどのような施策を展開することが望ましいと思いますか。（〇は2つまで）

「活動に関する情報の収集・発信」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「気軽にボランティアや市民活動に参加・体験できる場や機会の提供」の割合が 23.9%、「活動する場所（事務的な打合せなどを行う場所を含む）の提供」「ボランティアや市民活動への参加を促進するための普及啓発活動の推進」の割合が 11.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「活動に関する情報の収集・発信」「気軽にボランティアや市民活動に参加・体験できる場や機会の提供」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「活動時間数に応じて電子マネーや特産品等と換えることができるポイントの付与」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、18～19 歳、50～59 歳で「活動に関する情報の収集・発信」の割合が、60～64 歳、65～69 歳で「気軽にボランティアや市民活動に参加・体験できる場や機会の提供」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	活動時間数に応じて電子マネーや特産品等と換えることができるポイントの付与	活動に関する情報の収集・発信	活動する場所（事務的な打合せなどを行う場所を含む）の提供	他の団体との交流・連携を図るためのネットワークの構築	必要な知識や技能を得るための研修会等の開催	ボランティアや市民活動への参加を促進するための普及啓発活動の推進	活動をサポートする相談機関連の設置	活動に必要な資金の支援	活動に必要な備品や機材の提供	ボランティアや市民活動団体への業務委託の推進	気軽にボランティアや市民活動に参加・体験できる場や機会の提供	市民活動の普及啓発	若者や子どもに対する、ボランティアや市民活動の普及啓発	活動時間数に応じて電子マネーや特産品等と換えることができるポイントの付与	その他	わからない	無回答
18～19 歳	23	8.7	39.1	—	—	8.7	4.3	4.3	8.7	4.3	8.7	4.3	21.7	—	13.0	17.4		
20～29 歳	108	13.0	32.4	5.6	0.9	6.5	1.9	14.8	4.6	—	18.5	13.9	21.3	1.9	9.3	13.9		
30～39 歳	172	9.3	32.0	2.3	4.1	7.0	2.9	10.5	6.4	2.3	24.4	9.3	11.6	1.7	9.3	19.2		
40～49 歳	286	12.2	29.7	7.0	3.1	9.4	4.5	10.8	8.7	1.0	23.4	9.4	9.4	1.4	11.9	14.3		
50～59 歳	231	13.0	39.8	5.2	7.4	11.7	7.4	10.0	6.1	2.2	25.5	8.7	6.1	1.7	9.1	9.5		
60～64 歳	101	15.8	35.6	4.0	8.9	14.9	7.9	8.9	4.0	1.0	31.7	7.9	5.9	2.0	8.9	9.9		
65～69 歳	113	9.7	33.6	1.8	8.0	17.7	7.1	9.7	2.7	0.9	28.3	8.8	1.8	1.8	9.7	16.8		
70～74 歳	137	9.5	35.8	1.5	8.8	14.6	4.4	8.8	2.9	1.5	25.5	3.6	4.4	—	10.2	22.6		
75 歳以上	266	8.6	22.2	2.6	7.5	11.7	6.8	4.5	3.4	1.5	20.3	4.9	2.6	0.4	14.7	28.2		

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、南部、西部で「活動に関する情報の収集・発信」の割合が高くなっています。

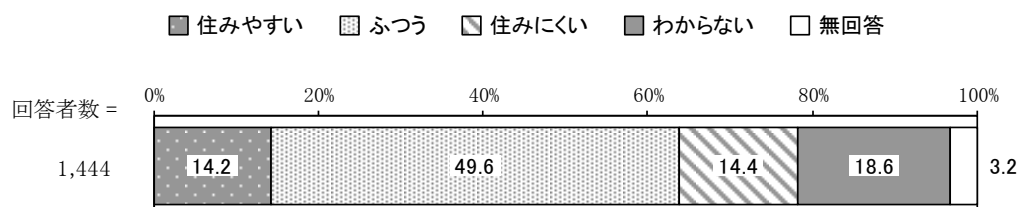
単位：％

区分	回答者数（件）	活動する場所（事務的な打合せなどを行う場所を含む）の提供	活動に関する情報の収集・発信	他の団体との交流・連携を図るためのネットワークの構築	必要な知識や技能を得るための研修会等の開催	ボランティアや市民活動への参加を促進するための普及啓発活動の推進	活動をサポートする相談機関の設置	活動に必要な資金の支援	活動に必要な備品や機材の提供	委託の推進	ボランティアや市民活動団体への業務委託の推進	気軽にボランティアや市民活動に参加・体験できる場や機会の提供	市民活動の普及啓発	若者や子どもに対する、ボランティアや市民活動の普及啓発	活動時間数に応じて電子マネーや特産品等と換えることができるポイントの付与	その他	わからない	無回答
南部	262	10.3	34.4	3.8	5.3	9.5	4.6	9.9	6.5	1.5	21.8	5.7	8.0	0.8	11.1	18.7		
西部	331	13.0	34.7	4.5	6.6	10.6	3.0	8.2	3.9	0.9	27.2	7.3	9.4	1.8	11.5	13.6		
中部	191	6.8	31.4	3.1	7.3	9.4	4.2	6.3	2.6	3.1	24.1	11.5	8.4	1.0	9.9	21.5		
東部	393	11.2	29.0	3.3	4.8	13.7	8.1	10.7	7.6	1.0	21.6	9.9	7.1	2.0	9.2	17.6		
北部	251	12.4	29.5	4.8	5.6	10.8	6.4	9.6	4.4	1.6	24.7	6.0	5.6	—	13.5	18.7		

(6) その他

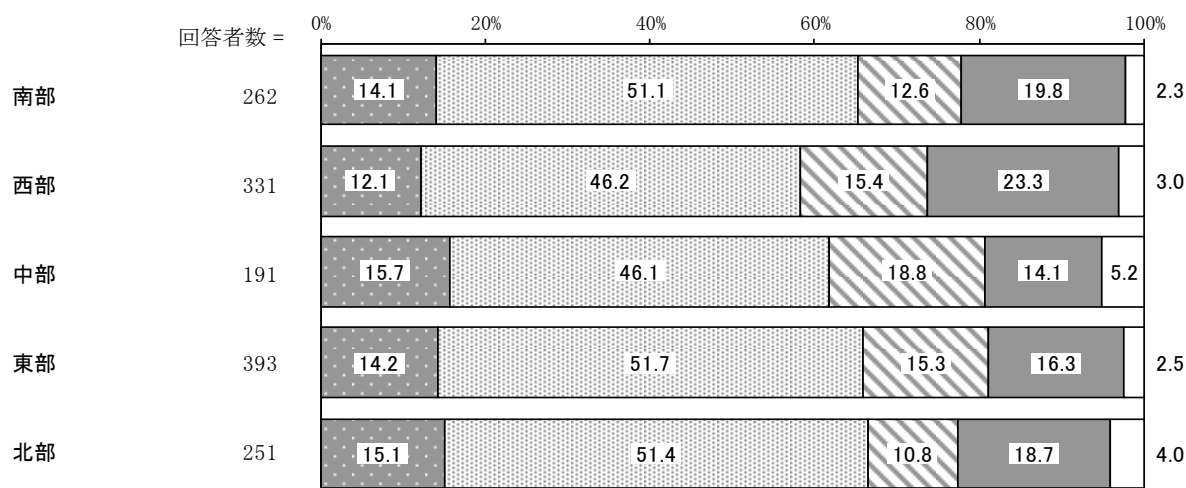
問 31. 船橋市は、高齢者・障害のある方・子どもにとって住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

「ふつう」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 18.6%、「住みにくい」の割合が 14.4%となっています。



【地区別】

地区別でみると、他に比べ、中部で「住みにくい」の割合が高くなっています。

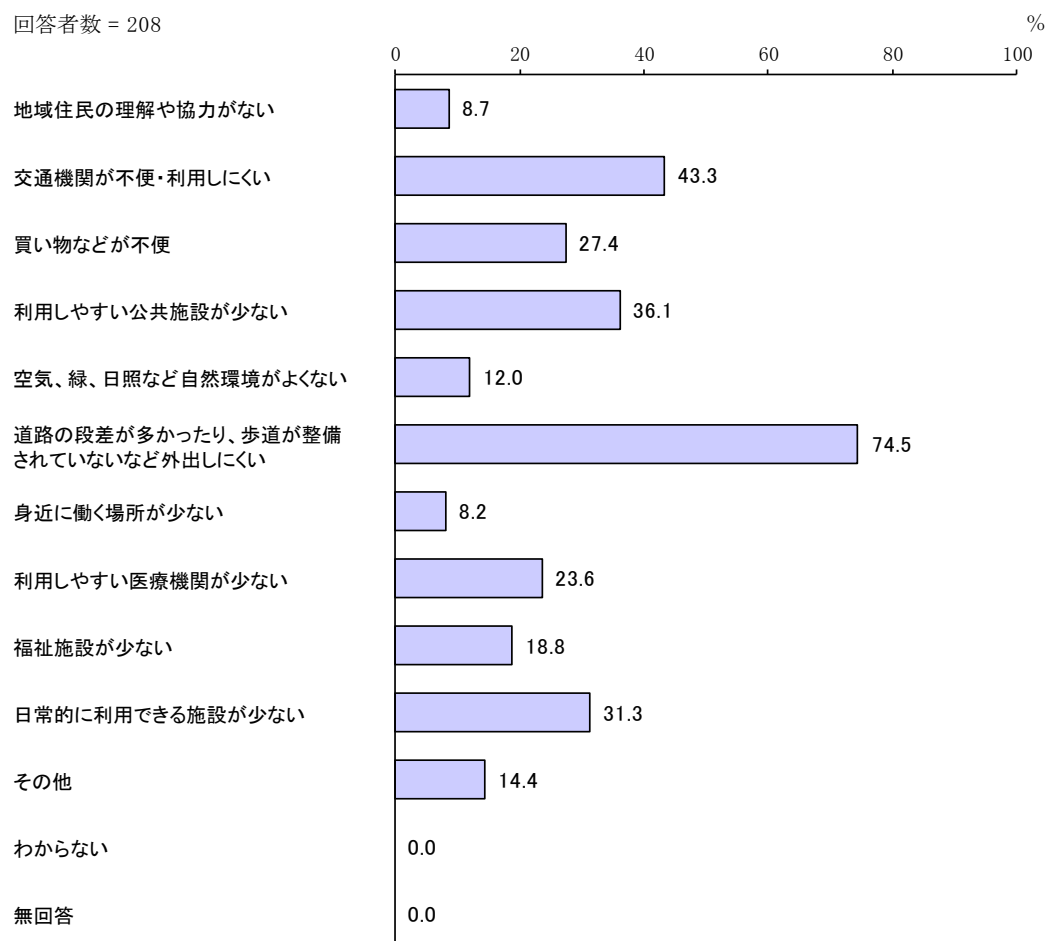


問 31 で「住みにくい」とお答えの方に伺います

問 31－1 . 住みにくいと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「道路の段差が多かったり、歩道が整備されていないなど外出しにくい」の割合が 74.5%と最も高く、次いで「交通機関が不便・利用しにくい」の割合が 43.3%、「利用しやすい公共施設が少ない」の割合が 36.1%となっています。

回答者数 = 208



【地区別】

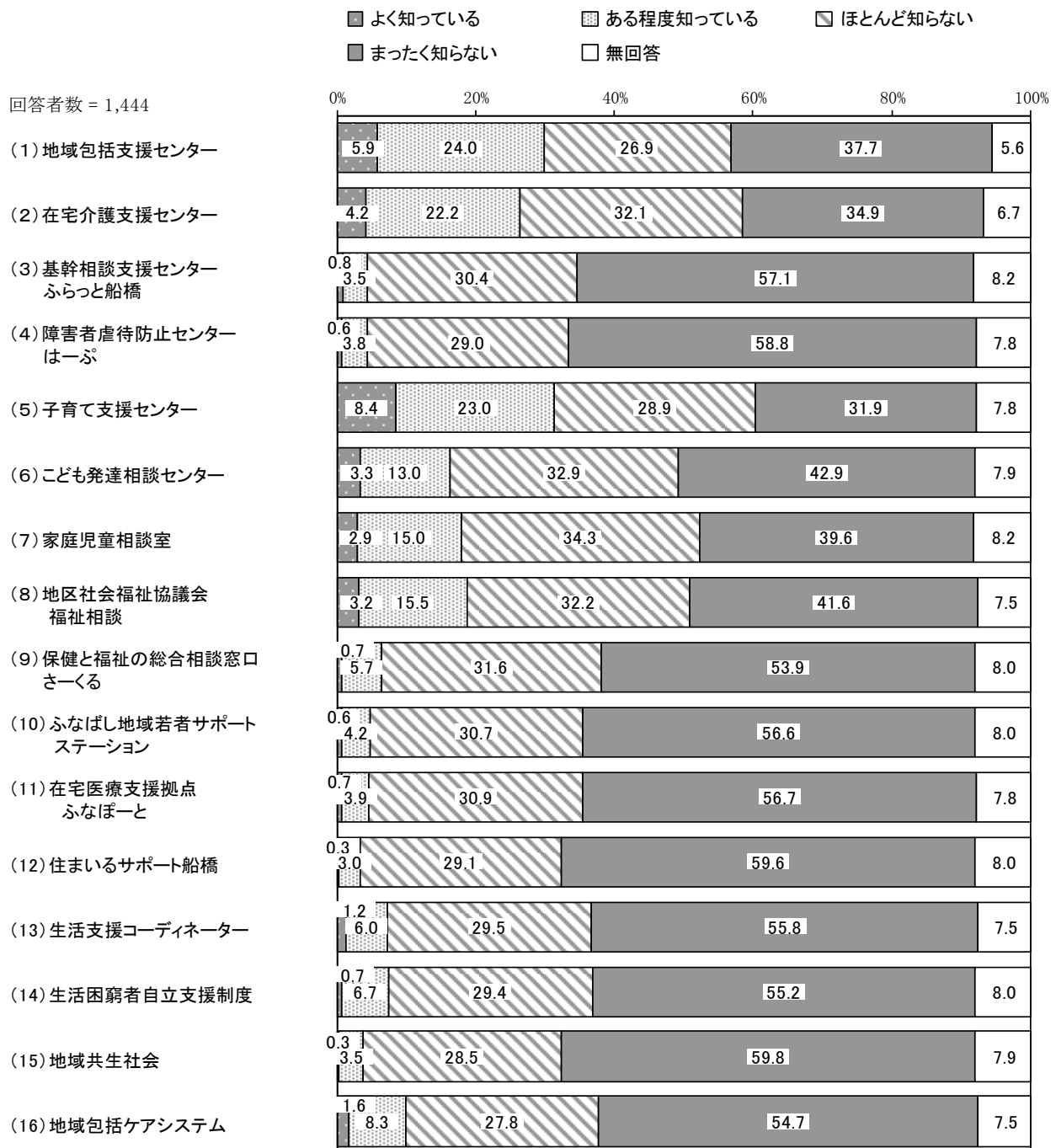
地区別でみると、他に比べ、西部、中部、東部で「道路の段差が多かったり、歩道が整備されていないなど外出しにくい」の割合が、中部、北部で「交通機関が不便・利用しにくい」の割合が高くなっています。また、中部で「利用しやすい公共施設が少ない」「日常的に利用できる施設が少ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	地域住民の理解や協力が ない	交通機関が不便・利用し にくい	買い物などが不便	利用しやすい公共施設が 少ない	空気、緑、日照など自然 環境がよくない	道路の段差が多かったり、 歩道が整備されていないなど 外出しにくい	身近に働く場所が少ない	利用しやすい医療機関が 少ない	福祉施設が少ない	日常的に利用できる施設が 少ない	その他	わからない	無回答
南部	33	6.1	24.2	27.3	27.3	27.3	57.6	9.1	33.3	21.2	18.2	15.2	—	—
西部	51	7.8	37.3	25.5	27.5	11.8	80.4	7.8	19.6	13.7	27.5	15.7	—	—
中部	36	5.6	58.3	30.6	47.2	5.6	80.6	5.6	22.2	19.4	41.7	5.6	—	—
東部	60	11.7	43.3	21.7	41.7	11.7	80.0	11.7	25.0	21.7	36.7	18.3	—	—
北部	27	11.1	59.3	37.0	37.0	3.7	66.7	3.7	18.5	18.5	29.6	14.8	—	—

問 32. あなたは、次の事業・相談窓口・制度等をどの程度ご存じですか。
(それぞれ1つだけ○)

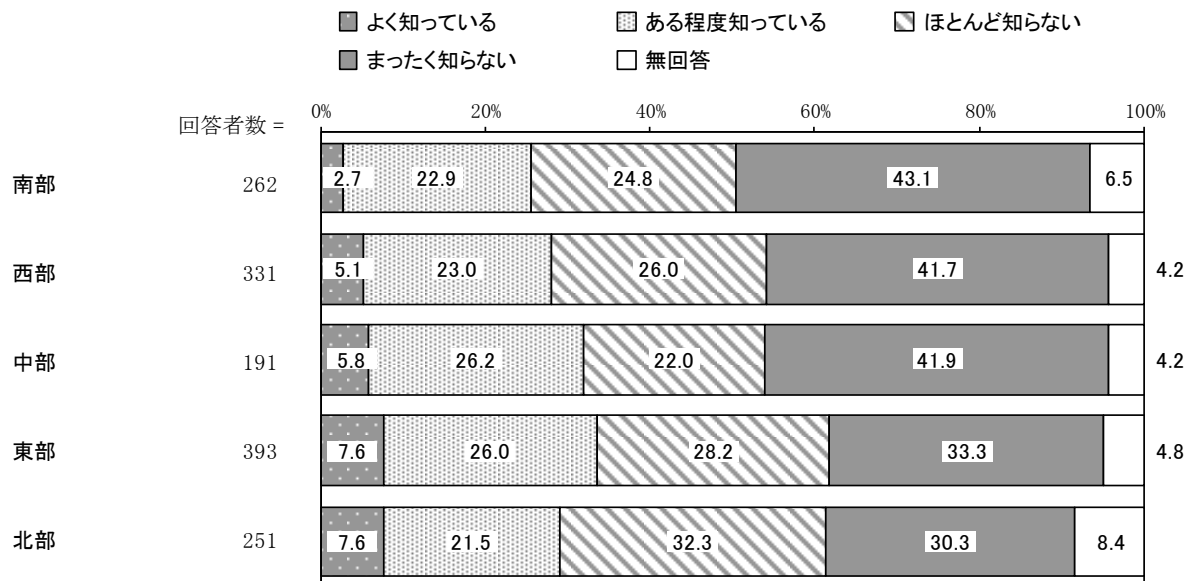
(1) 地域包括支援センター、(5) 子育て支援センターで「よく知っている」と「ある程度知っている」をあわせた“知っている”の割合が高く、約3割となっています。一方、(3) 基幹相談支援センター ふらっと船橋、(4) 障害者虐待防止センター は一ふ、(10) ふなばし地域若者サポートステーション、(11) 在宅医療支援拠点 ふなぽーと、(12) 住まいるサポート船橋、(15) 地域共生社会で「ほとんど知らない」と「まったく知らない」をあわせた“知らない”の割合が高く、約9割となっています。



（１）地域包括支援センター

【地区別】

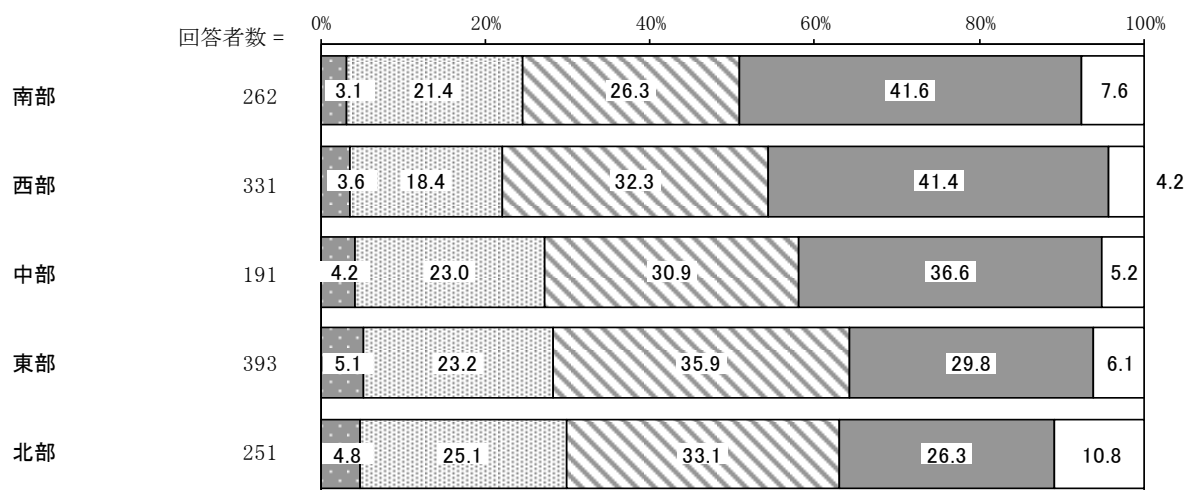
地区別でみると、他に比べ、南部、西部で“知らない”の割合が高くなっています。



（２）在宅介護支援センター

【地区別】

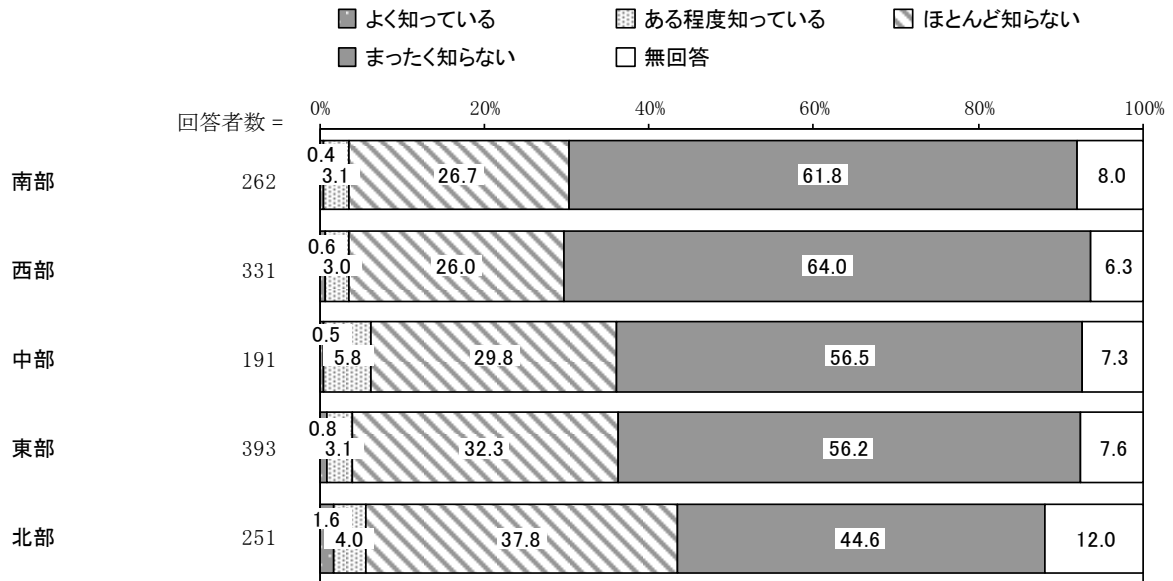
地区別でみると、他に比べ、中部、東部、北部で“知っている”の割合が高くなっています。また、西部で“知らない”の割合が高くなっています。



（３）基幹相談支援センター ふらっと船橋

【地区別】

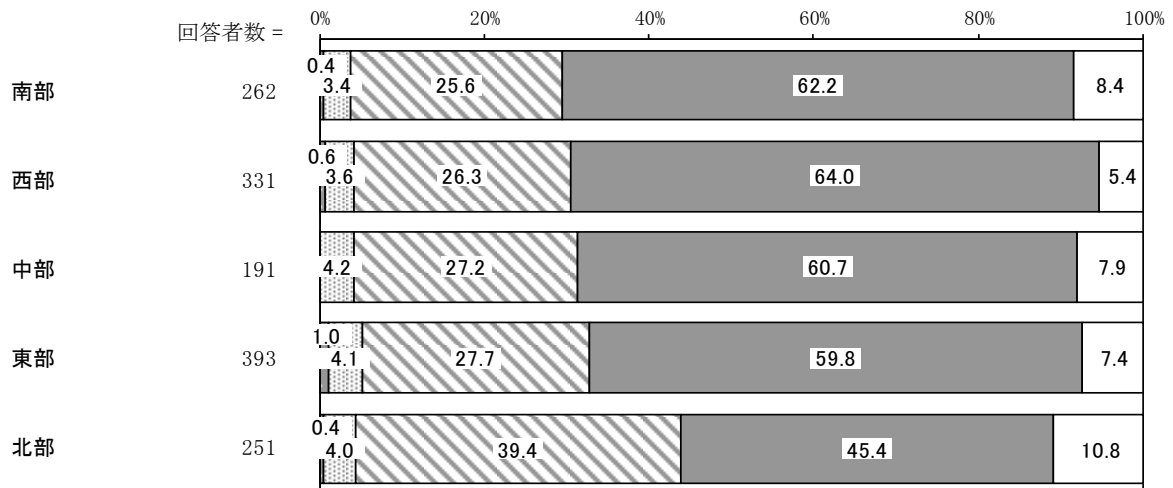
地区別でみると、他に比べ、北部で“知らない”の割合が低くなっています。



（４）障害者虐待防止センター は一ふ

【地区別】

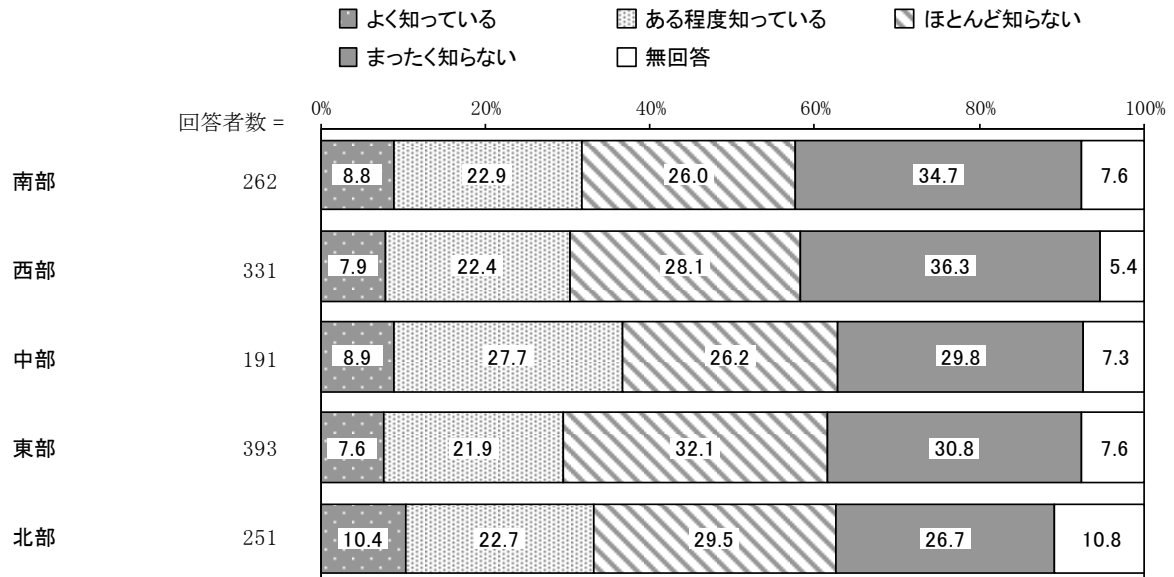
地区別でみると、他に比べ、大きな差異はみられません。



（５）子育て支援センター

【地区別】

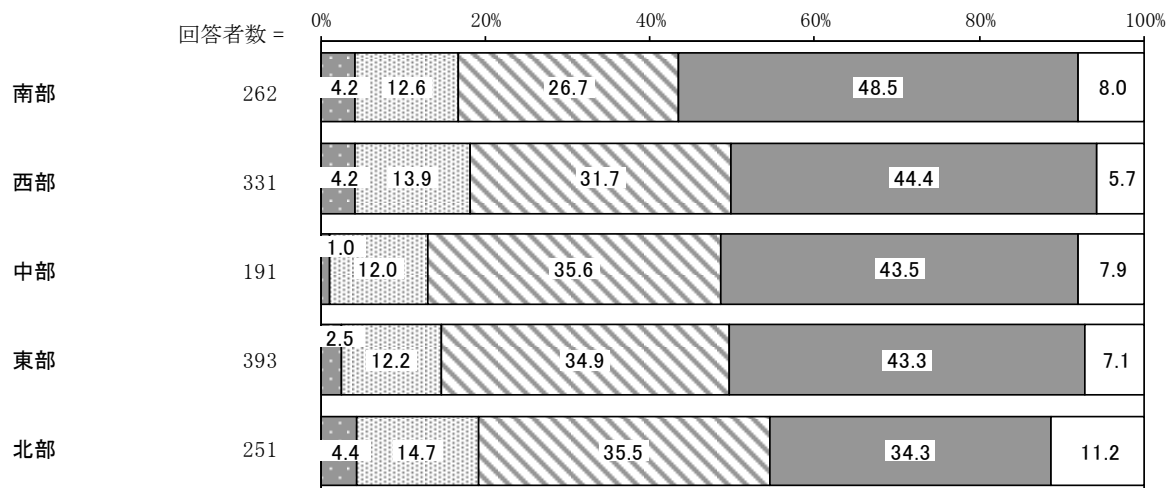
地区別でみると、他に比べ、中部で“知っている”の割合が高くなっています。また、西部で“知らない”の割合が高くなっています。



（６）こども発達相談センター

【地区別】

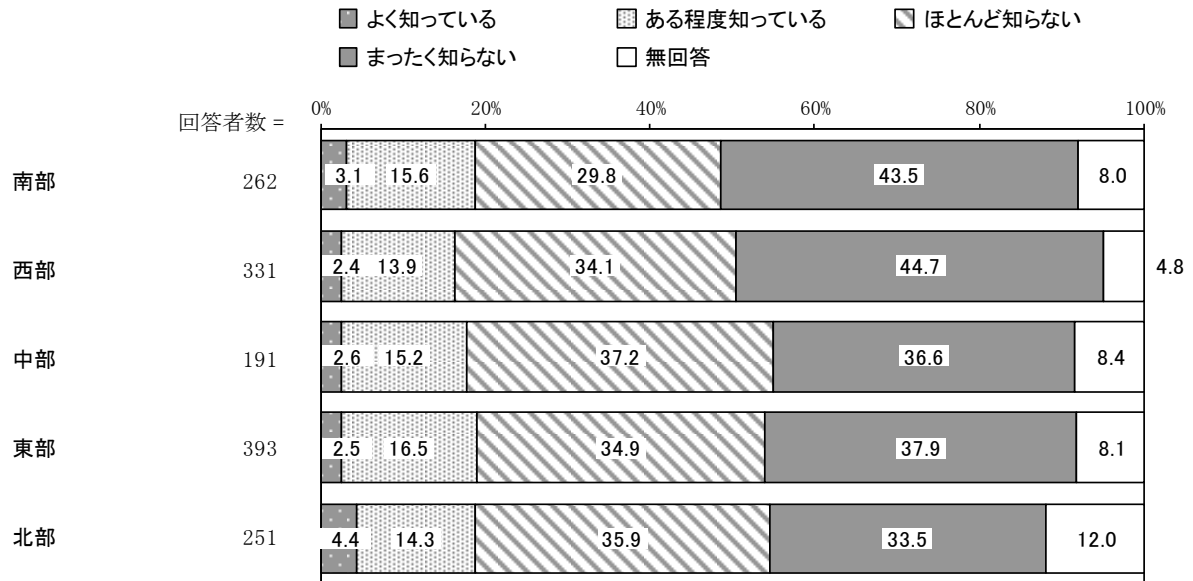
地区別でみると、他に比べ、北部で“知らない”の割合が低くなっています。



(7) 家庭児童相談室

【地区別】

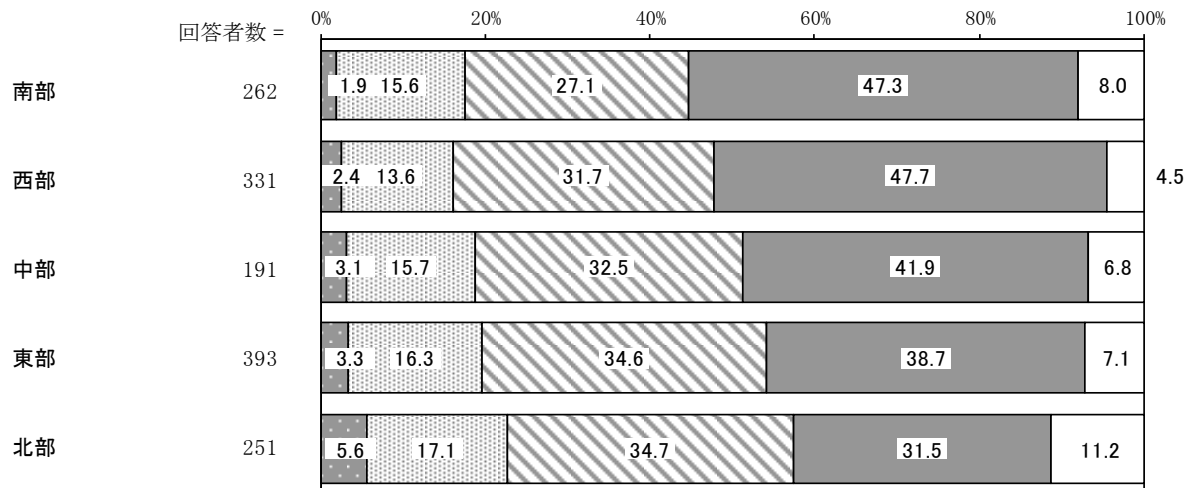
地区別でみると、他に比べ、西部で“知らない”の割合が高くなっています。



(8) 地区社会福祉協議会 福祉相談

【地区別】

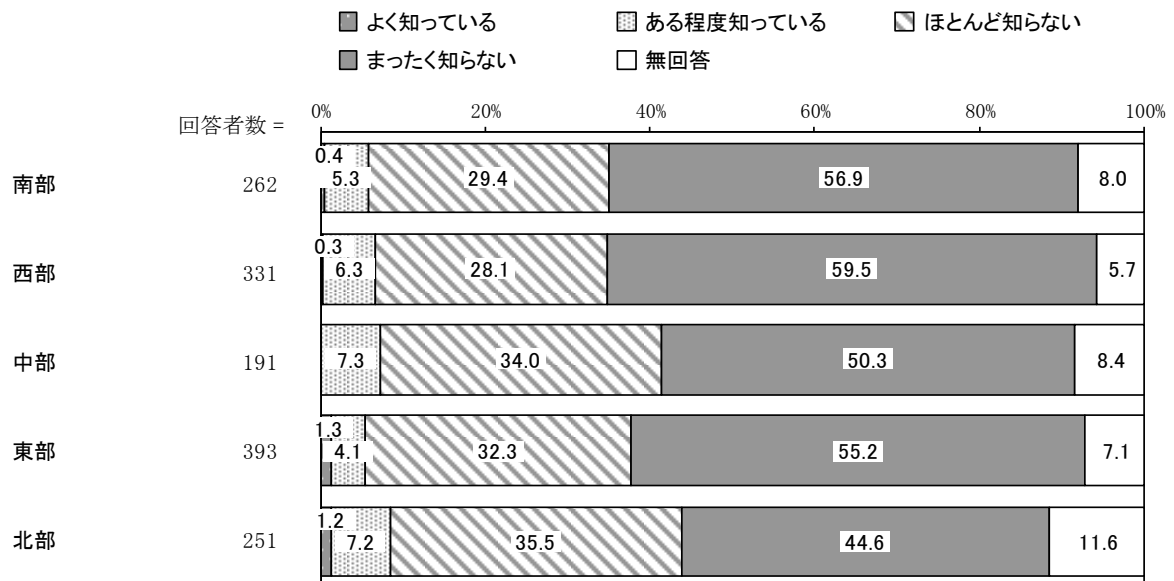
地区別でみると、他に比べ、北部で“知っている”の割合が高くなっています。



(9) 保健と福祉の総合相談窓口 さーくる

【地区別】

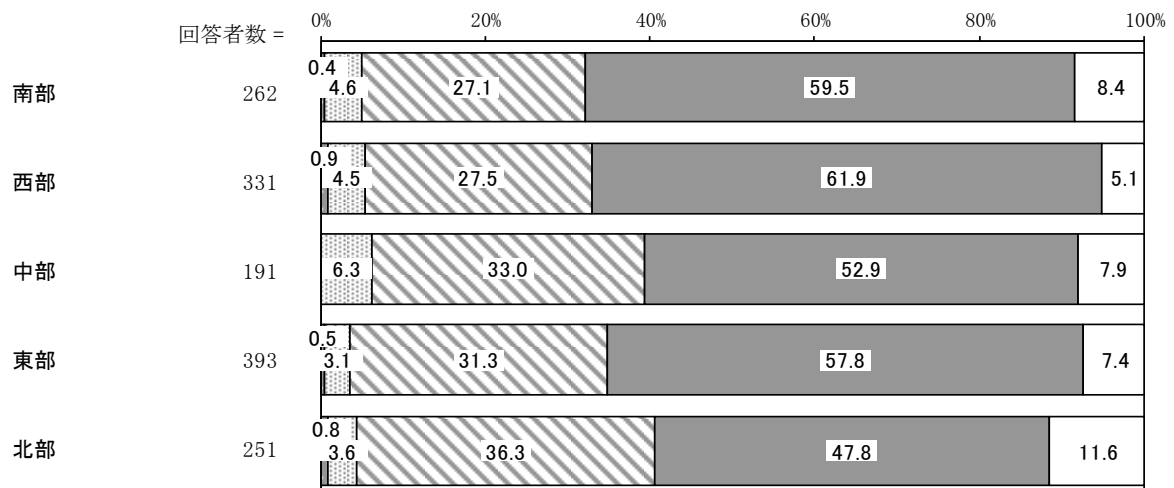
地区別でみると、他に比べ、北部で“知らない”の割合が低くなっています。



(10) ふなばし地域若者サポートステーション

【地区別】

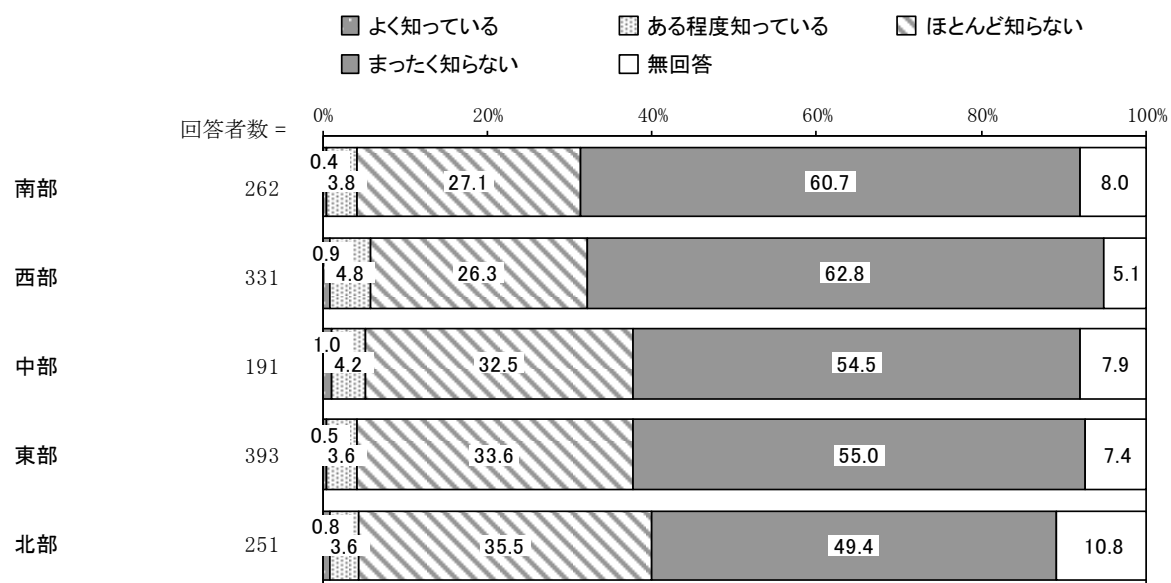
地区別でみると、他に比べ、北部で“知らない”の割合が低くなっています。



(11) 在宅医療支援拠点 ふなぼーと

【地区別】

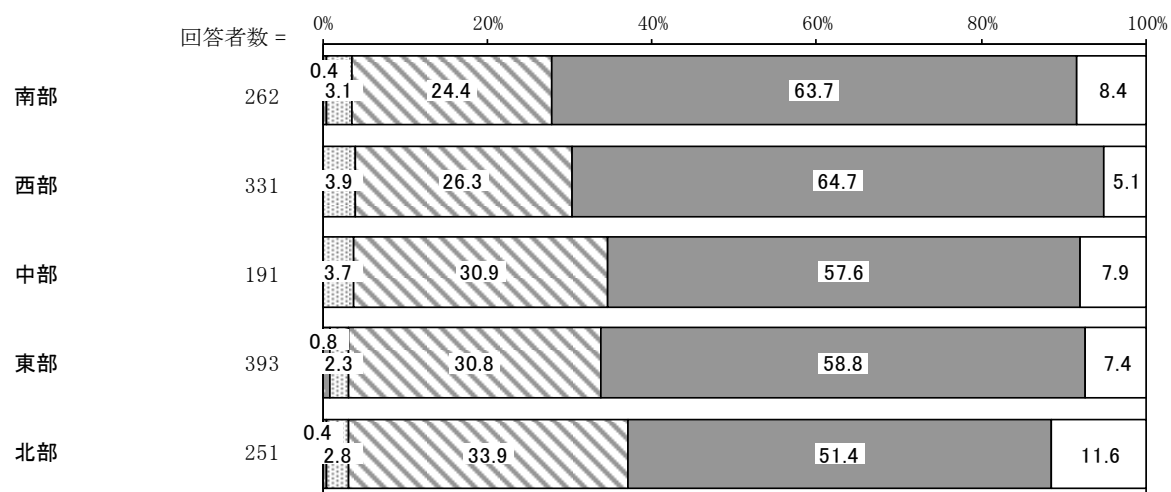
地区別でみると、大きな差異はみられません。



(12) 住まいるサポート船橋

【地区別】

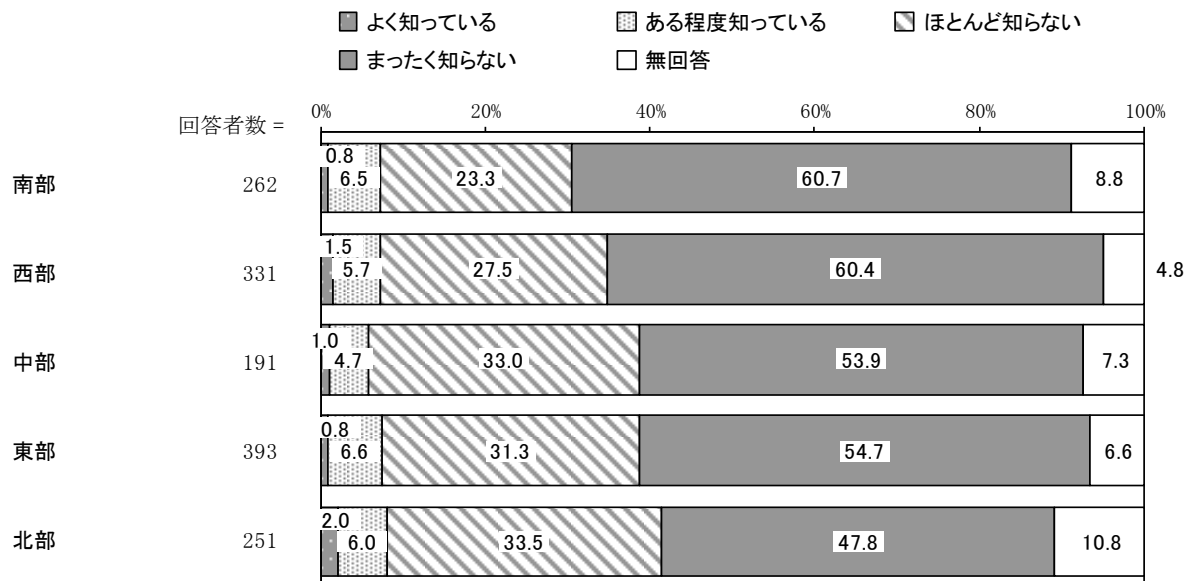
地区別でみると、大きな差異はみられません。



(13) 生活支援コーディネーター

【地区別】

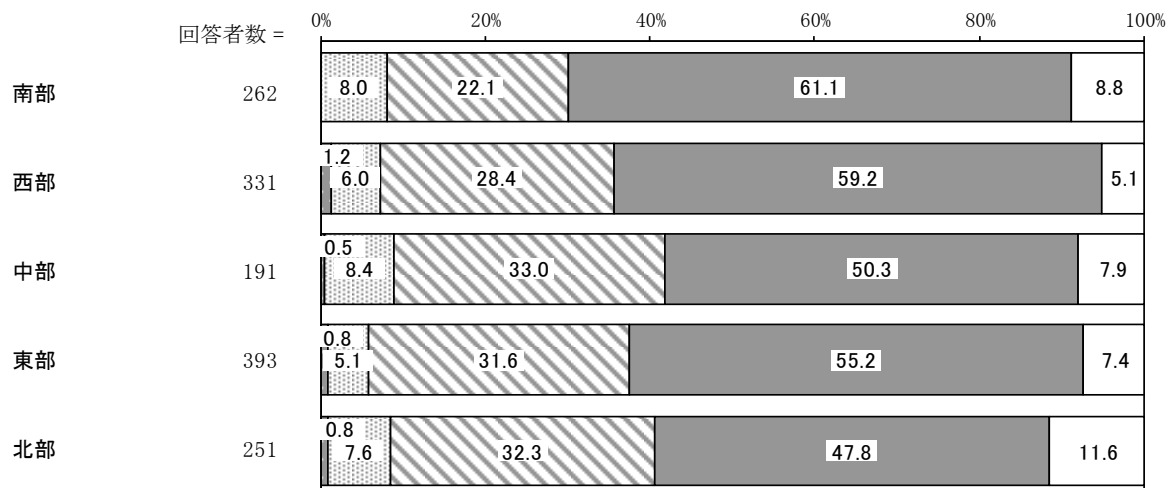
地区別でみると、他に比べ、北部で“知らない”の割合が低くなっています。



(14) 生活困窮者自立支援制度

【地区別】

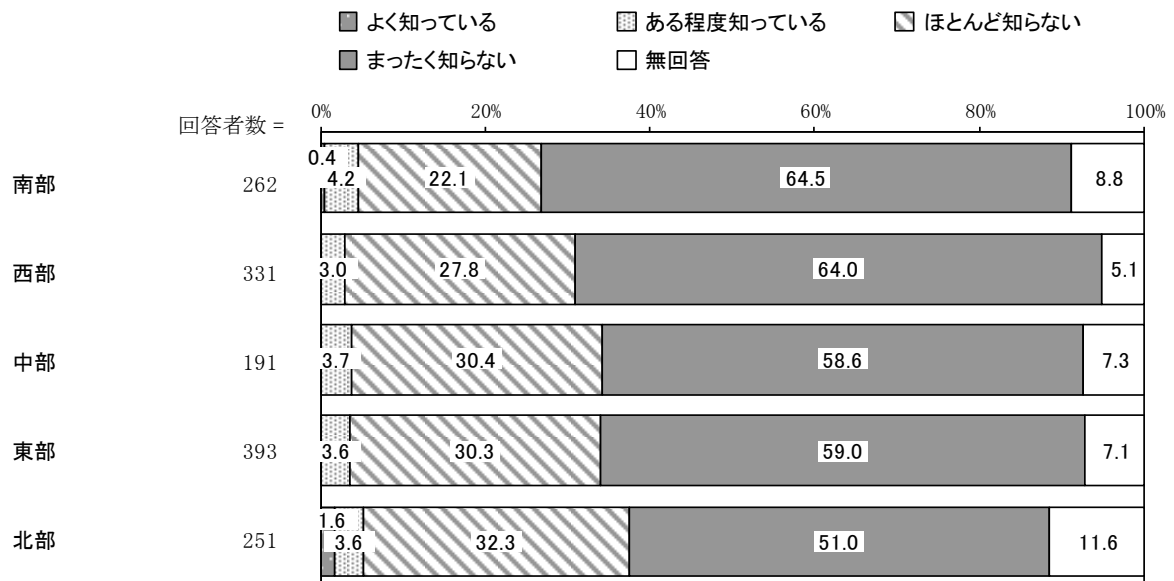
地区別でみると、他に比べ、西部で“知らない”の割合が高くなっています。



(15) 地域共生社会

【地区別】

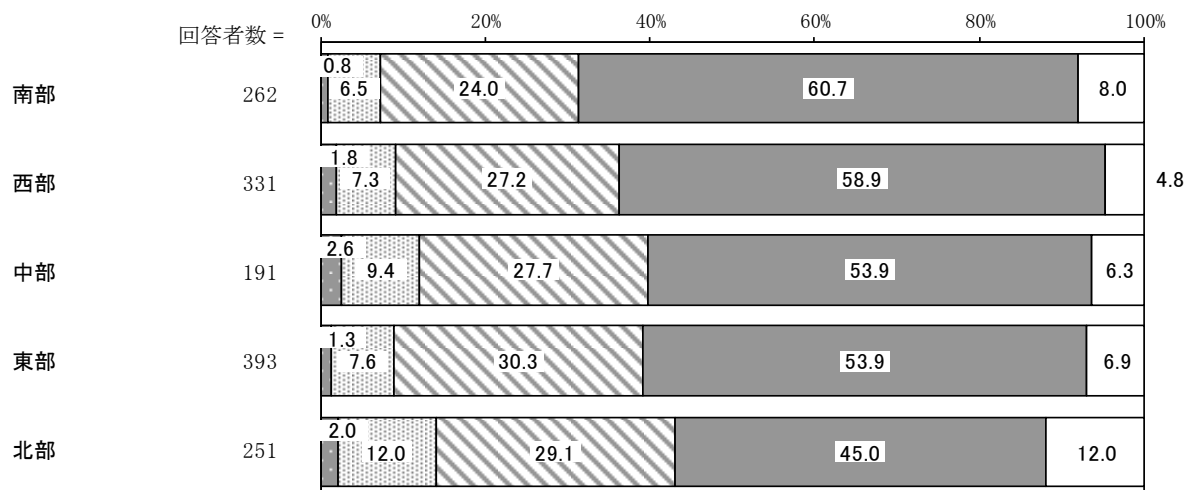
地区別でみると、他に比べ、北部で“知らない”の割合が低くなっています。



(16) 地域包括ケアシステム

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、中部、北部で“知っている”の割合が高くなっています。

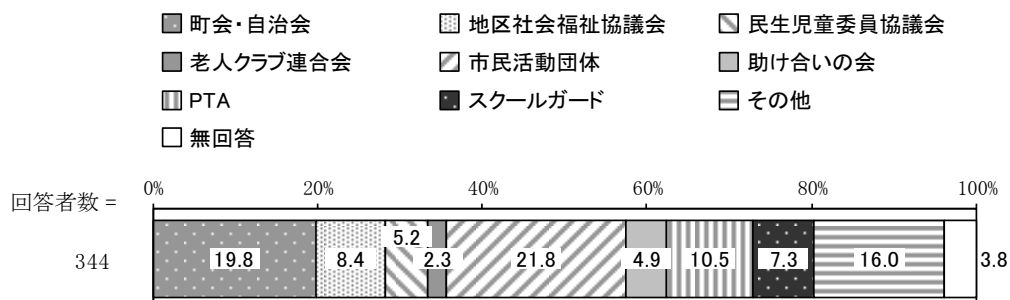


2 団体調査結果

(1) 回答者属性

問1. 貴団体の種類を教えてください。(〇は1つだけ)

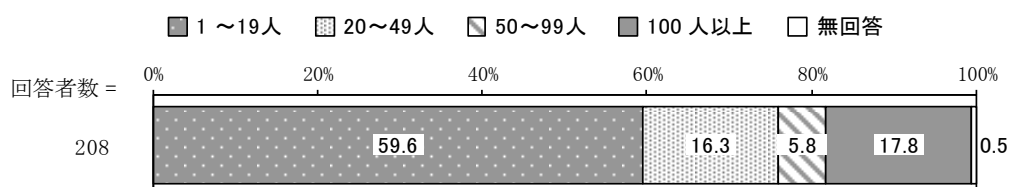
「市民活動団体」の割合が21.8%と最も高く、次いで「町会・自治会」の割合が19.8%、「PTA」の割合が10.5%となっています。



(問1で「市民活動団体」～「その他」のいずれかにお答えの団体に)

問2. 貴団体の活動人数(名簿登録者数)を教えてください。(〇は1つだけ)

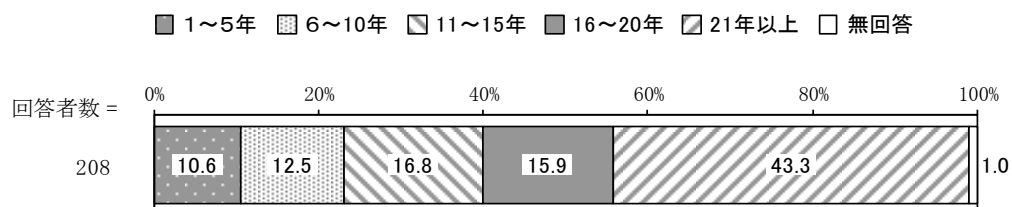
「1～19人」の割合が59.6%と最も高く、次いで「100人以上」の割合が17.8%、「20～49人」の割合が16.3%となっています。



(問1で「市民活動団体」～「その他」のいずれかにお答えの団体に)

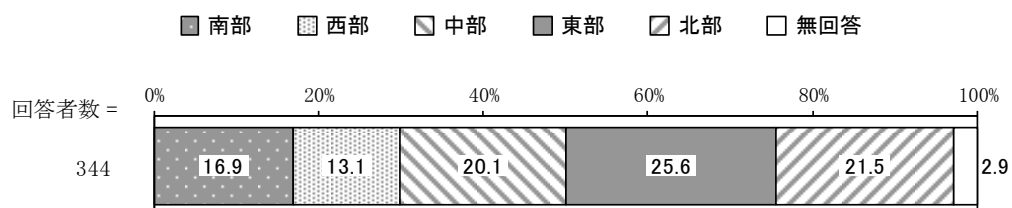
問2-1. 貴団体は活動を始めて何年になりますか。(○は1つだけ)

「21年以上」の割合が43.3%と最も高く、次いで「11～15年」の割合が16.8%、「16～20年」の割合が15.9%となっています。



問3. 貴団体のある地区を伺います。(○は番号に1つだけ)

「東部」の割合が25.6%と最も高く、次いで「北部」の割合が21.5%、「中部」の割合が20.1%となっています。

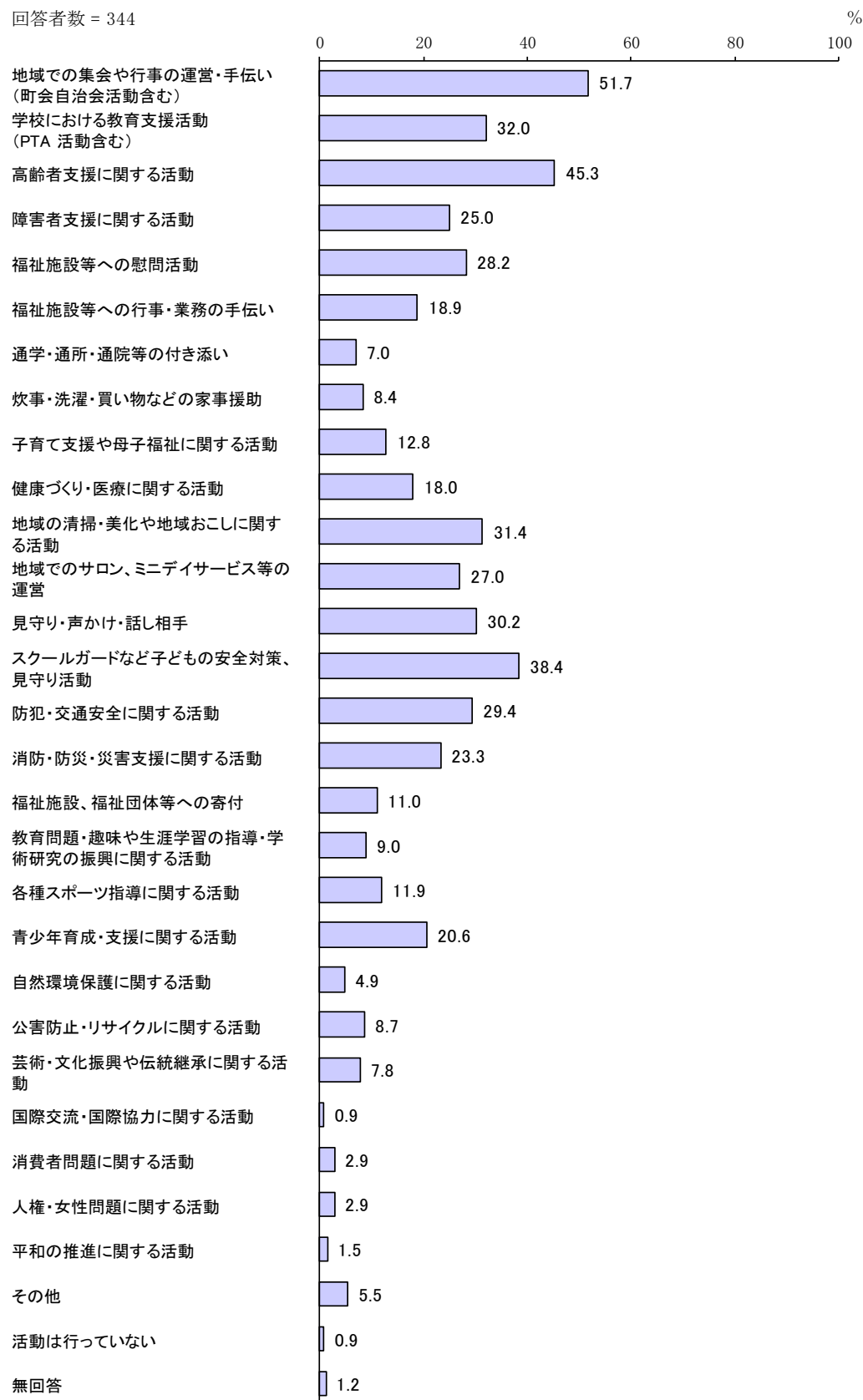


(2) ボランティア活動・市民活動・地域福祉活動等

問4. 貴団体は現在、どのような活動をしていますか。(〇はいくつでも)

「地域での集会や行事の運営・手伝い（町会自治会活動含む）」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「高齢者支援に関する活動」の割合が 45.3%、「スクールガードなど子どもの安全対策、見守り活動」の割合が 38.4%となっています。

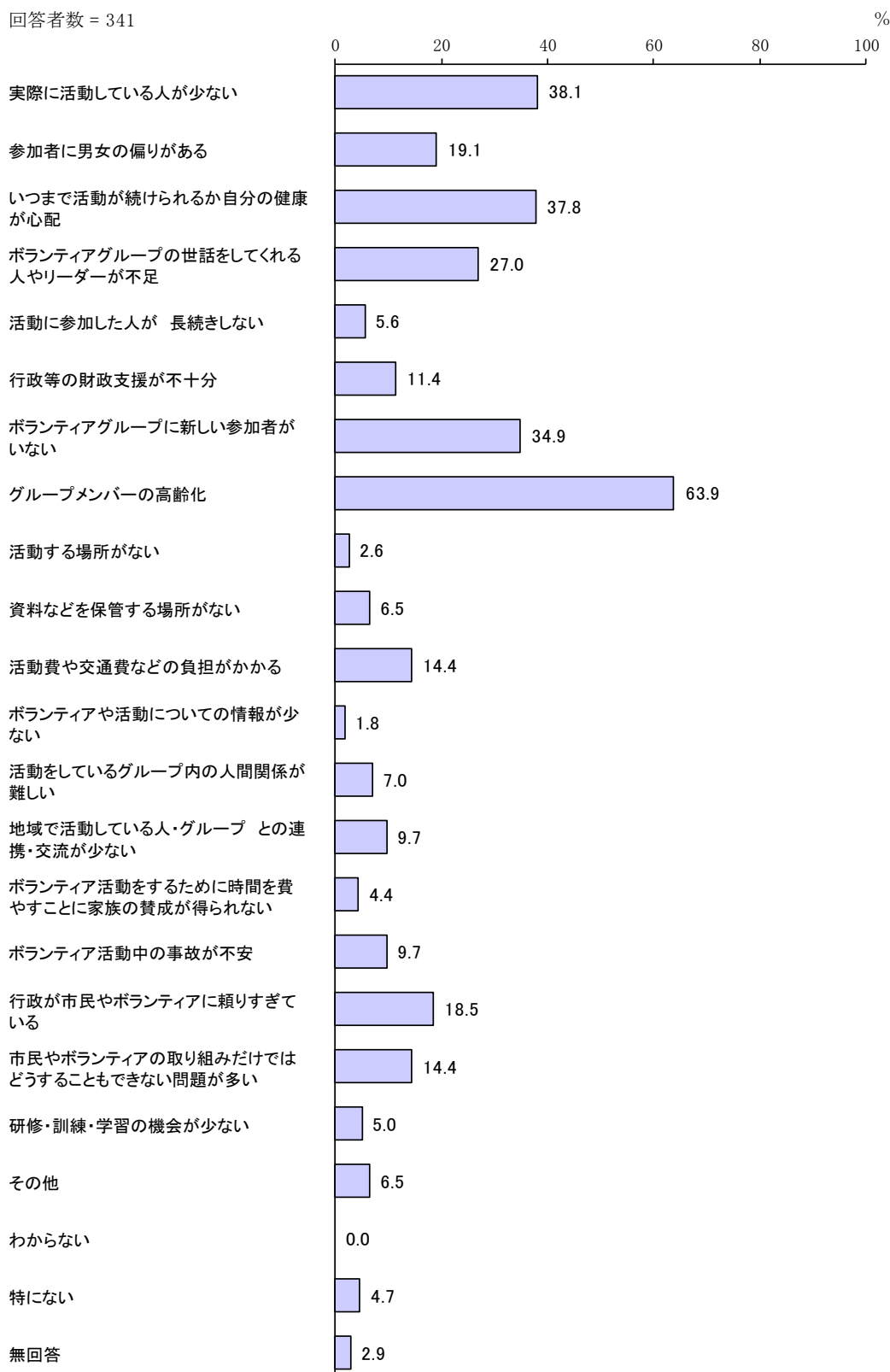
回答者数 = 344



問5. 貴団体の活動のなかで、日ごろ感じていることや困っていること、悩んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

「グループメンバーの高齢化」の割合が63.9%と最も高く、次いで「実際に活動している人が少ない」の割合が38.1%、「いつまで活動が続けられるか自分の健康が心配」の割合が37.8%となっています。

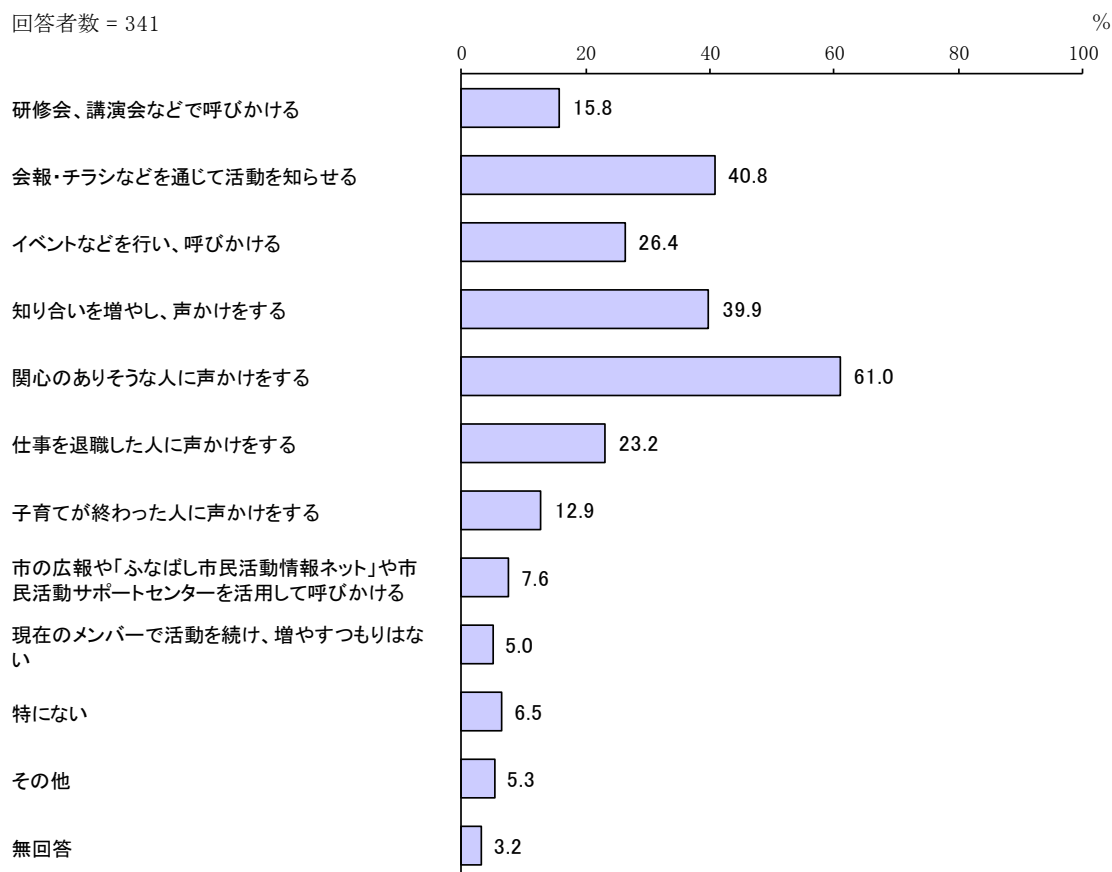
回答者数 = 341



問6. 活動の担い手を増やす工夫として、貴団体が現在していることはありますか。
(〇はいくつでも)

「関心のありそうな人に声かけをする」の割合が61.0%と最も高く、次いで「会報・チラシなどを通じて活動を知らせる」の割合が40.8%、「知り合いを増やし、声かけをする」の割合が39.9%となっています。

回答者数 = 341



【団体の種類別】

団体の種類別でみると、他に比べ、地区社会福祉協議会、老人クラブ連合会で「会報・チラシなどを通じて活動を知らせる」の割合が高くなっています。また、地区社会福祉協議会、市民活動団体で「研修会、講演会などで呼びかける」の割合が、地区社会福祉協議会で「イベントなどを行い、呼びかける」の割合が、民生児童委員協議会で「仕事を退職した人に声かけをする」「子育てが終わった人に声かけをする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	研修会、講演会などで呼びかける	会報・チラシなどを通じて活動を知らせる	イベントなどを行い、呼びかける	知り合いを増やし、声かけをする	関心のありそうな人に声かけをする	仕事を退職した人に声かけをする	子育てが終わった人に声かけをする	市の広報や「ふなばし市民活動情報ネット」や市民活動サポートセンターを活用して呼びかける	現在のメンバーで活動を続け、増やすつもりはない	特になし	その他	無回答
町会・自治会	68	11.8	51.5	39.7	42.6	66.2	42.6	23.5	1.5	1.5	4.4	1.5	1.5
地区社会福祉協議会	28	35.7	60.7	50.0	46.4	71.4	21.4	25.0	3.6	10.7	—	—	3.6
民生児童委員協議会	18	16.7	33.3	5.6	50.0	66.7	61.1	44.4	—	—	5.6	5.6	5.6
老人クラブ連合会	8	—	75.0	25.0	62.5	37.5	25.0	—	—	—	—	—	12.5
市民活動団体	74	28.4	35.1	21.6	31.1	59.5	10.8	4.1	17.6	8.1	6.8	4.1	1.4
助け合いの会	17	5.9	52.9	35.3	52.9	70.6	23.5	11.8	—	—	5.9	5.9	—
PTA	36	11.1	47.2	25.0	44.4	66.7	—	—	—	—	13.9	8.3	2.8
スクールガード	25	—	44.0	4.0	52.0	68.0	36.0	8.0	4.0	—	—	4.0	—
その他	54	11.1	18.5	18.5	27.8	46.3	9.3	5.6	16.7	13.0	11.1	13.0	3.7

【活動人数別】

活動人数別でみると、他に比べ、50～99 人で「研修会、講演会などで呼びかける」「会報・チラシなどを通じて活動を知らせる」「関心のありそうな人に声かけをする」「仕事を退職した人に声かけをする」の割合が高くなっています。

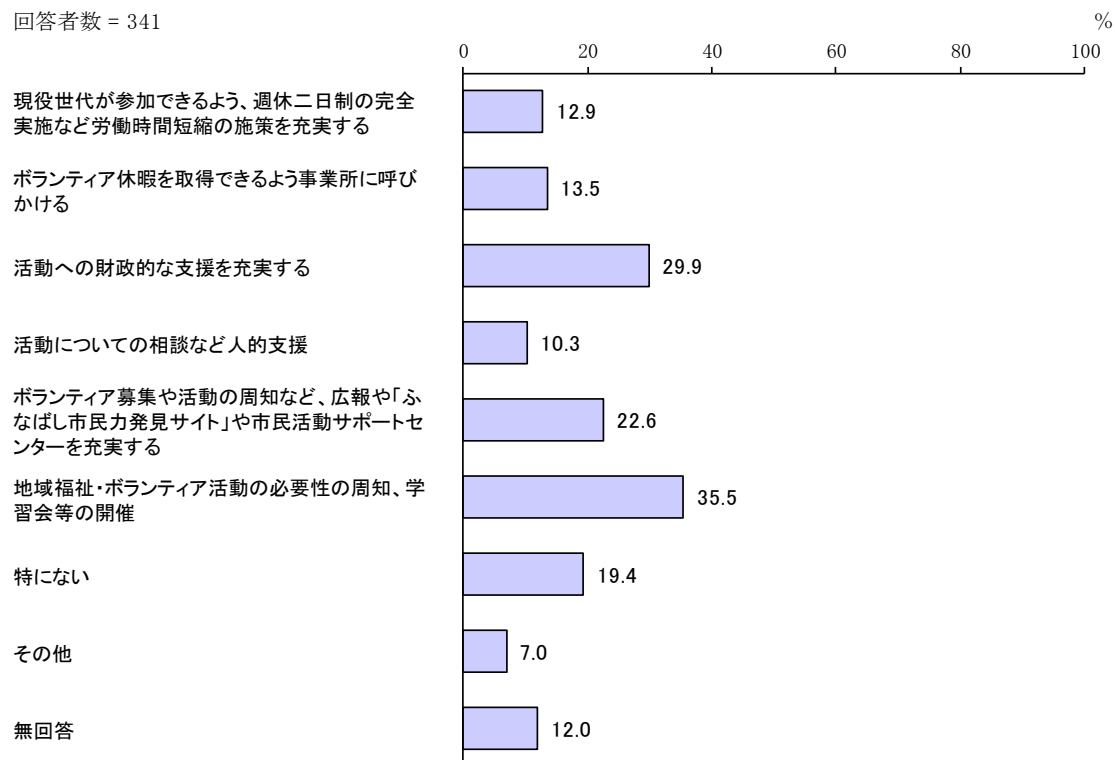
単位：％

区分	回答者数 (件)	研修会、講演会などで呼びかける	会報・チラシなどを通じて活動を知らせる	イベントなどを行い、呼びかける	知り合いを増やし、声かけをする	関心のありそうな人に声かけをする	仕事を退職した人に声かけをする	子育てが終わった人に声かけをする	市の広報や「ふなばし市民活動情報ネット」や市民活動サポートセンターを活用して呼びかける	現在のメンバーで活動を続け、増やすつもりはない	特にない	その他	無回答
1 ～19 人	122	13.1	24.6	15.6	34.4	58.2	13.9	7.4	12.3	9.8	9.0	5.7	1.6
20～49 人	34	17.6	47.1	26.5	38.2	55.9	14.7	—	14.7	2.9	2.9	11.8	—
50～99 人	12	33.3	75.0	33.3	33.3	83.3	25.0	—	8.3	—	—	16.7	—
100 人以上	37	16.2	48.6	27.0	45.9	59.5	2.7	2.7	5.4	—	10.8	5.4	5.4

問 8. 活動の担い手を増やすために必要な行政の支援はありますか。(〇はいくつでも)

「地域福祉・ボランティア活動の必要性の周知、学習会等の開催」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「活動への財政的な支援を充実する」の割合が 29.9%、「ボランティア募集や活動の周知など、広報や「ふなばし市民力発見サイト」や市民活動サポートセンターを充実する」の割合が 22.6%となっています。

回答者数 = 341



【団体の種類別】

団体の種類別でみると、他に比べ、民生児童委員協議会で「活動についての相談など人的支援」「地域福祉・ボランティア活動の必要性の周知、学習会等の開催」の割合が、スクールガードで「ボランティア募集や活動の周知など、広報や「ふなばし市民力発見サイト」や市民活動サポートセンターを充実する」の割合が高くなっています。また、町会・自治会で「現役世代が参加できるよう、週休二日制の完全実施など労働時間短縮の施策を充実する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現役世代が参加できるよう、週休二日制の完全実施など労働時間短縮の施策を充実する	ボランティア休暇を取得できるよう事業所に呼びかける	活動への財政的な支援を充実する	活動についての相談など人的支援	ボランティア募集や活動の周知など、広報や「ふなばし市民力発見サイト」や市民活動サポートセンターを充実する	地域福祉・ボランティア活動の必要性の周知、学習会等の開催	特にない	その他	無回答
町会・自治会	68	25.0	19.1	36.8	11.8	17.6	47.1	23.5	2.9	5.9
地区社会福祉協議会	28	7.1	21.4	32.1	17.9	17.9	46.4	10.7	14.3	25.0
民生児童委員協議会	18	16.7	22.2	38.9	27.8	44.4	77.8	—	5.6	—
老人クラブ連合会	8	12.5	12.5	25.0	—	—	62.5	12.5	12.5	12.5
市民活動団体	74	6.8	9.5	29.7	5.4	24.3	31.1	16.2	2.7	17.6
助け合いの会	17	11.8	5.9	52.9	23.5	5.9	35.3	11.8	17.6	—
PTA	36	13.9	25.0	22.2	5.6	8.3	19.4	33.3	8.3	8.3
スクールガード	25	12.0	4.0	20.0	8.0	52.0	36.0	12.0	8.0	4.0
その他	54	5.6	3.7	13.0	5.6	24.1	18.5	29.6	11.1	14.8

【活動人数別】

活動人数別でみると、他に比べ、50～99 人で「現役世代が参加できるよう、週休二日制の完全実施など労働時間短縮の施策を充実する」「活動への財政的な支援を充実する」「地域福祉・ボランティア活動の必要性の周知、学習会等の開催」の割合が高くなっています。また、100 人以上で「ボランティア休暇を取得できるよう事業所に呼びかける」の割合が高くなっています。

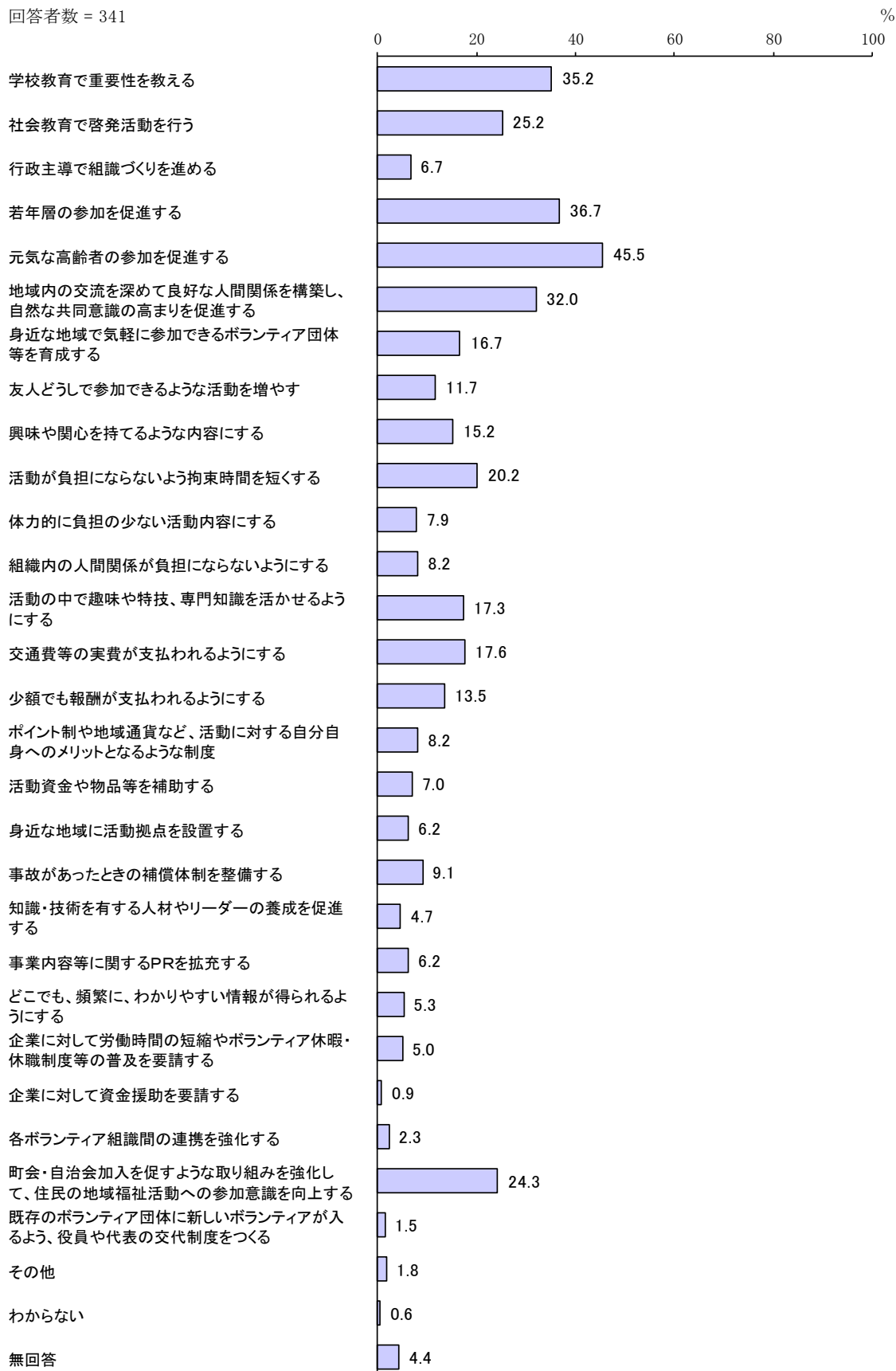
単位：％

区分	回答者数（件）	現役世代が参加できるよう、週休二日制の完全実施など労働時間短縮の施策を充実する	ボランティア休暇を取得できるよう事業所に呼びかける	活動への財政的な支援を充実する	活動についての相談など人的支援	ボランティア募集や活動の周知など、広報や「ふなばし市民力発見サイト」や市民活動サポートセンターを充実する	地域福祉・ボランティア活動の必要性の周知、学習会等の開催	特になし	その他	無回答
1 ～19 人	122	8. 2	4. 9	24. 6	9. 0	24. 6	28. 7	21. 3	9. 0	11. 5
20～49 人	34	5. 9	8. 8	29. 4	5. 9	32. 4	23. 5	14. 7	2. 9	14. 7
50～99 人	12	16. 7	8. 3	41. 7	8. 3	25. 0	41. 7	16. 7	16. 7	—
100 人以上	37	10. 8	27. 0	16. 2	2. 7	10. 8	18. 9	32. 4	5. 4	13. 5

問9. 今後、ボランティア活動や市民の自主的な活動等を活性化するためには、活動をするうえで何が必要だと考えますか。(〇は主なもの5つ以内)

「元気な高齢者の参加を促進する」の割合が45.5%と最も高く、次いで「若年層の参加を促進する」の割合が36.7%、「学校教育で重要性を教える」の割合が35.2%となっています。

回答者数 = 341



【団体の種類別】

団体の種類別でみると、他に比べ、スクールガードで「元気な高齢者の参加を促進する」の割合が、民生児童委員協議会で「町会・自治会加入を促すような取り組みを強化して、住民の地域福祉活動への参加意識を向上する」の割合が、助け合いの会、PTA で「活動が負担にならないよう拘束時間を短くする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	学校教育で重要性を教える	社会教育で啓発活動を行う	行政主導で組織づくりを進める	若年層の参加を促進する	元気な高齢者の参加を促進する	地域内の交流を深めて良好な人間関係を構築し、自然な共同意識の高まりを促進する	身近な地域で気軽に参加できるボランティア団体等を育成する	友人どうしで参加できるような活動を増やす	興味や関心を持てるような内容にする	活動が負担にならないよう拘束時間を短くする	体力的に負担の少ない活動内容にする	組織内の人間関係が負担にならないようにする	活動の中で趣味や特技、専門知識を活かせるようにする	交通費等の実費が支払われるようにする	少額でも報酬が支払われるようにする
町会・自治会	68	32.4	27.9	10.3	50.0	52.9	36.8	11.8	7.4	11.8	25.0	7.4	1.5	14.7	13.2	16.2
地区社会福祉協議会	28	42.9	28.6	3.6	32.1	39.3	25.0	14.3	3.6	14.3	10.7	3.6	3.6	25.0	14.3	7.1
民生児童委員協議会	18	38.9	33.3	5.6	38.9	44.4	50.0	16.7	5.6	16.7	16.7	5.6	11.1	16.7	5.6	16.7
老人クラブ連合会	8	—	25.0	12.5	12.5	100.0	62.5	25.0	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	—
市民活動団体	74	36.5	27.0	5.4	35.1	37.8	25.7	21.6	6.8	9.5	9.5	5.4	8.1	24.3	29.7	16.2
助け合いの会	17	41.2	17.6	5.9	35.3	52.9	58.8	11.8	11.8	11.8	52.9	11.8	11.8	11.8	5.9	—
PTA	36	44.4	25.0	5.6	33.3	8.3	41.7	16.7	30.6	47.2	55.6	5.6	27.8	2.8	11.1	11.1
スクールガード	25	16.0	24.0	16.0	36.0	84.0	20.0	12.0	16.0	12.0	24.0	16.0	4.0	12.0	4.0	16.0
その他	54	40.7	20.4	3.7	27.8	46.3	20.4	20.4	13.0	9.3	5.6	11.1	7.4	24.1	22.2	9.3

【団体の種類別（つづき）】

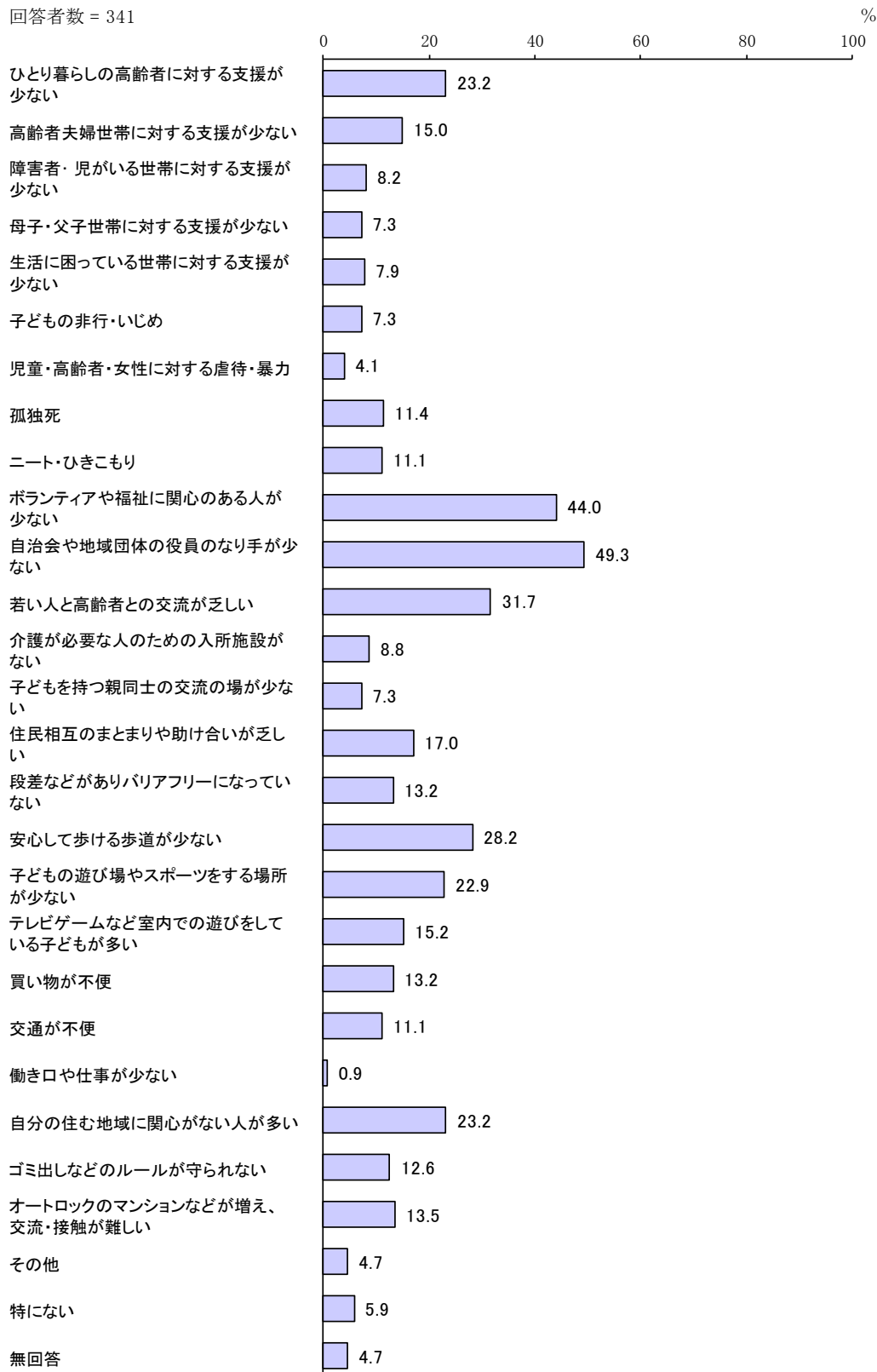
単位：％

区分	ボランティア制や地域通貨など、活動に対する自分自身へのメリットとなるような制度	活動資金や物品等を補助する	身近な地域に活動拠点を設置する	事故があつたときの補償体制を整備する	知識・技術を有する人材やリーダーの養成を促進する	事業内容等に関するPRを拡充する	どこでも、頻繁に、わかりやすい情報が得られるようにする	企業に対して労働時間の短縮やボランティア休暇・休職制度等の普及を要請する	企業に対して資金援助を要請する	各ボランティア組織間の連携を強化する	町会・自治会加入を促すような取り組みを強化して、住民の地域福祉活動への参加意識を向上	既存のボランティア団体に新しいボランティアが入るよう、役員や代表の交代制度をつくる	その他	わからない	無回答
町会・自治会	1.5	11.8	7.4	5.9	8.8	1.5	2.9	5.9	—	1.5	44.1	—	1.5	1.5	1.5
地区社会福祉協議会	10.7	10.7	7.1	3.6	3.6	7.1	—	7.1	3.6	3.6	17.9	—	—	—	10.7
民生児童委員協議会	5.6	—	5.6	5.6	5.6	33.3	11.1	5.6	—	—	61.1	5.6	—	—	—
老人クラブ連合会	—	—	12.5	—	12.5	—	25.0	—	—	—	37.5	—	—	—	—
市民活動団体	10.8	6.8	1.4	9.5	2.7	5.4	5.4	4.1	1.4	4.1	10.8	4.1	4.1	—	4.1
助け合いの会	—	5.9	23.5	41.2	5.9	17.6	5.9	—	—	—	41.2	—	—	—	—
PTA	19.4	5.6	2.8	2.8	—	2.8	8.3	8.3	—	—	8.3	2.8	—	—	2.8
スクールガード	4.0	12.0	4.0	4.0	4.0	8.0	4.0	4.0	—	12.0	28.0	—	—	—	—
その他	9.3	1.9	9.3	14.8	5.6	3.7	5.6	5.6	—	—	9.3	—	3.7	1.9	7.4

問 10. 貴団体の活動を通して、住んでいる地域で、日ごろ何とかしなければならないと
 思っていることはありますか。(〇はいくつでも)

「自治会や地域団体の役員のなり手が少ない」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「ボランティアや福祉に関心のある人が少ない」の割合が 44.0%、「若い人と高齢者との交流が乏しい」の割合が 31.7%となっています。

回答者数 = 341



【団体の種類別】

団体の種類別でみると、他に比べ、町会・自治会、民生児童委員協議会で「自治会や地域団体の役員のなり手が少ない」の割合が高くなっています。また、町会・自治会で「ひとり暮らしの高齢者に対する支援が少ない」「高齢者夫婦世帯に対する支援が少ない」「孤独死」「ゴミ出しなどのルールが守られない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	ひとり暮らしの高齢者に対する支援が少ない	高齢者夫婦世帯に対する支援が少ない	障害者・児がいる世帯に対する支援が少ない	母子・父子世帯に対する支援が少ない	生活に困っている世帯に対する支援が少ない	子どもの非行・いじめ	児童・高齢者・女性に対する虐待・暴力	孤独死	ニート・ひきこもり	ボランティアや福祉に関心のある人が少ない	自治会や地域団体の役員のなり手が少ない	若い人と高齢者との交流が乏しい	介護が必要な人のための入所施設がない	子どもを持つ親同士の交流の場が少ない
町会・自治会	68	38.2	30.9	11.8	13.2	13.2	8.8	4.4	26.5	14.7	39.7	79.4	35.3	10.3	10.3
地区社会福祉協議会	28	14.3	14.3	10.7	7.1	10.7	—	—	3.6	14.3	46.4	42.9	28.6	10.7	3.6
民生児童委員協議会	18	22.2	16.7	11.1	16.7	16.7	11.1	11.1	27.8	38.9	55.6	83.3	27.8	11.1	—
老人クラブ連合会	8	37.5	25.0	—	—	—	—	—	12.5	25.0	62.5	50.0	50.0	12.5	—
市民活動団体	74	21.6	14.9	6.8	1.4	5.4	4.1	4.1	4.1	6.8	52.7	29.7	37.8	12.2	4.1
助け合いの会	17	23.5	17.6	—	—	5.9	—	—	11.8	23.5	29.4	64.7	41.2	5.9	—
PTA	36	5.6	—	5.6	16.7	8.3	25.0	11.1	2.8	2.8	33.3	36.1	16.7	—	27.8
スクールガード	25	12.0	4.0	—	—	—	8.0	4.0	—	—	52.0	52.0	20.0	4.0	4.0
その他	54	18.5	1.9	5.6	1.9	1.9	5.6	—	9.3	1.9	37.0	31.5	31.5	5.6	3.7

区分	住民相互のまとまりや助け合いが乏しい	段差などがありバリアフリーになっていない	安心して歩ける歩道が少ない	子どもの遊び場やスポーツをする場所が少ない	テレビゲームなど室内での遊びをしている子どもが多い	買い物 불편	交通が不便	働き口や仕事が少ない	自分の住む地域に関心がない人が多い	ゴミ出しなどのルールが守られない	オートロックのマンションなどが増え、交流・接触が難しい	その他	特になし	無回答
町会・自治会	16.2	13.2	27.9	29.4	16.2	17.6	11.8	2.9	32.4	26.5	20.6	1.5	2.9	2.9
地区社会福祉協議会	25.0	21.4	28.6	25.0	14.3	17.9	25.0	—	17.9	—	25.0	10.7	7.1	7.1
民生児童委員協議会	38.9	22.2	27.8	11.1	11.1	27.8	16.7	—	27.8	5.6	50.0	5.6	—	—
老人クラブ連合会	37.5	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0	12.5	—	37.5	37.5	—	—	—	—
市民活動団体	17.6	14.9	24.3	14.9	9.5	9.5	8.1	1.4	18.9	6.8	9.5	6.8	6.8	5.4
助け合いの会	11.8	11.8	23.5	17.6	5.9	17.6	29.4	—	23.5	29.4	5.9	5.9	—	5.9
PTA	11.1	2.8	41.7	41.7	33.3	—	2.8	—	19.4	2.8	2.8	8.3	11.1	2.8
スクールガード	16.0	4.0	40.0	32.0	20.0	8.0	4.0	—	32.0	20.0	—	—	—	8.0
その他	9.3	11.1	18.5	11.1	11.1	11.1	9.3	—	18.5	5.6	7.4	1.9	13.0	7.4

【活動人数別】

活動人数別でみると、人数が多くなるにつれ「子どもの非行・いじめ」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、50～99人で「ひとり暮らしの高齢者に対する支援が少ない」「高齢者夫婦世帯に対する支援が少ない」「孤独死」「ボランティアや福祉に関心のある人が少ない」の割合が、100人以上で「母子・父子世帯に対する支援が少ない」「子どもを持つ親同士の交流の場が少ない」「安心して歩ける歩道が少ない」「子どもの遊び場やスポーツをする場所が少ない」「テレビゲームなど室内での遊びをしている子どもが多い」の割合が高くなっています。

単位：％

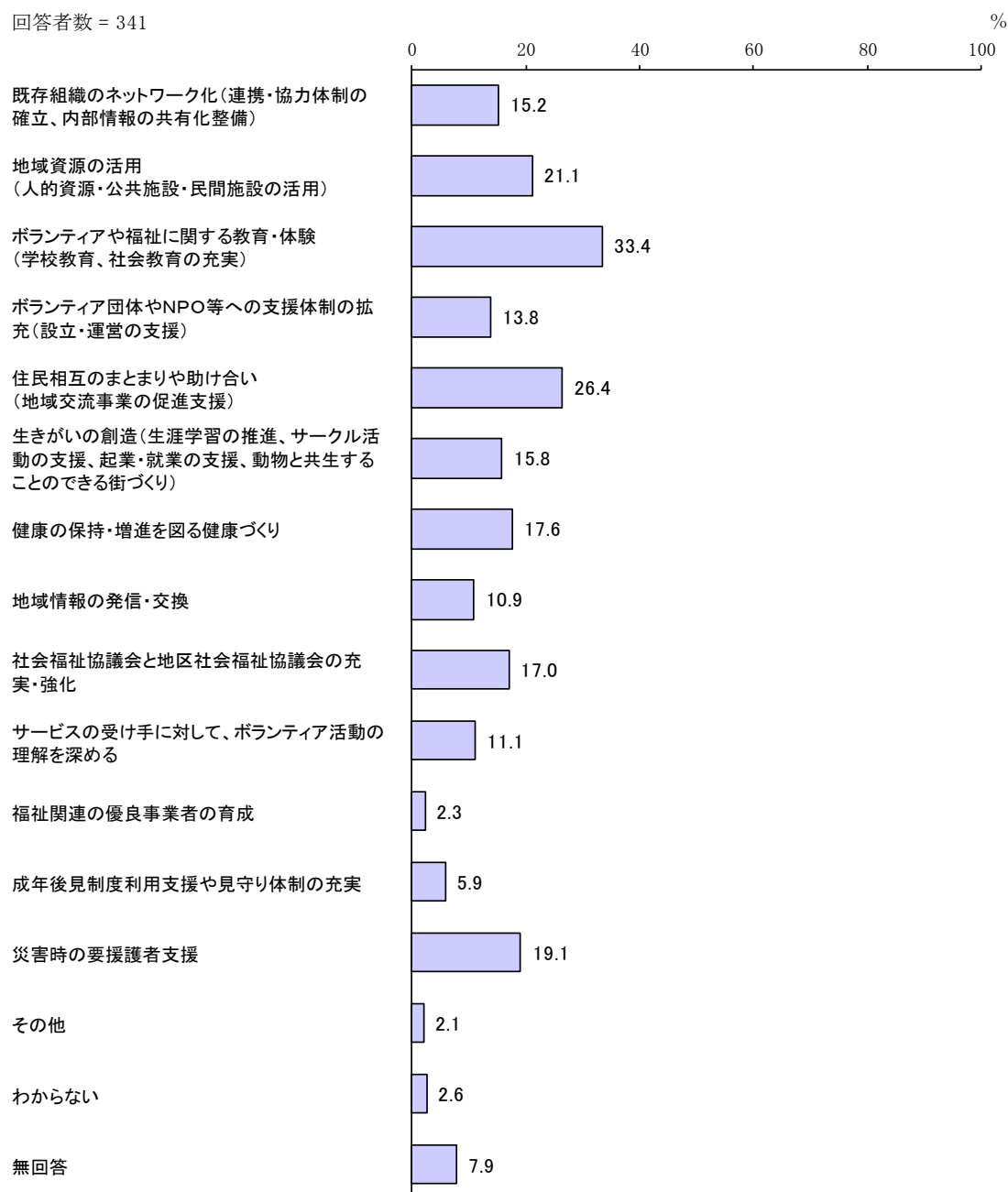
区分	回答者数 (件)	ひとり暮らしの高齢者に対する支援 が少ない	高齢者夫婦世帯に対する支援が少な い	障害者・児がいる世帯に対する支援 が少ない	母子・父子世帯に対する支援が少な い	生活に困っている世帯に対する支援 が少ない	子どもの非行・いじめ	児童・高齢者・女性に対する虐待・ 暴力	孤独死	ニート・ひきこもり	ボランティアや福祉に関心のある人 が少ない	自治会や地域団体の役員のなり手が 少ない	若い人と高齢者との交流が乏しい	介護が必要な人のための入所施設が ない	子どもを持つ親同士の交流の場が少 ない
1～19人	122	18.9	7.4	4.1	1.6	4.1	3.3	0.8	4.1	5.7	45.1	38.5	33.6	10.7	4.9
20～49人	34	17.6	11.8	2.9	2.9	2.9	11.8	8.8	8.8	5.9	44.1	26.5	32.4	2.9	2.9
50～99人	12	25.0	25.0	8.3	8.3	8.3	16.7	8.3	25.0	8.3	50.0	50.0	41.7	—	8.3
100人以上	37	8.1	—	8.1	10.8	5.4	18.9	8.1	—	2.7	35.1	37.8	16.2	—	21.6

区分	住民相互のまとまりや助け合いが乏 しい	段差などがありバリアフリーになっ ていない	安心して歩ける歩道が少ない	子どもの遊び場やスポーツをする場 所が少ない	テレビゲームなど室内での遊びをし ている子どもが多い	買い物が不便	交通が不便	働き口や仕事が少ない	自分の住む地域に関心がない人が多 い	ゴミ出しなどのルールが守られない	オートロックのマンションなどが増 え、交流・接触が難しい	その他	特にな い	無回 答
1～19人	14.8	13.1	27.0	17.2	12.3	13.9	11.5	0.8	22.1	11.5	8.2	4.9	6.6	6.6
20～49人	8.8	8.8	26.5	20.6	8.8	—	2.9	—	17.6	5.9	5.9	—	8.8	5.9
50～99人	16.7	—	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	—	25.0	16.7	—	8.3	—	—
100人以上	13.5	5.4	37.8	37.8	32.4	—	2.7	—	18.9	2.7	2.7	8.1	10.8	5.4

問 11. 福祉関連の分野で特に行政が力を入れて取り組んでほしい施策は何ですか。(〇は主なもの3つ以内)

「ボランティアや福祉に関する教育・体験（学校教育、社会教育の充実）」の割合が 33.4%と最も高く、次いで「住民相互のまとまりや助け合い(地域交流事業の促進支援)」の割合が 26.4%、「地域資源の活用（人的資源・公共施設・民間施設の活用）」の割合が 21.1%となっています。

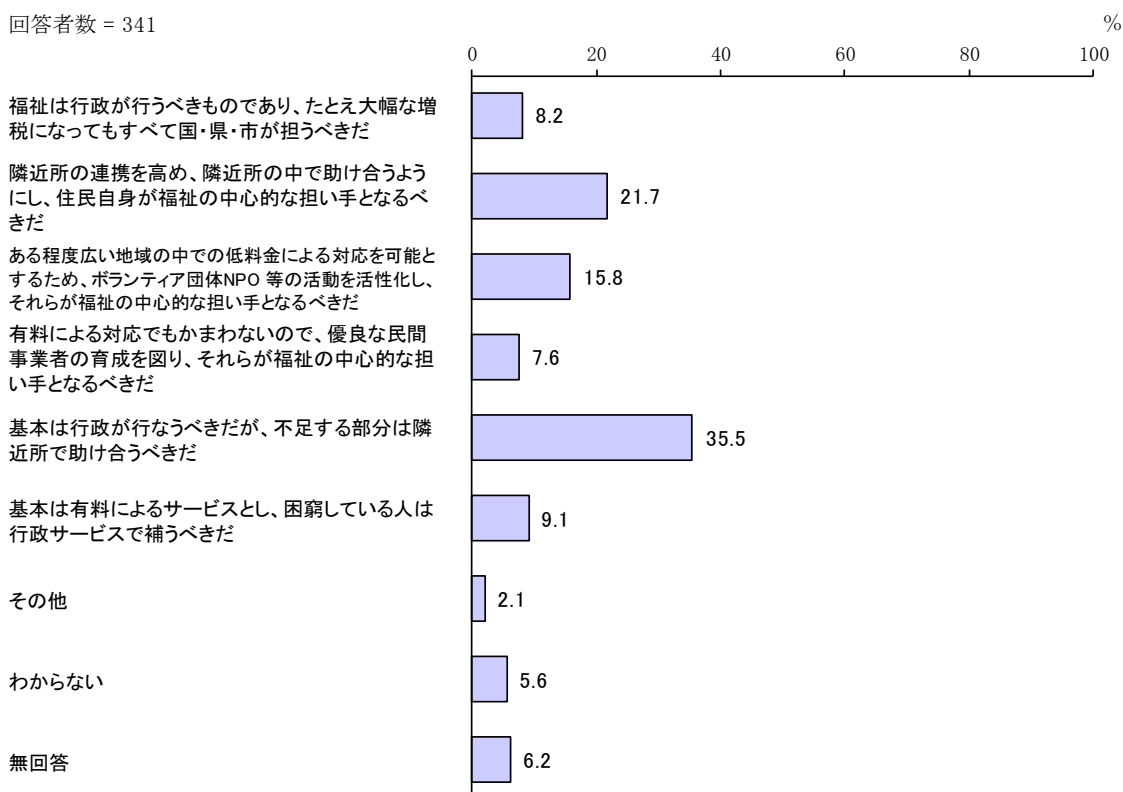
回答者数 = 341



問 12. 今後、船橋市では待機児童などの子どもの問題、高齢化の進展、障害がある方の社会参加などが進み、福祉サービス需要のさらなる増大や多様化が見込まれています。そうした中で、貴団体は、将来的に福祉サービス提供のあり方がどうあるべきだとお考えですか。（○は1つだけ）

「基本は行政が行なうべきだが、不足する部分は隣近所で助け合うべきだ」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「隣近所の連携を高め、隣近所の中で助け合うようにし、住民自身が福祉の中心的な担い手となるべきだ」の割合が 21.7%、「ある程度広い地域の中での低料金による対応を可能とするため、ボランティア団体 NPO 等の活動を活性化し、それらが福祉の中心的な担い手となるべきだ」の割合が 15.8%となっています。

回答者数 = 341



【団体の種類別】

団体の種類別でみると、他に比べ、民生児童委員協議会で「隣近所の連携を高め、隣近所の中で助け合うようにし、住民自身が福祉の中心となるべきだ」「ある程度広い地域の中での低料金による対応を可能とするため、ボランティア団体 NPO 等の活動を活性化し、それらが福祉の中心となるべきだ」「基本は行政が行うべきだが、不足する部分は隣近所で助け合うべきだ」の割合が高くなっています。また、町会・自治会で「福祉は行政が行うべきものであり、たとえ大幅な増税になってもすべて国・県・市が担うべきだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	福祉は行政が行うべきものであり、たとえ大幅な増税になってもすべて国・県・市が担うべきだ	隣近所の連携を高め、隣近所の中で助け合うようにし、住民自身が福祉の中心となるべきだ	ある程度広い地域の中での低料金による対応を可能とするため、ボランティア団体 NPO 等の活動を活性化し、それらが福祉の中心となるべきだ	有料による対応でもかまわないので、優良な民間事業者の育成を図り、それらが福祉の中心となるべきだ	基本は行政が行うべきだが、不足する部分は隣近所で助け合うべきだ	基本は有料によるサービスとし、困窮している人は行政サービスで補うべきだ	その他	わからない	無回答
町会・自治会	68	16.2	23.5	11.8	11.8	36.8	10.3	1.5	1.5	2.9
地区社会福祉協議会	28	10.7	21.4	17.9	7.1	25.0	14.3	3.6	3.6	10.7
民生児童委員協議会	18	—	33.3	27.8	—	44.4	16.7	—	—	—
老人クラブ連合会	8	—	25.0	25.0	—	12.5	12.5	—	—	25.0
市民活動団体	74	2.7	17.6	17.6	10.8	35.1	12.2	1.4	6.8	6.8
助け合いの会	17	11.8	29.4	17.6	5.9	41.2	—	—	—	5.9
PTA	36	13.9	8.3	16.7	8.3	30.6	8.3	5.6	11.1	—
スクールガード	25	4.0	28.0	4.0	4.0	36.0	—	—	8.0	16.0
その他	54	5.6	24.1	13.0	3.7	37.0	7.4	3.7	9.3	5.6

【活動人数別】

活動人数別でみると、他に比べ、人数が少なくなるにつれ「隣近所の連携を高め、隣近所の中で助け合うようにし、住民自身が福祉の中心的な担い手となるべきだ」の割合が高くなっています。また、他に比べ、20～49人、50～99人で「基本は行政が行なうべきだが、不足する部分は隣近所で助け合うべきだ」の割合が高くなっています。

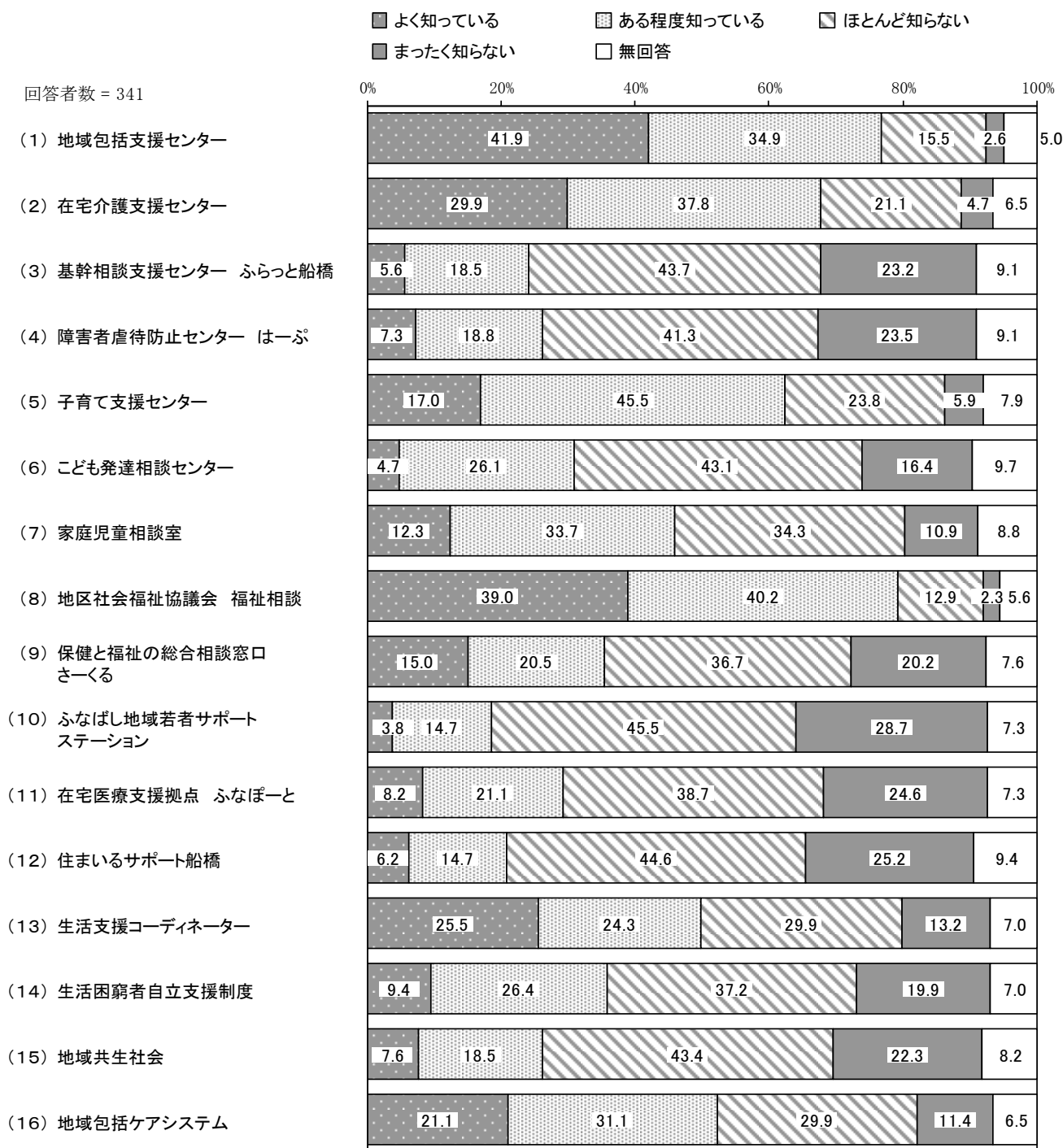
単位：％

区分	回答者数 (件)	福祉は行政が行うべきものであり、たとえ大幅な増税になってもすべて国・県・市が担うべきだ	隣近所の連携を高め、隣近所の中で助け合うようにし、住民自身が福祉の中心的な担い手となるべきだ	ある程度広い地域の中での低料金による対応を可能とするため、ボランティア団体NPO等の活動を活性化し、それらが福祉の中心的な担い手となるべきだ	有料による対応でもかまわないので、優良な民間事業者の育成を図り、それらが福祉の中心的な担い手となるべきだ	基本は行政が行なうべきだが、不足する部分は隣近所で助け合うべきだ	基本は有料によるサービスとし、困窮している人は行政サービスで補うべきだ	その他	わからない	無回答
1～19人	122	5.7	23.8	13.1	7.4	36.1	6.6	—	7.4	8.2
20～49人	34	2.9	20.6	17.6	5.9	44.1	5.9	8.8	2.9	5.9
50～99人	12	8.3	16.7	16.7	8.3	41.7	8.3	—	—	—
100人以上	37	10.8	8.1	16.2	8.1	24.3	10.8	5.4	16.2	2.7

(3) その他

問 13. 貴団体は、次の事業・相談窓口・制度等をどの程度ご存じですか。
(それぞれ1つだけ○)

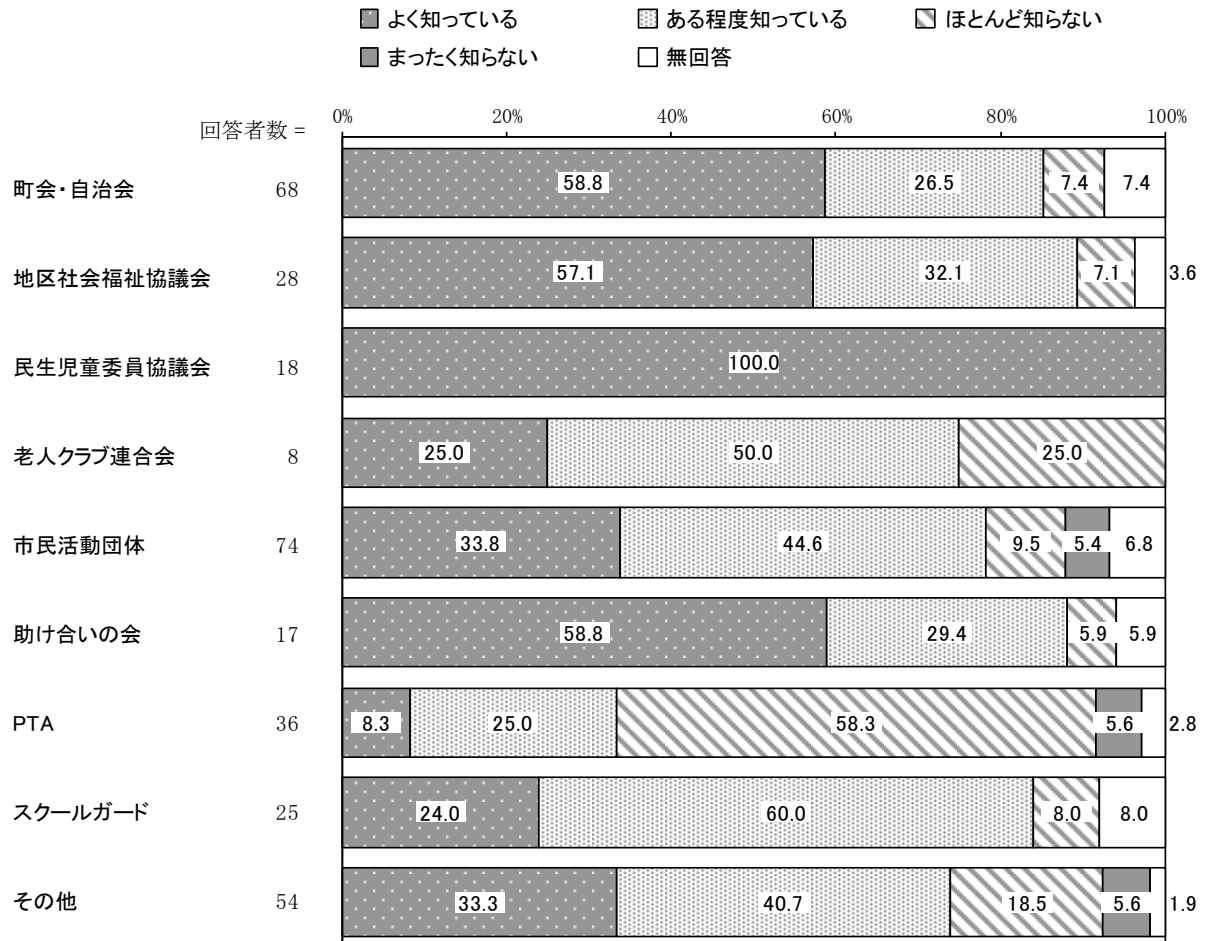
(1) 地域包括支援センター、(8) 地区社会福祉協議会 福祉相談で「よく知っている」と「ある程度知っている」をあわせた“知っている”の割合が高く、7割を超えています。一方、(10) ふなばし地域若者サポートステーションで「ほとんど知らない」と「まったく知らない」をあわせた“知らない”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



(1) 地域包括支援センター

【団体の種類別】

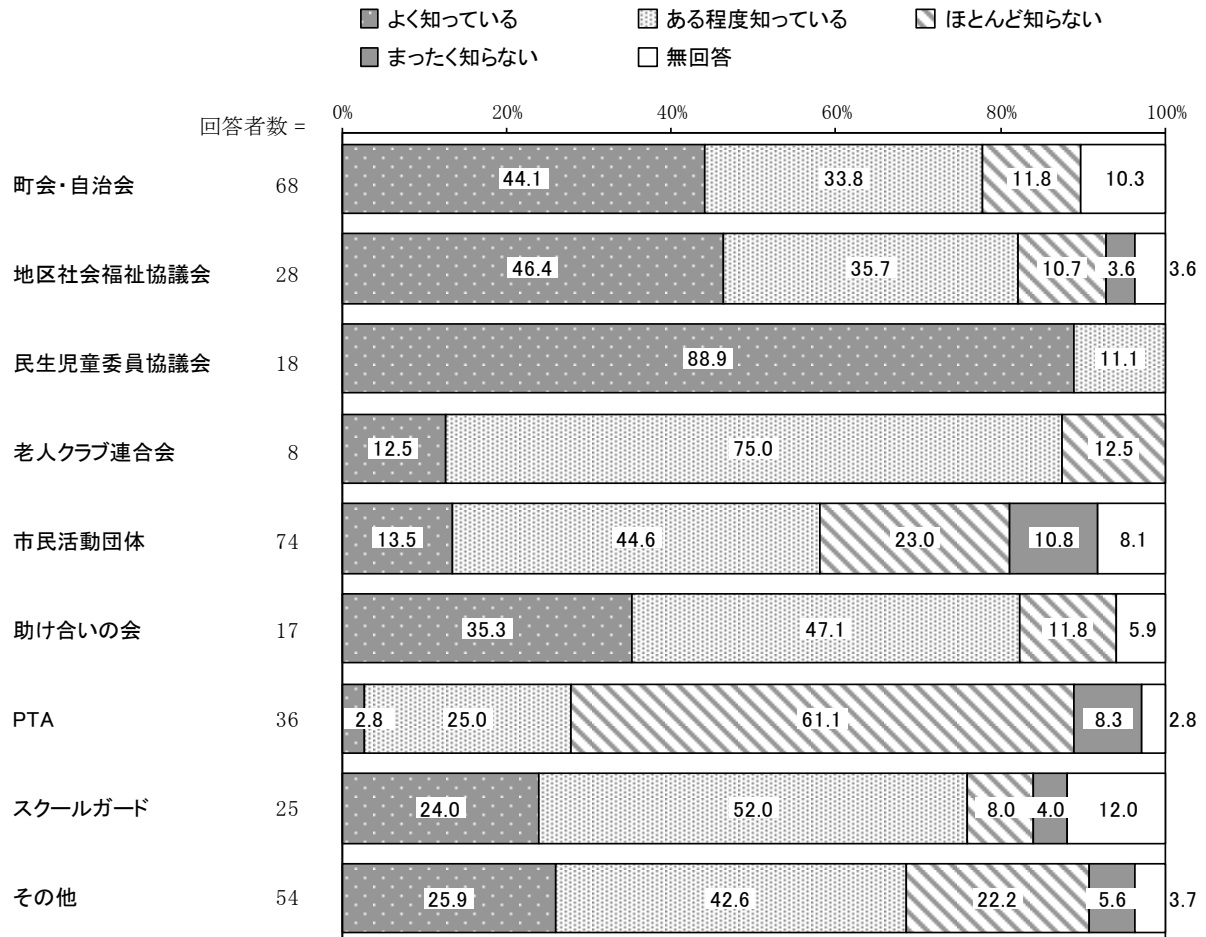
団体の種類別でみると、他に比べ、民生児童委員協議会で“知っている”の割合が高くなっています。一方、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



（２）在宅介護支援センター

【団体の種類別】

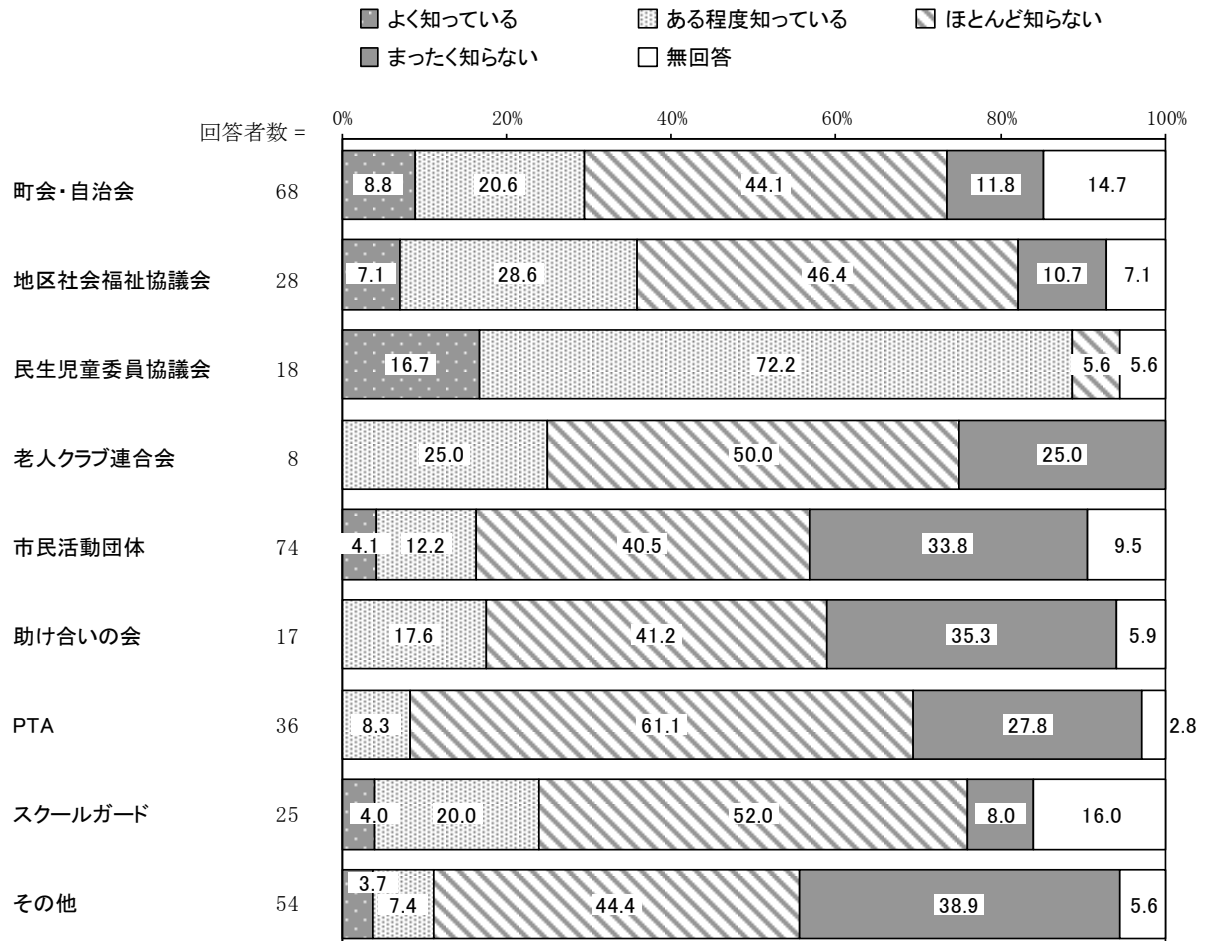
団体の種類別でみると、他に比べ、民生児童委員協議会で“知っている”の割合が高くなっています。一方、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



(3) 基幹相談支援センター ふらっと船橋

【団体の種類別】

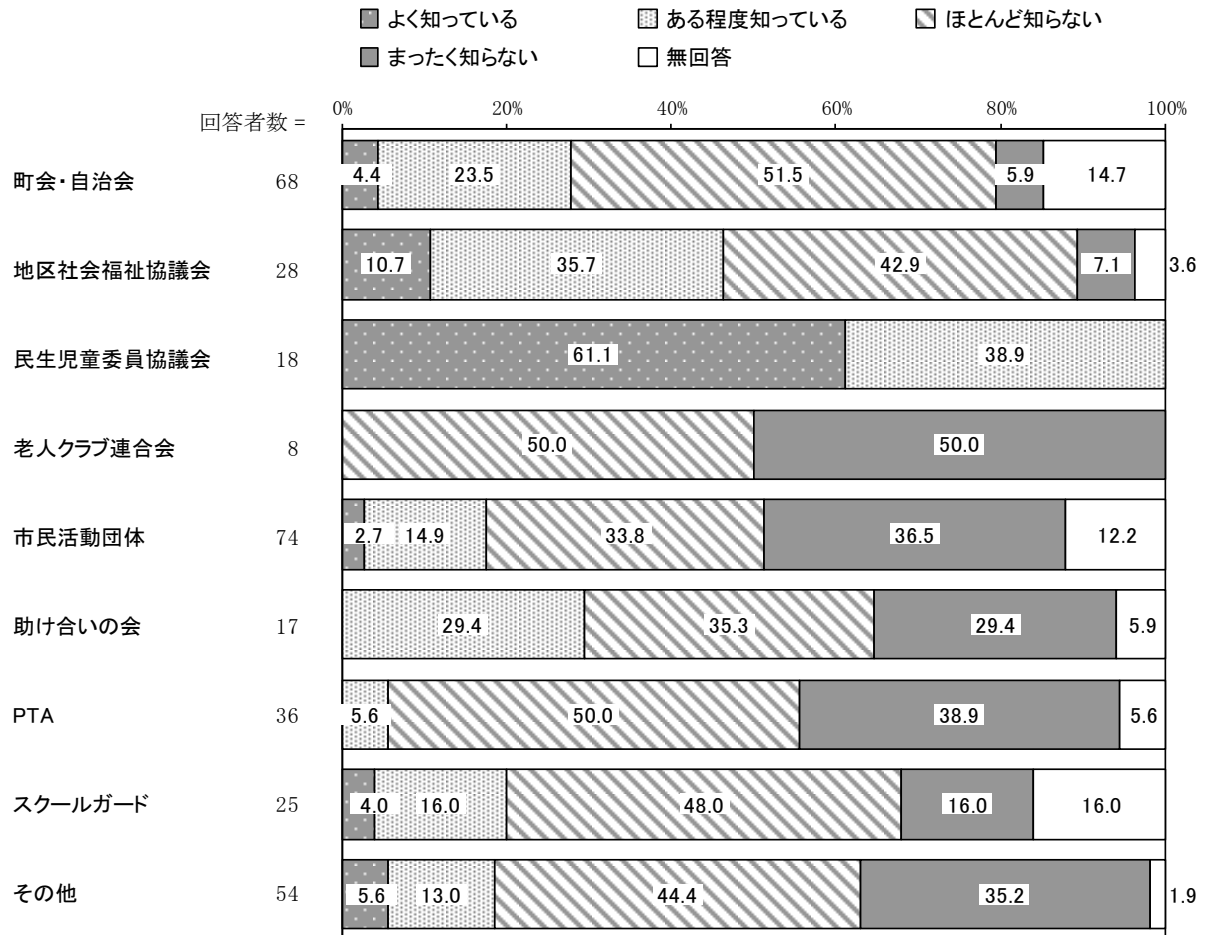
団体の種類別でみると、他に比べ、民生児童委員協議会で“知っている”の割合が高くなっています。一方、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



(4) 障害者虐待防止センター は一ふ

【団体の種類別】

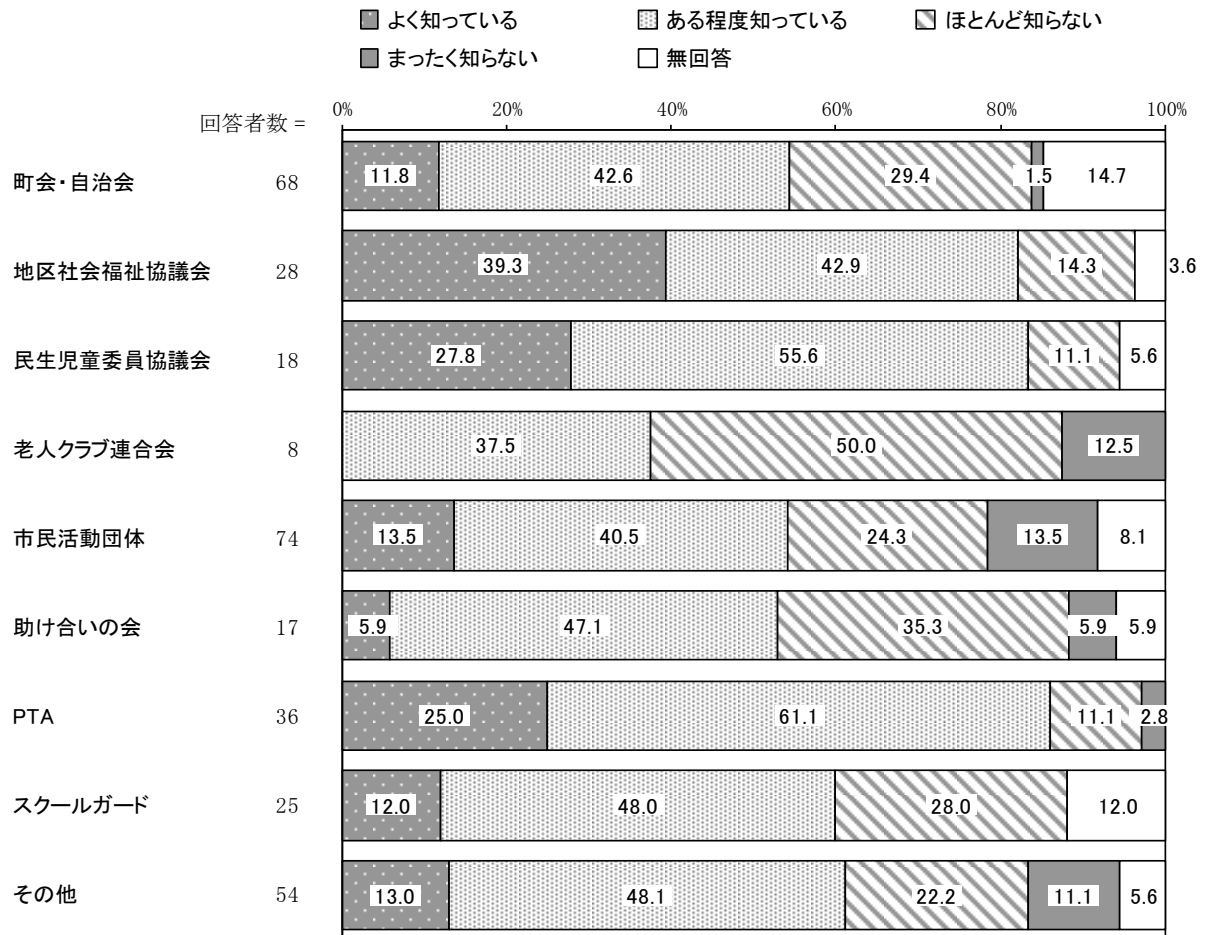
団体の種類別でみると、他に比べ、民生児童委員協議会で“知っている”の割合が高くなっています。また、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



（５）子育て支援センター

【団体の種類別】

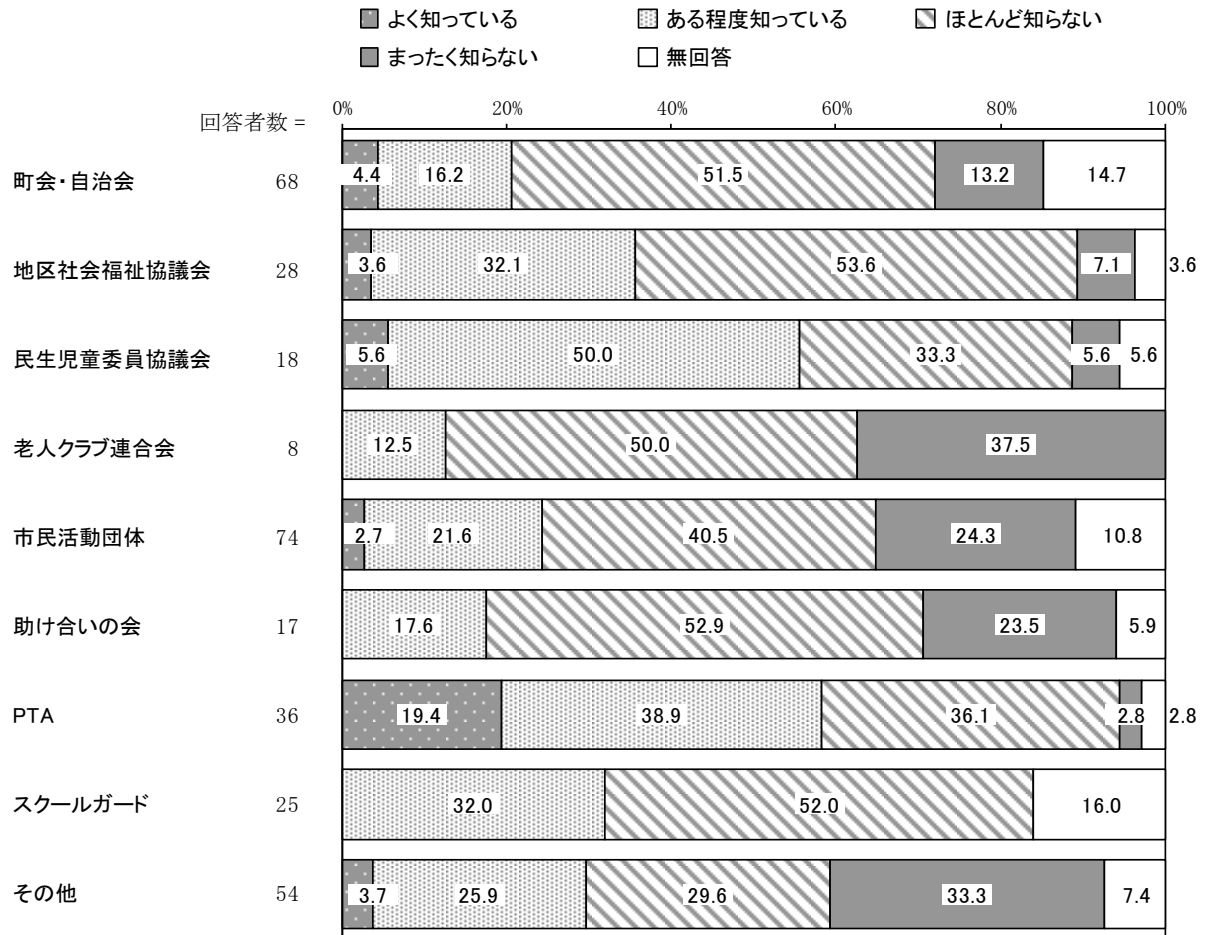
団体の種類別でみると、他に比べ、地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会、ＰＴＡで“知っている”の割合が高くなっています。一方、市民活動団体、助け合いの会で“知らない”の割合が高くなっています。



（６）こども発達相談センター

【団体の種類別】

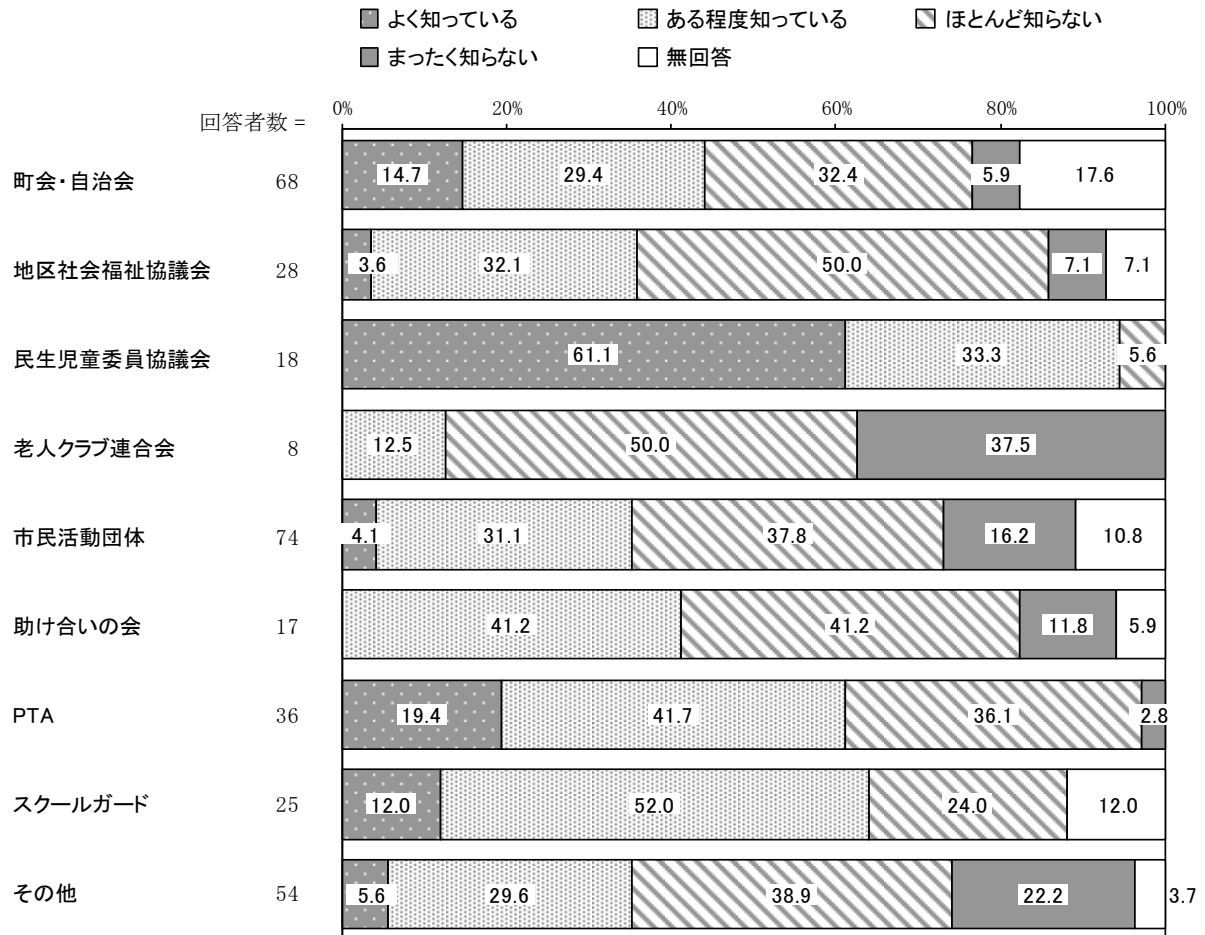
団体の種類別でみると、他に比べ、民生児童委員協議会、PTAで“知っている”の割合が高くなっています。一方、助け合いの会で“知らない”の割合が高くなっています。



(7) 家庭児童相談室

【団体の種類別】

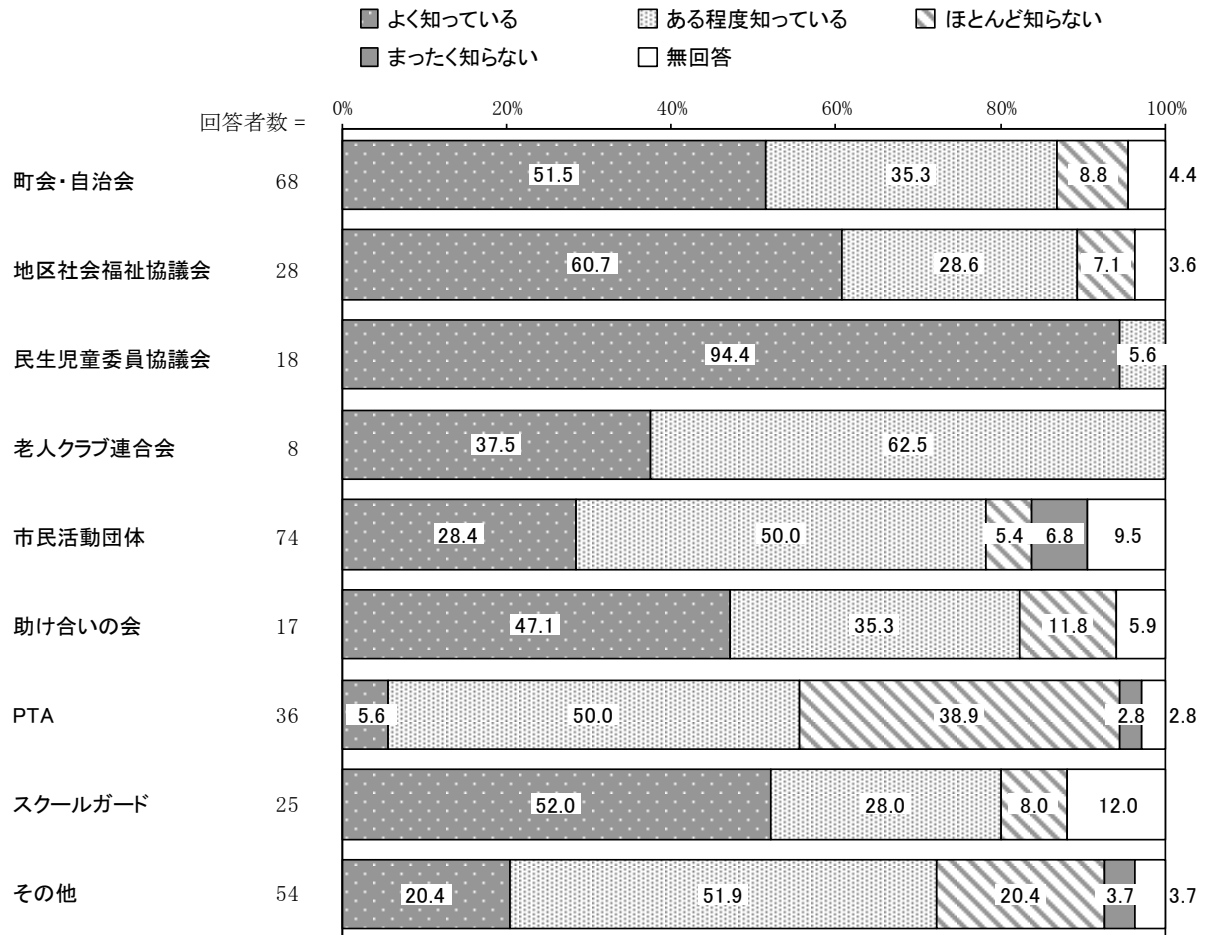
団体の種類別でみると、他に比べ、民生児童委員協議会で“知っている”の割合が高くなっています。一方、地区社会福祉協議会で“知らない”の割合が高くなっています。



（８）地区社会福祉協議会 福祉相談

【団体の種類別】

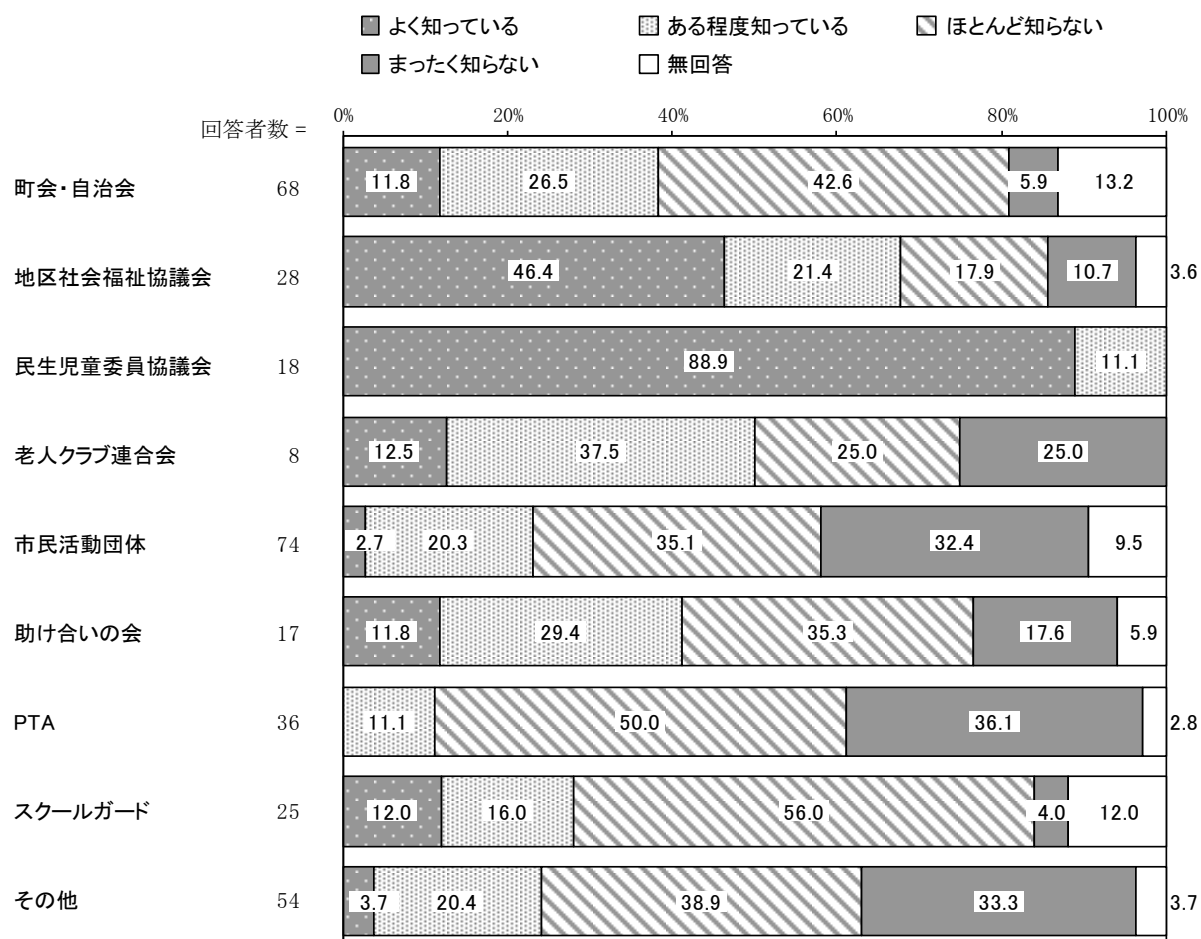
団体の種類別でみると、他に比べ、民生児童委員協議会で“知っている”の割合が高くなっています。一方、ＰＴＡで“知らない”の割合が高くなっています。



(9) 保健と福祉の総合相談窓口 さーくる

【団体の種類別】

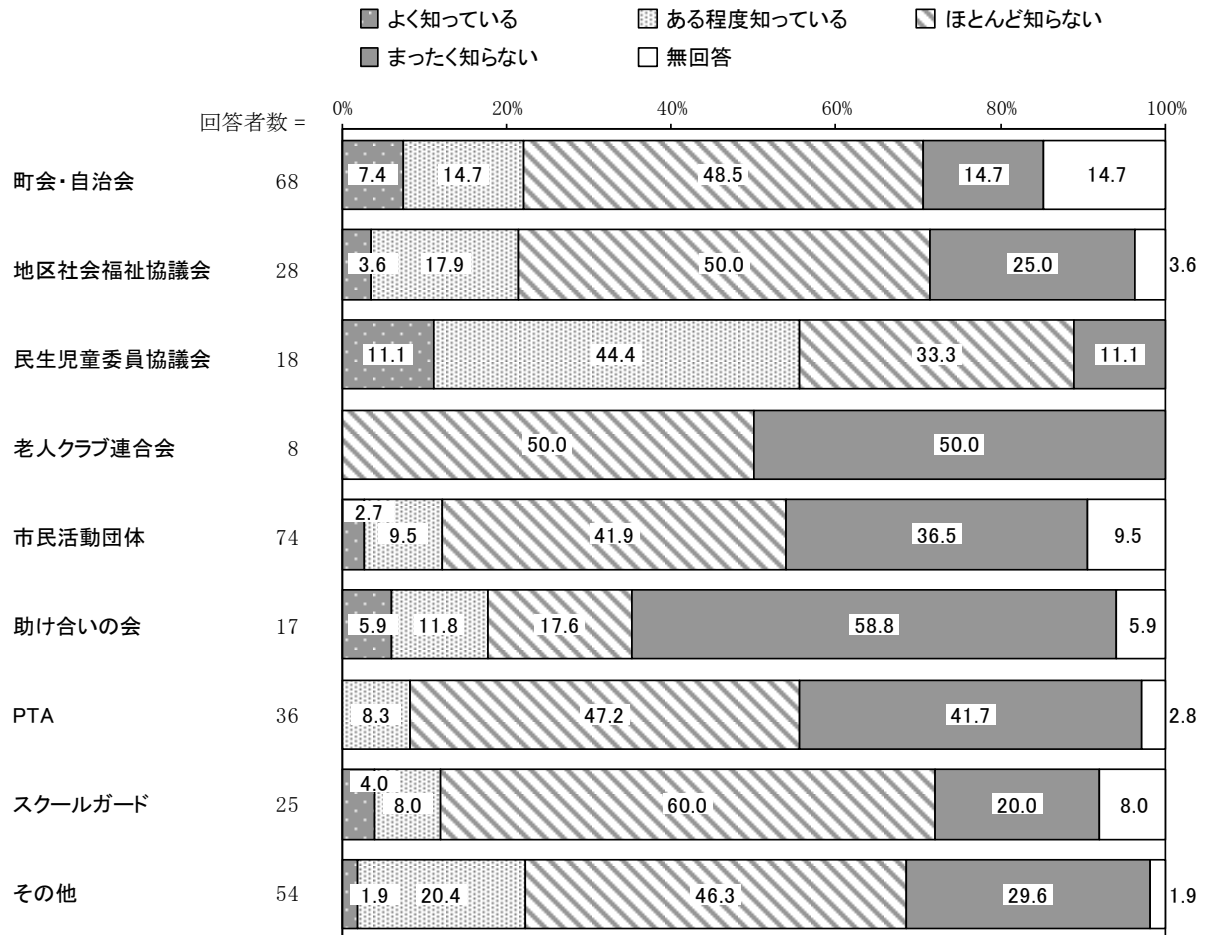
団体の種類別でみると、他に比べ、民生児童委員協議会で“知っている”の割合が高くなっています。一方、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



(10) ふなばし地域若者サポートステーション

【団体の種類別】

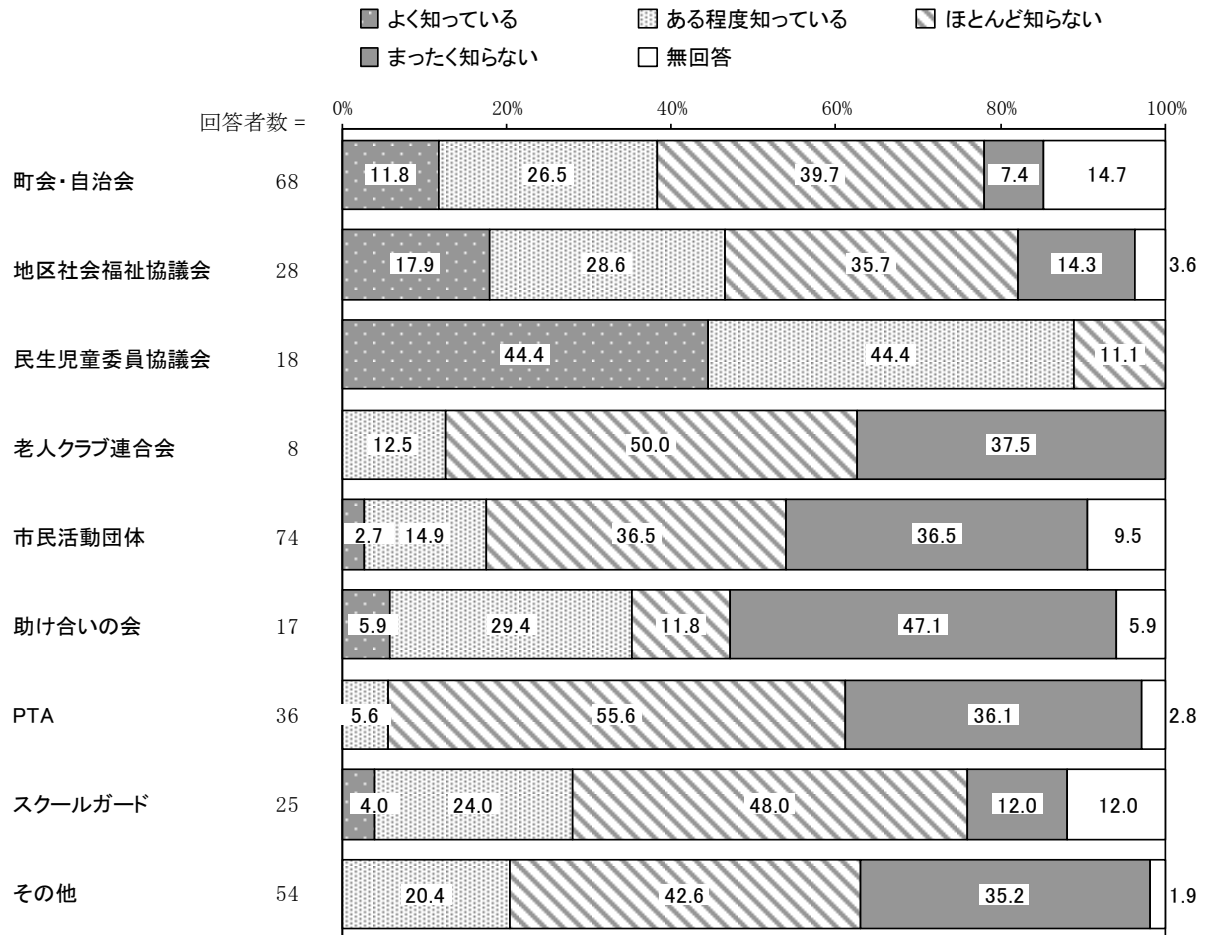
団体の種類別でみると、他に比べ、民生児童委員協議会で“知っている”の割合が高くなっています。一方、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



(11) 在宅医療支援拠点 ふなぼーと

【団体の種類別】

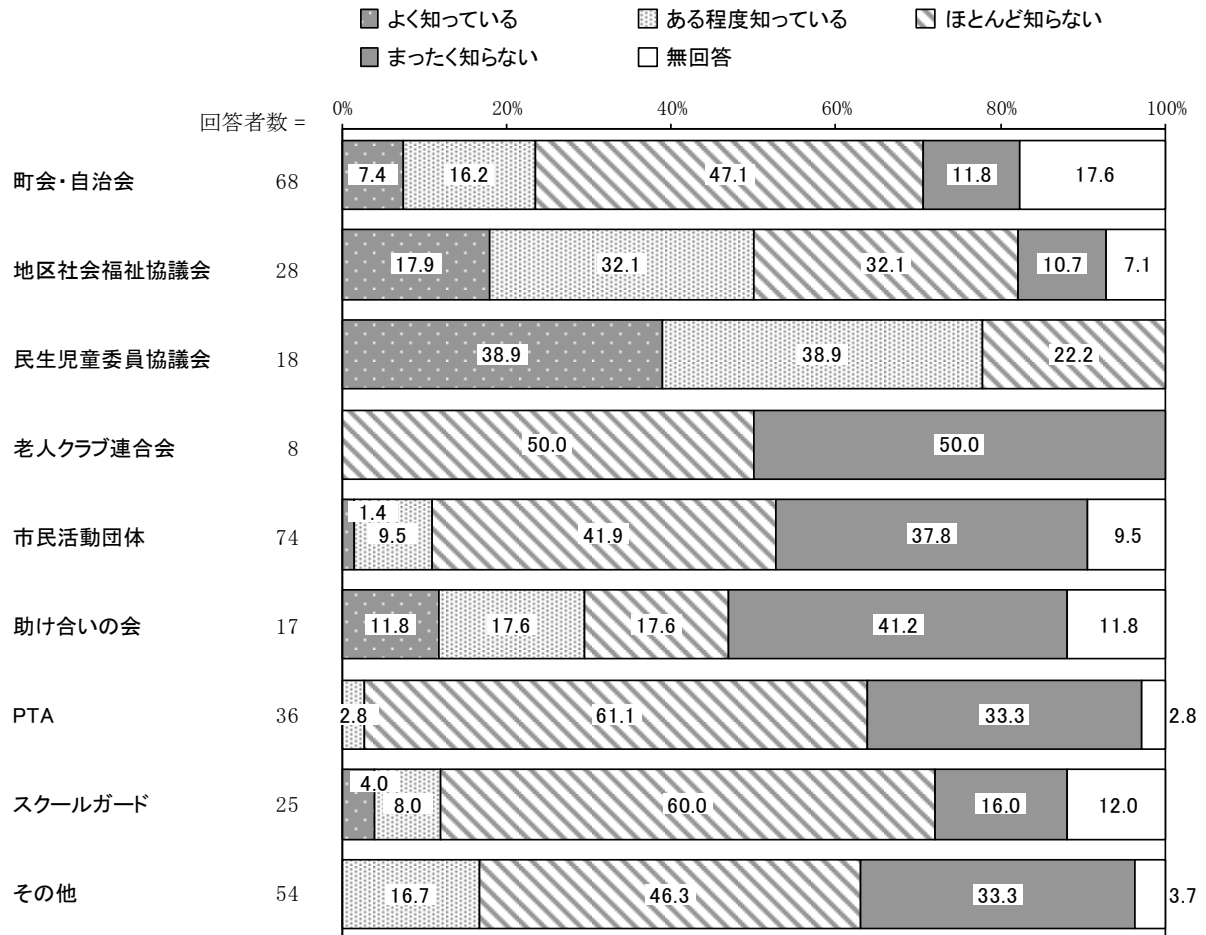
団体の種類別でみると、他に比べ、民生児童委員協議会で“知っている”の割合が高くなっています。一方、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



(12) 住まいるサポート船橋

【団体の種類別】

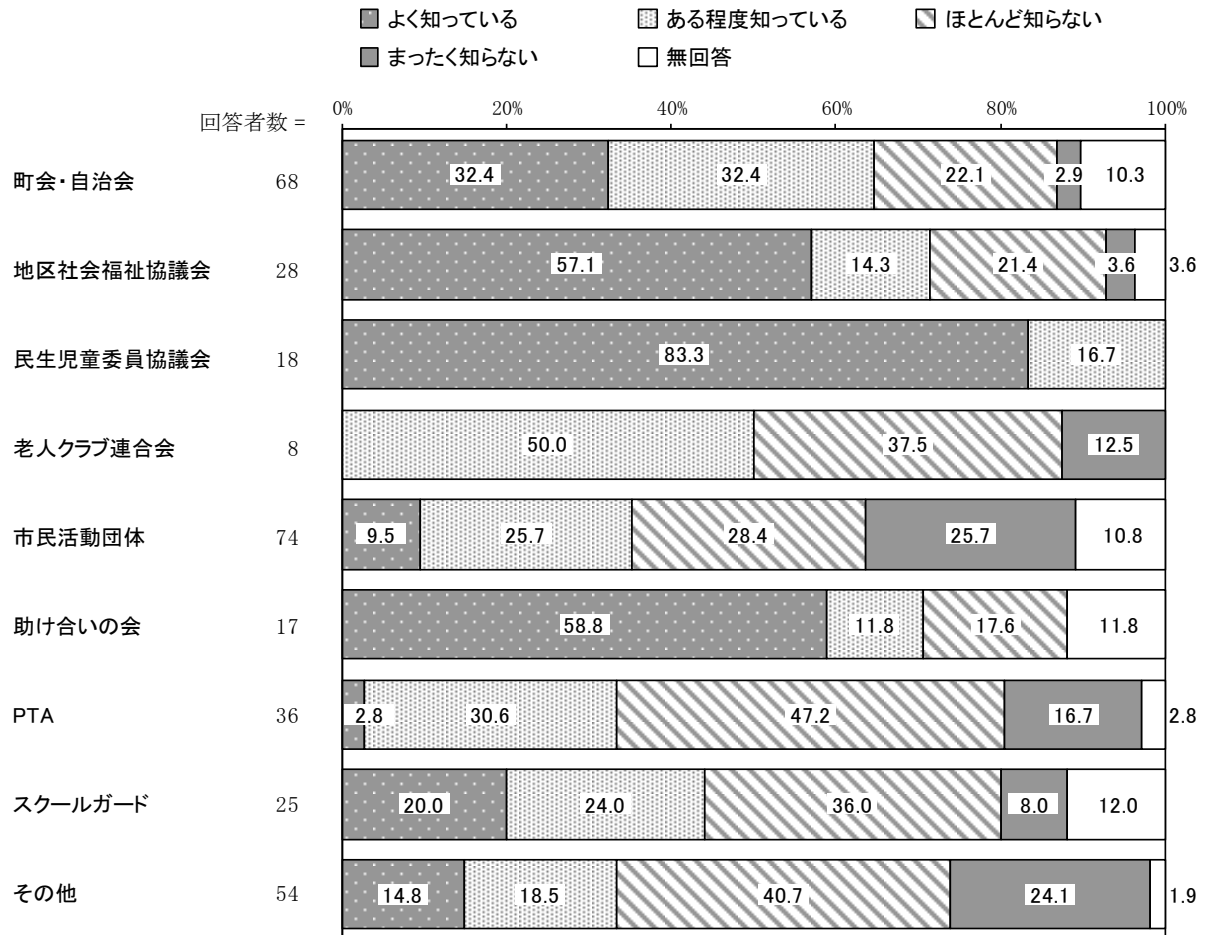
団体の種類別でみると、他に比べ、民生児童委員協議会で“知っている”の割合が高くなっています。一方、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



(13) 生活支援コーディネーター

【団体の種類別】

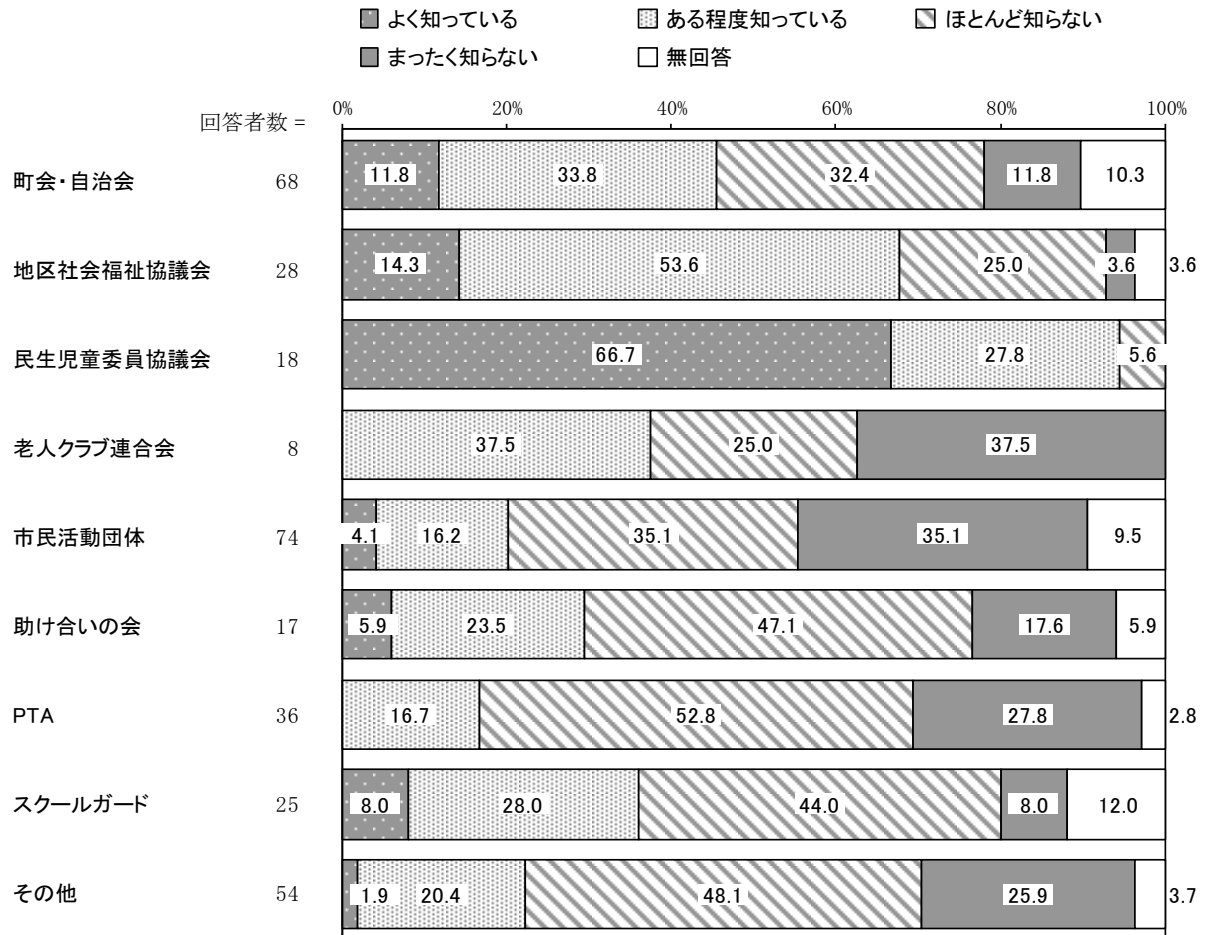
団体の種類別でみると、他に比べ、民生児童委員協議会で“知っている”の割合が高くなっています。一方、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



(14) 生活困窮者自立支援制度

【団体の種類別】

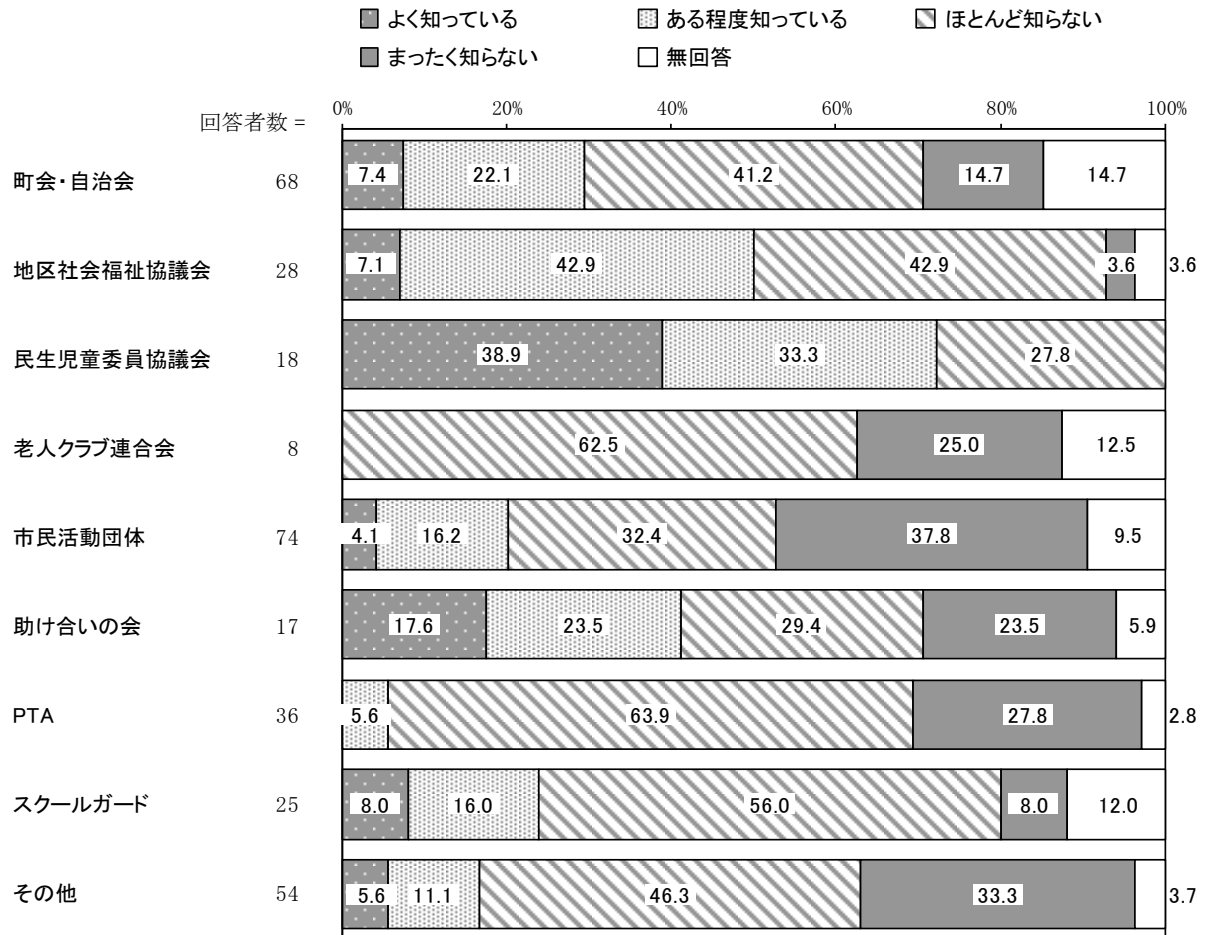
団体の種類別でみると、他に比べ、民生児童委員協議会で“知っている”の割合が高くなっています。一方、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



(15) 地域共生社会

【団体の種類別】

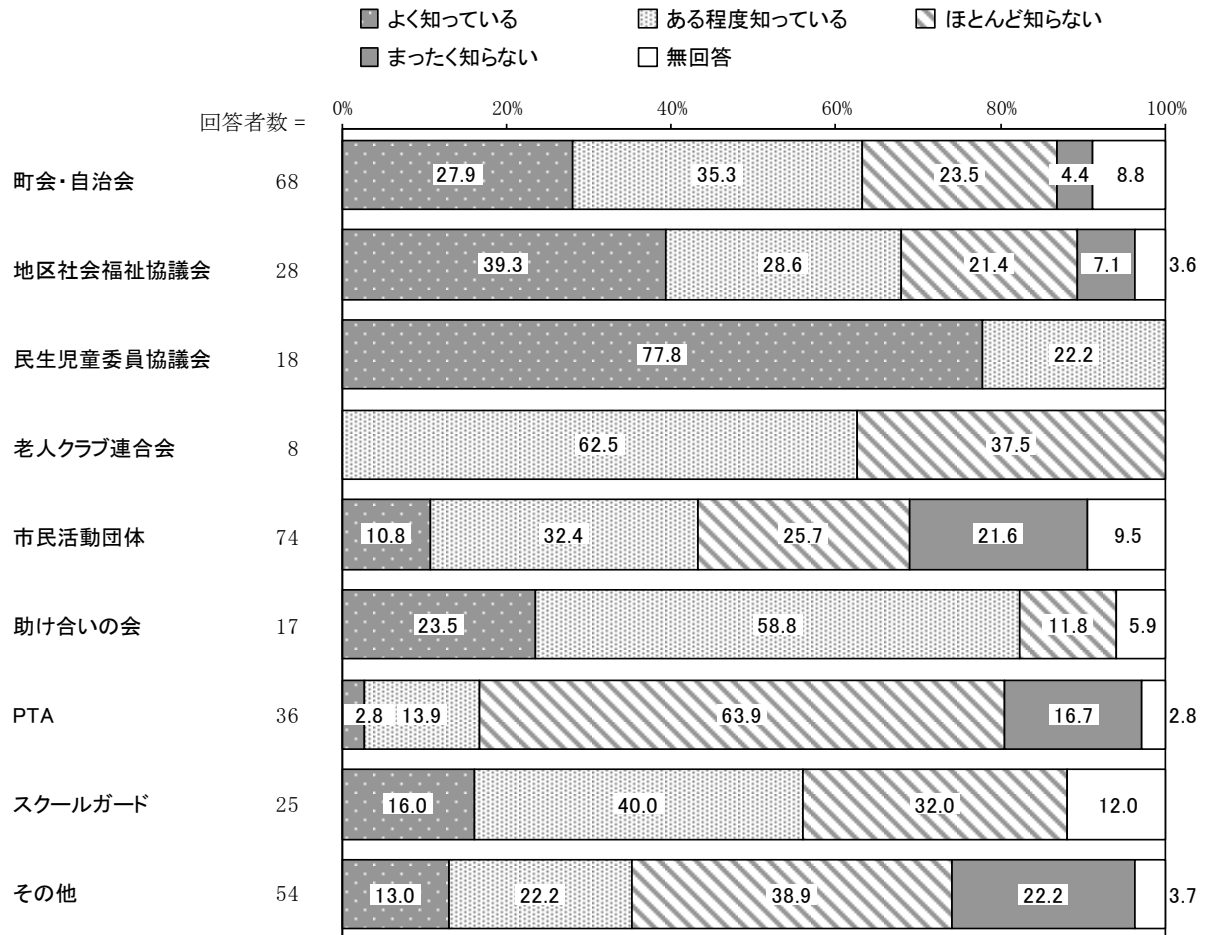
団体の種類別でみると、他に比べ、民生児童委員協議会で“知っている”の割合が高くなっています。一方、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



(16) 地域包括ケアシステム

【団体の種類別】

団体の種類別でみると、他に比べ、民生児童委員協議会で“知っている”の割合が高くなっています。一方、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



船橋市第4次船橋市地域福祉計画策定のための
アンケート調査結果報告書

発行年月：令和2年3月

発行・編集：船橋市健康福祉局福祉サービス部 地域福祉課

〒273-0011 千葉県船橋市湊町2-10-18

千葉県船橋合同庁舎4階

T E L：047-436-2314

F A X：047-436-3315

E-mail：chiikifukushi@city.funabashi.lg.jp

